http://mylikeyexp.com/

タカラ1/24「伝説の設計主任」が
バンダイ1/20スコープドッグを
本音でインプレッション!!!

定価780円(税込)

月刊モデルグラフィックス

Model Graphix

Your visual doorway to the exciting world of modeling. Every month MG delivers the latest product news, kit reviews, how-to articles and, of course, photography!

9 2007 SEPTEMBER Number 274

WARNING!
スコープドッグ解体新書
REMOVE BEFORE MODELING

BANDAI'S 1/20
AIM-09-ST "SCOPEDOG"
FEATURING SPECIAL

SCOPEDOG ANATOMISCHE TABELLEN

http://anyikqryexp.com/

ZENT CERUMO SC 2006

チャンピオン争いを演じた大胆カラーのゼッケン1

2006年のスーパーGT第5戦でポール・ツー・ウィン、立川祐路、高木虎之介両選手のドライブにより、最終戦までチャンピオンを争ったZENT CERUMO SCが1/24スケールで登場です。ラグジュアリーなスポーツクーペ、レクサスSC430がベースとは思えない迫力あふれるスタイルをリアルにモデル化。独特の形状を見せるフロントフェンダーは3分割のパーツで構成。サイド出しの排気管も奥行きのある仕上がりです。また、「モコちゃん」と呼ばれるリヤウイング下面の波打つような造形も興味深いポイント。フロントエアインテークに貼るナイロンメッシュ、エンブレムやドアミラー面のインレットマークもセットしディテールを引き締めます。さらに、ロールケージを張り巡らした室内も立体感十分です。個性的なカラーリングも注目。ボディを斜めに分割するレッドとシルバーのツートーンカラーは、塗り分け部分のグラデーション用デカールを用意。ボディ全体に規則的に配置される小さな「ZENT」ロゴは、浮き上がって見えるように微妙な色調を表現。加えて、ボディ右側がメタリックレッド、左側がシルバーのメタリック調グラフィックには輝きのある箔押しデカールを使用しました。大胆カラーのゼッケン1番は、2006年のスーパーGTを語る上で欠かせない1台です。

ロールケージをはじめとしたレーシング仕様の室内を再現した内装

エンブレムやドアミラーなどの微細なパーツをインサート使用した内装部

1/24 スポーツカーシリーズ

ZENT CERUMO SC 2006

税抜定価 3,885円（本体価格3,700円） 組立てキット

金属の繊細な表現が精密感をプラス

フロントエアインテーク用メッシュ、リヤバンパーエアダクト用メッシュをはじめ、熱交、ブレーキディスク、キャップピン、車体フック、さらに室内の雰囲気を高めるシートベルト用金具なども セットしました。

1/24 SC430 2006 GT仕様 エッチングパーツセット

（税抜定価 1,200円）（本体価格1,200円）

2006年を盛り上げた3台のSCが揃う

2006年のスーパーGT開幕戦でデビューウインを飾り、見事にこの年のシリーズチャンピオンに輝いたOPEN INTERFACE TOM'S SC430。第3戦の富士でもOPEN INTERFACE TOM'S SC430とスリリングな接近戦を繰り広げ、サーキットを大いに湧かせたMobil 1 SCの2台が同スケールでラインナップ。カラーリングの違いは言うまでもなく、ホイールデザインやアンテナ位置、斜め格子状と縦横格子状の2種類があるリヤバンパーのエアアウトレットのメッシュの向きの違いなど、それぞれの違いも精巧に再現。3台揃えてのコレクションが楽しみです。

OPEN INTERFACE TOM'S SC430 2006

（税抜定価 3,570円（本体価格3,400円）

Mobil 1 SC 2006

（税抜定価 3,885円（本体価格3,700円）

●価格はすべてメーカー希望小売価格です。●掲載されているモデルはすべてキットを組立て、塗装したものです。●写真は試作の為、製品と仕様が異なる場合があります。

株式会社タミヤ 〒420-8669 静岡市駿河区恩田3-7 [www.tamiya.com] ●キットでたのしいショッピング、タミヤショップ/オンライン [tamiyashop.jp]
製品に関するお問い合せはタミヤ・カスタマーサービスまで。TEL054-283-0003（静岡）03-3899-3765（東京）（静岡へ市街電話）営業時間：平日 8:00～20:00 土、日、祝 8:00～17:00

TAMIYA

http://mylikeyexp.com/

Model Graphix

Sep. 2007
Number 274

CONTENTS

■COVER Model
ATM-09-ST SCOPEDOG
from "Armored Trooper Votoms"
BANDAI 1/20
Injection-plastic kit
Modeled by Manabu SOYAMA
■ABOVE Model
ATM-09-ST SCOPEDOG
from "Armored Trooper Votoms"
BANDAI 1/20
Injection-plastic kit
Modeled by Satoshi ARAKI

スコープドッグの身長は設定上約4mと、いわゆるアニメロボットとしては極端に小さなサイズ。その気になれば個人でも再現性のモデルを製作できてしまうわけですが、たとえて言うなら1トラック程度のサイズであるスコープドッグは、ある種の生々しさを伴ってわれわれのイメージの中に生きています。そんなスコープドッグの模型を製作するには巨大なロボットを作るのとはまた違った表現手法が求められるのでは？ というわけで、本特集に掲載したあくまでもデザーとともに、モビルスーツでもなければ戦車でもない、スコープドッグならではの表現手法を追い求めていくことにしましょう。

■EDITORIAL MANAGER：市村 弘
■EDITOR IN CHIEF：古屋智康
■SENIOR EDITOR：石塚 真
■EDITOR：芦澤一洋、高久裕輝、清水良介
■ART DIRECTOR：丹羽和夫＆横川 隆（九六式艦上デザイン）
■DESIGNER：南プロスト、横川義彦、水谷さろこ
■DTP：小野寺 徹
■PHOTOGRAPHER：インタニヤ、小野正志（ホットレンズ）
■ADVT：安藤美紀子、奥田亜司、吉野泰貴
■PUBLISHER：©Dainippon Kaiga Co.,ltd. 2007

SCOPEDOG ANATOMISCHE TABELLEN

WARNING! スコープドッグ解体新書
BANDAI'S 1/20 ATM-09-ST "SCOPEDOG" FEATURING SPECIAL

「奇跡のプラスチックモデル」
タカラ1/24スコープドッグはやくしてこの世に生を受けた…… あるのまるひこ …… 8
「伝説の設計生涯」 泉 博道、24年経れのあを出しシャンケンなる
バンダイ1/20スコープドッグを再製に挑る。 あるのまるひこ …… 10
タカラ1/24の遺伝子を継いだ「140分の47」を改めて検証しよう …… 14
いまだ未開の荒野、ボトムズの（リアル）を探す旅がいま「1/20」ではじまる。 / 森雅二 …… 18
ストレートでもリアルに作る方法教えます。
1/20スコープドッグ製作マニュアル番外編
スコープドッグにそれらしく骨格を埋めこんでみよう / 宮崎正道 …… 23
吉田かずのり、24年目の証明
「奇跡のプラスチックシンドローム」タカラ1/24スコープドッグ / 吉田かずのり＋土屋青博 …… 24
Photo of "Votoms Story" 1983 to 2007 / 鈴木潤一郎 …… 26
SPECIAL INTERVIEW …… 28
ストレートでもリアルに作る方法教えます。
バンダイ1/20スコープドッグ製作マニュアルMk.2 / 宮崎 / 中嶋春彦 …… 31
<表面風物>円形劇場 Wildmen 荒川忠人 …… 36
機甲兵の眼り / 荒木 聡 …… 38
"リアル"を追求できるたりのAIVモデラーがいま見出す
「ボトムズのリアル」 / 土井義博・福崎正豊 …… 39

■AUTO MODELING

1/43 Diary / フェラーリ275GTB（SUPERCAR MODELS 1/43）/ 上村アキヒロ …… 57
コペンアフェティットエディション（アオシマ 1/24）/ 井上アキラ
頭文字（イニシャル）D 坂本カブチーク（アオシマ 1/24）/ 小林永治
ニュートレンドV1 ホンダビート（アオシマ 1/24）/ 伊 [illegible] …… 145

■CHARACTER MODELING

MS-14Sシャア専用ゲルググ Ver.2.0（バンダイ 1/100）/ 岡 [illegible] …… 58
MSM-10 ゾック（バンダイ 1/144HGCSシリーズ）/ ROOM …… 62
MG的格闘紀行物語 [illegible]
トロロロ8（バンダイ ダンスケール）/ 平田正樹
タイヤロボ（バンダイ ダンスケール）/ 竹本浩二
ケロン軍開発工廠（ツルスクッキ社ノ1）/ 倉山孝一 …… 64
イクウイング（ノーマンモード 1/24）/ 久留 元 …… 113
F4-16C SEA CABLE VTOL 戦闘機 カモメ（ピットロード 1/144）
バスカルインク（ピットロード 1/700）/ HWM二宮夜叉 …… 143
AFSパイロット搭乗タイプ（WAVE 1/20）/ 株山 宏 …… 150

■AFV MODELING

ドイツ駆逐戦車ヘッツァー（タミヤ 1/35）/ 増渕 [illegible] …… 117

■AERO MODELING

ロッキードマーチン F-16C（ブロック50）ファイティングファルコン（タミヤ 1/48）/ 長尾公三郎
ロッキードマーチン F-16C バラク（タミヤ 1/48改造）/ 坂本 [illegible] …… 131
ハンザ ジャンプルク W.34（ファッショ パック 1/48）/ T. Aizawa …… 137
F2J/23A クラス 練習機に調整（ピコーン ジェネビー 1/48）/ 清水勇春 …… 139

■NEWCOMERS

CHARACTER NEW COMERS …… 89
AIR NEW COMERS …… 93
AFV NEW COMERS …… 97
AUTO NEW COMERS …… 100
etc NEW COMERS …… 102
MG NEW COMERS EXTRA!!
WD-M01 マスターガンダム（バンダイ 1/100マスターグレードシリーズ）…… 68
アシュラテンプルK3 / バイドル編隊（ワークショップキャスト 1/100）…… 86
F82J ツインマスタング（ヌクローム 1/72）/ 藤田晃一郎 …… 92
NEW COMERS 問い合わせ一覧 …… 103

■OTHERS

HEAD LINE TOPICS …… 2
特報 「至高のゼロ」が本誌付録に決定!! …… 5
ザ・コックピット / 宮澤村修久 …… 41
SPIRIT OF GUNDAM ガンダム情報発信コーナー / 藤田幸久 …… 42
世界の結っ作機 / 岡部たまく …… 43
Let's TRY ビギナーズ「実録版」 / 伊藤雷一 …… 44
こんな●●欲しパーツ / 水主塗之丞 …… 45
[illegible] / 藤田幸久 …… 46
スタトル[illegible] / 岸川 [illegible] …… 47
ブロック[illegible] / 宮崎清二、山田クノン …… 48
30年前のプラモデル物語 / 平野良巳 …… 49
月刊シュトラール通信 / 横山 宏 …… 50
日の丸戦隊ギャラリー / 宮澤多良郎 …… 52
月刊ジャイアル休憩部 / たかくくん …… 54
今月の洋書つまみぐい …… 55
インフォメーションコーナー …… 56
ばら物語 / 渡辺聡樹 …… 105
MGメイト …… 127
次号予告・広告案内 …… 128
月刊フロッグフラッグ通信 / FROG FLAG / 小野正志 …… 129
読者プレゼント …… 132

＊「リーダーズ3Dギャラリー」は今月号は休載させていただきます。ご了承ください。

請勿轉載至森藍旗

http://mylikeyexp.com/

HEADLINE TOPICS
Number. 274
2007/Sep
A monthly round-up of the latest breaking news from around the world modeling

◀ハセガワ1/350戦艦長門発売号の三面図。1年6ヶ月ぶりの「待望の新製品」ハセガワの意気込みが伝わってくる。▶ハセガワの1/350戦艦三笠。この三笠の水上モデルから、現在に至る1/350艦船模型ブームがはじまったと言っても過言ではないだろう

001

『日本に誇る』シリーズ最終章として1/350長門が発売に!

いまや誰もが知る戦艦"大和"が、連合艦隊の象徴として認知されたのはじつは戦後の話で、戦時中は大和型戦艦の存在自体が軍事機密とされていました。軍艦がその国の力の象徴たる存在であった当時にあっては、欧米列強と並ぶ40cm砲を持つ戦艦"長門・陸奥"こそが連合艦隊最強の戦艦であり、国民の誇りだったのです。とりわけ長門は、太平洋戦争開戦時には連合艦隊旗艦を務め、戦艦として唯一大戦を生き抜き、ビキニ環礁での水爆実験でその生涯を終えるまで、連合艦隊の栄光と没落の歴史を共に歩んだ、日本人にとって欠くことのできない存在だと言えます。

近年ハセガワが展開する特別企画、「日本に誇る」シリーズ「最終章」のアイテムのひとつとして、このたび1/350長門の発売が発表されました。確かに前述のように長門は日本人にとってのマストアイテムではあるものの、まさかこの艦がラインナップに挙がってこようとは、誰ひとり予想だにしていなかったはずで、まさに青天の霹靂、「思ぶりすぎですぜハセガワさん!」ってな心情です。現在、船体と艦橋、艦載機のテストショットが公開されたのみですが、これだけでも我々モデラーを興奮させるに充分の内容であることが伺えます。

1/350の船の模型としては、三笠、敷島、宗谷に続く4作目にあたるこの長門ですが、シリーズで培ったノウハウ（透明パーツの採用や、船体のなかに船を設ける仕様など）は継承しつつ、表現の部分においては長足の進歩を遂げているように見受けられます。もちろんいままでの3艦もすばらしい内容ではあったのですが、この長門ではより実艦らしさを感じさせるものとなっています。金型の抜き方向の都合による妥協や省略等はほとんど見られず、パーツ分割も非常に理に適っており、設計者のセンスのよさを伺わせます。船体外板の表現も最近の流行的表現を取り入れつつ、『さすがは飛行機のハセガワ』と思わせるものとなっていますね。

パーツ数は約850点とのことで、「若干多いかな?」とも思わせますが、これまで同社の1/48 F-14トムキャットやF/A-18ホーネットが組み立てやすさよりもスケールモデルとしての表現に重点をおいてヘビーユーザーの高い評価を得たことを考えれば、むしろこれは歓迎すべきことと言えるでしょう。今回公開されたテストショットを見れば、組み立てに難しい技術を要求される箇所もそうそうないようですし、むしろ『じっくりと腰を落ち着けて作るには最適』と言えるパーツ数かもしれません。

発売時期は実際の長門が進水した日と同じ11月9日を予定、価格は2万円前後とのこと。小遣いの限られたお父さんモデラー（私含む）の財布に優しい価格になるとうれしいのですが――。

細田勝久（本誌艦船系モデラー）

▲アオシマより発売予定の1/350巡洋艦・長良。▼ピットロードから発売中の1/350こんごう。人間が乗る巨艦のイメージが強いが、実物から受けるプレッシャーは別格だろう

▲シズ工房に展示中の1/200スケールの長門モデル。ディテールアップ作業中とのこと。

▲タミヤからでる予定の1/350ビスマルク。同社ならではの動感のある1/350艦船模型の新作

▲全長64cmにもなる船体には、強度確保のための補強パーツを内蔵、さらに船体にはびっしりと外板のモールドが施されているなど、同社のキットや、いままでの同スケール艦船模型からも格段と進化した様子が見受けられるハセガワ1/350戦艦長門

1/350艦船模型ブームの真打ち登場!!

http://myhkpr.exp.com/

© カラー：GAINAX ©NAPOOO.Mayuhana Kamoju 2007

002 タミヤスプレーカラーのライムグリーンが「限定である理由」

▲テレフォニカモビスターホンダRC211V（XI）の発表に合わせて発売された"テレフォニカブルー"や、NSR 500'99 各用色の"ディープメタリックブルー"なども限定生産品としてリリースされた。なお"テレフォニカブルー"はのちに"レーシングブルー"と商品名を変更し、現在商品番号は同じまま通常パーマネント商品となっている

新製品1/12カワサキNinja ZX-RRに合わせ、同キットの塗装専用に調色されたスプレーカラー"TSライムグリーン"がタミヤよりリリースされた。が、TSのあとに商品管理番号が付けられていないことからもわかるように、この塗料は「限定生産品」である。

ライムグリーンというカラーはすべてのカワサキファンにとって何ものにも代え難い神聖的なコーポレーションカラーであると同時に、正確な色味を個人で調色するのが限りなく難しいカラーでもある。そんな塗料がなぜパーマネント商品ではなく限定品扱いになってしまうのか、素朴な疑問をタミヤに対しぶつけてみた。

その理由はごくごくシンプルなもので、「対応するキットに特化した色調で汎用性が低いと思われるカラーは、市場ニーズの関係上から限定品にせざるをえない」とのこと。確かに、ライムグリーンの色味はじつはバイクごとに異なっており、TSライムグリーンはNinja ZX-RR専用に調色されているため汎用性が高いとは言い難い。ただし、「その時代時代で制限基準が変わることもある」らしく、「アルピーヌ・ルノーA110専用TSアルピーヌブルーとして限定生産された塗料が、その後TS54ライトメタリックブルーへと名を変え定番ラインナップに加わったというような例もいくつかある」ため、TSライムグリーンが将来パーマネント商品化される可能性もゼロとは言い切れないらしい。

もっとも、それがいつの日になるか予測できぬうえ、限定品のまま終わってしまうケースもありえる以上、「熱烈なカワサキファンはTSライムグリーンを数本ストックしておくべし！」というのが月並みな結論と言えそうだ。

あさのまさひこ（自動車模型アナリスト）

003 ワンフェス&キャラホビ「夏の大型模型イベント」の開催迫る

◀今回のワンダーショーケース（以下WSC）選定アーティストは1名のみ。WSC初となる男性キャラクター作品ということにも注目したい

世界最大の造形イベント、ガレージキットの祭典、ワンダーフェスティバル2007[夏]が8月12日（日）、東京ビッグサイト東2～6ホールで開催される。前回から1ホール追加となり、企業系、アマチュアを合わせ約1900ものディーラーが出展、過去最大規模のイベントになりそうだ。本誌読者的に必見のイベント内イベントとしては「マシーネンクリーガー25周年記念」のブースに要注意。各種作例やイラスト等の展示のほか、横山 宏氏による塗装実演が行なわれる。MaK モデリングブックに掲載されたスーパーテクニックが実際に自分の目の前で観察できるまたとないチャンスだ。

幕張メッセで開催されるもう一方の大手イベント、「C3×HOBBY キャラホビ2007」では、企業系ディーラーが出展する「キャラホビマーケットPRO」が8月19日（日）に、一般アマチュアディーラーが出展する「キャラホビマーケット アマチュア」が8月18日（土）に開催される。こちらもお見逃しのないように！

▶「C3×HOBBY キャラホビ」のイメージキャラクターとなったロフのイメージキャラクターデザインは、昨年に引き続き吉田健一氏が担当。マシーネンクリーガーの企業系ブースにイベントとは、直接関係ないアイテムも多数ラインナップされているとのこと

004 「貼るだけでセンチネル」なデカールに潜む天才デザインノウハウ

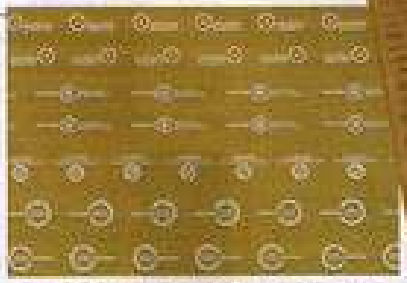
新製品としてサンプルが届いた、いわゆる"注意書き／コーションデータ"のデカール。リリース元は韓国クロスデルタ社。一見してわかる「あのロゴタイプの数字」をはじめ、「ガンダム・センチネル」の影響を強烈に感じる――というか、ぶっちゃけ、これを貼るだけでそのムードに引っ張られて「君のガンプラもみるみるセンチネルに！」的な一品だ。

センチネルの前にも「実在戦闘機のリアリティの再現として、現用戦闘機のデカールなどからコーションデータを流用して貼る」といった技法は存在したのだが、そこにグラフィックデザインの概念を持ち込み、模型を盛り下げる「武器」として使うことを確立したのは（くやしいが）あさのまさひこの功績のひとつと言っていいだろう。具体的にはマークや文字の選び方にはじまり、並べる際の揃え方のテクニック、囲め貼りの際の大きさのメリハリの付け方、色の置き方など、20年前のあの時点でとんでもない完成度を見せており、そこで「コーションデータひとつで"魅せる"ことができるんだ！」と、開眼させられたのが、かくいう私のエヴァなどのデカールデザイン仕事（バンダイから発売されたものの多大を参照）の原点でもある。

そういう意味では海の向こうの話も知らない「同門の兄弟弟子」の仕事として感心すると同時に、この先すごく愛用させていただきます……。

東海林隆八（模型の王国）

▶デカールなどのデーターのもとデザインの一部。ちなみに、あるいは、あるいは、「ガンダム・センチネル」



▲韓国のクロスデルタ社製ドライデカール「メカニックデータ ステンシルズ」。スケール&1/144など各種あり。税別2000円

© 原画：サンライズ

http://mylibrary.exp.com/

005 「ガンプラ専用スミ入れシャーペン」っていったいなんなの!?

「ガンプラ川口名人直伝!」というキャッチコピーがどこまで本気なのかはとりあえず置いておくとして、GSIクレオスから「ガンプラ専用 GUNDAM スミ入れペン SHARP」という名の「さくさくフツーの0.3㎜シャープペンシルとその替芯」が発売された。

「細いスジボリのスミ入れにも楽に対応できます」という記述にウソ偽りはないが、本製品はよくも悪くも「フツーのシャーペン」なだけに、"ガンプラ専用"を大々的に銘打つことにはやや疑問が残る。ただし、模型製作の仕上げにシャーペンを活用するのはある意味伝統的な手法であり、ガンプラ黎明がとうとうシャーペンタッチを導入してきたことに新鮮な驚きを隠せぬベテランモデラーもいることと思う。

たとえばその顕著なシャーペンタッチの例は「スター・ウォーズ」のプロップ群であり、なかでもスター・デストロイヤーの表面にはかろしくひみにシャーペンでディテールが描かれている（ちなみに、なんたらセン●ネルのプロップ製作でぼくもシャーペンタッチを頻度も活用した）。さらに、飛行機モデラーが1/144以下のモデルを仕上げる際にシャーペンタッチでパネルラインを表現する例も少なくない。

というわけで今回の商品リリースはある意味コロンブスの卵的発想に尽きるわけだが、「フツーのシャーペン」ゆえにスミ入れ後は筆記独特のイヤなツヤが生じてしまうだけでなく、手で触れると流れ落ちてしまうため、フラットクリアーやフィクサチーフ（美術画材用定着液）でコーティングしつつツヤを落ち着かせてやる必要がある旨を付記しておきたい。

あさのまさひこ（情報文化ライター）

▶GUNDAM スミ入れペン SHARP（0.3㎜）は税込630円、替芯は税込150円

◀▲「ガンダム・センチネル」に登場した大型シャトルやスター・デストロイヤーなど、小スケールの模型に多用されるこの手法。ホワイトベースなどの巨大模型出に一役買うかもしれない

006 言うなれば塗料版「固めるテンプル」残塗料処理剤という新案

▲処理剤と水を加えてかき混ぜるとこのようなゲル状の固体に変化する。ちなみに液体が水性の場合は白色に、油性の場合は黒色の味噌に近いもの。◀新製品「ゲル状残塗料の一発処理剤」、税込1,718円

▲エアブラシの塗装では必ずと言っていいほど余ってしまう塗料。◀処理剤を使用する際には、廃液と処理剤のほかに、廃液の倍量の水をいっしょに使用するので、大きめのペットボトルなどの容器を使用すると作業がしやすい

大量に調色して余った塗料や筆洗いに使った溶剤をどうやって捨てるかというのは、結構悩みの種。これまでは、少量ならばティッシュに染み込ませて捨てるなどしか方法がありませんでしたが、固めて捨てるという画期的な処理剤が発売されました。新興産から発売されている「残塗料処理剤」がそれ。

ペットボトルに廃液を入れて処理剤を入れてかきまわし、そこに廃液の3倍程度の水を入れてさらにかきまわすと……あっというまに固まってきます。固まるといってもカチカチになるのではなくて、ちょうどこまかいスポンジくずのような感じ。あとは燃えるゴミに出すだけという、じつにお手軽な処理方法なのです。一袋で400㎖まで処理できますが、一度開けると使い切らなければなりません。1回の塗装で400㎖も廃液が出ることはまずないので、小袋に分けられているともっと便利だと思いますが、一袋178円と安価なので袋数買い貯めするのもアリかと。

土屋雅博（「AM」スーパーバイザー）

007 新クリアー塗料2種に見えた「GSIクレオスの真摯なこだわり」

このところ各メーカーが精力的に新塗料を開発販売しているが、GSIクレオスの新しいふたつのクリアー塗料に要注目だ。

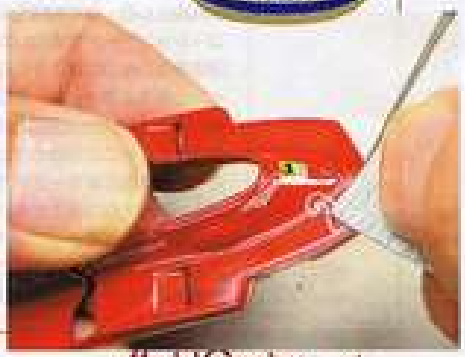
ひとつは同社の新シリーズとなるMr.カラーGXの「スーパークリアー目（光沢）」。既存のクリアー塗料と比較して透明度が高いため、より鮮やかな発色で仕上げられるようになったが、最大のポイントは塗膜がより強くなったことだろう。塗料の硬さを無理されることはあまりないかもしれないが、塗膜が硬くなると、デカール貼付後の研ぎ出し作業中に下地が出てしまうというトラブルが格段に生じにくくなる。この新クリアー塗料は、デカールを貼ったのちにクリアー塗料をオーバーコートして仕上げたいモデラーの強い味方となるはずだ。

また、発売後間もないが、紫外線による変色を防ぐためのクリアー塗料「Mr.スーパークリアーUVカットスプレー」がリニューアルされた。エナメル系塗料でスミ入れや汚し塗装を行なうと、エナメル系うすめ液がいったん下地に染み込んだあと徐々に揮発するが、当時発売されたものではUVカット成分がエナメルうすめ液の成分と結合するため、塗膜が曇ってしまうことがあると判明したのだ。そこで、いったん発売してしまったにもかかわらず、同社はUVカット成分から見直しを図ることで塗料を開発し直すという英断に踏み切った。現在店頭に並んでいるものは先述の白かぶり問題が解決されているので、ご安心いただきたい。

クリアー塗料は、それ自体で着色されるわけではない「脇役」的な塗料だが、最終的な仕上げを大きく左右するもの。GSIクレオスのこだわりに大きな拍手を贈りたい。

森 信二（本誌モデラー）

▶通常のMr.カラーの10㎖から18㎖に容量が増え、200円で発売となったGSIクレオスの「GXシリーズ」。▼デカールを貼っての研ぎ出しではヤスリで塗膜をヤスって平滑にするが、塗膜が硬くなるとデカールや下地をヤスってしまうためはげやすい



◀蛍光塗料が変色しやすいことはよく知られているが、蛍光以外の塗料も太陽や蛍光灯によって多かれ少なかれ変色する。このUVカットクリアーはせっかく製作した見栄えを末永く楽しむために開発されたコート剤だ。なお、ビン入りタイプも販売

http://anyikpr.exp.com/

特報!!

ファインモールド 1/72零戦二一型

「至高のゼロ」が本誌付録化

(11月号&12月号)

決定!!

4月の開幕日となった第46回静岡ホビーショーの会場では、コクピットパーツをルーペ越しに覗かせるというディスプレイ。『精密さに自信あり』を高らかに宣言した

当のファインモールドの方おオジ定社長自ら「正攻法で勝負したら、いったい何倍よいクルになってしまうのやら」と言及する零戦二一型の新開発1/72インジェクションプラスチックキット。「てもやるけど」と笑う鈴木社長の決定「日本の男」を通じた本決定監修は、過ウに近後の約束。そして話し合いの末に出た答が出し決定は……1/72零戦二一型、本誌付録決定!

文/古賀郁雄(本誌編集部)

5月に開催された第46回静岡ホビーショーにて、ファインモールドが「1/72零戦二一型」を発表した。発表時点で予定されていた参考出品という状態であり、一部のプラストシュット(とされる)のみ展示されたものが展示されたのみであったが、その具体的な内容はマニアにはしっかりと伝わり、一日も早い実物の出現への意見が寄せられていた。

しかし、詳細は次ページからのインタビュー記事を参照、ファインモールドはこのキットを単なる「出来のいい零戦のキット」で終わらせるつもりはなく、新たなステージに進むための「礎」と考えていた(キットのクオリティ面だけに限った話ではなく)。

そうしたファインモールドの、まるのトライアル、に共感した本誌は、協力を申し出、以降数し合いを重ねてこのたびある合意を得た。

それは、「このファインモールド製1/72零戦二一型のキットを、本誌の付録として世に問うことである!

(『至高のゼロ』と銘打ったこのコラボレーションプロジェクトは、2ヶ月後の11月号(9月25日発売)を『前編』、12月号(10月25日発売)を『後編』として、2カ月連続で分割し、2回連続で購入することで1/72の零戦二一型を完成させることができる。

1/72スケールながら全104パーツにわたるこの零戦二一型のキットを雑誌付録とするためには、2号分割とせざるを得なかったわけだが、そこまでの内容を持つキットであればこそ、本誌が協力を申し出る意義もあろうというもの。総合模型誌だけにもとまどいという読者もまくいるのは承知しているが、このキットならばそんな他ジャンルモデラーにも充分に楽しんでもらえるはずだと確信する。マニアが期待をする内容というだけではなく、誰もが楽しむことができる、つまりプラモデルが本来有しているはずの楽しさを備えたキットなのだ。

そこで、このキットについて現在までにわかっていることをおさらいしておこう。ファインモールドの新鋭の開発部門として企画されたこの1/72零戦二一型のインジェクションプラスチックキットは、「技術的挑戦とコストパフォーマンスの両立を図る」というコンセプトのもとに、現在開発が進められている。正確な考証とマニアをうならせるだけの精密さを持つ一方、「組立色を可能な限り分け、未塗装、もしくは最低限の塗装だけでも表現が出せるよう配慮する」といったように、間口の広さも併せ持つ。また、「スライド金型を効果的に使用するほか、最適な金型をすべてにレーザー加工も使用する」といったように、プラモデルとしてのクオリティアップにも積極的な姿勢を示している。

開発中の試作品段階までもが披露されたコクピットの内部は、これでもかと言わんばかりの精密度。機器のほとんどが主翼内部は別パーツとなっており、いろいろな部の表現を立体的に解析することが可能である。上部下の機器類のパネルの違いやエルロンのタブの違いなど、いくつかのバリエーションの再現にも対応している。もちろんスピナーも二段式と中間型の2種類が付属する。デカールは『後期型』の11月号に付属予定。色の経時変化の少ないソルクスクリーン印刷も用い、3機ぶんが両面印刷となっている。

ファインモールドの鈴木邦宏社長は「この1/72零戦二一型のキットの出来は、今現の『至高のゼロ』プロジェクトの分ではまだまだ甘くはあるものの、さすがに『出来』というわけにもいかない。品切れを考えられるので、『確実に手にを入れておく』ための対策を講じておくことをおすすめする。■

その精巧に作られたデカールは、白地の可能な限り一体化され、空母搭載の零戦二一型専用、二パターン『初』搭載機が再現可能となっている

▶ご存じファインモールドの名物社長・鈴木邦宏氏

http://anyikxpcexp.com/

モデルグラフィックスでしか手に入りません！再版は絶対にしません!!

今回の（全高のせ日）プロジェクトに関しては、話が発展していったことから話しはじめたほうがいいかなところですが……やはり、まずは「なぜ零戦なのか？」ということからいきましょうか。

じつを言うと、93年ごろに零戦をやろうという話が一度あったんです。「既存の1／72零戦が時代的に見劣りしはじめたので、ぜひともファインモールドの零戦を見てみたい」というリクエストがユーザーサイドから届いて……で、当時のウチはハセガワさんを通して商品を流通させていたのでハセガワさんに相談してみたところ、「じつはすでに1／72零戦（※旧AP版）の企画が進んでいる」ということだったんで、「ああ、だったらお任せします」というかたちで話が立ち消えてしまった、「既存の1／72零戦が時代的に見劣りしはじめた」という部分では、ハセガワさんも同様のことを考えていたんでしょうね。

そこから日日が流れ、01年以降、新しい機材をどんどん導入した結果、技術的な面が飛躍的に進歩しそれ以前はできなかったことができるようになってきた。

というのも……93年ごろいまのプラスチックモデルの金型の作り方って、言ってしまえば手作りだったんです。まず木型を作って、粘いプライスを使って金型を大雑把に削って、あとは手でせっせせっせと磨いて、あとは手でせっせせっせと磨いて、01年からCAD（コンピュータ補助設計）とCAM（コンピュータ補助製造）がリンクしはじめ、03年にマシニングセンタを購入してから、ものごとが劇的に変化した。マシニングセンタというのはプライス盤の進化版のようなもので、刃物のアタッチメントを自分で適宜に取り替えて目的のものどんどん削り進んでいくんですね。最初は部品りをやって、次はこまかなところを……という感じで、それ以前は人間がいちいち手で刃物を交換していたようなところを全部自動でやってくれる。

もちろん、それ以前の時代のNC（コンピュータ制御の機械）でも手動でえがければ線画の通りができたのですが、それ以前のNCは機械自体が高かったんで、設備投資が高かった、消費税が高いので、工場なら設備まで導入しなかったんですよ。設備がガタガタ出るとか……要は、ガリコンが高かった状態を想像してください。

でも、いまのNCだと主軸も高速回転なので、以前は4000回転程度だったものがいまでは2万回転くらいまで出ますから、そうするとスジ彫りまでそれきちんとやってくれちゃうんですね。これはつまり、プリンタの精度が上がったようなものです。昔のプリンタはドットが荒かったけれどいまのプリンタは写真もきれいに印刷できるでしょう？　要はそれの3D版です。

ただし、「その機械があればなんでもできる」ということではなくて、元のデータを作るのも人間ならば、それを使いこなすのも人間です。センスが無ければ、自動タメダメなものができあがってくる。

それに、こうした機械を導入しているのはウチだけではなくてすでに一般的なものになっていますから、ウチにテクノロジー的なアドバンテージがあるわけではない。完全なイコールコンディションです。

そうした環境下で、「いまの自分たちの限界までやってみよう」と考えたとき――これは別に創業30周年に合せて考えたコンセプトというわけではなく、「いまの自分たちの限界までやってみよう」というのは創業時からのコンセプトなのですが――零戦というアイディアが浮上してきたんですね。ハセガワさんの零戦と同じようなものを作っても意味がないと思って一度企画が立ち消えになったわけですが、「いまのこの環境ならばファインモールドならではのものが新たに提示できるんじゃないか？」という感じで再浮上してきた。

だから、自分的にはこのタイミングで零戦を手掛けることはごくごく自然なことなんです。「ついにファインモールドがメジャーアイテムで勝負に出た！」というような意味ではまったくないんですよ。

「単数色での成形」による狙い

ただし……今年でウチも創業30周年という節目の年ということもあり、いつもは上に「普通と同じようなものを提示しても面白くない、どうせならほかいろいろな意味でちょっと違ったプラスチックモデルにしたい」と思っていることは事実なんですね。つまり、パーツ成形にわざわざ複数の色を使ったのはそのあがの一環だと思っていただければ、と思います。

思い返せば、プラスチックモデル創生期は誰もが色を塗らずにただ組むだけだったので、飛行機でも複数の色で成型したものがいくつもあったと思うんです。でも、そのうち誰もが塗装をするようになりはじめた結果、飛行機モデルの成形色はいつのまにかグレー色になってしまった。

そして、スケールモデルの時代に一気に進化を遂げたのがガンプラですよね。

ガンプラは成形色に「色を塗りたくない人は塗らなくてもいいよ」というように進化していったのに、その間、スケールモデルはどう進化したのかというと、ただ成形がこまかくなっただけ、そこに対し個人的に「……それってどうなの？」という疑問があったので、今回「単数色成形だけでなく成型色の問題にも足を踏み入れてみるか」と考えたんです。この20年、スケールモデルは金型技術という観点では確かに進歩したけれど、そのじつ、「自分で組みかえるプロダクツ」という観点ではむしろ退化していたんじゃないのかな？」という自分なりの問題意識ですね。

というのも……みんながプラスチックモデルを作らなくなって、一種長時間プラモデルが「作らなくなって」になってしまった理由って、ぼくは、組んでいく途中のワクワク感が薄れたからだと思っているんです。でも、多色成型のガンプラは、その組み立て途中がじつにおもしろい。こんなことを言っても実際に最近のガンプラを組んだことのあるスケールモデラーにしか実感できないと思いますが、ガンプラは組めば組むほどきちんと段階的にテンションが上がっていく。

それゆえ、「もしかしたら、飛行機も複数の色で成型したらガンプラを組むときと同じようなワクワク感を取り戻せるんじゃないかな？」と考えたんです。

＊旧AP版／90年代にハセガワが展開していた1/72レシプロ航空機シリーズ。少ないパーツ数による組み立てやすさを前面に打ち出し、人気を博していた。しかし93年のシリーズ再編時に「AP版」は廃止。いくつかの製品は「A版」へ編入され、現在も販売されている

lMpl://anylikp.yexp.com/

©WGARKI 企画・スタジオジブリ・ファインモールド

もちろん、これはあくまで自分なりの仮説であり結論ですから、本当にそうなるとは限らない。「グレー1色でえぇやん！」と結論を言う可能性もあるわけです。

ただし、実際にウチの開発のテストショットを自分で組んだとき、こう新年言葉わったことのないときめきをちょっと感じましたし（笑）、当初考えていたより上に見た目の評価がよい。ディテール感にまかく観察しないとわからないけれど、「色」というのは絶大な効果を発揮するんです。

だから、開発的にはもちろんみんなが反対するんだろうけれど、「買って、見て、眺めて終わり」ではなく、この複数の塗装色が「買って、作って」という動機をあと押しする行為に繋がるんじゃないかな、と。

ただし、これには多大なリスクも伴います。なぜなら、通常は3型の金型が済むところが倍以上の7型になってしまう。制作コストが倍近くかかるわけですから、金型制作費の問題を考えると、当然ながら売価を上げざるをえない。でも、つまりはそこが「技術的限界とコストパフォーマンスの問題」という技術の妙みなんです。

複数色での成型のためにコストがあがったからといって、「そのぶんの経費をそのまま価格に上乗せしていいですか？」と言ったとき、コアユーザーからは「どうしてグレー一色で成型してくれなかったんだ、そうすればもっと安くなったはずじゃないか！」と怒られるに決まっている。まあ、ある意味においては正論ですね。

でも、このままグレー一色の飛行機モデルだけが発売され続けていったとしたら、いくら絶対的に美しくなっても「この先も飛行機のプラスチックモデルをみんな作っていくんだろうか？」と考えたとき、明るい未来が自分には見えなかった。

だから、そうした現状でユーザーを「買うだけじゃなくて作りたい」と思うところへ持っていく一助としてのトライアルが、今回の複数色の成型だと思ってください。

その結果がどういう結果へ至るのか、それは現時点では自分にもわかりません。企画案が終わる可能性もあります。

が、それでも試でざるを得なかったというのが偽ざるいまの心境なんです。

「商品の本質を問うことの責任」

そういうわけで、もしもこの複数色成型が通って普通に売ったら、売れる数もたかが知れているので価格は5,000円近くなってしまうと思うんですね。

もちろん、5000円で売っても長い期間売ることができるのであっそこそこ商売になるとは思うんですが、でも、それだけでただ単に日本製ではこれたちのあいだで「高いけれど出来のよい模型」というレッテルが貼られ、それで終わってしまう。

でも、それだけは絶対にイヤなんです！それゆえ、今回の《至高のゼロ》プロジェクトでは、ハードに面だけでなく、ソフト面も売り方においてもこれまでと違ったことをやってみたいと思ったんです。その結果が、「まったくの新製品と比べ非常に高い完成度のプラスチックモデルなのに、雑誌の付録オンリーで、その値いうさい市場されずにいきなり絶版になってしまう」という重つぶち的トライアルだった。

はっきり言って、「最後のとおり、こんなやり方で成功はほとんど出ません。ただし、本当に良い方法が見つかるかもしれませんが、当面は試行錯誤にするこで、キットの価値を高めることは可能性があった。なぜならば、マーケットにはちゃく絶対数が圧倒的に増えますから。

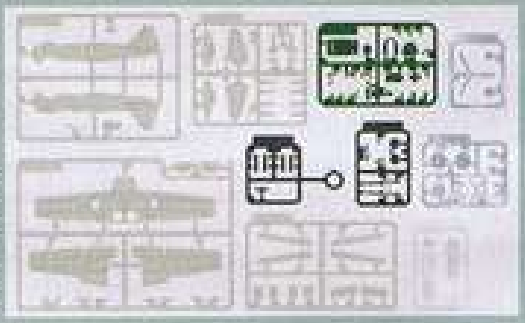
だからこれは、ぼくらが本気であるということを証明するための実験でもあるんです。「ファインモールド」の商品はすばらしいけど、ま、いっぱい増えればいいやという程度のメルいう受け止められ方で、ぼくらの本気はたぶん伝わらない。

そうではなくて、このキットをいまこの瞬間に買って、感じてほしいんです！

そのためには、必ずや届くものを作ってことでしかないというかたちで、自己責任の連鎖を絶つしかないんじゃないかと、ぼくらが自分自身をそこまで追い込んでいかないと、いまの時代はユーザーがそこに応えてくれない気がするんです！■

「マニアからの高評価」だけでは終わらせない！

インタビュー・文／あさのまさひこ
interview & text by Masahiko ASANO



▶総パーツ数104。これが11月号と12月号の2号に分かれて本誌に付属する。複数色での成型はランナー数も多くなりコストもはね上がるが、組み立て時のエンターテイメント性は格段に向上する。成型後はスケールエフェクトまでをも考慮して決定されている

アジア最強の6人!?

▲この6人に出張中の広報さんを含めた7人がファインモールドの全社員。サッカーはできないけどフットサルならできる？

▼"雑誌"を検索してくれるかのごとく、日本戦車もたーくさん。まさに『ぼくらのファインモールド』！（1/35 九七式中戦車（新砲塔チハ））

日本戦車とかも

出来のいい飛行機とか

▲誰もが「はてな？」とふりこむファインモールドの航空機キット。アウトライン再現には定評アリです（1/72 メッサーシュミットBf109F）

▼サボイアS.21をスケールモデル界隈でキット化。それまで知る人ぞ知る存在だったファインモールドの知名度が、このキットでぐーんとUP！

ファインモールドといえば

できたてほやほや～♥

▲取材中、主翼パーツの最初のテストショットが届けてきました。超精密！　収納庫のモールドがすごいぞ！　必見っ！

▼狭い中武っちゃうくらいのパーツ数で作られるコクピット。テストショットを組みたてでみましたが、一番ビンセットです

いいピンセットを持っておこう

でもこんなに精密なんです

▲レーザー加工でエンジンの空冷フィンまでしっかり超精密再現。完成後もカウルの隙間から見えますよ。チラリズムの妙味。思わずうっとり♥

▼そりゃそー1/72ですから、ある意味、見慣れた大きさだとも言えるわけですが、この大きさでここまで精密だと本当にビックリしますよ

こんなに小さいんです

11&12月号にどうぞ期待!!

http://anyhkpr.yexp.com/

奇跡のプラスチックモデル、と言っても過言ではないだろう。「装甲騎兵ボトムズ」本放映中の1983年9月、番組スポンサーを務めていた大手総合玩具メーカーのタカラ（現タカラトミー）からリリースされた"ATM-09-ST スコープドッグ"の1/24インジェクションプラスチックキットは、発売からじつに24年ものときを経たいまをもっても、ATモデラーの定番&マストアイテムとしてマーケット内での不動のポジションを守り続けている「ATモデルのバッケンレコード」だ。

タカラは同時期、1/35でもボトムズのプラスチックモデルシリーズを展開しており、同じ1/24でデュアルモデル（塗装済み完成品）のスコープドッグも発売していた。が、それらが「設定画を絶対視し、設定画に描かれている線を厳密にトレースしていった」スタイルなのに対し、1/24キットは「立体を構成していく1本1本すべての線に"気持ち"を込め、設定画の線を立体物用に再解釈した」スタイルを有していた。昨今流行のオレ感的アレンジとはひと味もふた味も異なる、ストイックでいながらにして自信満々で大胆な切り口。「設定画と全然似ていない」のに「これこそがスコープドッグの正解！」と思わせるだけの、圧倒的な説得力と存在感。受け手側が抱いていた「こんなスコープドッグのプラスチックモデルが発売されたらいいなあ」というヴィジョンや欲求をはるかに越境した次元でいきなり提示された、あまりにもハイクオリティーで隙のない完成度――。

やはりこれは「奇跡のプラスチックモデル」だったのだ。

なぜならば、1/60 PG（パーフェクトグレード）RX-78ガンダムのような超絶なハイエンドプラスチックモデルが現存するいまの時代ならば、そうしたプロダクツが発売されることに対しきちんと説明が付くし、そこに驚きを感じることもない。

が、時代は「24年前」の1983年である。

狂乱のリアルロボットアニメブームを受け、各プラスチックモデルメーカーは猛烈な勢いでリアルロボットのプラスチックモデルを開発していたが、機動戦士ガンダムをもってしても、「戦闘メカ ザブングル」や「MSV（モビルスーツバリエーション）」のような「リアルな記号を寄せ集めた見立てリアル」が関の山といった状態。そうした環境下に、「真剣でのリアル」を身を纏ったタカラ1/24スコープドッグが唐突に踏み落とされたのだ。

「……タカラのスタッフのなかには、"大人のお仕事"的に割り切ったサラリーマン仕事をしない、オレたちリアルロボットアニメオタクと同じ感覚でアニメモデルと真剣に対峙している若手設計担当者がひとりだけいるはずだ！」

当時まだ学生であった筆者は、そのことをなんの裏付けもなく確信し、ひとりで勝手に武者震いしていたことを思い出す。

●

ときは流れ2000年。太田出版より発行される書籍「ボトムズ・アライヴ」からのオファーで、タカラ1/24スコープドッグの開発秘話を紐解く好機が訪れる。そして、そこでようやく、それまでほとんどメディア上には顔を出していなかった件の開発/設計セクションのキーマンへと辿り着くのだ。

泉 博道――現在は浄土宗 梅窓院で僧籍にある氏は、かつてタカラのホビーマーケティング事業部で主任を務め、「太陽の牙ダグラム」やボトムズ、「機甲界ガリアン」などのプラスチックモデルの設計/開発を担当したのちに退職、サンライズの外部スタッフとしてボトムズのOVA「ザ・ラストレッドショルダー」「野望のルーツ」の設定制作にも関わった経歴を持つ人物である。

重度のミリタリーマニアとして工業デザイナーを目指していた泉は、パーツ単位でしかデザインを任せてもらえぬ自動車メーカーや家電メーカーにあまり魅力を感じることができず、「1から10まで全部自分でまとめることができる」という理由から玩具メーカー・タカラへの入社を決めた。そしてそれを決断した要因のひとつに、「就職活動時、タカラの担当者が自社の（圧倒的に出来の悪かった）アルカディア号のプラスチックモデルを自信満々に自慢していた」ことを挙げる。「宇宙戦艦ヤマト」に感銘を受け、バンダイのゼンマイ走行するヤマトのプラスチックモデルに激怒した彼からすれば、アルカディア号レベルで満足していたタカラに「自身の付け入る隙」を見い出したというわけだ。

入社後1年間は「ミクロマン」の開発に携わるが、転機はすぐに訪れた。ガンダムブームを受けたタカラが番組スポンサーとしてダグラムのマーチャンダイジングを手掛けることになり、泉はその設計/開発チームに組み込まれたのである。

件のダグラムを通じてタカラはリアルロボットのプラスチックモデル開発に膨大な経験値を蓄積し、そして、アニメーション制作元のサンライズとも強固な協力体制を築き上げた。

そうした状況の下で、1983年、いよいよダグラムの後番組たるボトムズのプラスチックモデル展開がスタートを切る。

●

ダグラムの段階においても、「これが実在し、機能的に使われているものだとしたらいったいどういうものなのか？」というミリタリーマニアの観点でプラスチックモデルを設計/開発していた泉からすれば、大河原邦男がボトムズで提示してきたスコープドッグのスタイリングにはたまらないものがあった。

簡潔に言ってしまうならば、泉の目には「メルキア星に実在する兵器としてのスコープドッグが実解像度できちんと見えた」のである。大河原の描いた設定画のなかに、それをどうアレンジすれば具象形りうるものになるかを泉は直感的に見抜くことができた。泉はスコープドッグの真実と完全にシンクロできたのだ。

そこで見えたスコープドッグの姿を泉は1/24に縮小して描き写し、シルエットから細部ディテール、マーキング設定まで、そのすべてをひとりでかたちにしていく。なお、テレビアニメのエンディングに登場するスコープドッグにはタカラの1/24キットと酷似したディテールが描かれているが、じつは、同エンディング作画用スコープドッグのデザインアレンジにも泉が関わっており、泉が「線を足した」状態の設定画が美術スタッフの手に渡っていたという。つまりは、その後の模型業界内で「常識」とされていく肩アーマーの縁に装着されているリブや、足首や腰まわりに装着されている装甲に増加装甲がリベット止めされている姿は、言うなれば泉の手による発明であったというわけだ。

ただし、泉がスコープドッグとシンクロすることができたその事実が、ネガティブな反作用をも生むことになってしまう。

ダグラムで培った技術が外部から高く評価され、そこに強い自負を抱いた結果、「次に出すものがそれ以前のものより劣ることは許されない」という高度な思考を育んでしまったのだ。

そしてついに、空前絶後の大暴走がここからはじまっていく。

「"いま持っている技術を出し惜しむことなくすべて使い、必ず後生にまで残る最高のスコープドッグを作ろう！"という姿勢で取り組んだら、もう、金がかかったかかった（笑）。そこに、当時の私たちの若さがあったんです。技術的に暴走することができる環境があったおかげで、ユーザー側のニーズとは無関係に、純粋に自分との戦いに突入していってしまった。で、けっきょくそこで時間と金を使いすぎてマーチャンダイジングが破綻し、そのほかの商品を出すことができなくなってしまったんです。

ただし、"本当にかいっぱい遊んだぞ！"という手応えはいまも残っています。"下手な妥協を重ねて通俗的なものにしたくない、そして、そういう姿勢がきっと将来何かを残すであろう"と考え、妥協するにしても徹底に暴走しましたからね。まあ、結果として私たちは恐竜的進化の道へ入って行ってしまったけれど、でも、あそこで（リアルロボットのプラスチックモデルという世界全体が）ものすごく進化したという確信は抱けた。

……もっとも、当時はタカラの社員でしたから、本当は会社の損失とか考えなくちゃいけなかったはずなんですけどね（笑）」

●

かくして、タカラ1/24スコープドッグは「奇跡のプラスチックモデル」としていまなお不動のポジションに君臨し続ける。明晰な頭脳と熱い情熱を併せ持った旧ソ連宇宙開発計画における設計主任セルゲイ・コロリョフにあやかり、泉のことは今後、「伝説の設計主任」という呼び名で後生に語り継いでいきたく思う。

そして、2007年――いよいよバンダイによる「24年遅れのあと出しジャンケン」劇場が幕を開けた。「伝説の設計主任」の目にはそのあと出しジャンケンがいかように映ったのか、ドキドキものインプレッションは次ページを参照していただきたい。■

※本テキストは書籍『ボトムズ・アライヴ』掲載原稿"chapter03 HOW TO BUILD SCOPEDOG"の再構成加筆版です。ゼロから書き下ろすことも考えたのですが、あの原稿を書いたときは「同じ人が書いてくれたので（笑）あれ以上の原稿を書くことはもうできないと思い、泣く（？）泣く」断念しました（あさのまさひこ）

http://myjitqi.yexp.com/

「奇跡のプラスチックモデル」タカラ1/24スコープドッグはかくしてこの世に生を受けた。

バンダイ1/20新作キットを検証する前に、まずはその「始祖的存在」タカラ1/24キットの真実を解明しておこう

文字表記用のアクセント部品はやっぱりこれ。「ボルトは残りの上面でも使用」と、模型誌でおなじみのモールドやルーバーパターンなどに関する独自のルール解釈を、ヘッドとボディ、ボディとアンダーパネルの合体部分でもこれで表現。ここまで徹底的に徹底するのが

腕の付け根部では、「腕の強度を高めるリブをリペアはめしている」と言う。「こんなに思い切った面にムダの強度部品を置くわけがない。固定モーメントが大きくなりすぎる」「組合材料の貼り合わせだ」ということを推測のうえに推測している

ヒジやふくらはぎのユニットは、デザイン面のシルエットを忠実に再現しつつ、あくまでも「背面」であることを強調した作り。所定の位置に追加されたパネルラインや多用されたロモールドは、それでひとつ個性をもち味となる

アームパンチ機構の機構ギミックが再現された下腕部分。機構自体は極めて単純なものだが、指型ポーズを組合せることができないため、キャラクター性の表現としてその存在意義は大きい

手首や足首、腰まわりに装着されている装甲は、単なる1枚板ではなく「機関部を上部に取り付けてリペアはめしたもの」と解釈。デザイン面でのリペアはあくまで「装飾」だったが、これでリペアが存在することへのエクスキューズが強まった

模型制作／吉田かまのり＋土屋雅博
写真／篠部雅言（インターヤ）
構成・文　あさのまさひこ
撮影協力／浄土宗 梅窓院

modeled by Kazunori YOSHIDA with Masahiro DOI
photographed by Masataka SHINOBE (ENTANYA)
composition & text by Masahiko ASANO (STUDIO CUBICS)
special thanks to Baisouin

http://anyhkr.yexp.com/

バンダイから1/20でスコープドッグがプラスチックモデル化されることを知ったとき、非常に興味深く思いましたし、ひとりのモデラーとして大いに期待もしましたが、その反面、少なからず不安を感じたのもまた事実でした。

というのも……24年前、タカラでATをプラスチックモデル化したときの私は、「10年20年経ってもその本質をきちんと理解してもらえるような、必ず後世に残るものを作ろう！」という意気込みをもって本気でATと対峙したわけです。当時のユーザーが抱いていた「タカラはATをこんな感じでキット化してくるだろうな」というヴィジョンを、それよりももっとずっと高い次元でいきなり超越してやろう、とね。そして、あのときそうしたスタンスでATと対峙したことがよい意味で周囲に受け継がれ、いま現在までの（模型業界内におけるボトムズの）こうした流れに繋がっていったのではないかと確信している部分もあります。

ただし、当時のタカラというのは私が若さにまかせて暴走しまくれるメチャクチャな環境でしたが（苦笑）、それに対しバンダイというのはある意味"大人の会社"ですから、割り切るところは割り切った上で、きちんと採算を合わせてくるのは当然だろうと。だからそこで、もしも半熟感覚でATと向き合ったキットが発売されてしまい、「よくできてはいるけれど、でも、ボトムズ世界の曲的には逆に薄まってしまったね」というような結論に至ってしまうのが怖かったんですね。新作キットが発売されたことで一時的には盛り上がるだろうけれど、ボトムズの本質を永きにわたり伝えていくことを考えるとどうなんだろう、と。

それと、バンダイのプラスチックモデルというのはどれもテレビの画面に出てくるロボットのイメージを最重視して作られていますよね。本来それは当然のことなのですが、ただしボトムズの場合は、攻撃的でちょっと危険な香りがする独特の世界観がある。それは、テレビ画面に出てくるATのイメージだけを追っていては表現できないと思うんです。それゆえ、「そういう"ボトムズスピリッツ"をバンダイがどういうかたちで受け入れて商品化してくるのかな？」というところも気がかりでしたし、もっと言ってしまうと、「そこ（＝ボトムズスピリッツをきちんと受け継ぐ意志や気概）がバンダイのなかに本当にあるのかな？」というところが私がいちばん気になっていたところですね。

もっとも、バンダイがガンダムで培ってきたノウハウやその流れというのはすばらしいものだと思っていますし、そうした技術をもってしてATをキット化してくれるのだから、ひとりのモデラーとしては当然ながら期待せざるをえない。だから、「ボトムズスピリッツをきちんと受け継いでもらった上で、そこにまた新しい考え方を注入したものが出てきたらとしたら、それはいったいどういうものになるんだろう!?」とワクワクしていた部分ももちろんあって……つまり、そうしたアンヴィバレントな思いに苛まれつつ今日という日を迎えたというのが本当のところです。

●

ファーストインプレッションとしては、まずランナー状態で眺めてみた際に「プロダクツとして非常によくできているな」と感じました。ランナー状態のままパーツ1点1点をじっくり眺めてみると、工業製品として非常に美しいというか……話がちょっと脱線しますけど、私はコンピュータやそのサーバーを自作したりするんですが、「基盤回路の美しさ」というのがあるんです。きちんとした設計ができていて、きちんとしたブロック（組み付けデザイン）が取れていて、それが物理的にきちんと表現できていると、コンピュータ全体ではなく、その基盤回路自体がひとつの美の対象になる。それと同じようなことだと思うんですが、このランナー状態こそが、バンダイの上手さと技術力の高さがもっとも際立った姿だというように思いますね。

また、「ATらしさ」という意味でも、じつはランナー状態で眺めているのがいちばんよくわかる。モビルスーツではなく、あくまでATとして考えて作ってくれたということは、ランナー状態で眺めているほうが直接的に感じ取ることができます。

当然ながらいちばんすばらしいと思ったのは、ABS樹脂による内部フレームです。もちろん、「いまキット化するんだったら当然ここまでやらないとダメでしょ」とも言えるわけですが、これこそが当時タカラがデュアルモデルで本来やりたかったことですから、それをきれいに消化してプラスチックモデルの枠内でやってきたという事実、私はこれを非常に高く評価します。

あと、タカラの1/24キットは単純にパーツとパーツを貼り合わせていくという組み方だったわけですが、この1/20キットでは「プラスチックモデルを組み立てる」というよりも「ATの機構を考えながら内部フレームと外装パーツを組み上げていく」という感覚に近くなっている。この「組み立てと組み上げの違い」みたいなあたりに時代の進化を痛感させられましたね。

●

組み上げた際のプロポーションはやはりテレビ画面のなかのものを持ってきていますから、ある意味すらっとしていてハンサム。ここは好みの別れるところでしょうが、各部のバランスは厳密な計算によって導き出されたものであり、「ここが長すぎる、ここが短すぎる」というほど単純なものではない。非常によく考えられたプロポーションになっていると思います。

もっとも、「脚や腰アーマーの付くウエストの台座がやや細いかな」という気はしますね。あのあたり、私的には『（戦車で言うところの）ターレットを載せる基部』という考え方をしていますので、もっとどっしりとしていてほしい。バンダイ製品は最近の若い子のお尻みたいなんで（笑）、「ATはもっと安産型のお尻でもいいんじゃない？」と思うところが若干あります。

また、ディテールに関して言うと、きれいに線は入っているものの、"実在するATの1/20モデル"としてはややもの足りないかと。「パネルの隙間から油が垂れてくる気がいまひとつしない」というか、「血と硝煙の匂いが弱すぎる」というか。

ただし、増加装甲板をボルトで取り付けるあのアイディアには驚きました。驚いた、というより感激しましたね。

なぜならば、「ATでボルト止めされている箇所には増加装甲が装着されている」というのは、24年前、タカラの1/24キットにて提示した私の発案だったわけです。「実在するATとはこういうものなのではないか」ということを自分なりに突き詰めていった姿があのタカラの1/24キットであり、自分ではいまもそれはまちがっていなかったと思っています。でも、それはあくまで私個人の考えであるわけですから、そうしたAT像を一旦チャラに戻し、「いや、劇中のATはこうなんだからこっちのほうが正解でしょ？」という方向性もあったはずだと思うんですね。だがそういった方向へは行かず、タカラの1/24キットをきちんと受け止めた上で発展させてくれたということに対し、私的には「非常にすばらしい仕事をしてくれた」と言うしかありません。

●

増加装甲板のような枝葉のディテールだけの話ではありません。バンダイの1/20キットがタカラ1/24キットの直系の子孫なのかどうかはわかりませんが、タカラの1/24キットを一度すべて取り込みきちんと咀嚼した上で、バンダイとしてのAT像を提示してきたことは痛いほどよくわかりました。その「タカラの1/24キットが一度きちんと吸収された」という事実が見て取れたことが今回の一件で私がいちばん感動したことであり、「24年前に私たちが発信したことはやはりまちがっていなかったんだ」と確認できたことは感無量です。直系の子孫かどうかは置いておくとして、バンダイの1/20キットはボトムズスピリッツとタカラ1/24キットの遺伝子を確実に引き継いでいる。これは本当にうれしいことであり、個人的に感謝したいことでもあります。

とにかく、当初私が抱いていた『いまバンダイがATをキット化したらこうなるだろうな』というヴィジョンと比較して言うと、100点満点を通り越して140点ぐらいのものがいま目の前にある。『ATとしての正解はどこにあるのか？』と考えたとき、当時の私は"軍用品としてのAT"としてああいう解答を出したわけですが、今回のバンダイ製品はあくまで"ボトムズという作品世界におけるAT"を解答として出してきた。いまの時代のファンに向けたプロダクツとして考えれば、それで正解だと思います。重度のミリタリーマニアとして工業デザイナーを志した私からすればやや寂しいところもあるにはありますが、プロダクツとしては140点です。それはまちがいありません。■

http://anyikq.yexp.com/

「伝説の設計主任」泉博道（元タカラ ホビーマーケティング事業部クリエイター主任、現浄土宗 梅僧院 執事長）、24年遅れのあと出しジャンケンたるバンダイ1/20スコープドッグを真摯に語る。

タカラ1/24スコープドッグを手掛けた男の目に見えた「バンダイのボトムズスピリッツ」と「140点」の意味

写真／篠部雅貴（インターヤ）
インタビュー・文／あさのまさひこ
撮影協力／浄土宗 梅僧院
photographed by Masataka SHINOBE (ENTANYA)
interview & text by Masahiko ASANO (STUDIO CUBAC8)
special thanks to Baisoudin

嚴禁任何商業用途，如發現，將追究法律責任。
費用瀏覽此版本，請購買原版。
會樓大陸

lMpl://anylibkpycexp.com/

lMpl://anylikpr.exp.com/

SCOPEDOG ANATOMISCHE TABELLEN

WARNING!
スコープドッグ解体新書
あなたのボトムズは本当に《リアル》?
さまざまな知識と技術を総動員し、
リアルなスコープドッグを制作してみよう
(C)サンライズ
REMOVE BEFORE MODELING

BANDAI'S 1/20 ATM-09-ST "SCOPEDOG" FEATURING SPECIAL

まずは、タカラ1/24スコープドッグの誕生真話と「伝説の設計主任」泉 博道氏によるバンダイ1/20キットのインプレッションをお届けしたわけだが、ここからは《リアル》をキーワードに、本特集の主題であるバンダイ製1/20スコープドッグを通じた《リアル》に迫っていこうと思う。

タカラが（しょせんは）アニメロボットであるスコープドッグを1/24のプラスチックキットとして発売して以来、この24年のあいだ、スコープドッグにはつねに《リアル》という単語が枕詞として添えられてきた。

実際、「装甲騎兵ボトムズ」が《リアル》ロボットアニメ路線のひとつのピーク」であるということに異を唱える者は皆無であろう。しかしながら、ボトムズに対し《リアル》を唱えるファンに「何がどうリアルなの？」と問うても、「タカラ1/24キットのディテールがリアル」「クメン編は『地獄の黙示録』の暗喩になっていてリアル」というような、じつはかなり曖昧な答えが返ってくるばかりであり……。

「ボトムズにおいて、《リアル》であるはずのロボットを《リアル》に作るための考え方や模型作法は、もしかするとガンプラ以上に未成熟なのではないだろうか？」というところを立脚点にした本特集は、バンダイの1/20キットを題材に、ボトムズ生誕24年目にしてある意味初めて「ボトムズを《リアル》に作る方法」を超真剣考え、なおかつ、それを超真剣に実践していきたいと思っている。

……っていうか、あなたのボトムズは《リアル》ですか？

http://anyikqryexp.com/

成型色で完全に色分けされ、おおもとフレームに外装をはめこんでいくという構成である。このバンダイ製1/20スコープドッグ、パッと見はガンプラと同様に見えるが、じつはスコープドッグならではの設定とインテリジェンスがそこここに盛り込まれているのだ。ガンプラの場合すべてが自社製品なので、たとえば「いままで構築したものをさらにブラッシュアップしていく」という手法も有効だが、スコープドッグの場合は話がまったく違う。ユーザーが比較するであろうは、いわずもがなタカラの1/24キットであるからだ。キットの仕様をスケールの時間から再構築する必要に迫られ、結果出された結論が、この1/20というスケールとキット内容である。いま現在のロボットモデルユーザーが強烈要求してくるであろうディテール再現や可動やギミックのスペックを盛り込んだうえで、24年後であるからこそ陥んでしまった現時に応えようとしたバンダイのスコープドッグは『力作』と呼ぶに恥ずかしくない内容のものとなっている。

▶むしろ本来的機能美のメカニックラインに目をとらわれ、24年前、バンダイ1/20は元々の設定画のラインをうまくとらえているものもあれば、タカラ1/24キットでは全くの再現されなかったシーン（組換え内部ディテールの盛り込まれている

いい意味でも悪い意味でもタカラ1/24があったからこその1/20

タカラ1/24の遺伝子を継いだ「140点のAT」を改めて検証しよう

タカラ1/24の呪縛を振り切った力作、バンダイ1/20スコープドッグの「24年後だからこそ」なポイントを探る

ATM-09-ST スコープドッグ
設定：（株）サンライズ
バンダイ　1/20　インジェクションプラスチックキット
発売中　税込7,350円
（問：バンダイ　☎03-3847-6111）

このバンダイの1/20キットがタカラ1/24の「遺伝子」を受け継いでいるのは明らかだが、成立した時代と前提が違うふたつのキットを直接外見だけで比べてみても、結局それは好みの問題に移転してしまう。ここではまず、「24年めのスコープドッグ」という事件をよりよく体感するために1/20スコープドッグに込められた意図を検証してみたい。

SCOPEDOG ANATOMISCHE TABELLEN

タカラ1/24では再現できなかったターンピックなどのギミックも万全！

1/24では再現されなかったターンピックの可動ギミックを搭載。装着の車輪はつま先と連動しており、つま先を曲げると回転させられる車輪が出てくるようになっている。アームパンチは1/24でもギミックがあったが、この1/20でも当時のように再現されている。さらにパーツ数を増やさないで済ませようと部分の色を分けるなど、完成品が一般にしたいあなりの工夫ももちろん盛り込まれている。

1/24キットのベビーマシンガンは、当時のキットとしてはかなり精巧なるものだったが、1/20のものは、分解可能なモデルガンのような構造となっている。銃身などはスライド金型を駆使することで、銃口も開口済みの1パーツ構成。パーツを接着しなければ合わせ目を処理することなくリアルな武器を作ることができる。

リアルさを演出する小道具である武器はガンプラ以上の徹底的なこだわり

◀あたかも実銃を分解組み立てしているノリで組み上げることができるベビーマシンガン。完成後は見えなくなる内部構造も組み立てる際の楽しみを演出するギミックだろう。

http://anyihkqryexp.com/

胴体内完全再現 ヒンジ部などにも気が配られたパーツ構成の妙を見る

1/24でもいちおう再現されていたコクピット内部だけに高いクオリティーが期待された胴体内部だが、内部などにも気が配られ、組みやすさとディテールを両立した結果に通ずるものとなっている。付属するキリコのフィギュアは昨今の完成品をにらんで、大まかな色分けはパーツ段階でなされているが、別パーツ化してしまうとディテールがおおざっぱになってしまう頭部等を置いた手などはあり分け前提とすることで一体化したあったり（敵はないときに差し替える頭部用パーツも別途付属）、手前で昔の雰囲気が出られるようにバイザーを透明にしてくれているあたりは、モデラーとしてはうれしい限りだろう。

▶胴部内部は、配管が別パーツで再現されたり、バイザー内部も用意されるなど楽しいんないっぱいだ。1/24では、胴部取付ヒンジはいかにもプラモデルというかんじで、内部から見るとやや残念なんだが、1/20のヒンジはバンダイの古い成型技術を遺憾なく発揮して非常に薄くできているので有余を感じさせない。

ガンプラで培われた可動のノウハウがダイナミックなポージングをキメる

ロボットにはそれぞれに「映えるポーズ」というものがある。1/20スコープドッグはさまざまな工夫により、いままでのガンプラでは無理だったと大きく腕を開いて構を張ったポージングを実現。崩れそうで崩れない感が動きを最大限に表出するのだ。

▲ガンプラでは股関節軸自体を動かすことで可動範囲を稼ぐことが多いが、上半身の重量が大きい1/20では股関は保持力を優先して固定の太い関節軸を採用。かわりに腰ユニット自体を可動させるギミックを採用した。

タカラ1/24の弱点だった組みづらさを見事に克服した一体成型パーツ

タカラ1/24は当時においてはすばらしいが、いざ組み立てるとなると複雑な作りが目白押しに高い工作力を要求されたり、部分的に強パネ加工が施される部分があった。とくに難儀したのは、中央でざっくりとパーツ分割されていたバイザー、胴部、腕部などだった。この1/20ではそのような部分はスライド金型を使うことなどでパーツ構成とし、組みやすさを格段に向上させている。

▼1/24では分割されていたアーマーも、1/20ではパーティングラインにそあるものの、軽くヤスるだけで整形できるようになっている。とくにスライド金型を駆使して整形された頭部パーツはパーティングラインを目立たなく処理しやすいところに配置されていてすばらしい。

スコープドッグのいちばんのキモ「降着」の最進化形がいまここに

タカラの1/24では再現されず、後年ウェーブの1/24で追加されたパーツによってプラモデルではようやく再現されることとなる降着機構だが、降着時に見えてしまう胴部内部などはもちろん再現されていなかった。昔今のATの完成品の多くが採用している降着ギミックだけに、この1/20も当然のように装着するが、いままでのキットと大きく異なるのは、降着時に見える内部構造が再現されたことと、ポジションがシフトする巧みな構造の多重関節により降着ギミックと可動範囲、関節の保持力を両立したこと。ここにはロボットプラモデルの設計進行形が凝縮されているのだ。

◀ウォーカー部分は腰部ユニットの軸がスライドするような構造であったためにギミックがムズムズになってしまいやすかったが、1/20では定位置固定アーマー部分を上げるように可動させたり、脚部の長さを計算しなおすことにより、見栄えの良い可動範囲を実現している。

完成品にはない組み立てる楽しさなんと「外装甲をボルトオン！」なのだ

ガンプラは、昔今の市場のニーズを受けて「半完成品」的な性格が強くなってきているが、この1/20キットは組み立てる楽しみを積極的に盛り込んでいる。最大のポイントは外装をユーザーがボルトで留めるという「ボルトオン」。「なんだ、子供だましか？」と思われるかもしれないが、これがやってみると結構に楽しいのだ！

▼胴部周の外装は最大で4パーツ構成。ボルトオンを採用。実際に手を動かして工作することで組み上がっていく様を体感で楽しむことができるようになっている。

http://mylikr.com/

いまだ未開の荒野、ボトムズの《リアル》を探す旅がいま「1/20」ではじまる。

文／森 慎二（本誌モデラー）

「リアルロボット」といえばガンダムやボトムズがその起右頃だが、いま改めて冷静に見てみると、果たしてどれほど《リアル》なロボットと言えるのだろうか？

確かに、ガンダムやボトムズの「戦争表現」や「道具としての兵器感」は、それまでのロボットアニメとは一線を画すものがあった。しかし、それはあくまで「マジンガーZよりははるかに現実的」というような話であって、そこに登場するメカを設定画そのままに立体として作った場合、決して「リアルな模型」にはなりえない。

《リアル》な模型という意味では、現状ではガンプラのほうがボトムズと比べれば明らかに進んでいる。なぜならば、バリエーション展開や塗装表現でアニメロボット模型の世界に兵器らしさを持ち込んだ「MSV」、航空機や宇宙機のクイストを盛り込むことで設定の《リアル》を演出した「ガンダム・センチネル」など、模型としての《リアル》を探求するいくつものトライアルがこれまでに積み重ねられてきたためだ。

一方ボトムズでは、タカラの1／24キットが発売されて以来この24年間、《リアル》に対する探求はほとんどなされてこなかった。これは、商品としては致命的な問題であったタカラ1／24キットが生産効率の悪い部分だろう。

もちろん、かつて1／24キットの雑誌作例を載せ「リアルだ！」と感じた思い出を否定するわけではないが、その盛り込みはあまりにも強かった。もはや一部では、当時と同様の作り方をすることが目的化している感すらある。それはそれでアリだとも思うが、バンダイの新作1／20キットの発売を機に、そろそろ新たなる一歩を踏み出してみてもよいのではないだろうか？

個人的には、スコープドッグは《リアル路線》大河原デザインの自明だと思っている、単純明快でウソをホントらしく見せる個性的で強いキャラクター性は非常に魅力的だが、反面、デザインの記号の強度がありすぎて、フォルムを模倣的に《リアル》にアレンジするにはガンプラ以上に知識やテクニック、センスを要することだろう。また、塗装表現に磨きを掛けるならば、1／20というスケールともっともらしいデザインは1／35AFVモデルのウェザリングテクニックを持ち込むには格好の場だ。

どちらにせよ、AT模型の《リアル》実現はいまだ未開の荒野。まずはそこに乗り出してみようではないか！ ■

嚴禁任何商業用途瀏覽此物
請勿轉載

http://mylikr.exp.com/

ATM-09-ST スコープドッグ
出典 「装甲騎兵ボトムズ」
バンダイ 1/20
インジェクションプラスチックキット改造
発売中 税込7350円
(問バンダイ ☎03-3847-5116)
製作 WildRiver荒川直人

ATM-09-ST SCOPEDOG modification
from "Armored Trooper Voltoms"
BANDAI 1/20 Injection-plastic kit
Modeled by WildRiver Naoto ARAKAWA

嚴禁任何商業用途。如果你需要付出任何費用瀏覽此版本，你就被騙了。

Survival in blizzard -After the avalanche

兵器としてのATに隠された機能のリアリティー

http://anyikqryexp.com/

SCOPEDOG ANATOMISCHE TABELLEN

ATM-09-ST スコープドッグ
出典：「装甲騎兵ボトムズ」
バンダイ 1/20
インジェクションプラスチックキット改造、
発売中 税込735JPY
（㈱バンダイ ☎03-3847-5114）
制作 荒木 智

ATM-09-ST SCOPEDOG
from "Armored Trooper Votoms"
BANDAI 1/20 Injection-plastic kit
Modeled by Satoshi ARAKI

●Wildflower氏作品の作例（P16-17掲載）は、「雨中でのサバイバル」をテーマとして、シチュエーションとディテール一機能を巧みにリンクさせている。塗装とディテール工作をしてデコレートするのではなく、「雨中で走ったなら、こういう機能や装置があるのではないか？」という発想が生み出した「機能のリアリティー」と言えるだろう。もちろん無理的な部分に再現することのない、ダイオラマとしての表出法はさすが。吹きつける風の表出や人の存在を感じさせる足跡の見せ方、リアルな雨の表現にも感服だ

●荒木氏の作例のテーマは「森林での狙撃戦に力尽き朽ち果てる"兵士"」で、こちらでは「素材感、質感のリアリティー」の表現に挑戦している。たとえば、ハガやサビとひと口に言っても、その状態は千差万別。こすれたハガ、経年を受けた際のハガ、乾いたサビ、濡れたサビ、流れたサビ、さらにはサビが盛り上がってできた塗料のハガ……それぞれを使い分けることで生み出されるこのリアリティーをじっくりとご覧いただきたい。また、背景としてダイオラマを効果的に盛り上げている植物や遺跡の表現もすばらしい

http://anyihkq.yexp.com/

He falls silent in the repeated monsoon

湿度・温度・重ねられた時間のリアリティー

http://anyikqr.yexp.com/

バンダイ1/20スコープドッグ製作マニュアル

ストレートでもリアルに作る方法教えます。

製作／中嶋春彦
Modeled by Haruhiko NAKAJIMA

AFVモデルをメインフィールドとする軍事モデラー。マスターグレード1/35のバンダイ製30mmサイズのロボットキットを制作するのは今回がはじめてとのことだが、はたしてうまくリアルに作れるかどうか……。

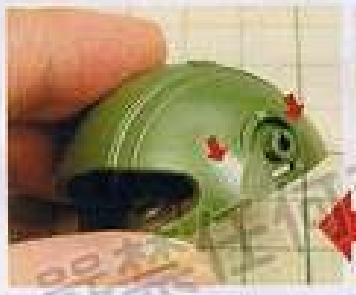
まずはWildRiver荒川氏と荒木氏の作り込んだ作例をご覧いただいたが、「いきなりそれはムリ！」という方のために、バンダイ1/20キットを無改造でリアルに作る方法を解説してみましょう。今回は工作だけでなく汚し塗装を段階ごとに詳しく解説していますので参考にしてね

A to Z 前編

塗ってから組むか、組んでから塗るか……？

最近のバンダイのキットは基本的にキット状態で色分けがなされているので、塗ってから組んでもよいのですが、せっかく塗装して作るなら、パーツの合わせめはできれば修正してきれいに処理したいところ。そこで今回は段階書の組み立て順とおりではなく、部分的に「工作」→「塗装」→「工作」というように行きつ戻りつの手順をとることにします。

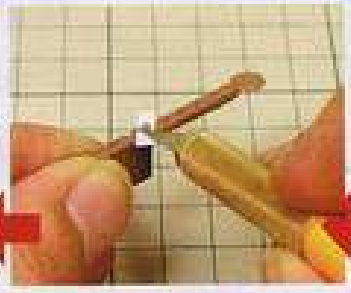
というわけで、胴体内部やフレームはある程度組んだところで塗装を済ませてしまうのを推奨します。むずかしそうに思われるかもしれませんが手間を惜しまず、ここで紹介する手順で作っていけばそれほど迷わずに作れるはず。とくに胴体部はこの手順で作ると不要なマスキング作業を省くことができ効率的で楽しくハメできるパーツもありますが、まずは「気に胴体内を作って塗って、仕上げてしまいましょう。



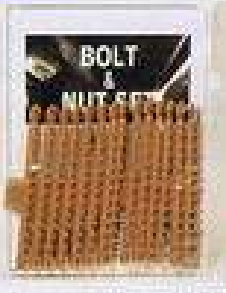
▲胴体は貼り合わせが必要ないパーツ構成だが、合せ目のあたりにパーティングラインがある。ここは400～600番の紙ヤスリで整形しよう

▲1パーツずつ整形していると効率が悪いので、段階書を参照したうえで、パーツは一気に切り出す。反りがあるところはパーツに印を入れる

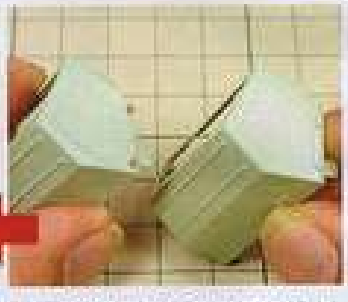
▲胴体パーツと上面パーツは後部の合わせ目に隙間が。可動のための処理だがていねいに引き出せばすき間がなくても問題ないので埋めることに



▲ランナーから切り出して使うがそのままではボルト部分の厚が高すぎたため、このように穴を開けたプラ板をかませてナイフで切り出した



▲今回はディテール復活用にモデルカステンのボルト＆ナットセットを使用。これはディテールアップに応用できるスグレモノなアフターパーツ



▲パーツ下20箇所は、ボルトにまたがるようにパーティングラインがある。いっそのこと割り面として整形し、付け直すことに

▲ここもいったんモールドを削り落として整形したのちにモデルカステンのリベットパーツを移植。コトブキヤの円筒状パーツを使ってもよいだろう

▲コクピット内のパーツL13は整形の都合上、ボタン状のディテールの中央にパーティングラインが入ってしまっているので

▲整形されたらニッパーなどで大まかはがしたうえで、そのあとプラ板の補修などをあてた400～600番の紙ヤスリで整形すれば簡単

▲こういう場合は、まず設置したいサイズの厚さのプラ板を瞬間接着剤（以下記事内略称）で大まかに貼る。まずは大きめのままにしておこう

リアルな「革シート」の塗り方は……？

▲体がこすれる部分にやや明るい色を置くようドライブラシで重ねたら、今回はさらに白っぽい茶色でエッジ部分をまんべんなくドライブラシ。とくにヘッドレスト周辺は強めにすることでよれた雰囲気が出る予

▲次に、基本的に白を混ぜたやや明るめの色で部分的にドライブラシしていく。ドライブラシは筆に含ませた塗料をよく拭き取ってからこすりつけるようにし、まずはやりすぎないようにこころがける

▲まずはラッカー系塗料の焦げ茶色系の色で全体をエアブラシ。このあと練習を積んでいくのだが、まずはまんべんなくきれいに塗るようにする。機能的に弱くしていくのでまずは濃いめの色にしておこう

http://myhkpr.exp.com/

めっちゃリアルな溶接跡って意外と簡単につけられるのね！

▲溶接跡の追加はAFVモデル界では、もはやかなり一般的なテクニック。エポキシパテで追加するのがオススメで、リアルに仕上げるにはちょっとしたコツがあるがぜひチャレンジしてみよう

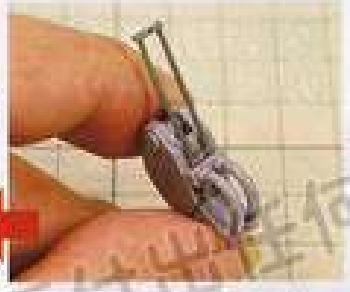
▲余分なパテをこそぎ落としてから、先端マイナスドライバーの先のような形に切ったコテなどで跡を付けていく。こまかく規則的にしようと上下に動かすようにしよう

▲まずはよく混ぜたエポキシパテを細く延ばしつまようじを使って溶接跡を付けたい箇所に盛っていく。このあとこそぎ落としていくので、はじめはたっぷりめに

▲パテくずを掃除したら溶接跡のできあがり。つまようじの先をどのようなかたちに加工するかでさまざまな溶接跡を付けることができるので、いろいろと試してみよう

▲周辺に残ったパテくずはパテが硬化前にナイフなどで掃除する。余ったパテを取っておくと固化したかわかる。この段階であれば再度してもパテをこそげ落としてやり直すことも可能

▲このように思いきりよく削り取ってしまえば、単純な表構成になって格段に整形しやすくなる。パイピングの復活方法はのち項と解説



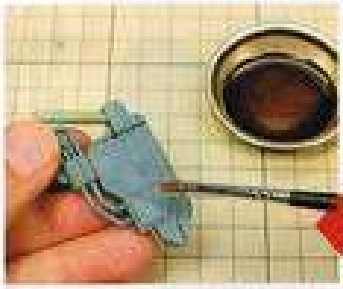
▲機銃弾の整形は、ディテールの再現度は高いがキットのままの構成では整形しづらい。ディテールアップも視野に入れていったん戻ることに

▲サーフェイサーを吹いたところ――処理していないパーティングラインを発見！ 接着と接体パーツは見落としのないよう注意すべし

▲ここまで整形作業と組み立てが終わったら塗装に入る。持ち手を付けて、まずは下地のサーフェイサーを吹く。今回は黒のものを使用

▲当部内の配管パーツA27は柔らかい素材だが紙ヤスリで整形できるので、目立ちそうな部分のパーティングラインは整形しておく

▲整形のし忘れや、サーフェイサーがうまく吹けなかったところは塗装後に改めてヤスる。前者は400～600番、後者は1200番の紙ヤスリで

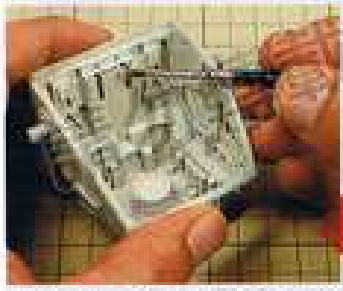


▲基本塗装が終わったら、エナメル系塗料のフラットブラック＋フラットブラウンでスミ入れ。薄めのものを全体に塗りつぶなした

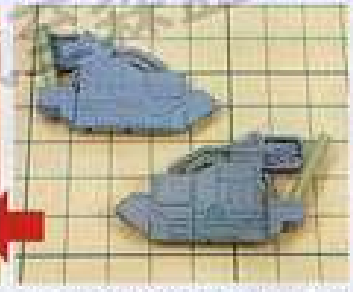
▲機銃など塗装時に保持しづらいパーツはほかのパーツにはめて塗装すると楽。白は特に何度も薄く吹き重ねていくとキレイに仕上がる

▲サーフェイサー塗装が終わったら、内部の基本色をエアブラシ。今回は戦車の内部色をイメージしてGSIクレオスMrカラー316番の白を使用

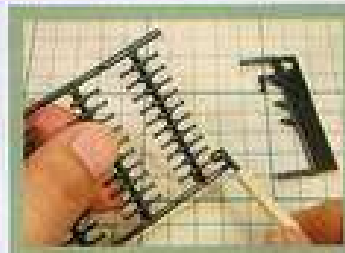
▲パーツに持ち手を刺すところがない場合は、百均クリップなどをつかってはさんで塗装するとやりやすい。持ち手は各自工夫しよう



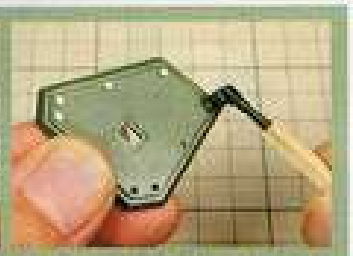
▲拭き取らない場合は、筆で上下方向にスジを残すように塗るとともリアルな感じに。ディテールが入り組んだ箇所にオススメのテクニック



▲スミ入れやウォッシングでは、黒っぽ筆を使うのはやめよう。無彩色が全体にのると、このようにそれらしい雰囲気になる



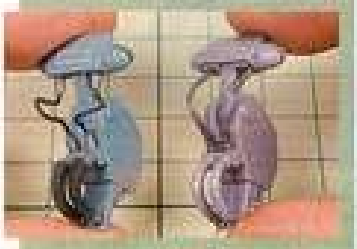
▲ボルトで外装を留める工作は非常に楽しいひとときだが、工具も1/20として作られている。中で少々扱いづらい。このように取りはずしにくい部位で楽しんで使うとやりやすいぞ

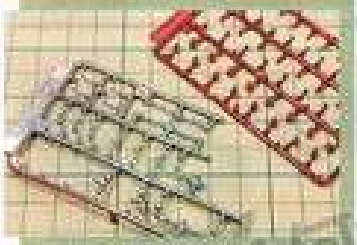


各部のボルトオンは楽しいんだけど……

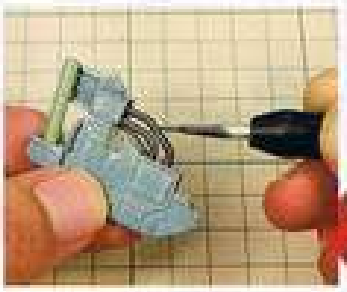
http://myhkpr.exp.com/

配線をリアルにするのは「基部」なのです





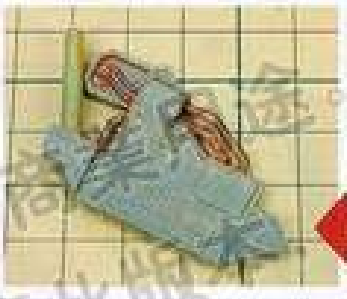
▲ちなみに、配線はそれ自体というより基部にこだわると格段にそれらしくなる。今回はモデルケースから発売されているボールジョイントを使った。完全スケールモデル用なので、いかにもそれらしくすることができる。パーツは塗装済みだが、ラッカー系うすめ液で色を薄としてから使っている



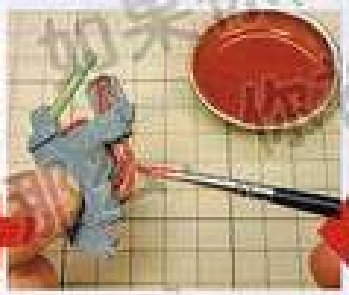
▲ココのパイプはMrカラー メタルカラーのアイアンを筆塗り。この塗料は筆ムラが出づらく、とても使いやすい塗料は塗料なのだ

▲シートの左右にあるユニットをタミヤペイントマーカーのシルバーで軽くドライブラシ。やりすぎるとボンコツに見えてしまうので注意

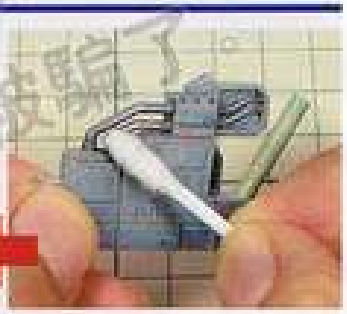
▲コクピット内がグレー1色にならないようシートのパイプ類は塗り分けるとぐっと引き締まる。塗装はアクリル系塗料を筆塗り



▲軽いタッチ程度でこすったおおざっぱに筆を取るところのところ。実際、ここが鍵びるかはともかく、深い沈まれた雰囲気を出すことができる



▲今回はその上からアクリル系うすめ液に溶いたパステルを塗布して薄びた感じにすることに。まずはおおざっぱに筆塗りしていく



▲メタルカラーの特徴は、磨くと光るところ。ただし、塗膜が薄いので磨き前にはスミ入れ後ウォッシングなどを済ませてから最後に塗ろう

キリコはちっく斉藤が製作したぞ

▲キットの付属のキリコのフィギュアはちっく斉藤さんが製作。ベタ塗りじゃなくてうまくグラデーションを付けて塗るようにすると超リアルな感じに仕上がります

胴体完成!

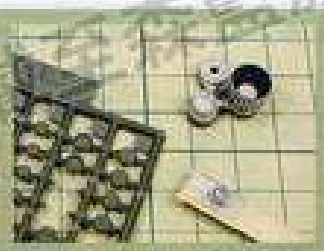
▶胴体を組み上げたところ。このままパッチをしめて塗装すると楽チン(ちなみに、フェイス部分はなかなかマスキング)

▲胴体内の塗装完了。パーツの組み合わせがタイトなので、組み込む際は注意しよう。しっかりと収めないとパッチが閉まらなくなる

◀シートは組み上げるとこうなる。味が出るためろうとこれを中心にハゲやこすれなどのウェザリングを施すと、超絶にリアルな雰囲気に

ターゲットレンズをめっちゃリアルにしたいっ!

▲レンズはキットのものをそのまま使用し、ごく少量の流し込みプラ用接着剤で点留めしよう。赤色系のレンズは内部を黒塗りさせてしまうと基部が見えてよい。レンズ内を暗いグレーに塗るとさらに雰囲気が出る



▲キットのパーツではレンズ内にディテールがないので、コトブキヤのアフターパーツ「丸モールド」をレンズ内に入れることにした。大きさが合うものを選んで貼るだけなので、簡単で効果大なのだ

▲スコープドッグの記号のなかでも、なんといっても3連レンズのターゲットスコープはぜったいポイント! キットには非常にキレイなシールが付属しますが、ちょっとオモチャっぽいので、ここはひとつリアルになるように手を入れてみましょう。やり方自体は簡単なので、ぜひ試してみてください

←P31に続く!!

http://anyikqryexp.com/

1/20スコープドッグ製作マニュアル番外編

スコープドッグにそれらしく荷物を積んでみよう!

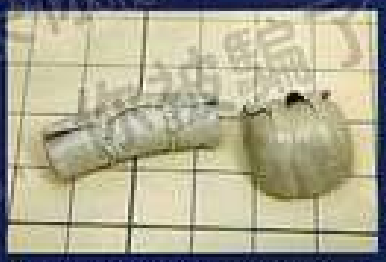
製作・文 尾崎正登

SCOPEDOG ANATOMISCHE TABELLEN

How toコーナーではストレート組みの工作法を解説していますが、それだけじゃもの足りない! という人のために、「荷物満載」のスコープドッグを製作。ほんのちょっと進んだ工作で「スコープドッグの運用法」までモデルに盛り込めちゃうんです!

■尾崎氏は砂漠を模倣して戦陣になめるLRDG (Long Range Desert Group) やイギリス陸軍のビンタパンサーをイメージソースに荷物を満載した状態を製作。荷物を積むときには、運搬過程でどんなトラブルが起きるかを考えるのがコツ。固縛のためにはボンベがいるし、砂漠行きにはバンゴがいる。スタックしたら脱出用の板がいるし、宿営するならテントや便器が必要――ということで積み込む荷物に合わせてジャンクパーツからラックを作ります。大きな装備と小さな荷物をなるべく密集させて不規則なかたちにくっつけていくと雰囲気しくなっていきます。古いものはロープなどでしばるとカッコいいですね。で、タイヤ大好きなのでうっかりタイヤも付けてしまいました。

意外とすぐできるていうか、3分で作れるんです!



■ここではエポキシパテを使用した荷物の作りかたを伝授しちゃいます。素材は1/20サイズのマットと梱包袋。もちろんこれをそのまま小さく作れば1/35にも1/48にも使できちゃうスグレモノですよ!

▶作業性をよくするため、エポキシパテにメンソレータムを混ぜて練り合わせます。適当な大きさに丸めた平らなものに押し付けて形を整え、薄く伸ばしたパテでフラップを作ります。側面のマチも忘れずに!

◀フラップを留めるベルトは細切りのパテか細の紙で再現。ベルト穴を開けるとリアルな雰囲気に。最後にフラップの形をヒラヒラさせればおっという間に完成

▶さあマットも作ってみましょう。丸棒で均一に伸ばしたパテをクルクルッと巻いて、棒状の軸でくびれをふたつ付けます。あまり力を入れ過ぎないのがコツ

◀くびれ部分に結束ベルトを巻き付けます。これも細切りパテか細紙がオススメ。ベルトの幅に合わせてパテを直角に切り出し、これをペタッと貼れば金具のディテールに。もう完成です!

▲黄色がかったピンク色の塗装はAFVらしさと見た目の派手さが同居する不思議な仕上がりに

▶右手に持った機関銃はドール用のものを流用。アンテナは金属線によって補強している

塗装と装備で演出する「砂漠戦」のリアル

ピンク色でも迷彩なのだ!

▲砂漠の夕暮れはピンク色に見える! ということで、WWIIまではこんなふうにピンク色に塗られた車輌が実在したのだ。あのブルーティッシュも迷彩?

http://mylikeyexp.com/

ATM-09-ST SCOPEDOG
from "Armored Trooper Votoms"
TAKARA 1/24
Injection-plastic kit
Modeled by
Kazunori YOSHIDA
Painted by Masahiro DOI

スコープドッグ
出典 「装甲騎兵ボトムズ」
タカラ（現タカラトミー） 1/24 BAKシリーズ
インジェクションプラスチックキット
7月再販予定 予価税込2625円
（初版当時価格1000円）
※タカラお客さまご相談センター ☎03-3602-3030
製作 **吉田かずのり** 塗装仕上げ **土居雅博**

▲タカラBAK1/24スコープドッグをほぼストレート組みで製作。手数のみ95年発売の1/24スコープドッグターボカスタムサンプル版のものを使用した

▲塗装は雑誌「アーマーモデリング」のスーパーバイザー土居雅博氏が担当。AFVモデラーならではの繊細なテクニックに注目

◀関節パーツの塗装にはパステルを使用。いかにも実機のある質感となっている

▶こうやってきちんと汚しては上げるといまの目でみてもまったく古さを感じさせないところがタカラ1/24のスゴイところ

http://animbtapsyexp.com/

SCOPEDOG 1/24 Scale
ANATOMISCHE TABELLEN

吉田かずのり（キャラクターメカモデラー歴20有余年にして、「奇跡のプラスチックモデル」タカラ1/24スコープドッグを、なんと初製作！）、24年目の開眼。

1983年当時ももちろんアニメファンでしたけども、私はどちらかと言えばスーパーロボット派だったんで、じつは当時流行りだしたリアルロボットアニメに対しては距をひそめていたんですよ。リアルを追い求めるがあまり、だんだんファンの視野が狭くなってしまっているように感じていたんですね。だからリアル派のその最右翼たる「ボトムズ」は第一話を見たことがある程度で、まったくと言っていいほど見てはいませんでした。もちろんタカラの1/24スコープドッグも作ったことはないんですよ。ただ、そうは言いつつもさすがにこれだけのメジャーキットなので、模型誌上での露出も多いしバリエーションキットもアップデートキットも数多く発売されているんで、どういうプラモデルかは知っていましたし、巷でどういう評価を受けているのかももちろん知ってはいましたけどね。

そんな私が側から見ていてずっと感じていたのは「このキットは（設定画に）似てないな」ということでしたね。しかも不思議なのは、似てないにもかかわらず、あとから出てくるスコープドッグの立体物がほぼすべてといってもいいぐらい、なぜかみなこのモデルに引っ張られているんですよ。まるでど真ん中に取り憑かれでもしているかのように、どの立体物にもその影が透けて見える。商品もそうだし、雑誌作例レベルでもみんなそう。しかもあえて言うならば、どれもタカラ1/24キットを越えることができていないように思ってたんですよね。サードパーティのトランスキットなどにしても、「元のキットのままのほうが私は好きだなぁ」と思っていましたし。

今回の特集にあわせて、MG編集部からの発注でこのタカラ1／24スコープドッグを――ほぼストレート組みで、しかも塗装も別の人が行なうという変則的なかたちではあるものの――製作することになりましたが……。

キット全体の印象としては「ウェーブの1/12のパワードスーツに似てるかな」という感じですかね。もちろん発売はスコープドッグのほうが全然先なわけですけど。モチーフへのアプローチの仕方が似ているというか、「本物」の感じさせ方が似てるんですね。確かに立体化されたものスコープドッグでありパワードスーツなわけですが、このふたつは設定画を見ながら設計されたような感じがしないんですよ。あくまでも実物があると想定して、それを縮小して模型化したような、いわばスケールモデル的な印象なんですね。ディテールにしてもそうです。設定画にその線があるかどうかではなく、本物があったならどうあるべきかという基準ですべて設計されているから、立体化された線はすべて納得のいくものでした。これならば私がずっと感じていた「似てない」理由にも説明がつきますね。信頼していたものが劇中に描かれているスコープドッグではないんですから。

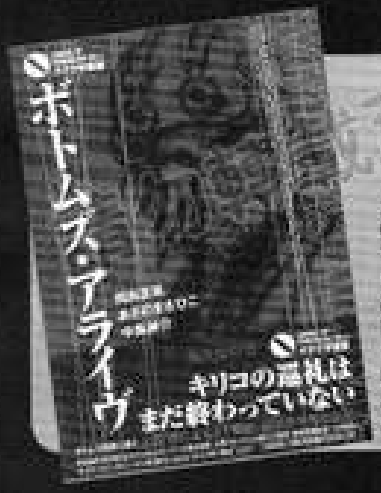
ダグラム、モスピーダ、ドルバック、アルベガス、バイファム、当時は多くのロボットアニメのプラモデルが発売されて、私もずいぶんと作りました。そのなかにはボトムズ以外にも大河原邦男デザインのロボットが多くありましたけど、このスコープドッグは存在感が別格ですね。「リアルな記号を足した」ザブングルのプラモデルとも一線を画してます。

プラモデルとしてもよくできていて、そりゃあ古い商品ですからバンダイの最新のガンプラに比べれば劣る部分もありますが、たとえば股関節の軸がななめに生えていて、つま先をひらいてもきちんと足の裏が接地するとか、非常によく考えられているんですよ。当時、いろんなメーカーがアニメロボットのプラモデルを開発していましたが、これができていたキットはほとんど存在しないと思いますよ。最新のキットだってできていないものも多いですからね（苦笑）。すごくよく考えられているキットです。

いまどきのキットと比べると作りづらいところもあるし、肘関節など、可動の面ではやはり大きく見劣りしちゃうわけですけども、じゃあその部分をいま風にアップデートすればいいのかといえば、それは違うんじゃないかなと思いますね。他キットから関節を流用してきたり、関節を自作してよく動くスコープドッグを作っても……それは違う存在のものになっちゃいますよね。

個人的に作る場合を考えると、せっかく1/24というスケールなんですから、私だったら「1/24ならでは」という作り方をしてみたいですね。このキットはディテールもすばらしくて、外装にはほとんど手を加える必要がないぐらいなんですけど、コクピット内部にはまだその余地がかなり残されているんじゃないかと思うんですよ。車の模型をはじめスケール的に並べられるものも多いですから、そういうものが活かせる作り方をしてみたいです。

当時の私を考えると、やっぱりテレビ放送は見なかったとは思うんだけど、こんなに出来がいいんなら、せめて模型だけでも作っておくべきだったかな。だって、24年間これを越えるものが現れなかったなんていう模型、そうそうないですよ。（談）



タカラ「たの」の「真実」に迫る必読の書、「ボトムズ・アライヴ」

ガンダムに「ガンダム・センチュリー」という名著があるように、ボトムズにも「これを読まずして！」と断言できるほどの必読の書がある。大阪出版より2000年に刊行された「ボトムズ・アライヴ」がそれだ。

5つのチャプターに章立てされ、さまざまな角度から「装甲騎兵ボトムズ」という作品を検証しているが、モデラー最大の注目の章はやはりあさのまさひこ氏によるタカラ1/24スコープドッグの検証記事となろう。設計開発担当者、故 塚田氏へのインタビューが中心となったこの記事は、本特集冒頭にそのダイジェスト版ともいえるものが掲載されているが、30ページにもおよぶこの"ロングヴァージョン"にはぜひ目を通しておきたい。

バンダイ1/20のスコープドッグが、タカラの1/24キットがつくり出したことを前提に制作されている以上、まさに「タカラ1/24キットを知らずして、バンダイ1/20スコープドッグを語るなかれ」であるし、そのためにはタカラの1/24キット誕生の真実に迫るこの本を読まずして――であると言えよう。

その他本書には、開発当時を語りつつドキュメンタリータッチにATを紹介する"回顧座談の数々"や、当時の制作スタッフたちへのインタビュー記事等を収録。資料としても読み物としても非常にハイレベルな本となっている（ただし、AT開発史等の設定に関しては"公式設定"と"創作"が入り混れている部分も含まれているので、それらを見極める目が必要。初心者にはタフハートな内容ものになっているので注意されたい）。

■「ボトムズ・アライヴ」
問合先局・あさのまさひこ・中島紳介著／太田出版／A5版（ソフトカバー）／317ページ／税別1900円／2000年初版発

http://mykrypt.com/

[秋葉]
●WAVE 1/24スコープドッグ ターボカスタム改造パーツ発売。レジンキャスト製改造パーツのみの通常版が当時価格4800円、レジンキャスト製改造パーツ＋タカラのSAKキットとセットのDX版が当時価格8300円
●「機甲界ガリアン」を最後のシリーズとして、タカラがプラスチックモデル事業を撤退する
[11月]
●月刊ホビージャパンが1月号で「ザ・ラストレッドショルダー」を最終号

1986

[7月30日]
●OVA「装甲騎兵ボトムズ ビッグバトル」発売
[7月]
●ユニオン1/60ソクチャーク（当時価格3300円）発売
[8月]
●第3回ワンダーフェスティバル（1986[夏]）8月9日以降品搬入開始センター（3F）にて、おそらくはアオシマアディーラー初となるボトムズ関連ガレージキットが確認される（ただし当時のワンダーフェスティバルは抽選制度は無かであり、ボトムズ関連のガレージキットも当然ほかの模倣本格商品であった。ここを初見だとし、ボトムズはガレージキットコンベンション内における数少ない成年アイテムのひとつとしてポッポしめる）
[11月]
●ユニオン1/60スコープドッグ ターボカスタム（当時価格3300円）発売。ユニオンのい/60シリーズはここでシリーズ最終終了となる

1988

[2月20日]
●OVA「装甲騎兵ボトムズ ビッグ・ショルダー・ドキュメント 野望のルーツ」発売。これは、86年の秋にかけて「装甲騎兵ボトムズ 機甲兵団メロウ・ハンター」シリーズも発売に
[4月下旬]
●ビ.WAVE（現WAVE＋MAX FACTORY）ボトムズ1/24スコープドッグ（当時価格6000円）が発売される。ただ初期はMAXからはペルゼムが、スーパーエクスキャーション（スクールボトムズ当時価格6000円）も発売されるが、次年サルヘッドスコープドッグ（当時価格7400円）はMAX FACTORの発売となる模様
[11月]
●秋に発売ワンカムより、タカラSAK1/24スコープドッグ（当時価格1300円）と1/24スコープドッグ ダブルダッグ（当時価格1400円）の2種が発売される
●高千穂がスコープドッグ ターボカスタムの固定ポーズによるレジンキャストキットを発売
[9月]
●ワンダーフェスティバル1989[夏]開催（9月12日13日/東京都東京都センター会場）。当時のイベント主催者であったゼネラルプログラムから「当時本格商品の販売が現実に発覚した場合は大きな問題に発展する」という発言が飛び交されており、ボトムズ関連のアマチュアディーラー製ガレージキットもこの時期にはその大半が当日販売前提キットへ移行していたものと思われる

1991

●年末から1月までのあいだにWAVEにより1/24スコープドッグ ターボカスタム（当時価格5500円）が発売に。ベースキットとしてタカラSAK1/24スコープドッグが付属するのは相変わらずだが、レジンキャスト製パーツ（ではなく、WAVEが自分に作り起こしたインジェクションプラスチック製ターボカスタム用パーツがセットされた
[4月]
●月刊ホビージャパン5月号で「サンライズ ロボット特集 WAVE製スコープドッグ ターボカスタム発売記念特集」が組まれる
[10月]
●月刊ホビージャパン11月号における ボトムズ特集内にて、初年度一般販売の1/35 60スコープドッグが発表に。カラにWAVEによりレジンキャストキットとして当時価格13,2500円にて発売される

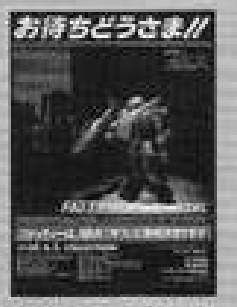
▲最初に発表された「ホビージャパン」誌上のクリスマス企画のインパクトは、いまなおファンの心に深く刻み付けている

▲1/60の発売年の秋、このイベントでは「模倣」等しとされる形にて発表されたWAVEのキットが展示されるようになる

▲ユニオンが製プラキットにした1/60ターボカスタムは、まったく別物のWAVE1/24レジンキットをパッケージに使用（写）。ユニオンはこのような無責任にとどまらない悪質のメーカーだ

▲80年代後半にはソフビキットも発売された「特撮はスコープドッグ」MAX FACTORが共同で開発した1/24キットクラシック

▲ボトムズ模型ファンにとってはすべての始しまりとなり、中やにまくの次はキットをもんでタカラ製1/24プラスチックキット



▲このファティーのように、販売されたものはかなり発売されなかったりと、ユニオン製品は一部で話題を呼んだ

▲WAVE初期、ターボ版1/35ポレドッグ用改造パーツ。中身のキット部分に改造パーツを組合せるというお遊びが随所に

1983

[4月1日]
●テレビアニメーション「装甲騎兵ボトムズ」放映スタート
[9月]
●タカラ スケールアニメキット（以下SAK）1/24スコープドッグ（当時価格1000円）、タカラ1/24デュアルモデル スコープドッグ（背景ポーズが定番な完成品トイ/当時価格2500円）、タカラSAK1/35ストロングバックス（当時価格500円）発売。SAK1/35シリーズ第1弾はどうせスコープドッグではなく、スコープドッグバリエーションの「ヤラレメカ」的位置付けであるストロングバックスだったことが驚き。これは、ストロングバックスが劇中でどういった扱いかを考えるとわかるようにタカラが商品化を進めてはいたものの、ボツとなった模様
[10月]
●タカラSAK1/35スコープドッグ（当時価格500円）発売
[12月～翌年3月]
●タカラ特撮1/24スケールビッグタートル（当時価格1300円）、ステンセン/ダートルのバリエーションモデルであるSAK1/24スタンディングタートル（当時価格1300円）が発売。これは実質のタカラSAK1/24キットとなる

1984

[2月]
●タカラSAKキット/スコープドッグ ジョキーシィドッグ（当時価格はいずれも不明）発売。ジョキーシィドッグの後一度も再販なし
[4月下旬]
●テレビアニメーション「装甲騎兵ボトムズ」放映終了
[10月]
●ワーク（現WAVE）より、あのまさひこ原型製作による1/14キリコ・キュービィのレジンキャストキットが発売。キャラクターデザイナー湯山紀彦、当時の模倣で人気を博した谷口守事件模倣品のタッチを30年した全体の感想と、ヘルメットを使った状態の計2種の模倣が付属した
●タカラSAK1/35スコープドッグ ラウンドムーバーデイプ（当時価格700円）発売。タカラSAKボトムズのシリーズ展開はここで一旦の終了を迎る
●ユニオンより1/60スコープドッグ（当時価格2000円）発売。ここからシリーズ10年目スコープドッグ パラシュートヴァンゴで、2000円という低価格を貫き通す。当日すべてはダイジンクビートルの手なと、ペルゼルがDTセスタンディングタートルAK（初期一のインジェクションプラスチックキット化。また、ユニオンのキットにはモデラーに向けたサービスとしてスクラッチビルド用の図面が添えられており、ペルゼルがDTにはペルゼルがP等用の図面が付属していた
●ユニオン1/60ラビドリードッグ（当時価格3000円）発売。遅ればせながらファティーの販売開始から、タカラ「デュアルマガジン」11月号におけるユニオン広告にて、「本日に出るのかナと悩んだみなさん。ユニオンモデルのうきうきキ！と思ったみなさん。ファティーは1985年1月ついに発売決定です!!。ちょっと高めの定価3000円」という発言はキャッチコピーにボトムズマニアは興味しれる

1985

[4月末]
●ユニオン1/60ファティー（当時価格3000円）ついに発売
●WAVE 1/35タカラSAK対応ラビドリードッグ改造用レジンキャストパーツ（当時価格2500円）発売。この後、1/35ペルゼルがDT改造用レジンキャストパーツ（当時価格2000円）、1/35レジンキャスト製ファティー（当時価格4300円）、1/35レジンキャスト製ソクチャーク（当時価格3500円）も発売され、タカラSAK1/35シリーズを補完する
[9月21日]
●OVA「装甲騎兵ボトムズ ザ・ラストレッドショルダー」発売
[7月]
●（月刊ホビージャパン）から月刊ホビジャ「1月号まで、OVAで「ラストレッドショルダー」のプロモーションフィルムとは違う新製品を、「やりたいなら作る」という自発的行為によりテレビ版ボトムズのリスペクト模型企画を始め（模倣模倣、当時ホビージャパン型編集長 伊藤克典とMAX表記、外観スケールこと、とまでのまさひこ氏をこれを通ない。すでにキュエア誌下版の表紙にも載ります。ガンダムはずでこうしたリブライズ企画が実現されたのはかなりの時間であり、ある意味においては、このリブライズ企画でそれぞれの後の模型業界におけるボトムズの「定義」化を決定的なものにしたとも言える

ボトムズの模型シーンがガンプラといちばん異なるのは「熱しづらく冷めづらい」ところだろう。90年のテレビ放映をタカラのプラモデル発売以前、驚くほど多くの模型がリリースされているが、ここのところの盛り上がりを別とすると、「数年の外」といってもまったく気付かないようなねっとりしたペースで熱量でシーンが移行してきたというのが正直な感想だ。

つまり、ボトムズ模型シーンの原点にあるのは「時流に乗わらず作りたいから作る」という感覚だろう。確かにタカラの1/24はリアルなロボットプラモデルにおけるエポックであったが、寄せられたその熱は異常にじわじわと発酵されていくこととなる。

それに見かねた有志がホビージャパン誌上で別冊誌でボトムズのリブライズ記事を企画し、4か月にわたって掲載されたが、その基本姿勢はあくまで「オレたちがやりたいからやる」というたんなるマイペースなんだな、ボトムズ模型好きは。

で、そうこうしているうちに、90年代後

History of Votoms Model 1983 to 2007

横から見るといつも同じものを作り続けているように見えるかもしれないボトムズ模型シーンだが、その渦中から見ると、じつにいろいろなキットや事件があった。その経緯を解説してみよう。

文/松本潤一郎（ボトムズ模型研究家）
年表作成/松本潤一郎＋本誌ボトムズ特集編集チーム
text by Jyunichiro MATSUMOTO with Model Graphix VOTOMS team

SCOPEDOG ANATOMISCHE TABELLEN

http://mikan.exp.com/

2000

[1月]
●月刊ホビージャパン2月号にて「第1回オタクコン学園」開幕。21世紀を目前に、模型業界内におけるボトムズ的1年の総括タイトルであることを強く印象付ける

[春頃]
●オタクコン学園に呼応するかたちで、WAVEが1/24スコープドッグ（もちろんその中身のベースはタカラのSAK）などを発売。直営店のWAVE Dayでは、小物やディテールアップパーツなどサポートグッズも販売する

[7月]
●夏休み明けよりオタク学園誌（ボトムズ・アライヴ）発売。表紙のまさひこのインタビュー記事によりタカラのSAK1/24スコープドッグ量産の秘密が明かされる
●WAVE 1/24 HGボーディッドドッグ（当時価格4200円）、1/24 HGブルーティッシュドッグ（当時価格4200円）発売。タカラ1/24のSAKに先立ちWAVE製アップグレードパーツを同梱したもの。それぞれに同スケールのキリコとフィアナのフィギュアが付属した

[10月]
●WAVE 1/24スコープドッグターボカスタム キリコ・ムーザ機（当時価格4200円）、1/24スコープドッグターボカスタム グレゴリー・バイマン機（当時価格4200円）発売。ザ・ラストレッドショルダー版の武装を追加した仕様

2004

●ちとせ作房（kogono）（静岡県在住）による、誰もが対にしたい1/1スコープドッグ ブルーティッシュカスタムのフルスクラッチビルド製作ブログ（なんでもつくるよ！）がスタートとなり始める。ロボットオタクを名乗ってはいるものの、メカ中身は対象外として進んでいるとのこと。ボトムズネコ耳はちょっと異色な作品。今回のスコープドッグの手足やディテールには、タカラのSAK1/24シリーズが多用し活用されていた

2005

●ちとせ1/1スコープドッグ（現在はトライ6号/¥600円）発売。これまでの組み立てでSAKをフルに活用したブームが巻き起こったものと思われる。
●ワンダーフェスティバル2005夏（東京ビッグサイト/2月20日）、当時内のボトムズ展示コーナー内に、kogono作1/1スコープドッグの実物が展示される

[4月]
●4月28日～5月12日まで大阪梅田で、駅前ビルを改造した時限ギャラリーでkogonoの個展「Mr.kogono」が開催。会場には1/1スコープドッグの全身像が展示され、その存在感と巨大さに誰もが圧倒される。また、5月には、ブログ「なんでもつくるよ！」にて発表された1/1スコープドッグ製作記事を1冊の書籍としてまとめた「テクニックブルコト 1/1スコープドッグ製作技法」がココロブックスより発売

[7月]
●やまと1/12スコープドッグと1/12キリコ・キュービィを用いた7体合同遊戯企画「ボトムズ バトリングス大会」開催。本誌の他、月刊ホビージャパン、月刊電撃ホビーマガジン、グレートメカニック、レプリカント、フィギュアヤニアックス、月刊ニュータイプの7誌が参加した

[10月]
●月刊ホビージャパン10月号にて「第2回オタクコン学園」開幕

2007

[秋頃]
●「シタイ」1/20スコープドッグ（4200円）発売

[7～11月]
●WAVE製品とは無関係なまったくのオリジン状態にて、タカラトミーが初のタカラ製SAK1/24キットの本格的な量産開始を試作する。発売の一報が聞こえてきたスタンディングタートルとスナッピングタートルに対しては、ランナー1枚（当時は左右で微妙なズレの太腿パーツを含む10ランナー）を新造しての再開となる

[10月]
●OVA（OOA）「装甲騎兵ボトムズ ペールゼン・ファイルズ」シリーズ復刻スタート。WAVEが同作品に登場するATのキットの化に着手しはじめる

●表紙を飾るキリコ自身による模型のパートは一番の作で6ページの内容となるが、ボトムズ模型ファンは必読（詳細はP20に掲載）

●実際にいくつかあるAT「ATは飛ばしてアライヴ！」ということを強くなかてくれたkogonoのブルーティッシュカスタム

●バトリングス大会には本誌も参戦。同企画キリコ・ムーザによる作例は（リアル系）かなにカラすぐで出版を予定のひかりなの！

●そのスタイリングに期待満載入り組んでいるバンダイの1/20キット。価格は1/24となるタブルスケーターとしたシリ？

●「サンライズ」ロボット作品に精通に関係する作品を第一のフルアクションの1/24スコープドッグ作例で強大な迫力の体験機体はそのままのスタンダードとなる

●「3F3D」を作成するとき、ディテールデザインと、使用したシルエットのイラスト（「本誌」は使用しなかった部分）ファンの中へ

●WAVEの1/24リーマン版のパーツとして同梱される次期作品。詳細は、一般のファンの中へ向けて発表に対応される

●ストライクの1/24。リンクキットドッグ・ストライクの組。組みやすさを強調。ちょっとコアなパーツが新しくモデラーにも楽しくすごせた

[秋頃]
●秋から冬にかけて、タカラのSAK1/24シリーズ4種が「新仕様」にて再販される（1/24スナッピングタートルはこれが最後の再販となる）。これと同時に、SAK1/20シリーズも同様仕様にて再販（1/35ストライクドッグもこれが最後の再販）に

1992

[1月予定]
●WAX FACTORY（ワックス）より1/24（スケール表記なし）にてソフトビニール製キットのシリーズ展開をスタート。ダイビングヒーロー（当時価格6000円）、ファッティー（当時価格6800円）を発売

1993

[1月予定]
●WAX FACTORY、ストライクドッグ（スケール表記なし、6800円）を発売。ここ数ヶ月に1/24ベースで新作を発売していくが、3月をピークにWAX製造販売シリーズ展開が終了する

1994

[2月予定]
●ちとせ「ちゃ様」ボトムズ 解体する機械 シリーズ発売開始

1995

[3月]
●WAVE 1/24スコープドッグ ダウンフォーム（当時ボーズ価格キット）発売。前作に続き、タカラのSAK1/24スコープドッグにWAVEが新たに作り起こしたインジェクション製パーツがセットされた

[10月]
●WAVE 1/24スコープドッグ ターボカスタム ワンダ版仕様発売。前作のWAVE 1/24スコープドッグ ターボカスタムに初年度一般販売のレジンキャスト製パーツを同梱したもので、「野望のルーツ」におけるワンダ版の各機仕様を再現。今月号掲載のタカラ1/24スコープドッグ作例ではこのキットの手足パーツを使用している

[11月]
●コトブキヤ1/24スコープドッグ（レジンキャストキット/当時価格7500円）発売
●月刊ムビージャパンにて「HFX 究極のスコープドッグを作る！」という連載企画がスタート。ボークス1/6スコープドッグが紹介される。このあたりからレージキットメーカーによるATのレジンキャストキットがブチブーム状態

[月日不定]
●WAVEがユニオンの1/60プラスチックモデルをパッケージデザインを変更し再販。それに合せるかたちで、WAVEよりユニオン1/60プラスチックモデル用改造パーツセット（レジンキャスト製/当時価格3500円。ただし90年発売の可能性あり）が発売に。改造は2種あり、それぞれに1/60の武装などがスケッチされていた

1996

[1月]
●ボークス1/6メーターフドッグ（レジンキャスト キット/当時価格27,9000円）発売。当時迄のATとしては現在迄通算最大のビッグスケールキットとなる
●ボークス1/6スコープドッグ発売記念イベント「ボトムズを語った夜たち」開催。造機設計者監修、メカニックデザイナー大河原邦男、キャラクターデザイナー湖山紀彦が出演

[5月]
●ボークスが1/24スコープドッグを皮切りにレジンキャストキットの発売。なかでもストライクドッグ（当時価格12,5000円）は1/24ファンに歓迎されることに

1998

[3月]
●ボークス1/6スコープドッグ ターボカスタム（レジンキャストキット/当時価格16万7,000円）!! 発売
●WAVEが1/24シルエットスコープドッグ用アップグレードパーツ（インジェクションプラスチック製/当時価格700円）発売。前作同様に、ヘッド部、手足などのパーツ化された。また、WAVEの1/24スコープドッグ系キットにはこのパーツが同梱される

1999

[3月]
●ボークス工房1/6のボトムズシリーズ発売。小スケールに組み込まれた大量のギミックが話題となる

手にはアニメ業界全体におけるOVAブームの余波を受け、「ザ・ラストレッドショルダー」を皮切りに数作のOVAが発売される。数のなか的にはまったくブレイクしなかったが、ボトムズファンはここでさらにまたじわっと熱を蓄えることになる。

このあたりから、ワンダーフェスティバルなどを核とするガレージキット（以下GK）ブームに相乗りするかたちでATのGKが多数発売されはじめる。うーん、ボトムズ模型好きはけっこう影響を受けやすいのかも？。この流れのなかでマイルストーンとなったのは、タカラ1/24のパーツに調整可能な関節のボールパーツを同梱したウェーブの「ダウンフォーム」。素材こそプラスチックだが、方法論はまさにGKである。すでに神格化されていたタカラ1/24はここでさらに補強され、ボトムズ模型ファンの「祭りどころ」となった。

GKブームは過熱、爆発の波を迎えるが、ボトムズのGKもその一手分に漏れなかった。記憶に残るのはボークスが発売した1/8（全高約50cm）のレジンキット。なんとレジンを金属ネジで締めることで調整すら可能にしたという化けものキットであった。このころGK超大容量イベントでは、大半のディーラーが「アヤナミ！、アスカ！…」となっていたが、それを尻目に数ディーラーが苦戦に目もくれずマイナーなバリエーションを続々と出展し続けるというスタイルが確立、ボトムズのGKは「いつGKイベントに行っても変わらず極少量出展しているもの」として今日に至る。

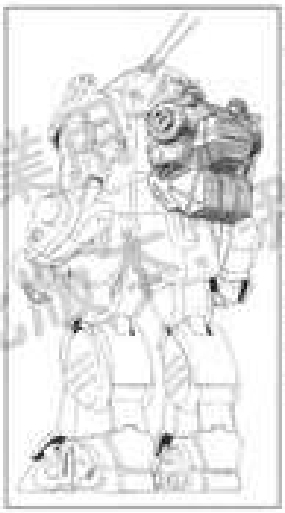
その後、GKブームとの入れ替わりで造型業界全体を巻き込んだブームが訪れるわけだが、ボトムズ模型はそこにもきちんと相乗りすることに。「何度なのか節操がないのか……」。やまとの1/12スコープドッグやタカラの1/48アクティックギアなどが次々とリリースされブームの様相を呈するが、これらは組み立て模型ではないため個人的にはあまり熱を蓄えることにはならなかった。

というわけで、今回のバンダイ1/20プラモデルで一気に蓄えられた熱は、このままどう放熱されていくんでしょうかね？ ■

http://mylikeyexp.com/

『装甲騎兵ボトムズ ペールゼン・ファイルズ』10月26日 待望のDVDシリーズスタート!!

1994年にOVA『装甲騎兵ボトムズ 赫炎たる異端』が発表されてからはや13年、かねてより報じられていた新作映像作品がOVAとして10月よりリリースされる。題して『装甲騎兵ボトムズ ペールゼン・ファイルズ』。百年戦争末期を舞台にペールゼンの残した秘密文書をめぐる物語が展開される。主人公、キリコ・キュービィーの過酷な戦いは終わらない！　そう、「異能でなければ、生き残れない」のだ。



■装甲騎兵ボトムズ ペールゼン・ファイルズ
バンダイビジュアル　2話収録　約50分
限定版（初回限定生産）予価税込9240円
（アクティックギア ペールゼン・ファイルズ Ver.（キリコ機）を同梱）／通常版（同時発売）予価税込7140円
10月26日発売予定

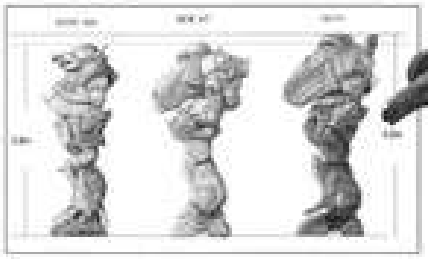
▶本作のために新たに起こされた設定をもとに製作されたスコープドッグの3DCG。上腕の形状やふくらはぎ周辺のリブなど特徴的なディテールには目

◀新設定のミッションパックを装着したスコープドッグ。劇中ではどのような使われ方をするのだろうか

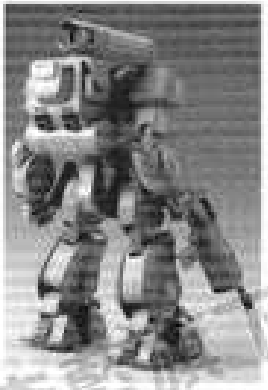
▼すでに設定画が公開されていた新設定のファティーの3DCGも完成！

▲公開中のトレーラーより、ATを運搬した上陸用舟艇が海岸に迫る。ランプが展開すると同時にスコープドッグが高々と砂を巻き上げる！

■企画・制作はサンライズ、監督は高橋良輔、シリーズ構成／吉川惣司、キャラクターデザイン／福山紀生、メカニカルデザイン／大河原邦男という布陣にオールドファンは感涙必至。既存ATの新設定が起こされるのに加え、バララント軍新型ATの存在も判明している（写真右）。『ボトムズ』関連アイテムの盛り上がりをさらに加速するか？



▲新たに設定されたバララント軍のマシンガン、ミサイルポッドなどの武装も付属。また本体は組み替えにより複種も可能。最後尾のバララント兵も一体付属。内部まで作り込まれたコクピットに搭乗させることができる



WAVEよりバララント軍新型AT レジンキャストキットで登場

Gバララント軍　新型AT（仮）
（1/24　ウェーブ直営店『ビージェイ』店頭及び通販限定販売
受注期間：2007年8月12日～　発売時期：2007年11月（通販決定）
原形製作／峰光鬼
出典『装甲騎兵ボトムズ ペールゼン・ファイルズ』
●ウェーブ　有ウェーブ

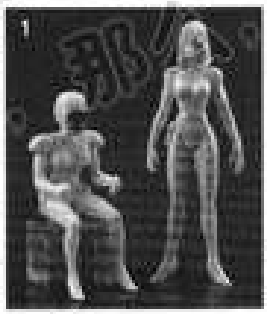
■本ページで紹介している新作OVA『装甲騎兵ボトムズ ペールゼン・ファイルズ』に登場するバララント軍新型ATがWAVEよりレジンキャストキットで発売されることが決定。ファティーに似た意匠やパーツ形状だが一周り小さいM級というダウンサイジングがなされており、ファティーと違ってスマートなスタイルとなっている。立体化にあたっては設定の3Dモデリングデータを数度的に検証した力作

http://mikaryexp.com/

バンダイより1/20ブルーティッシュドッグテストショット公開!! 気になる変更点は?

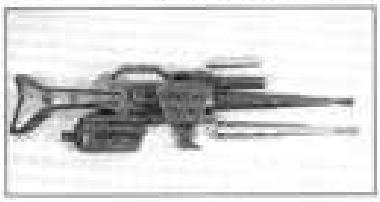
■ATM-09-GC ブルーティッシュドッグ
(1/20　6月発売予定　予価税込4200円)
●バンダイ　問バンダイホビー事業部

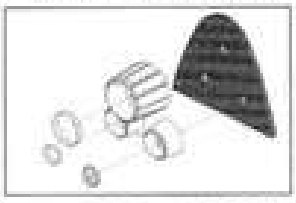
■バンダイ1/20スコープドッグにバリエーション機が登場！　ファンタム・レディの駆るブルーティッシュドッグのテストショットが公開された。ウドの街でキリコを苦しめた本機はまさにマストアイテムと言えるだろう。■同スケールのフィアナの単体と立体が付属。後者はもちろんコクピットに搭乗させることができ、ヘルメットとゴーグルもモールドされている。肩肉盛りつつグラマラスな造形がうれしい。■ボリマーリングゲル弾を使用するバックパックが追加パーツとして付属。バックパックは別中央ブロックに搭載可能で、両面には本体と同様に細かくパネルしきモールドも入っているのが新鮮な印象。右腕のガトリングガン用マガジンも設定どおり付属する。■カトに復刻されたダイヤディングホイールは実物に近い仕上がり。



▲スコープドッグの良好なプロポーションや秀逸なギミックはそのままに、右腕や足首、バックパックなどが新規パーツとしてセットされる。もちろん成形色はピンク色を主体としたものに変更される

金属製ディテールアップパーツ続々 アドラーズネストから目が離せない!



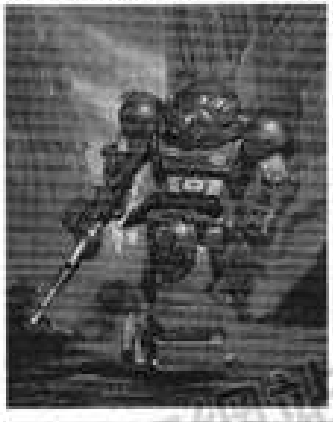


■1/24 スコープドッグ
GAT-22「ヘヴィーマシンガン」
追加Set
(金属製ディテールアップパーツ
発売中　税込1680円)

■1/24　タートル系AT
アップデートパーツSet
(金属製ディテールアップパーツ　7月発売予定　予価税込1785円)
●アドラーズネスト　問アドラーズネスト

■MVをはじめとしたスケールモデル用金属製ディテールアップパーツを精力的にリリースするメーカー、アドラーズネストよりAT用ディテールアップパーツが続々登場。1/20のヘヴィマシンガンも8月発売予定。詳しくはhttp://www.adlersnest.com/を参照のこと

伝説のタカラ1/24SAKシリーズ 再販決定!　これは入手必須です!!



■ボトムズ造形のすべてのはじまりにして究極の存在、タカラ製1/24 SAKシリーズがひさびさにオリジナルの形態で再販になる。スコープドッグシリーズの4体に加え、一部金型の破損により長らく再販のかからなかったスナッピングタートル、放送当時のみ販売されたT/24スタンディングタートルの2種も復刻再販。8種すべてを買うと新規金型で起こされたペンタトルーパーがもらえるというキャンペーンも実施。24年ぶり再販のスタンディングタートルをはじめボトムズファンならずとも歴史の証人となるチャンスがやってきた！

■1/24SAKリバイバルコレクション01　スコープドッグ
(1/24　7月26日発売予定　予価税込2625円)
●タカラトミー　問タカラトミー

■1/24SAKリバイバルコレクション06 スタンディングタートル
(1/24　11月発売予定　予価税込2940円)
●タカラトミー　問タカラトミー

■1/24SAKリバイバルコレクション04 スナッピングタートル
(1/24　9月発売予定　予価税込2940円)
●タカラトミー　問タカラトミー

ボトムズ最新情報にアクセスせよ!! オフィシャルサイト『ボトムズWeb』

▲こちらが「ボトムズWeb」のトップページ。アクセスするたびにカの数値が変わるのが面白い(笑)。本誌イチオシのコンテンツは静岡ホビーショーの様子を収録したラジオ、ライブ感あふれすぎです！

■新作OVA発表、各種グッズの発売などなど、ボトムズファンのうれしい情報が続々と入ってきそうな昨今のボトムズシーン。そんななか、ボトムズ関連情報に一挙にアクセス可能な公式サイト、「ボトムズWeb」が好評稼働中だ。サンライズが運営する本サイトには「ベールゼン・ファイルズ」の最新情報はもちろん、関連ニュース、スタッフブログなど盛りだくさんのコンテンツが集結しており、更新頻度もかなり高く情報鮮度はバツグン。本誌編集もスタッフブログメンバーとして参加していたり――。いますぐアクセスせよ！
■URL　http://www.voloms.net/

http://anyikqryexp.com/

SCOPEDOG ANATOMISCHE TABELLEN

◆アバランチドッグ

今回のイメージソースはアバランチドッグというちょっとマイナーなATです。ATM-09系の流れをくみ、雪上戦用に特化したもので、アニメには出てきていませんが、数ある設定資料のなかで話題の的になっていたATです。アバランチのなかでも高機動・重装備の白い機体「ALBINO」と呼ばれるATという設定設定で製作。

◆ストーリー

雪の高原での作戦で、ターゲットエリアへアバランチラッシュ攻撃をかけたところ、雪上に仕掛けられたトラップによって味方のほとんどが壊滅状態に。壊れかけた機体を駆使し、辛うじて逃げ切ったアバランチドッグ。しかし、厳しくなる吹雪のなかで生き延びるために、雪景のスノーシェルターを張り、救助信号の発信装置をセットして、ひたすら救助を待つしかないというサバイバルシチュエーション。厳しくなる寒と雪のなかで、パイロットは……。

アバランチドッグは雪上戦用ということで、ポリマーリンゲル液の凍結防止の機能も含め、大型ヒーティングシステムを搭載したエクストラバックパック、高機動ユニットのジェットスノーシューズ、ガトリングシステム、ヒーティングスーツ、軍事用プレートアンテナなどを盛り込み、アバランチドッグ独自のマッシブな姿を基本単体として完成させました。じつは、今回のアバランチはそれ分のキットを使用して、バックパックやジェットスノーシューなどのオプションもキットパーツをベースに製作。改造箇所をよく見ると、どの部品を流用しているかがわかります。

ダイオラマとしては、本誌07掲載のクプザクの雪のダイオラマ同様、今回も同じ雪の降る夜の円形劇場としたのですが、いったんアバランチドッグを単体で完成させて撮影を行ない、それをバラしてダイオラマのなかに組み入れるという手順としました。ダイオラマにしてしまうとそのシチュエーションゆえにアバランチドッグの本体が見えなくなってしまうので、AT単体としてのダイオラマに対して、AT自体はスタンドの単体として製作しています。

◆リアリティー

複数の物語が、どこかでリンクしながら時間の流れのなかにある、それぞれの物語に演出を加えることでひとつのダイオラマのなかにリアリティが生まれてくるのです。

雪のダイオラマは白い地面が主体となるため、ほかの環境と違ってダイオラマとして作り込むという点では難しいこともありますが、静寂・吹雪のなかで、静動まがとれずひたすら救助を待つというストーリーに結まるアイテム・要素を入れています。

雪のなかに埋った機動スノーシェルター、スコップ、風にたなびくランプ、救助信号装置、パイロットの写真など、パイロット自体を出さなくても、それらのアイテムが結び合って、そこでのいろいろな物語を見る人に想像してもらえるように、360度どの方向からでも見ればいることが、円形劇場の作り出すリアリティーです。

◆風の演出

今回、雪という題材になりやすいシチュエーションであるため、見えないものを見せるということを意識し、タイトルにもあるように、ダイオラマのなかにダイナミックな風の動きを入れました。ATそのものや防雪シート（マント）から、次の方向に風の流れるようなラインを取り入れて、横に大きく張り出す構成にし、風を感じる円形劇場としています。自宅でダイオラマ用に育てているローズマリーの自然木を利用することにより、全体にダイナミックな動きを演出することができました。

風景として、ボトムズのガトリングを支えにし、大きく風にたなびく防雪シート、横に大きく張り出す木の枝、木の枝に引っかかるシートの一部など、風の動きを取り入れる事により、厳しい雪国のなかで耐えぬく緊張感を演出しています！

雪のダイオラマの楽しいところは、白というキャンバスの上に白い物を入れていくという演出にこだわるのだと思うのです。

荒木 智

ATM-09-ST スコープドッグ
出典／「装甲騎兵ボトムズ」
バンダイ 1/20
インジェクションプラスチックキット
発売中 税込7350円
（㈱バンダイ ☎03-3847-5116）
製作／荒木 智

鋼鉄兵の眠り

＜厳雪風神＞円形劇場
—AVARANCHE Albino DOG—

ATM-09-ST スコープドッグ
出典／「装甲騎兵ボトムズ」
バンダイ 1/20
インジェクションプラスチックキット改造
発売中 税込7350円
（㈱バンダイ ☎03-3847-5116）
製作／WildRiver荒川直人

Wild River 荒川直人

◆「リアル」って何？

リアリティーを語るときに必要なのは、そこに存在するかのような「説得力」。それは時代背景を含むものであったり、国別の環境であったり、素材の質感であったり……。計算された自分の知識や経験で作り出せることが必要になってくるのです。

しかし、現実にない物の、ロボットアニメにおいてのリアリティーを考えると、そのアニメの「設定」を作り上げればそれほど「なんでやねん！」とつっこみたくなる要素に変を取られ、「こんなもんにリアリティーが与えられるか！」ときびを投げそうになります。巨大な重量人型兵器のエネルギー問題や、機体を支える素材の問題、どうして人間型人の動きをあの2本の手脚レバーと左右2つのペダルで操作できるのか……。その存在自体を根本的な問題から問い始めると、それこそ「キリがない」ほどに突っ込めるし、それを考えていくと心配せるほどです。それはなぜかと考えてみると、アニメに登場するロボットたちの大きさや存在自体が自分の経験とあまりにもかけ離れているからなのではないでしょうか。

その点、「ボトムズ」に出てきたスコープドッグという兵器はいままでのロボットアニメの「機動兵器」感を通さに「人の存在」まで引き戻した設定であり、自らの経験のなかでの存在、実在の兵器に近づたり建設機器などと比較することで「リアリティー」を感じることができるのです。1眼レフカメラのような全天候型のレンズ表現、人の乗り降りという日常に密着した設計や手すりといったディテール、駆動部やメンテナンスをしている人の姿が想像できるボルト表現……。そういったディテールのひとつひとつがまるで存在したかのような「リアルさ」を強調しています。しかし、それは「これってリアルでしょ？」という強引の言い訳のようにに見えてきて、リアリティーの本質はもっと違う所にあるのでは……と悩んでしまうのです。

◆鉄という存在の「リアル」さ

最近の出来事として記憶のなかに焼き付いている「1／1オール自製スコープドッグ」（製主：造形作家吉田文吾氏）の作品の登場。鉄の質感を貫り続けていたひとりの作家によってこの世に生まれたこの作品は、リアリティーを演出するのではなくATを「実在」させてしまったことで、それまで固執するしかなかったATの大きさを体験させ、いままで存在した数々の兵器と比較することができるというすばらしいチャンスを与えてくれました。しかしそのサイズよりも衝撃的だったのは、無造作だからこそ見えた赤さび色、すなわち「素材の存在」でした。夢の素材である「ガンダリウム合金」ではなく、目にする慣れている「鉄」という存在、これが自分のなかの経験にマッチして「リアルだなぁ」という感覚を強烈に引き出してしまったのです。遠くの国、日本に生まれたわれわれにとって鉄が鉄びることはきわめて「あたりまえ」であり、われわれはさまざまな鉄製の「錆び」に日常的に囲まれています。

日常経験からでは想像しにくい大きさを持つATを、「鉄が錆びてわたちもの」として表現することでリアルな存在に見せる。さらに、サビの質感を単なる塗装で平面的に見せるだけではなく、「立体としての錆び表現」をすることでいままでに見たことのないリアリティーを演出する、これが本誌のダイオラマのテーマです。

あとはそれを音楽で説明せずとも説得できる演出をしてあげるだけ。さらにボトムズの世界観は遠いベトナム戦を連想させるジャングルの植物表現であったり、それを補にも平等に想像させる古代石象のディテールだったり、サビをきちんと演出する木の存在だったり、こうした風景が「リアル」を表現する助けになっているばかりではなく、単純に「興奮」としての楽しさを感じさせられるのではないでしょうか。

このロボットの設定や時代をまったく知らない人でも、ひと目見て「これは本当に鉄のような気、大きみたいだね」という感想がいただければ、今回の私が考えた「模型をリアル見せるには？」というトライアルは成功なのではないかと思います。

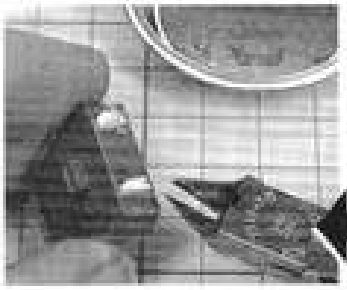
http://mikan.exp.com/

リアルに作る バンダイ1/20スコープドッグ 製作マニュアル 後編

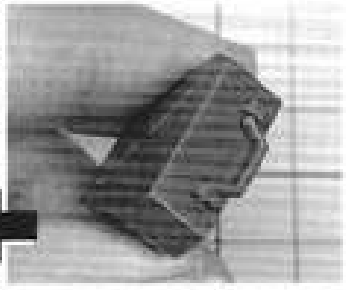
P.20-22から続く

前編では胴体内部の工作まで進みましたが、ここからは完成まで一気呵成に解説していきます！　まずは工作を終わらせて、じっくりと汚し塗装を楽しんでみましょう

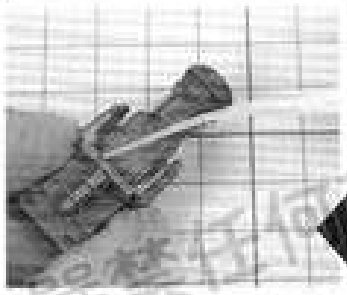
製作・解説　中嶋春彦



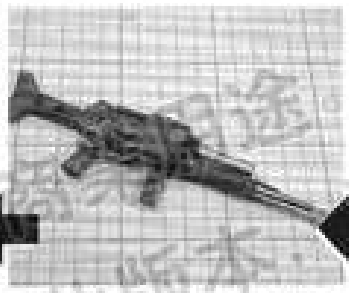
▲いったん切り取って整形後仕付け直したほうが、むしろ後にキレイに仕上がられる。穴が空いてしまうところはプラ板を貼って接着後整形しよう



▲マシンガンの弾倉は、取っ手部分を可動させるために複雑な形状の合わせ目になっている。そのままチマチマと整形してもいいんだけれど……



▲ここからはフレームの加工。胸フレームのG1/2（3/4）の合わせ目は完成後にもちょっぷう目立つが、入り組んだ場所にあるので……



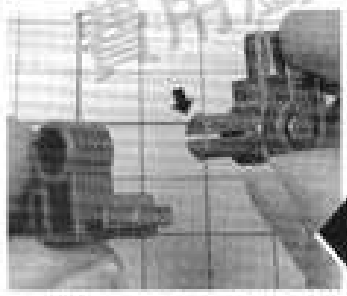
▲腕部分が終わったらいよいよ入念組みするが、今回はばっちりパーツ分割されているのを活かして、部分ごとに筆塗を塗りかけで接着することに

▲胴体や脚部などのボルトは今回は金属パーツが用意されたメタルスペックバージョンのものを使用。まったく整形しなくてよいのでかなり楽チン

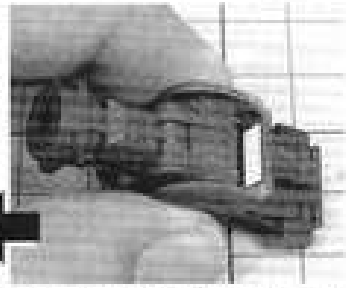
塗装して製作するなら「ダボ切りは必須！」

あこがれのバンダイのキットはまず初期、スーパーディテール仕様。もちろんそのままでもいいけれどもうちょっとだけ、の部分、塗装するとちょっと目が覚めた。

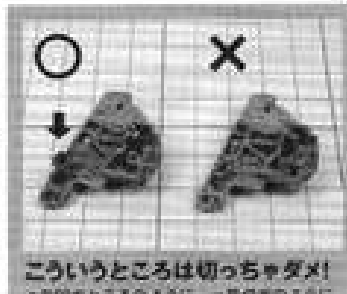
スミ入れの前に使うエナメル塗ったり塗はプラモ用のスミ入れ液をもちいるが、パーツを保持する力がかかっていないダボ穴の部分に向けて流れてしまうことがあるので、塗料がのって乾いてなったダボのなかなかあるとする。そこでダボ穴をアタマに切っておくことでかかるスを通りて塗料の流れを防止するのに、ダボ穴切って置くと接着みのときにパーツが外れない、りんでことなくなりの楽しやすいぞ。



▲可動関節パーツG33とG39（4G）のようなところはいったんはめたら何度もはずさないように、完成後も見える軸の断面は先に整形しておく



▲ダボ穴を使って接着し内部を整形したあと、内側はプラ板を貼って仕上げることに。プラ板はぴったりのかたちに作らなくてもあまり目立たない

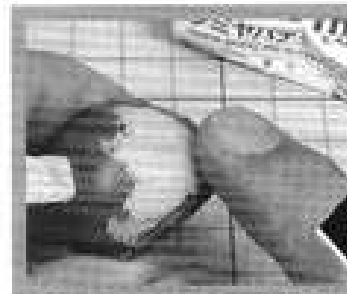


こういうところは切っちゃダメ！

▲矢印のところのように、一見ダボのように見えても可動部である部分があるので、説明書をよく読んで、間違えて切らないよう注意

ダボ同士の内側が当るように

▲写真のようにダボ同士の内側が当るように切ると力は逃げるがコルコルにはならないニッパーでちょっろ丸棒に切ってみよう



▲クニヤのラッカー系パテを表面にのばしていく。あまり厚くならないよう、けっこうラフに作業するのがコツ

▲ヤスりはパーティングラインをナイフで削ったカンナかけ、どうせパテを盛るのだ、凸のかたまりにならなくなる程度でよい

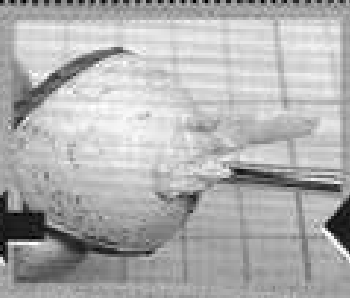
▲肩アーマーパーツは1パーツ構成なのだ、このようにパーティングラインが……、どう処理するなら「鋳造地」にしてみよう

リアルに見せる「鋳造地」って何？

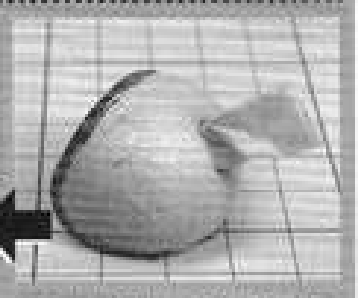
戦車の鋳造などで、型に流れた金属を流し込んで作るのが「鋳造」。とくに第二次大戦のソ連戦車の砲塔などによく見られるが、実車を見ると、その表面は想像以上にデコボコゴワゴワしている。キットの肩アーマーなどはこれをイメージしたであろう凸部がモールドされているが、もっと戦車っぽくゴワゴワにする方法を伝授しちゃうぞ。

▲今回はセグアーマーも鋳造地表面を施して、戦車っぽくなるだけでなく、ディテールのよいアクセントとなるはずだ

▲ヤスりのピークの部分が高さがばらばらになるように、スポンジヤスリで軽くヤスる。あまりやり過ぎるとわからなくなるのでご注意



▲筆塗りで仕上げてもよいが、表面を凹凸を出すために筆でさらっと軽くなぞるようにパテを盛る。もちろん筆塗りで作業してもかまわない

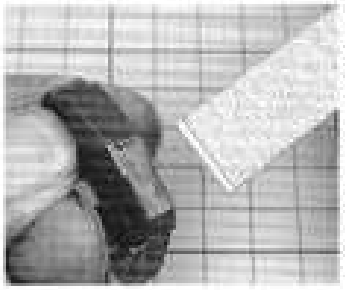


▲鋳造地にしたくないところはあらかじめマスキングテープで覆っておく。写真はパテがだいたい盛り終わったところ

http://mikaryexp.com/

降着機構はこの順で作ればぬかりなし！

このキットの最大のウリのひとつ、完全再現の降着機構だが、仕組みを読み込みが必要となる箇所や、外装と内装を塗り分けたいところなどがある。組み立てと塗装の順序をどうするかは迷うところだが、今回は一部を塗装してから組みたてることにした。フレームパーツを接着する場合、この方法がマスキングがいちばん楽だ。



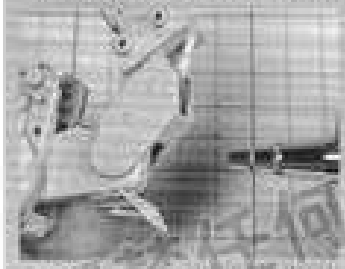
▲脚フレーム。D4+5（6+7）は中央に合わせ目がくるが目立つのでなるべく貼り合わせて整形しよう。なお、ガタがあるので注意

最近のキットは無闇に後ハメしないほうが吉！

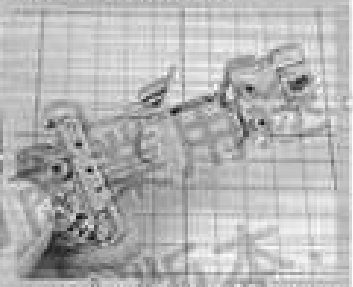
ガンプラをはじめとするキャラクターモデルでは、塗り分けが難しいところを後ハメにすることが多くあるが、最近のバンダイのキットでは後ハメはあまり推奨できない。とくにフレーム内蔵キットの関節周りは、計算あって「組めしたい」ってな場合ではないだろう。

無理しない理由は、せっかくもとと運動性の高い可動部となっているのに、後ハメ加工によって関節がヘタりやすくなってしまいがちだからで、めんどうなようでも、組み立て→塗装→マスキング→貼り込んで組み立て→塗装というような工程を踏むようにしたい。

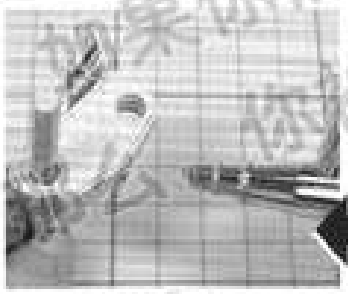
「それだと動く関節部が塗れないのでは？」と思われるかもしれないが、いったん塗った後に関節を動かして、塗れていないところを同じ色で塗れば問題なくキレイに仕上がる。この方法だと、たしかにマスキングの手間はかかるが、「仮組した目れと、関節がすぐヘタってしまってポーズが決まらない（泣）」なんてことのないよう、そこは手間を惜しまずに作業したいところだ。



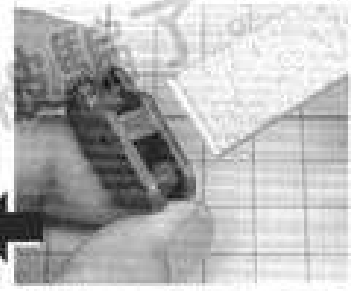
▲塗料が厚いと関節を挟んだあと塗れていないところができるので、その部分だけを塗れて塗装する。理由に、塗り残しがないか、関節を動かしながらよく確認しよう



▲キリなどのとがった先端で塗料をフレーム内パラ分け（完成時のクリアーパーツ内に「に塗がを色」で必要、見えなくなるところは適当

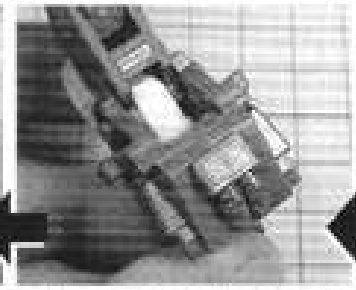


▲まずは組み込むD4+5（6+7）のフレームユニットを塗装。ここはスネで露出するので、外装色の濃いほうの緑を全体に塗っておこう

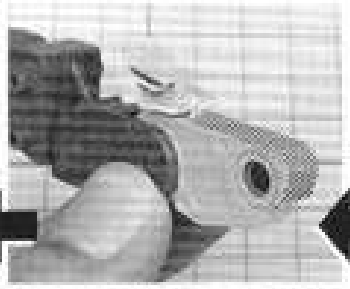


▲関節部分をきれいに整形しておくと、完成後の稼動感が大きく変わる。写真のような部分は、いったん仮組みしていっぺんに整形するとよい

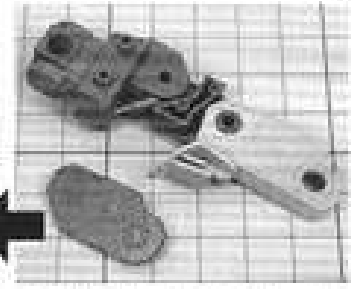
▲せっかく塗って仕上げるのだから、接着して整形することにした。まずは凸モールドはいったん無視して、削り落とし平らに整形してしまう



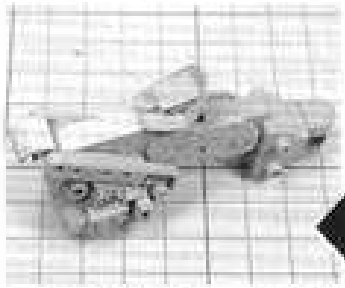
▲接着した際に見えるふくらはぎ内のフレーム部分は中央にパーツの合わせ目がきてしまっている。修正としょうがないところなのだが……



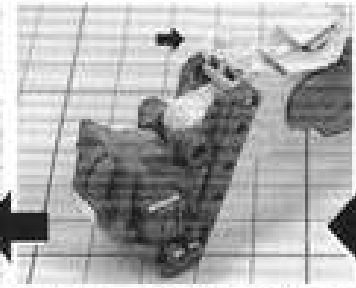
▲今回はマスキングの手間とフレームっぽさのかなめいを考慮して、斜線部だけを外装色にすることに。というわけで斜線部をマスキングしておく



▲塗り上がったフレームともも側のフレームをパーツH15、16（17、18で）挟み込む。パーツ同士の向きによく注意すること



▲ここまで組み上がったら塗装へ。関節軸の受けに削りはしをさすなどして持ち手を付けると、その後の塗装作業がしやすくなる



▲足首前面アーマーの基部パーツD14は挟み込みとなるが、先に外装色（濃いほうの緑）で塗っておき、接着をマスキングしてから組む

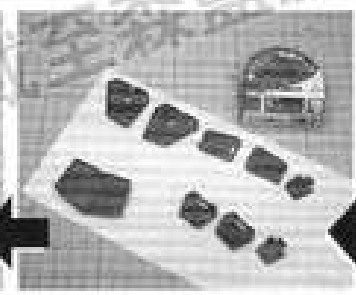
▲足がでたら、0.5mm厚のプラ板を四角く切ったものを貼ってディテールを復活。気にならなければ、平らなままにしておいてもよいだろう

フレームを接着しておくとヘタりづらくなって知ってた？

ガンプラはスナップフィットなので、ただかんたんにするだけなら接着剤は不要。ただし、力がかかる関節部などはどんどんパーツがゆるんでヘタって、関節がヘタる原因となるので、できれば接着しておきたい。

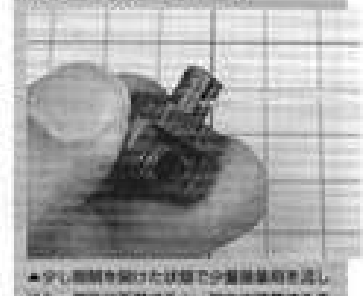
プラ製関節パーツもABS製関節パーツも瞬間接着剤でがっちりと接着でき、結構に関節がヘタりにくくなるが、可動部分に流れ込まないよう充分に注意するようにしよう。

▲塗り残しがないよう、外装は以外ほぼバラした状態でエアブラシ塗装。手間だが、最後に組んだときだらなのはいやでしょ？



▲脚アーマーパーツのように、薄かったりして棒状の持ち手がつけづらいパーツの場合は、両面テープで仮に貼り付けて持ち手とする

▲どうしてもパーツが多くなるので、棒状の持ち手をつけたものをスタイロフォームや発泡スチロールに差しておいて塗装すると事故がおきづらい



▲少し間隔を開けた状態で少量接着剤を流し込み、最後に乾燥すると、強力に接着することができるが、やり直しがきかないので作業は慎重に確実に行なうようにしよう

http://mykrycxp.com/

汚し塗装をするなら下準備が大切です

基本塗装が終わったらいよいよ汚し塗装（ウェザリング）に突入。ここでは5つのステップに分けて技法を積み重ねていきますが、みるみるリアルになっていく様は非常に楽しいものです。それぞれのテクニックには押さえるべき基本こそあるものの、最終的にどう汚すかはイマジネーション次第なのもおもしろいところでしょう。

◀基本塗装が終わったところ。微妙に色のトーンが異なってくるように汚し塗装をしていくので、基本塗装はあいまいな明るめの色にしておくと、今回はオールクレオスのガンダムカラー（ロングリーン（ミ）と白を混ぜて使ったが、ガイアノーツの黒色（ブラックグリーン）と、ライトグリーン）もまぜるとベター

▲1日乾かしてから全体にラッカー系塗料のツヤ消しクリアーを吹いてコーティング。乾かないとトラブルのもとになるので、時間を使いしっかりでないに乾るようにしよう

▲まずはデカールを先に貼っておく。密着させてしっかりでないに乾るようにしよう

「ウォッシング」と「フィルタリング」って同じことなんですか？

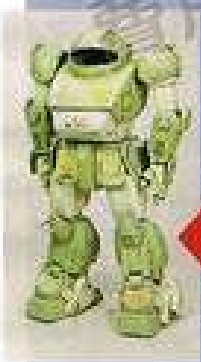
ARVモデルの記事を見ると、「フィルタリング」という技法が紹介されている。多くの場合ウォッシングと同様の作業を行なっていて、「何が違うの？」と思われた方もいるところ。ウォッシングというのは、おでも解説しているように、薄めた塗料を使って拭くという作業。白体を拭いてもいい。ただ、「フィルタリング」はもう少し広い意味を含んでいる。フィルタリングとは、その言葉のとおり（フィルター＝濾過）というように、ちゃんの意味から、直接的には塗料やパステルなどを用いて、ことさらの汚れを出したり、微妙な色彩のバランスを調整したり、はたまた光沢を強調したりというように、ある効果を狙う作業なのだ。

汚しのテクニック Step. 1 ウォッシング

「ウォッシング」とは、薄めの塗料を全体に塗ったあと拭き取ることで、スミ入れと同時に全体のトーンを整え、場合によって汚れが流れた跡なども再現する技法。

多くの場合はエナメル系塗料か油絵の具が使われるが、効果にそれほど大きな差はないので、どちらを使うかは好みでよいだろう。色は多くの場合焦げ茶色を使うとよいだろう。黒っ黒でスミ入れやウォッシングをするとスケール感を損なったり、単に汚く見えてしまう。

近い技法として、きち薄めにした同様の塗料を塗りっぱなしにするテクニックもあるが、これは拭き取りがむずかしい、入り組んだ場所に有効だ。



▲ウォッシングが終わったところ。基本色塗りっぱなしのときと比べると、全体に落ち着いた感じになった。あまり塗料が残り過ぎないようにしよう

▲「そこに水が流れたら流れる方向」を意識して、その方向にうっすらスジが残るように綿棒を動かし拭き取る。汚れたい場所のスジが残ったところでやめるのがコツ

▲スケールモデルのように全体に薄めの塗料をまんべんなく塗るのではなく、濃いめの塗料で描いたスジを、少量のうすめ液を含ませた綿棒で拭き取っていく

▲ARSパーツもあるこのキットでは多量のうすめ液を使うとパーツが割れる危険があるので、なるべく少量ですむように

汚しのテクニック Step. 2 ドライブラシ

筆に濃いめの塗料を付けたうえでほとんど拭き取ってしまい、ごく少量の塗料を表面に薄くのせていく技法が「ドライブラシ」。言葉のとおり乾いた筆で塗るということで、結果的にエッジにハイライトを入れることでディテールを引き立てる効果がある。

一時期ARVモデルでは、ボディにドライブラシを効かせた作例がスタンダードとなったが、最近は「やりすぎると嫌い意味で模型っぽくなる」という理由で控えめに施すのがトレンドとなっている。

▲ドライブラシはこのようにパッと見ただけでは、ちょっとしたハイライトが入っているかわからない程度に留めておくと、立体感は強調されるが、リアルさを損なわない。あくまでもほどほどに、がオススメだ

▲エナメル系塗料の下地の色に白を足したような色をごく少量含ませたエッジ部分の角を軽く何度か二往復でこすっていく。白色が目立ちすぎて浮いてしまうようでは塗りすぎ。

汚しのテクニック Step. 3 チッピング

「チッピング」とはハゲ表現でもまちまちと言い込んでいく技法。昔の「黒ハゲ＋シルバー」は、どちらかというとドライブラシに近い技法だったが、最近はひとつずつ描き込んだほうが圧倒的にリアルということで、ARVモデル界ではこちらが主流。なお、エナメル系塗料の濃いめのグレーを使う場合が多い。

チッピングは絶対にやらないといけないというものではないし実物があってもこんなにハゲないかもしれないが、非常に見映えがするテクニックだ。

▲面相筆で細い線がスーッと引けるくらいに濃度調整したエナメル系塗料のシャープペンシルでひとつずつハゲを描いていく。リアルにするコツは徹底にランダムに描きまくること。パターンが同一になってしまうと（×の写真）わざとらしくなってしまう

http://mikaryexp.com/

汚しのテクニック Step.4 鉛筆汚し

鉛筆はありふれた筆記用具だが、模型製作ではなかなか役に立つマテリアル。汚し塗装でも、こすれて金属感が出たところの表現などには最適だ。使い方はいたって簡単で、こすりつけるだけ。やり過ぎたら消しゴムで戻れるが、ポイントを絞ってやり過ぎないほうが雰囲気よく仕上がるだろう。

▲もちは陸軍時に使用するところなので、機能的なアクセントとしてハデに汚してみた。暗くエナメル系の茶色でチッピングした後に鉛をこすりつける

▲鉛筆をパーツに面にこすりつけるだけでなく、芯ごと芯をいったん粉状にして、それを筆などでこすりつけることひと味違った質感にすることもできる

▲鉛筆は芯が柔らかい2B～4Bが使いやすい。地面と接触したり、人が乗り降りするところなど、こすれそうなところを見極めて施すのがミソ

汚しのテクニック Step.5 パステル汚し

パステルは絵画に使う顔料を固めて作ったチョークのようなもの。これを粉末にしたものを塗り付けたりこすりつけたりすると埃やホコリ、サビなどを簡単かつ高リアルに再現できる。なお、泥が固まった状態などは、アクリルうすめ液やマットメディウムを混ぜて溶いたものを使って使う。

▲今回は濃いめの顔料を不均一に塗って濡れた部分を表現する。実際に濡れていなくても乾燥色になるとされているように見えるので不自然に

▲1色だと単調になるので色味が異なる2色を混ぜて使用した。まずは汚した箇所周辺をアクリルうすめ液でぬれたものを塗り

▲今回使ったのはMG Productionsのピグメント。ピグメントとはパステルの顔料だけを粉末の状態にしたもので、いちいちボトルにすり下ろす手間が省ける

武器をリアルに汚すコツは？

スコープドッグ本体はいい感じに汚れているのにマシンガンが新品塗装のままっていうのは違和感ありまくりになってしまう。手で触るところや本来は金属製であろう部分を中心にドライブラシなどを施して使用感を出すとよいだろう。

▲ストックや銃身カバーは実銃では樹脂製のことが多い。ユニットごとに質感や色味を変えるようにして、樹脂製と思われる部分はハゲ表現は施さないのがコツ

マーキングのハゲはナイフで削る!?

ここまで紹介したようのステップを駆使してリアルに汚すと、マーキングがそのままではさまだけ浮いてしまいかえってリアル感を損なう。そこで、ハリハリに汚す場合は最初にクリアーでコートしたあとにナイフでハゲを付けておこう。

▲ナイフでカンナがけする要領ですこしずつ削っていくとそれらしくハゲる。あまりやりすぎると逆に汚らしくなってしまうので、ほどほどにしよう

あたりまえだけどできあがると幸せ！

文／中岡春彦

とりあえずパチ組みしてみて「このキットもいいじゃん！」なんて事を言って言ってたんですが、最近のバンダイのプラモデルなんて、塗装までしたことなんてなかった自分にとっては、あらゆる作業が初体験な感じでした。MVを作るだけならまずやらない作業の連続でしたが、振り返ってみるとこうやっていろいろ工夫したことっていうのは必ず何かしらの形で自分のなかでフィードバックされると思いました。たしかに塗装して仕上げるのは、パチ組みと比べれば格段に手間がかかりますが、完成後は大きなよろこびが待っているはず。とくに汚し塗装はみるみるリアルになって面白いので、みなさんもぜひ体験してみてください。

というわけで1/20スコープドッグ できあがっちゃいました！

というわけで、バンダイの1/20スコープドッグが完成なのだ！　順を追って工作、塗装していけばそれほどむずかしいところはないキットなので、基本に忠実に製作してみてくださいね。

http://anyikq.yexp.com/

バンダイ1/20ATはストレート組み＋汚しでここまでリアルになる!!

この曾山氏の作例（P12～13にも掲載）は、工作に関しては、ここまでで製作法を詳しく紹介した中島春彦氏の作例と同様に、ほぼキットストレート組みとしているが、塗装に関してはバリバリの汚し塗装で仕上げていただいた。現役APVモデラーの面目躍如たる緻密なウェザリングは非常に参考になると思うので、じっくりとご覧いただきたい。ポイントとなるのは、チッピングや配線汚しを駆使した「ハゲ」の表現。塗装とハゲチョロにするのではなく、人が触る手すりや降着時に地面に触れるもの、開閉するハッチのフチなど、いかにもハゲそうな部分がきっちりと表現されている。なお、最近のAPVモデル製作シーンの最前線では、「実物の装甲はそんなにハゲない」ということで、さらなるリアルさを追求するためにあえてハゲ表現をしないモデラーも増えているが、実物の引き写しであることと模型の「リアル感」は別物。とくに実物がないロボットの場合は、どれだけ「それらしい」かが、リアルに見せるポイントとなるだろう。

汚し塗装のプロが魅せる
リアルなAT塗装参考用作例

ここまでは製作テクニック、とくに汚し塗装のノウハウを紹介してきましたが、これらのテクニックを駆使したスコープドッグをとことんリアルに見せるための参考作例を掲載します。製作するは「アーマーモデリング」誌で活躍中の曾山 学氏、その汚し塗装に要注目なのだ！

ATM-09-ST スコープドッグ
出典：「装甲騎兵ボトムズ」
バンダイ 1/20 インジェクションプラスチックキット
発売中 税込7350円（㈱バンダイ ☎03-3847-5116）
製作 曾山 学

SCOPEDOG ANATOMISCHE TABELLEN

ATM-09-ST SCOPEDOG
from "Armored Trooper Votoms"
BANDAI 1/20
Injection-plastic kit
Modeled by
Manabu SOYAMA

http://anyikqr.yexp.com/

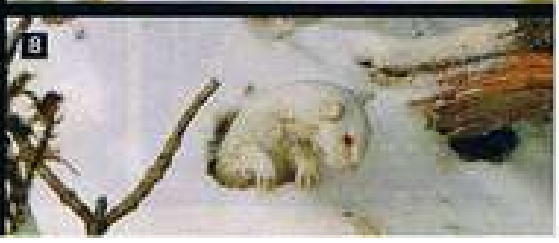
雪原で闘い、生き延びる――ダイオラマという名の思考実験

■ダイオラマの全体像。広告版の変哲しかないベースから大きくはみ出した木が空間的な広がりを演出。たなびくマント、ATにへばりつく氷、そして背景に吹き流される雪といった要素のベクトルをそろえることでそれ自体目には見えない「風」を感じられるダイオラマとなっている。基本的には不定期連載の「円形劇場」と同じ考え方で構成されており、どの方向から見てもストーリーが伝わってくる巧妙な配置となっている■ATにはLEDを使用して電飾加工されたランタンがぶら下げられている。雪原には欠かせないアイテムだ。そして雪にはピバークのために張られた雪洞が、ATから伸びたケーブルによってヒーティングシステムが稼働していることが分かる。パイロットは不在だがドラマを感じさせる■たくさんのアンテナが生えた装甲指揮車。レインボーカラーに順次切り替わるLEDで、雪の中に埋め込むことによって雪の日さのなかにしみ込むように発信する。さきほどのランタンや雪洞と合わせ、雪中行軍で遭難したというシチュエーションがストレートに伝わってくる■背面よりATの全体像をのぞむ。被弾は外装と装甲の厚さかさを感じさせる両手両足のウームスーツのコントラストがおもしろい■マントは防雪シートという設定。アクリルガッシュで深く塗例した濃いめのボンドをティッシュにしみ込ませ、ハンガー等に吊るす。天日で乾かせ、雪解さの状態で整形。この方法なら塗装済みの本体への影響がないと、雪というマテリアルを自由自在にコントロールできる■採用した発泡、キット状態で内部フレームが再現されているが、さらに大小の配管を追加することでリアリティを演出している■■■小小の動物たちは、動きネズミやテンをイメージした仮想の生き物■■■■■■電源を切ってONにするとダイオラマのイメージ通りがらりと変わる

ATM-09-ST スコープドッグ
出典／「装甲騎兵ボトムズ」
バンダイ 1/20
インジェクションプラスチックキット改造
発売中 税込7350円
（㈱バンダイ ☎03-3847-5116）

製作／WildRiver荒川直人

ATM-09-ST SCOPEDOG modification
from "Armored Trooper Votoms"
BANDAI 1/20 injection-plastic kit
Modeled by WildRiver Naoto ARAKAWA



http://anyikqr.yexp.com/

機体内部にはアラートオレンジのシートが、無機質なディオラマの中にこうした色を配置することで緊急事態であることを演出。背部のリマーリングガンの冷却防止装置や大型ビーティングシステムを搭載したという設定のエクストラバックパックを新規に作成。無数のケーブルが外部出力可能な機器としての機能を物語っている。腕部トリングガンはグフカスタムのものとコトブキヤ製アーマードコア用武器セットのパーツを組み合わせて製作。廃棄したATの代わりに武器を使用しているというシチュエーションに。

関節部して入れられた面は、断熱した金属の様で入っている。めくれ上がった部分は溶解した金属の液が露出しているのに注目。足やスカートなどのこまかな面は、塗装後に指の感覚のバランスを考えながらよく研いだカッターの刃を効率く動かして入れた。面の部分には細い線を使って溶接の痕跡の点をペトロールで描くしたものを流し込むと、面の盛り上がりとシャドウ部分が強調される。背部バックパックはスコープドッグのパーツを組み合わせてセミスクラッチビルド。メッシュ部分の焼けた表面や内部の溶けなど材質感あふれる表現が作品のリアリティーを高めている。

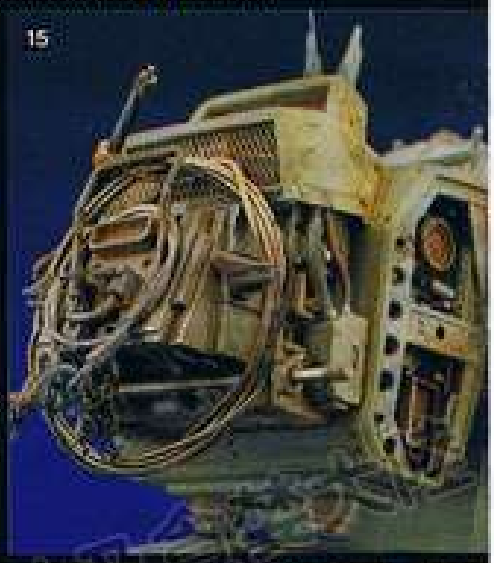
装甲アーマーの厚さは前方にないもの。自分に絶対いるものを作ることで前方から敵弾が飛んできたという状況を想像させる。

機体はバイザーのレールに沿って特殊のディテールを追加。ヒンジ部分もあらためて取り直しを配置にして個性的なシルエットになった。ターレットレンズはATの視界を決める重要なパーツ。ほんのすこしの位置を変更するだけでもこれだけ印象を変えられるのだ。

胸部入り口部を持った胸部パッチ上部には弾痕やレインマーク（上下方向に流れる汚れ表現）などで情報量を付加している。

第一回ディオラマとして仕立てる前の状態。上腕や太ももにウォームスーツをかぶせ、足にスノーシューを履かせたことでカッコいいシルエットになっている。好みに合わせてプロポーションそのものを変更するのはキャラクターモデルに限らず有効手段だが、装備を追加することでもモデルの印象を変えることは可能なのだ。

SCOPEDOG ANATOMISCHE TABELLEN



http://miliblog.exp.com/

焼け、錆び、剥がれる――スケール感あるテクスチャーの表現

ATM-09-ST スコープドッグ
出典／「装甲騎兵ボトムズ」
バンダイ 1/20
インジェクションプラスチックキット改造
発売中 税込7,350円
（㈱バンダイ ☎03-3847-5118）
製作／荒木 智

ATM-09-ST SCOPEDOG modification
from "Armored Trooper Votoms"
BANDAI 1/20 Injection-plastic kit
Modeled by Satoshi ARAKI

■レンズガードは真ちゅう線を使って自作。ターレット基部も大型化している。前部ハッチにはライトを設置している。どれも劇中での戦闘に適した装備を考慮した改造箇所に

■砲塔部カバーには実際に布を使っている。ただカバーを付けるだけでなく、部分的に開くことで時間の経過を演出

■ボルト部分から流れ出る錆びや、水に濡かって塗料が完全に落ちてしまったところなど、部位によって変化をつけた塗装。塗膜がめくれ上がっているように見える部位は荒木氏の得意とする「ダイレクトカッティング法」である。塗装前に、カッターを使ってプラスチックの表面をめくるように傷を付け、その上から塗装するというコロンブスの卵的な発想

■水面に浮かぶ藻の葉は、ドールハウス用では定番素材である「植物粘土」を利用して製作。表面にはポ[illegible]の表現が

■ヤシの木はプライヤー製のものを使用。スケール的にはピッタリで、今にも葉をかきわけて人間が出てきそうな雰囲気だ。より実感的にするために、中央部分の葉を丸めてある

■遠景にひっかかってとって上に跳ね上がったスカートと前後の脚部に付いた泥跡の筋や葉が絡もっている様子を再現。土部で設った粘土質汚りの土をアルコールで溶解してかけ流している。天然素材はリアリティの向上に貢献しやすい

■青々と茂る植物たちと朽ち果てたスコープドッグの対比。グリーンだけでまとめられたダイオラマだが、色彩の様を豊かにすることで表情豊かなダイオラマとなっている

■脚部や前側面など一部の装甲は剥がれ落ちた状態とした。こうした表現ができるのも内部構造まで再現されたキットの楽しさといえるだろう。機体上部は荒廃した雰囲気だが、脚回りはややツヤのある質感で湿度を感じさせる塗装となっている。内部メカが露出した部分には汚れを付着させるなど「泥水と金属が接けている状態」にせめよう配慮されている

■上空から放たれた砲弾を浴び、胴体の装甲が残る機体上面。それぞれの弾痕から流れ出た血びはそれぞれの面の傾斜を考え、重力方向に落ち込まれている。前部ハッチや前面の装甲が破損して外れているのは装甲深が見通し、内部で爆発があったことを表出している。本キットの特徴である「ボルトオンスナップ」をうまく利用した表現だと言えるだろう

■ヘヴィマシンガンはショートバレル化した。バレルは長砲になるため太く削り、そこに傷跡が残いた状態で塗装。その他の部分は半ツヤの塗装にグレーのチッピングを入れることでアルマイト加工のような表現感で仕上げた

■装弾帯はスカルピーで製作したものを型取りしてキャストで量産したもの。まもなく開催されるワンダーフェスティバル2007［夏］の［G-shop］ブースにてキットを販売予定

lMpl://myibkpycxp.com/

[特別座談]

"リアル"を追求するふたりのAFVモデラーがいま改めて見直す「ボトムズのリアル」

SCOPEDOG ANATOMISCHE TABELLEN

ここまで《リアル》を切り口としてボトムズの作例群を紹介してきたが、普段、めちゃくちゃリアルな戦車やダイオラマを日常的に製作しているAFVモデルの達人の目に、ATの模型はどのように映ったのか？ 「外から見た、ボトムズ模型におけるリアル」を、本特集で作例も製作した土居雅博と尾崎正登の両氏に語っていただいた。

土居雅博（以下土居） 今回かなり久しぶりにキャラクターモデルの作例を塗ったんだけど、はじめは相当編集も「とにかくリアルに塗ってください！ 土居さんならできるはず」の一点張りで、暗中模索からはじまったような気がする。

尾崎正登（以下尾崎） 私はもともとトラックやジープみたいなものが"絵"がつくくらい大好きなので、なんとなくノリがいっしょというか、とっつきやすかったけれども、では具体的にどうすると考えるとやはり手探りだったように思います。ディテールを改造したり追加しようと思っても、資料参考になるものがあまりないので、けっこう迷いました。

土居 1／24モデルの汚し塗装をはじめたときは「ここの部分が何かわからないとどう汚れるかわからないから汚せない」って思ってたんだけど、それって最近のAFVモデルの汚し塗装の「解像度」の高さをそのまま持ち込もうとしたからってまどってたんだろうね。途中であまり深く考えすぎないようにしたら驚がすいすい進むようになって楽しくなってきた。

尾崎 同感です。

土居 今回作例を塗るってことになったので、参考までにキャラクター系雑誌の作例を見てみたんだけど、久しぶりに見てけっこう驚いた。塗装を含めた《リアル》な表現という意味ではAFVモデルの感覚で言うと20年くらい前の感じなんだね。

尾崎 バーリンデンがドライブラシをはやらせたころみたいなノリですかね。

土居 まんべんなく軽くウォッシングをして、ドライブラシをして馴染ませ、っていうような感じで汚し塗装の技法の要素がふたつくらいしかないんだね。だから組み合わせてみてもみんな同じようになっちゃうし、《リアルさ》という意味でもいま一歩。

尾崎 自分は特定の車両に入れ込むことがあるからなんとなくわかるんだけど、あくまでその対象物がほしいだけで、《リアル》な模型ってところまで行き着かない人が多いのかもしれないですね。

土居 手前味噌だけど、AFVモデルの世界ではこの20年の間に「パステル」「チッピング」「フィルタリング」みたいな技法が次々と編み出されてきて、いまはそれを複合的にどう使い分けるかでセンスが問われる時代になっている。うまく使いこなせれば、個性あふれるとても《リアル》な模型を作ることができるんだけど、ちょっと敷き詰めが多くなっているというか、そういう感じはあるね。

尾崎 《リアル》に作るということでは、塗装だけじゃなく、ディテールの面も20年前と同じだな、と感じました。私は今回スコープドッグに荷物を積んでみたんですけれど、戦車や兵員を乗せる運用トラックみたいなものがあったら、商品アフターパーツなんかで、車載の荷物を積んでみるなんて、初歩の初歩ですよね。だって、実際に使われている現場では何も積んでいないなんてことはないんだから。

土居 車体のディテールにしてもそうだね。最近の1／35はかなりこまかいところまで造形がモールドされているのは当たり前だし、もし再現されてなくてもノウハウがあるから、ちょちょっと追加しちゃうぞしよ、まういうのがちょっと新鮮に感じてるAFVモデラーもいるみたいですけれど、

尾崎 今回そうやってちょちょっと荷物をパテから作って見せたら、編集部のキャラクター系の編集者が「すごい！」ってしきりに関心してたけど、あまり驚くんで逆にこっちが恥ずかしくなっちゃたよ笑。「ああ、このレベルからスタートなんだな」って思いました。

土居 今回の特集で、どちらにしても、ボトムズを《リアル》に作る作法は、いまでの20年間でまったくといっていいほど開拓されてこなかったっていうのを感じたなあ。どっぷりAFVの世界だけにいる

http://mikaryexp.com/

ボトムズのリアル

「はじめは暗中模索だった（土居）」「《リアル》のスタート地点がなかったのかも……（尾崎）」

とかいう作品って日々変動されていくものだったり音になっちゃうじゃない。

土居 現時点での感覚としては、ボトムズの制作は予期以上におもしろかった。僕はボトムズがことはよく知らなくて、「主題」だって「アニメでしょ？」と思っていたから。でも、ガンダムのモビルスーツなんかと比べると1／20とか1／24っていう「人の大きさを感じさせる」大きさの設定だということもあってか、ディテールがアニメロボにしては生々しいのね。だからAFVモデルを《リアル》に作る考え方だけにこだわらないようにしたら、意外とウェザリングもしやすかったしね。

尾崎 前回編集さんと話していて、もうひとつ「なるほどなあ」と思ったのは、《リアル》に作るときの「スタート地点」のことだね。私たちみたいな後っからのAFVモデラーは、機動を作ったり汚したりするときに、まず「どこで使われていたか？」って考えますよね。どうやらキャラクター系モデラーって、「宇宙で使ったか地上で使ったか」ぐらいは考えるんだけど、それは上は自分のなかで設定しないみたい。

土居 言われてみれば、まず場所を考えっていうのは、僕たちの場合、もうすでに習性になっているかも。AFVモデルがうまい人の場合、「土」とひとロにいっても、ヨーロッパのどの地域の土なのかを設定してそれぞれの色や質感を表現したりする。逆にどこで使ったか設定しないで作れって言われても困っちゃう。

尾崎 今回私が作ったスコープドッグは砂漠での強襲戦仕様をイメージしているんですが、「砂塵」「強襲」というキーワードから、「単独で移動するから荷物をたくさんしょっている」ことや、「色は砂漠のピンク」だとか、はたまた「砂塵は車両部が長くないと砂にもぐっちゃうので補助の車輪を付けて対策」なんてアイディアが盛り込まれてくるわけで、とにかくまず使われている場所を決めないと何もはじまらない。

土居 たとえば泥がついているといっても、いままさに泥のなかで戦っているところを再現したいならば塗れたような泥の表現がいいし、激戦を終えて基地に帰還したところにするならば乾いて部分的にこびりついた泥になる。臨機応変にどちらでもいいんだけど、「スタート地点」を設定してあげると、そのあとあまり迷わないで作って行くことができるし、できあがりもちぐはぐにならないよね。

尾崎 もともとAFVは実物があるから「スタート地点」をあいまいにしても、特定の実物を引き寄せればけっこうなんとかなっちゃうところもあります。調べれば正確な形状や機能がかなりわかっちゃうじゃないですか。それで、「ここは●●●でこういう機能があるからこう汚れるはず」っていう考え方をしていけば、AFVモデルの汚し塗装はここ10年くらいで技術が飛躍的に向上しちゃったから、1／35であれば、やろうと思えば本当の意味で相当《リアル》にできちゃう。

土居 当たり前なんだけど、実物があるかないかっていうのは、機動を作るときには大きく違うところだね。

尾崎 基本的に実物が存在するAFVでも、もちろん特定の車体を追いきれない部分を想像で補うことはあります。第二次大戦の戦車を作る場合は、いま生で使っているところを見ることはもちろんできないから、そこは想像で補っていますよね。

土居 いまを見ることができる現用車両たって、車体ごとに違う車載品なんかを完全に追いかけるのは無理だから、想像の部分が大きい。でも、実物があるから、想像するにしても「縛りどころ」がある。ボトムズを作るのとはぜんぜん違うね。

尾崎 私の作例は、実在するイギリス軍の車両をネタにしているけれど、考察をうまく抽出しないと参考にはなりませんでした。

土居 ボトムズにかぎらずアニメのメカを《リアル》にしていこうと思うと、そうやって実物の考察を変換して参考にすることがいちばんの近道なのかもしれないね。直接実物を参照してそのまま作ることはもちろんできないから、まずは劇中のシーンなんかから使っていた場所を想定して、それを取っ掛かりにする。それだけでもいままでと比べれば格段に《リアル》にすることができるんじゃないかな？ ■

●AFVモデル専門誌『アーマードモデリング』のスーパーバイザー土居博司さん。ウェザリングの表現技法は

●世代の異なる機動警察パトレイバーのパンダイ1／20を製作した尾崎さん。自作はトップスの装甲板を取り付けるタイプのAFVのようだ。

●世代の異なるスコープドッグ。ボディ表面のディテールは、ディザキャラクターのようにはっきりとしていたりと、ディテールの表現方法が異なっているのが面白い。

▶大河原邦男氏によるAT（スコープドッグ）のプロトタイプの模型。大河原氏は現実化が決定しているメカのデザインを手がける前には補足用として設定模型を製作することを常としていたが、現存するものはほとんどなくこのモデルは本時期発見時に整理した元タカラの故 佐藤氏が保存していた貴重なもの。素材はキャ金属でできており、各関節は！軸式の関節機構が仕込まれており可動する。全重は約21kg。そのボリュームはほぼバンダイ製1／20スコープドッグと同じで模様薄い。本製モデルでありながら精密の極い造形物として仕上がっており、ATというデザインの原点をここから読み取ることができるだろう

SCOPEDOG ANATOMISCHE TABELLEN

http://mylibrary.exp.com/

エムジー メガミックス

INFORMATION COLUMNS NEWS and MORE

[CONTENTS]

THE COCKPIT■東海村 原八 41
SPIRIT OF GUNDAM 42
世界の知っ作戦■[illegible] 43
Lets TRY ビギナーズ!「実録版」■[illegible] 44
こんな◆◆ほしいっス!■[illegible] 45
雑多えんたあていめんと■[illegible] 46
新星安卓通記 スタトレ戦記■[illegible] 47
プロップ万歳!■[illegible] 48
20世紀のプラモデル戦争■[illegible] 49
月刊シュトラール通信■[illegible] 50
日のあ戦ギャラリー■[illegible] 52
月刊ジョイフル[illegible]■[illegible] 54
今月の[illegible]■[illegible] 55
インプリメーション 56
[illegible]■上村アキヒロ 57

THE COCKPIT ザ・コクピット

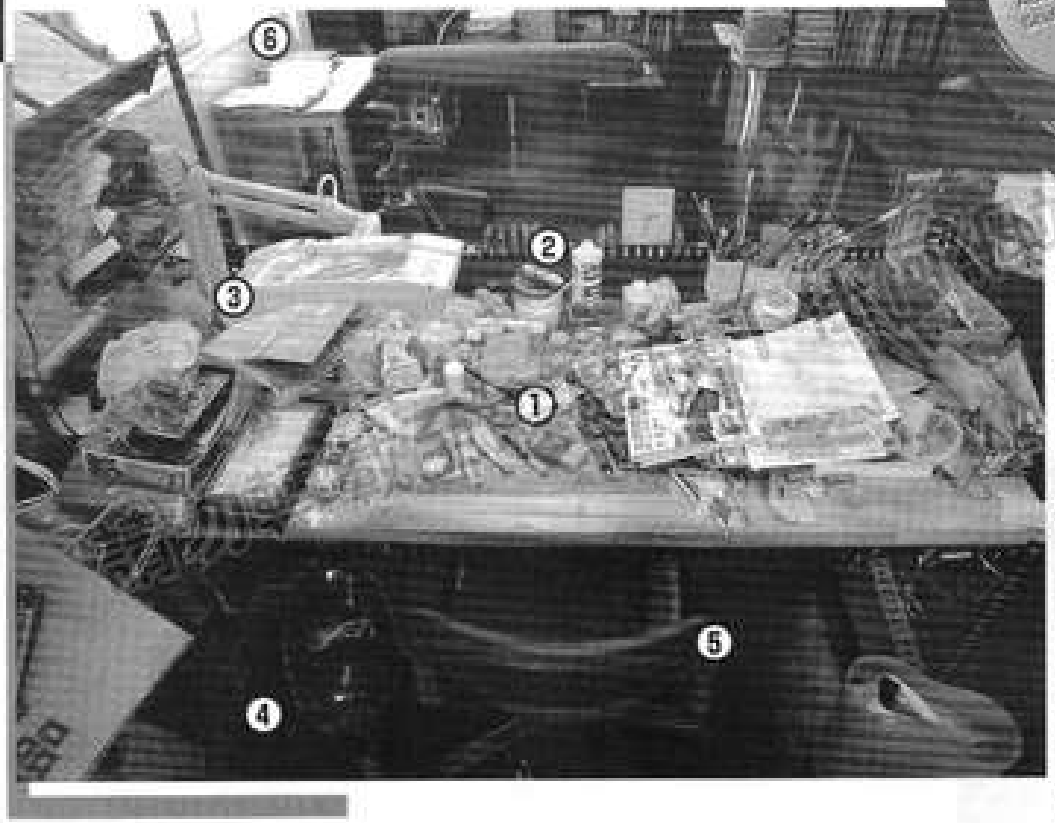
Chapter.002 ～モデラーの聖域（サンクチュアリ）～

東海村 原八（とうかいむら げんぱち）●1968年生まれ。学生時代からワンフェスに参加。モーターヘッドの原型がスタートだが、流れ流れて食玩や美少女フィギュアの原型師に。模型サークル「模型の王国」フィギュア模型のHow to講座「模型塾」を主宰。
http://www1.ttcn.ne.jp/~moke/

脱サラ・独立・フリーランス原型師となって暮しくも10年目（BGMはエガシカオ「HOP STEP DIVE」）。学生時代から本読やらワンフェスに出入りしてたのく、ライター歴を入れると10年が、寂しくて、「社会」が恋しくなって、あるいは食えなくなってあっさりサラリーマンに逃げ帰っていくのかなぁ……とも思ってたんですが、ありがたいことに、食玩ブームは現在の勢いと状況に乗まれてどうにかサヴァイヴしてこれました。「人間的に寂しい」という問題のほうも人と会う機会は確かに少ないものの、まあ少数しいネット友がいるためできたりしたりこれまた解決。「20年前だったらこんなライフスタイルは成り立たなかった」という意味では、まさに電脳&オタク世代の申し子なんでしょうな、フリーの原型師ってのは。

というわけで、昼間に寝ぼけてすちゃんと理解事者とかもしてるんですが、その翌日のスケジュールといえば、朝起きる＝模型製作に寝る……と、見た目上は引きこもり、近所の人も不審がってる、現代版事も、プラモデルにガレージキットと雑誌もゲームの山。それらの下には万年床、その手のドキュメンタリー番組で顔にモザイク入れられて、DQN系の更正施設の校長に引きずり出される若者がこもる「コトモ部屋の長としてのシェルター」っぽくなってます。いまの課題は、そういう匂いを出さないようにがんばる感じ？　そうでなくても、美少女フィギュア原型師、なんていうおそらく世のなかでもっとも地に足がついてない職業（ある意味、宇宙プロデューサー、と同じくらい足の裏が地面から数ミリ浮き上がってる）ゆえ、せめて一日を過ごす仕事場くらいは「職人らしい現場感」にしたいなぁ……と思って、大きめの机をアングル材で組んだりしてますが、使い勝手上の工夫とかはあんまりなし。

というか、ひとり暮らしだと、住居兼仕事場の設定まで全部自分ひとりでコントロールできるもんで、コクピットの範囲が生活空間や暮らし方全部にまで拡張してくるから、むしろそのへん（洗濯機はあえて買わずにコインランドリー！）とか、を詰りたくなるんですけど、そんなの普通のモデラーは聞きたくないよね！……。



①150cm×60cmの自作机。でもけっきょく作業スペースは真ん中の30cm四方
②愛用のノンシル・ポリエステルパテ。最近硬化剤のタイプが変わったようで、すごく固ってる
③拡大鏡。高かったわりにあんま使ってない。
④接着剤、ヘッドを外して、机上のホリバタ粘着剤を用
⑤椅子。イトーキのパーチブラー1。あさのまさひこの絵ので設計出しのころに買いぶん無理して買ったけど、すごく仕組がよくて自分に向は向いました
⑥PC。hpの型番ノートを愛用。いまや睡眠切りの相棒も飲みのお酒いも全部ここから――

男のこだわりの一品

いまの部屋（賃貸雑居ビルの一室）がどうやらに前は飲食店だった時期があるようで、厨房に残っていた業務用フードを利用し、段ボールを風呂状に組み合わせた塗装ブースを自作。30cm角の扇風機は安くてパワーを誇が、一台のサーフェイサーもモリモリ吸けます。

http://mylist.yeap.com/

SPIRIT OF GUNDAM

Plastic models, figures, tools, events, DVDs, and so on.....

ガンダム関連情報発信コーナー

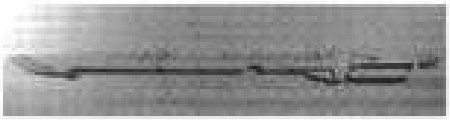
問合せが殺到の為、問い合わせはバンダイホビー事業部 ☎03-3847-5116

マスターグレードシリーズ101作目はデスティニーガンダムに決定!!

■マスターグレード デスティニーガンダム
(1/100・10月発売予定・予価税込5040円)

νガンダムに続くマスターグレードシリーズ101作目は「ガンダムSEED DESTINY」に登場したザフト最強のモビルスーツ、ZGMF-X42S デスティニーガンダムに決定した。今回はイメージイラストと形状検討用試作を紹介しよう。

▲▼マスターグレードシリーズ101番目となる本作。開発の初期段階で「機動戦士ガンダムSEED DESTINY」のチーフ作画監督である東梅修氏とバンダイの開発スタッフとの間で今後のコンセプトイメージを共有するために描き下ろされたイラスト。このイラストを元に形状が検討され、MG用のディテールアップを施された詳細な開発用原型がピークラフトにより作成される。アニメ版設定画にくらべて胴部のシルエットが強調されたメリハリのあるシルエットになっている



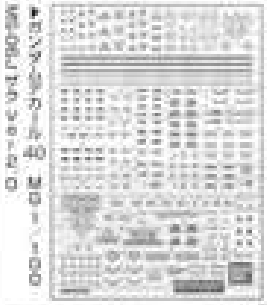
◀▼画像はバンダイより送られたもので、形状検討用試作がすでに作成されていることを予感させる。ボリュームある上半身にコクピットが収まる様子などが見て取れるが、大きなアクションを伴うことができそうな関節のギミックも検討されているようだ。付属武器の充実ぶりや腕の関節構造など、どのような仕様になるのかいまから楽しみだ

この夏最大のガンダムイベントを見逃すな!!

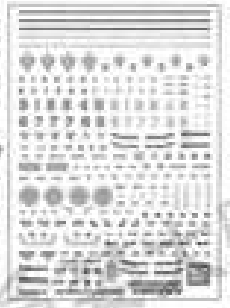
■8月11日より池袋サンシャインシティで"ガンダムEXPO 東京2007"が開催される。マスターグレードシリーズ100アイテムの展示はもちろん、27年に及ぶガンプラの歴史、ますます充実するHCM Proシリーズ、今年で20周年をむかえたBB戦士シリーズの紹介などなど盛りだくさんの内容。さらに新番組「機動戦士ガンダムOO」関連アイテムも発売直前の商品が展示されるとあって、ガンダムファン必見のイベントとなりそうだ

ガンダムEXPO 東京2007
開催期間：2007年8月11日(土)～8月16日(木)
会場：池袋サンシャインシティ 文化会館2階 展示ホールD
入場料：無料
問合せ先：
～8月10日 ☎バンダイお客様相談センター ☎04-7146-0371
8月11日～8月16日 ☎ガンダムEXPO東京2007事務局 ☎03-3969-3543

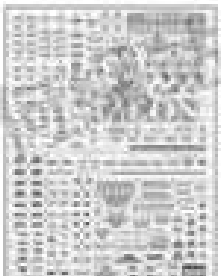
水転写式のガンダムデカール最新作が一挙6点登場！ デザインをチェック!!



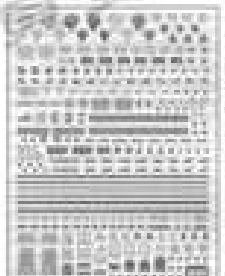
▶ガンダムデカール40 MG1/100 ZGMF-X42S デスティニーガンダム用



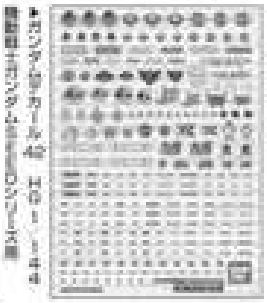
▶ガンダムデカール37 HGUC1/144 ギラ・ズール用



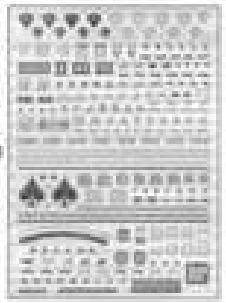
◀ガンダムデカール41 MG1/100 ZGMF-X42S デスティニーガンダム用 MG1/100 MG1/144 ガンプラ用デカール用



◀ガンダムデカール38 HGUC1/144 ギラ・ズール用



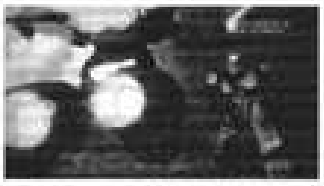
▶ガンダムデカール42 HG1/144 機動戦士ガンダムSEED DESTINYシリーズ用



▶ガンダムデカール39 HGUC1/144 ギラ・ズール用

稼働開始！ 富士急ハイランドの新アトラクション『ガンダムクライシス』最新画像公開なのだ！

■富士急ハイランドの新アトラクション、『ガンダムクライシス』がついに稼働を開始した。この夏、フルスケールのガンダムに遭い合える！ (問い合わせ先：http://www.fuji-q.co.jp/)



▲アトラクション内の新作映像制作はサンライズが担当。モビルスーツの映像表現はオール3DCG制作で、新作2Dアニメパートも追加
◀見よこの迫力！ これが噂の大ガンダムだ

©創通・サンライズ
©創通・サンライズ・毎日放送

https://anyikuy.exxp.com/

No.147

世界の駄っ作機

イラスト・文 岡部ださく

ヴァルティーA-31/A-35 ヴェンジャンス
Vultee A-31/A-35 Vengeance

全幅14.6m、全長10.1m、全高4.2m、自重4,173kg、総重量6,077kg
エンジン：ライト・サイクロン R-2600-A5B 空冷星型14気筒（1,600hp）×1基
最大速度442km/h、実用上昇限度6,600m、航続距離1,931km
武装：
227kg爆弾×2発（胴体内）、117kg爆弾×2発（翼下）、7.7mm機関銃×4門（翼内）、7.7mm機関銃×2門（後席旋回）
乗員2名

できちゃったけど、どうしよう？

1939年、ドイツ軍がポーランドに侵攻して第2次大戦がはじまった直後、イギリスとフランスは、ドイツの急降下爆撃機っていうのがすごい威力を持っていることを見せつけられた。ことにユンカースJu87スツーカが、その正確な投弾能力で地上目標の撃破を大いに助けたのだ。

ドイツと戦争するにはああいう飛行機があったほうがいいんだろうな、と思ってはみても、じつはフランスでは海軍が艦上急降下爆撃機としてアメリカからヴォートV-156（SB2Uの輸出型）を買って、自国製のロワール・エ・ロワールL40系も実用化してたけど、空軍のほうはほとんどなんにも考えてなかった。だからイギリス空軍も、ホーカー・ヘンリーみたいな急降下爆撃機にちょっとした急降下爆撃能力を付け加えるくらいのことしか考えてなかった。

じゃあ急いで急降下爆撃機を開発しようにも、フランスもイギリスも自分のところの航空機メーカーはもう空軍拡張計画で手いっぱい。そこで両国は使節団をアメリカに派遣して、使えそうな軍用機を買うことにした。その買い物リストのなかに、当時の急降下爆撃機も含まれていて、フランスはヴァルティー社のV-72設計案を、ブリュースター社がアメリカ海軍向けに開発していたモデル340（後のイギリス名バーミュダ）ダメ飛行機を選んだ。どっちもまだ実機もできていない段階だったんだけど、なにしろ早く調達しなくちゃならないんで、1940年はじめにとにかく300機を発注したのだった。

ところが発注から間もなく、ヴァルティーV-72もブリュースター340も試作機ができる前にフランスはあっけなくドイツ軍に負けちゃった。ってことで、フランスの発注分はイギリスが引き取ることになった。V-72はイギリス空軍向けに開発されることになったわけだ。

ヴァルティーV-72は、1939年に計画されたJu87やダグラスSBDドーントレスよりもずっと後で設計されただけに、もっと近代的な機体を目指していた。2人乗りの単発機っていうのは急降下爆撃機の定石だけど、翼はもちろん折り込み式、エンジンだってSBDが1,000hpのライト・サイクロンなのに、1,600hpのライト・サイクロンを搭載。主翼の平面形がヘンなのはこのころのヴァルティー社の機体だから仕方がない。

これで全幅が14.6mもあって、翼面積が30.8㎡、総重量が6.1トンだから、SBDとくらべると寸法はひと回り大きくて、重量が約2割増っていうことになる。機体重量は2.3トン程度を機体内に2発、翼下に1.2トン程度を翼内に2発、合計3.5トンの爆弾を搭載できるから、SBDよりは大きい。機動は最大速度が442km/hだから、SBDよりはあんまり速くないけど、とにかく強力になったとはいえる。

ヴァルティー社はV-72の設計を維持したのはよかったけど、カリフォルニア州ウニーの自社の工場は狭くて、1機の試作機を生産中でラインの空きがない。そこでネブラスカ州のナッシュビルの自社スティンソン社で造ることにして、それでもまりなくて近所のホーソンにある使用のないメーカーにもライセンスを渡して作らせることにした。そうこうするうちにアメリカがついに1941年の3月に武器貸与法が発効して、アメリカ陸軍までV-72を1,31とする300機発注した。ヴァルティー社は大忙しだ。

そのV-72、イギリス名ヴェンジャンスの試作機、イギリス空軍シリアル番号AL142は1941年7月に初飛行した。試作機は設計は非常に良くなってたんだが、結構行に発生するアキシングのテストをしてみると方向安定が悪くて、テスト・パイロットのヴァンス・ブルーズはすぐさま機体を止めて降りちゃったという。そこで垂直尾翼を大きな1枚ものに変更して、再飛行したのだった。

こうしてヴェンジャンスは初飛行したものの、それからまた主翼上面へのダイブブレーキの追加とかこまかい改修や垂直尾翼の変更やらで半年間かかって、昼夜1号機が完成したのは1年近く後の1942年6月になった。しかしそのときには、もう300機の、つまり急降下爆撃機の

神通力はすっかり失われていた。

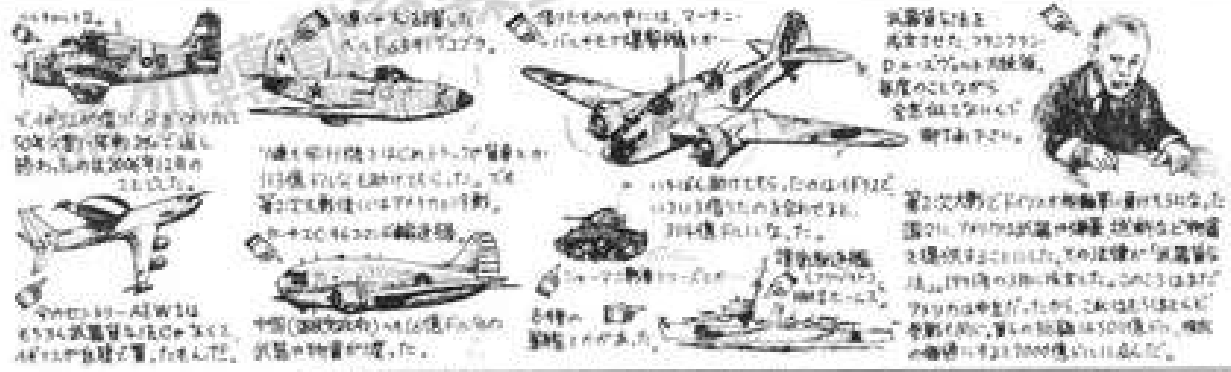
もとすぐやっぱりもやっぱり、急降下してまた上昇してくる爆撃機を戦闘機でしっかり護衛しようなんてのは、当時のウサギとそういう発想をバトル・オブ・ブリテンでJu87がみるはずだったのだった。

それを見ちゃうとイギリス空軍も考えちゃう。やっぱりヴェンジャンスの生産がはじまったとたんにイギリス空軍じゃ使いたくない、なにしろ単発戦闘機が護衛なのはフランス戦争のフェアリー・バトルでよくわかってるし、それでも急降下爆撃ってものにあんまり興味がなかったし、重爆撃機を整えようとしているボマー・コマンドの戦力増強のほうが、ヴェンジャンスは全部はまらないのだ。

それはアメリカ陸軍でも同様だった。1941年12月にアメリカも参戦すると、ヴェンジャンスの改良型をA-35として発注したんだが、気がついてみるとアメリカ陸軍でも使いどころがなかったのだ。どうするんだよ、ヴェンジャンスの機体はどんどんできてるんだぞ、っていうことで話は次回に続きます。

イラストで見る航空用語の基礎知識

◆武器貸与法


ヴェンジャンスは、
ドイツ軍の爆撃機が、ロンドンを襲撃するのを防ぐ為に、
ドイツ軍の爆撃機を撃墜する為に、
ヴェンジャンスは、
ヴェンジャンスは、
ヴェンジャンスは

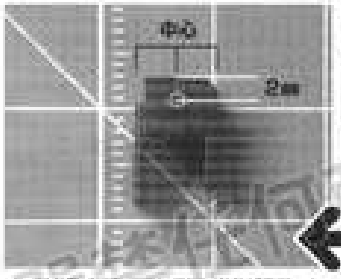
http://mikiyo.exp.com/

Let's TRY ガンプラ系How To講座 ビギナーズ!「実録版」

今回から腕部に取りかかります。「スマートガンを設定どおりに持てない」という、このキット最大の問点を修正することを目標にして、ガンバっていきましょう！　まずはヒジの二重関節化のための工作から!!

第十四回 その時でつかめ(腕部編)

制作・解説・イラスト／伊藤潤一(B.M.W)

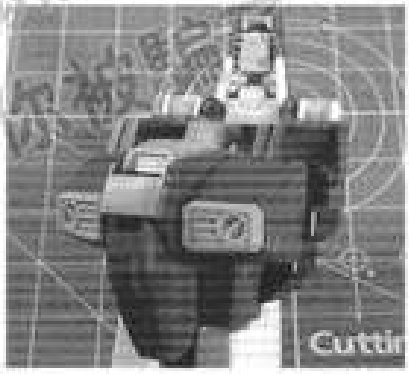


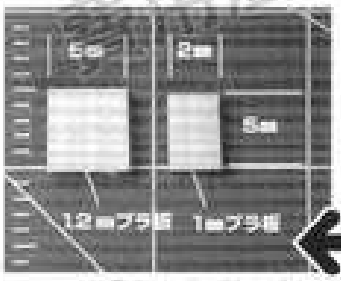
▲ヒジの軸にもうひとつ穴があればスマートガンが持ちやすくなるので、関節を二重にしてみることにします。まずヒジ軸から1㎜の所に2㎜穴のプラ板で穴を開けましょう

▲いきなりでかい穴！　なんとか設定どおりの持ち方ができるようになりましたが、まだまだ手間がかかります。もうすこし手首をもって持てるように、ヒジ関節と手首を調整しましょう

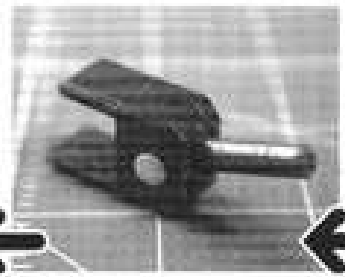
キミにも作れる、HGUC Sガンダム！

Sガンダムといえば、スマートガンをナナメに構えた姿がイメージですが、キットのままだと、構え方の自由度があまり高くありません。そこで今回は腕を加工してカッコよく持たせてみるのだ！

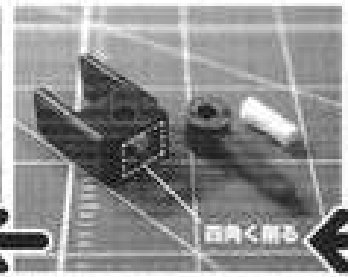




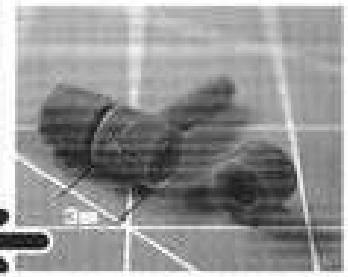
▲このままでは元どおりに腕を組み立てられないので、さらに加工します。まず1.2㎜と1㎜のプラ板を写真の大きさに切り出し、2枚を重ねてガッチリ接着しておきます



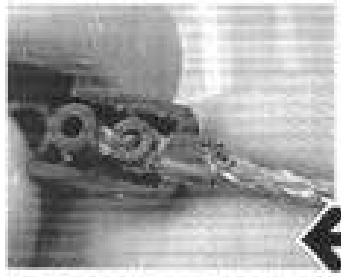
▲組み上がった状態。関節カバーを取り付けることでもっと大きく開けることも可能ですが、これらは元の関節の動きを助ける補助関節なので、それほど大きな可動は必要ありません



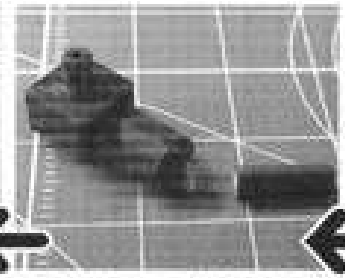
▲関節カバー上部の穴を四角くあけ、ポリパーツが入るようにします。そして横から2㎜プラ棒を差し込んで固定。プラ棒はのちほどプラ用接着剤で関節カバーと接着しましょう



▲コトブキヤのポリパーツD-103の1を用意して、中央が3㎜幅になるようにカット。ポリパーツをうまく切るのはむずかしいので、よく切れるカッターを使い後々に向って調節します

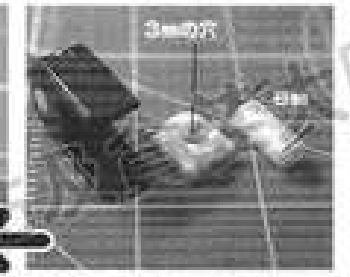


▲残した軸のかなめに、直径2㎜の穴を開けます。穴開けの基本どおり、まずは細いドリルからはじめて、徐々に太い軸にしていきます。軸のプラの部分まで貫通させてしまいましょう

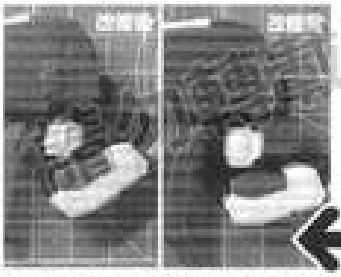


▲つづいて上腕フレームの加工。改造したヒジ関節が取り付けられるようにしましょう。まず元のヒジ関節の軸を2㎜ほど短くしてから取ります。ニッパーでパチンとやっちゃい！ 楽しいよ

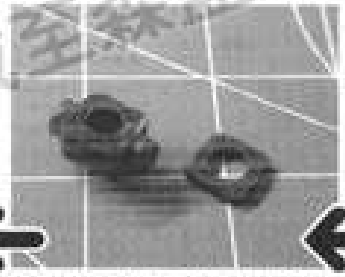
▲このようになります。プラ板とポリパーツがはまるキリキリしかクリアランスしかないので、組み立てる際にはうまく削って調整して下さい。これでヒジを二重関節化できました！



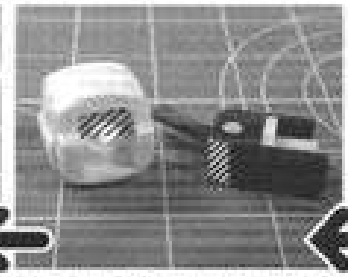
▲接着したプラ板の中央に3㎜の穴を開け、長さ6㎜に切った3㎜プラ棒を差し込みます。そしてプラ板をヒジ関節カバー下側から、ふたをするようにはめ込んで接着すると――



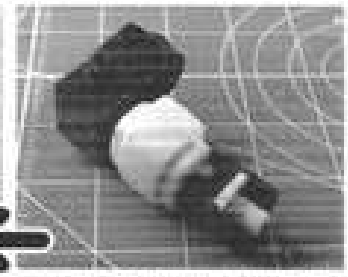
▲改造前との比較。曲げ角度はあまり変わりませんが、二重関節になって表情が豊かになりました！　もう少し曲がるようにしてもいいかな～？　では、ラストいってみよう！



▲ヒジの加工のため、このままだと腕全体が1.2㎜長くなってしまうので、ヒジのポリキャップの上部を切り取って、腕の長さを元に戻します。長いままでもOKなんはそのままで



▲現物合わせした結果、関節のあたりを削るといいようです。上腕の内側を大きく削る場合には、3㎜幅の平刃が便利！　平刃は使用頻度が高いので、幅の違う物が2～3本あるとよいです



▲ヒジ関節～上腕の部品と組み合わせたところ。このままだとあちこち引っかかってあまり動かないので、現物合わせで削って調節します。この作業は根気と勘がものを言うノダ！

©創通・サンライズ

http://mikaryexp.com/

エムシーメカニックス こんな××欲しいっス!! Vol.126

ヌルイラスト 水玉鶯之丞
mizdama31@bigeri-net.com

非カエラーによる、ヌルいカエルセレクション

べつにカエルが好きなわけじゃないのに、なんだか許せるようにカエルラインにひかれる事のなかれ。しかも何ってカエラーがみんなに思いです。最近のカエルグッズ系は、ちょっとカエルについて語られたりしようものなら、カエラーっていうとこにゆってもそれ、その内容にはかなりの幅があるんだな、ってのがよくわかってきましたっス。

こまかく言うときっと「カエルが好き」な人の数だけ、その人の好きな「カエル」の意味するところがあったりするんだろうけど、ちょっと大雑把にまとめると「A．カエルというまま物」「B．カエルという概念」ってのに分かれてる、と思う。

その、カエラー目線というか、感覚というかによって、グッズ化されるカエルアイテムにも違いが出るわけですな。「ちょっとカエルっぽ」だったらトラッキーとか？みたいな感覚なヒトいるかもしれ、ちょっとカエルっぽ、ていうもいるだろうし、そのなかにもドンピシャ専門とかネコ専門とか、あるいはカエル目線の表現がクールなら、ファンタジーなら「カエルの王様」みたいなもの、ていうもいたり。

ルルルルルなのよりはファンシーなクッションのかわいいのが好き、っていうのも、トロイアーのトロ・ロクン。はロッキンのの「けろっぴ」みたいな、とか。いやそれ言ったらタ…ってもこれはいいスかね。

あるあるっていうと「カエルが好き」な自分が許せ、ていうタイプも結構いるかもしれないけど、それはそれいいとして、まーしかたないなあ、ってなるけどそれわかんなくもないっていうのは、「カエルはそれほど自分の知り合いは嫌いじゃないけど、自分の知り合いは嫌いなヒトいる」感覚がはたらくんじゃないかなー、ってオレ。

「ちょっとまってカエラーなんだから、やっぱりあるがままのカエルが」と思ったとしてます。「ほん

http://mikkyo.exp.com/

Presented by 藤田幸久

雑多えんたあていめんと。

That'a Enter-tainment! EX

MODELGRAPHIX COLUMNISTS ARCHIVES

▲連載の事情で抜き差し修正箇所も、あちこちにあります。連載で読んだ人も要チェックです

▶藤田さんといえば「プラモのモ子ちゃん」。今回新たに描いてみたら、意外にならなくて大苦戦（笑）。いかがでしょうか？

▼新たに編集された巻頭カラーページより。連載でのイラスト紹介だったものも、関係写真が掲載されています

▲描き下ろし原稿もあります。これは(1)カーナビトライトの補完原稿。本誌では紙幅不足だったりしたりが描き足りなかった部分もフォローしています

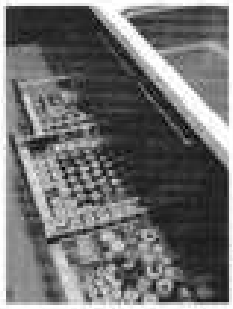
このページが1冊の本になるんです。8月下旬発売!!（予定）

（予価2600円＋税）

本コーナーを1冊にまとめた「藤田幸久式 モデリングマニュアル ～雑多えんたあていめんと。～」が近日発売される。そこで今回は特別に、その中身を先行紹介！　この一冊で、藤田さんの模型テクニックから、好きなキット、好きなアニメキャラ、好きな食べ物まで、個人情報のすべてがわかる!!（かも）

▼模型店の倉庫ではありません。藤田家模型部屋です。同じキットが何個もありますが、新しい模型店ではありません。で、生活スペースは？

▶藤田家大部分。奥側、たしかテーブル・ストレッチとはカラースプレーが大量に！　こんなのはほかにはないハズ



▲放置キットその2。少しずつ1/20の新車。やる気まんまんでアウターパーツを揃えモデルのスケッチの藤田幸久さんで始動して放置

◀放置キットその1のエアバイクが、90年代なかばイスト発売されたが、後から出るのではなく、当時発売に作りかけの状態とほぼ10年が経過しようとしている。ものがたり、夢がある

"藤田幸久のすべて"を大公開!!

藤田幸久さんの模型ライフのすべて

本誌好評連載中の「雑多えんたあていめんと」、作者の藤田幸久さんはMG執筆陣のなかでも、執筆の書き手として定評がある。たとえるなら模型遍れのマシンのごとく、原稿の仕上がりが速い。しかし、だらだらしていて遅いのではなく、きちんとていねいな仕事をやっているので、誰もが認めない一芸笑。また、彼は完成した原稿を毎回自ら編集部まで持参している（自宅から編集部まで1時間以上かかる）。ただし遅くなったお詫びに持ってくるのではなく、原稿持参のついでという大義名分で執筆部に寄るためである。

本書は、その「雑多えんたあていめんと」を集大成しただけではなく、原稿の修正、追加描き下ろし、そしていくつかの特別企画で構成されている。

まず、カラーページはカーモデルを中心としたワンポイントプラモテクニック、スケールモデルの楽しみ方から、簡単で見栄えがする工作テクニックなどを紹介。もちろん、作例として掲載されている完成品は藤田さん自信が製作したものだけだ。

ほかにも自宅をモデラー仕様に改造してしまった「藤田幸久オタク様式」、なんらかの理由で製作途中で中断（放置？）してしまった模型を集めた「放置キットの部屋」、詳細なアンケートから藤田さんの実態に迫る「藤田幸久Q&A」などを掲載。ここでは藤田さんが愛用する新シンナーベストキットや、好きな模型ブランド、萌えるアニメキャラ、愛車について、好きな食べ物や人物の趣味、カラオケの持ち歌など、さまざまな質問に回答が掲載されている。

さらに、藤田幸久という名前は本名だが、たまに既存で平仮名表記になることや、最近は使っていないが、昔は佐久間良と、富士重雪うとかというペンネームを使っていた……などというウンチク記事（？）もある。まさに藤田幸久の模型ライフを体験する最良の一冊である。

岸川 晴（本誌編集担当）

藤田幸久●はたのきりひと／漫画家に向けての原稿の加筆および修正――執筆進行中、自分の文章を読み返すだけでもかなり勉強になります。プロフェッショナルでは自分のものですが、原稿を読むのに飽きないように作ります（編集）。でもお忙しい方は書き手の手間を少なくします（作家）。

https://amiikpr.exp.com/

新星空奇遇記 STARTREKを知ってる人も知らない人もこれを見ればすべてがわかる

スタトレ雑記帳

STARTREK AT RANDOM FILES

Vol.024

構成・文／岸川靖

いよいよ日本でも放映が始まったデジタルリマスター版「スター・トレック 宇宙大作戦」。BSといえども全国放送、NHKですよ、どーですか皆さん！ ついに日本国民全員が同時にスタトレを観られる時代が来ました。21世紀だなぁ（意味不明）。というわけで今月も発進!!

リマスター版TOS、NHK-BS2で放映開始!! 日米放映版の違いを徹底検証!!

▲カークもスポック、21世紀になっても、その魅力は衰えません

去る7月21日からNHKの衛星放送BS2で放映がはじまった「スター・トレック 宇宙大作戦」。すでに一部になられた方は、デジタルで新造された宇宙シーンの美しさに感心するとともに、妙な違和感に襲われたハズだ。

そう、今回のNHKでの放送では、スクリーンサイズがオリジナルのスタンダード・サイズではなく、アメリカンビスタと呼ばれる横長のワイドスクリーンサイズになっているからだ。つまり、画面の上下がトリミングされているのである！

これはいったいどういうことなのか？

NHKサイドによると「今回放送のマスター映像はパラマウント社から送られてきたものをそのまま使用しており、こちらで手を加えてはいません」とのこと。

そこでパラマウント日本支社、及び日本語版制作作業の東北新社に問い合わせたところ、同社とも「米国から届いたマスター映像に、従来の日本語字幕や吹き替え音声トラックを編集したモノで、映像に関しては手を加えるはいません」という返答を得た。

つまり、日本には米国で放映中のリマスター版とは異なる、上下トリミング版が送られてきたのである。

米国で6年に放映がはじまった「宇宙大作戦」は、劇場用と同じ35mmキャメラで、普通に撮影、放映されている。その画面比率は3：4となった。新生「リマスター版 宇宙大作戦」も、同じ比率で放映されている。

ところが、今回のNHK放映版は上下がトリミングされている。そこで、米国パラマウントテレヴィジョン社に問い合わせたところ、次のような回答を得た。

「米国以外の国での放映は、デジタル放送に合わせて画面をワイドスクリーンサイズ（画面比率が1×1.85）にトリミングしています」

しかし、悪いことばかりではない。今回のNHK版は米国で放映されているバージョンよりも、7分ほど長いのだ。

これは、米国の場合、放送が民放のNBCであり、深夜枠であるため、コマーシャルタイムが15分以上あるため、米国では昔に比べ、番組枠内に占めるCM占有率が高くなっているためやむをえない措置なのである。

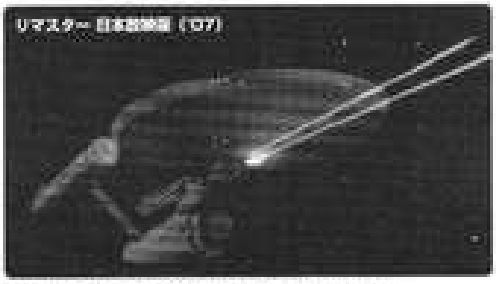
なお、私「岸川」の推測では、近年米国でリリースされるであろうリマスター版のソフトは、ノーカット、ノートリミング版になると確信している。これはそのまま、米国と同じマスターを使用している日本版ソフトにもあてはまるであろう。

――って、結局、日米ともSTファンはソフトを買わなければならないということになる。うぅむ、やるなパラマウント。

ちなみに、今回の放映版は米国のリマスター放映版に準拠しており、とりあえずは29本を放映予定。NHKサイドとしては「好評ならば、続きも放送しますので、ぜひ、ご覧ください」とのこと。BS未所有&未契約のファンは泣くのだ！

▲USSエンタープライズ（ミニチュアルカ学合成）

▲USSエンタープライズ（フルデジタル）



▲USSエンタープライズ（フルデジタル&トリミング）

沢海陽子の徒然星間日記セカンド・シーズン

文／沢海陽子

先日のMGCでお会いした方はすでにご存じのとおり、とんぼ帰りの東京の2月11日に、近藤さんは自宅に、そして、初めてもわずかでいた計画をの計画がかなったった。女性がかかる場合は700人にて、3人という数字で、パッとやり出版という、設定にも物事がの出版は行方、まるしてお近藤さんはの子だった。

緊張感がまってその設計、まっ上いも変に思ってしまった。近藤さんは「私は知るのはこわくないけど、嫌いのかたがいの、と、ご友人にもらしていたらしい。

彼女は実命感まで本当に忙しいばいだった。人柄としてもよく、近藤さんのことを思う方々が、いたの一人もいない。そして近藤さんはまず自分の仕事として出版したり、人の舞台にはかなり手を入れを持って見に行っていた。直近は同のプロデュ本公演の演出もある。

大公演にも近藤さんの名前を出すことになった。私が「何かおもしろい企画ないかな？」と編集にたとえに言ってくれた。「タイムトラベル ストーリー」というのをのコピーが、これ一部しかなくて、とてもいかも時人さんと話してね♥「うん、うん、勉強に来ます」――と言っていたの、やっぱり必ずに持っている私、自分のことを、その分本をもうとようかと思った。性にはれてもと思ったが――

いや、いつかこの話を実現させたい。それはうがきっといい。

彼女人の出演時、舞台、同じとまに同じ場面で出会えるね。そして出会のとき話をしようやく話はもうりメとうルンン。

そんな大人の恋の話が、近藤さんはほとんどの人が――

校正日誌

質問 先日、NHKで行なわれたTOSリマスター版のマスコミ試写に行ってきました。どうでしたか？

岸川 大スクリーンでTOS、しかも日本語吹き替えを観るのははじめてだけど、NHKのプロジェクターは高性能で、すってきレイ、と感心きりたいくらいでした。

一真 ほかには？

岸川 プロデューサーの方の挨拶があったので、ひとつ聞いていたら、あとで「やりにくかったです」と言われました。

一真 大変ですよ、やりにくい？

岸川 そんなことはないです、でも、ノーカットもうたの前にはエンディングが切られていて残念。

一真 まっ、こまかいちゃん。

質問 最後、NHKでは、今回のリマスター版は、デジタル放送に合わせて画面をワイドスクリーンサイズ（画面比率が1×1.85）にトリミングしています」

しかし、悪いことばかりではない。今回のNHK版は米国で放映されているバージョンよりも、7分ほど長いのだ。

これは、米国の場合、放送が民放のNBCであり、深夜枠であるため、コマーシャルタイムが15分以上あるため、米国では昔に比べ、番組枠内に占めるCM占有率が高くなっているためやむをえない措置なのである。

なお、私「岸川」の推測では、近年米国でリリースされるであろうリマスター版のソフトは、ノーカット、ノートリミング版になると確信している。これはそのまま、米国と同じマスターを使用している日本版ソフトにもあてはまるであろう。

――って、結局、日米ともSTファンはソフトを買わなければならないということになる。うぅむ、やるなパラマウント。

ちなみに、今回の放映版は米国のリマスター放映版に準拠しており、とりあえずは29本を放映予定。NHKサイドとしては「好評ならば、続きも放送しますので、ぜひ、ご覧ください」とのこと。BS未所有&未契約のファンは泣くのだ！

取材協力●ていかの社さん／編集者、ライター、最近は模型は買うけど作る時間がないという日々を過ごしています。最近買った模型は、ゆ400（ゆたか）、MG 2.1PM（ゴッド）、DR-42 Fargo（ドラゴン）、MG-28F フィックス（ちゃ（コトブキヤ）、BF109F4（ハセガワ）――全モデルが新しいなぁ（PHS取材付き）。

INFORMATION COLUMNS NEWS and so on

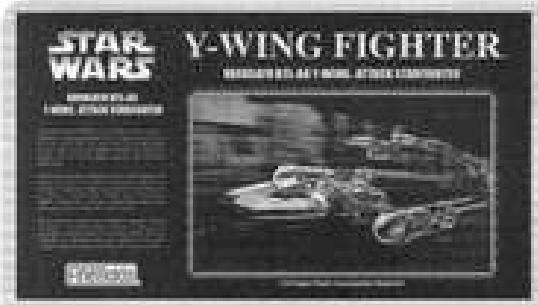
http://mikan.exp.com/

オレたちはどっちかっていうとY派だ!

おっさんモデラーによる おっさんモデラーのための 『スター・ウォーズ』

プロップ万歳!!

第13回



▲「Y-ウイング」1/72 インジェクションプラスチックキット 税込3,675円 発売中。デス・スター戦闘時のゴールド中隊3機を再現できる精密なデカールが付属。おっさんの夢、これでまた1つ成就!!(ガッツポーズ)

夢? 夢なら覚めないで〜!?

『スター・ウォーズ(以後S・W)』ファンの皆さん、小躍りしてますか? ファルコンに続いてY-ウイングまでもがお店で買えるなんて、うれしすぎて涙が出ちゃう!

●プロップ:機器などを総称する言葉。ドラマに登場する機器のこと。

©2007 Lucasfilm Ltd.® TM. All rights reserved.

このコーナーは毎月2名のS・Wプロップ愛好家、高橋清二氏と、日本最大級の模型ショップ「ホビーランド」の山田カノンさんがお送りするプロップ満載の楽しくタメになるようなコーナーです。

高橋 ここのパネルをそのままプラモにしてもいいくらいですね。実物写真にしたって、撮影時期によって、ディテールがまちまちなったり、機器コマを撮影しているあいだや、ルーカスフィルムで展示されるときなどに再塗装されていたりと、かなり不確定な要素が多い中は、はっきりとこの試作品はどうしてもオリジナルのプラモデルの製品はどうしてもというと、私が開発したゴールドリーダー機の写真や資料を参考にしてもらっていると思うんだけど、ディテールに関しては、それぞれ、いわゆる、ゴールドリーダー機、ゴールドと2、ゴールドと3の、いいコ取り、をしてるんです。本物のプロップはあの通りディテールが違うけど、みなさん、それは適当で通りだけど楽しんでくださいね、というわけ!!

山田 すごく嬉しいのが、このY-ウイングのキットにはちゃんとデカールと塗装図(これがメーカー完成品のカラー写真)が収録されていて、ゴールドリーダー、2、3、上翼部が入ってるんですよ、これ、ルーカスのオフィシャルで、これに決まりましたっていうことですよね? 当時にプラモの通り分けがあるとか、デストロイヤードロイドがあるタイプだとか、よく資料があったなあ、私、ゴールドは、このドロイドが欲しくて写真しか知りませんでしたよ。

高橋 このゴールドリーダー、ゴールドは、ちょっと私がファインモールドから依頼を受けて作ったやつなんですよ。ゴールドリーダーを展示したものなんだ、ゴールドは、ちょっと変なんですよ。ゴールドは、ルーカスフィルムでプロップとして使用されていたプロップと思うんだけど、それが、ゴールドっぽくない。そのときに撮影した写真を見てしまって、ホントは、ゴールドが入るのは、後期型の、後期型だけ。ホントは、デス・スターのトレンチに潜入するY-ウイングっぽい感じ、最初にパイロットに撃ち落とされるのがゴールドで、そのあとゴールドリーダーが入ってくるっていうのが、ホントのS・Wファンの中では、ゴールドは、ゴールドリーダーの前に撃ち落とされ

http://miki.kpr.exp.com/

白バイというのは

成人して運転免許証を持つようになった身にはちょっとばかり眩しく輝かしい存在であるが、子供時分にはただただカッコよい憧れの存在である。最近の子供がどうなのかはわからぬが、その昔の子供に「大人になったら何になりたい？」と聞けば、電車かバスの運転手、あるいは白バイのお巡りさんと答える少年が多かったのではないだろうか。あたかも未来宇宙戦士を夢見るときせる白いヘルメット、直線的で無駄に白いスカーフ、半長靴といった凛々しい出で立ちで颯爽と大型白バイを操る白バイ警官は、子供心にも人生における男子一生の職業の花形と映ったに違いないだろう。成人には公権力の象徴とも思えるその眩しい姿も、子供たちには羨ましく強そうでとても格好がよかったのである。そうした純朴な時代、消防車やパトカー、あるいは白バイというのは子供が最初に興味を惹かれる「乗り物」であった。取り分けオートバイといえば誰く地味な実用車ばかりを連想したあのころ、白塗り大型オートバイの白バイには誰もが憧憬の念を抱いたことから、玩具の世界でも格段人気が高かったように記憶する。

そうした時代背景のなか、日東科学（ニフトー）は自社製品としての初のプラモデルキットに白バイを選んだ。すでに白バイの木製キットが人気商品として売れていたが、この白バイのプラモデルはそれを遥かに上回り、数十万個を売り上げる大ヒットとなった。モデルとなっているのはパーチカルツイン500ccのメグロスタミナK1P（Pはポリス仕様を表わす）で、60年代当時としては最もポピュラーで知名度の高い白バイモデルであった。元来、白バイはメグロ以前は陸上が、メグロ以後はホンダが主要機種であったが、現実プラモデルが台頭した60年代初頭はちょうどメグロが全盛を極めていた時代で、それまでの2気筒スタミナ27Pに代わって60年からはスタミナK1Pが新たに採用された時代であった。現在ではメグロというと旧式な実用車の象徴のようなイメージがあるが、当時は国産大型車を代表するのは専ら「メグロ」しかなく、わもに白バイに採用されるとP77Pは僅か305ccに過ぎなかったいまだナハンなど影に存在さえしていなかったこの時代、メグロスタミナK1は日本の重量級高性能車の代表であったのだ。

のちに米レベルを凌駕する1・8リッターサイクルにおける国産メーカーの雄と称するニフトーだが、その第一歩たる1・15メグロ白バイはあまりにも地味なキットの容でしかない。プロポーション、ディテールに説教の味を出ることもなく、いかにも国産プラモデル草創期の作であることを如実に今日に伝えている。それでも素朴な味わいのなかに威風堂々たるメグロの雰囲気をよく再現していて、好感の持てる仕上がりとなっている。キットの開発にあたっては自動車作品に実車原寸書図法を、警察庁に実車撮影取材の協力を仰いでおり、往年の技術的に稚拙なプラモデルでありながらも、それなりの説得力は有している。キットの出来としてはかつての100円オートバイキットの標準的内容で、フューエルタンク、サイドカバー、リアフェンダーまでもがフレームに一体成型された車体を左右から貼り合わせ、同時に建脚を挟み込む最も簡単な手法が採られている。そこに前輪とフロントフォークを組み付けば、やはり左右2分割のエンジンを載せ、シート、ハンドル、エクゾースト、ランプ類、バンパーなどを順次接着する。エンジンはとてもBSAのA10シューティングスターから範を取った空冷4サイクル、並列2気筒、OHV、497ccユニットとも思えぬ別とも怪しげなモノだが、極めて特徴あるY字型のタイミングケースとそこに刻まれたメグロの文字に助けられ、メグロスタミナK1のエンジン以外の何物でもないことが知れる。

全体像が浮かび上がると車体全体のなんとも間延びした印象ばかりが目立つが、あとにも先にも現在まで唯一のスタミナK1のプラキットであるので、心情的には許容の範囲内として評価に値するものだ。シングルシートは前後タイヤと共に黒ゴム製、赤色灯、ターンランプ、ウインカーはアンバーのクリアーパーツが備わる。写実的でおもしろいのはヘッドランプレンズとタンク側面ニーグリップラバーをデカールで再現するようになっていることだが、やはりデカールで再現されているタンクマークがあまりにもオーバーサイズなため、スタミナK1のタンクデザインを再現することはできない。本来であればメッキ部品（メグロムパーツではないので当時なら銀塗装するしかなかった。現在ならアルミテープ貼りなど有効な手段がある）に白塗装部分があり、そのなかにタンクマークが収まる配置が正しい。

後年では未熟となったが、メグロの白バイの時代は「両手乗り」が基本であった。大型のアップハンドルにより両腕を広げ、胸を張りして堂々と乗る、これがかつての白バイの姿であり、白バイ以外の昭和のバイク乗りのまっとうな乗車姿勢でもあった。その威容は軽心でなくては思られなかったが、メグロの白バイの絶頂期は1964年の東京オリンピックでピークを迎えた。64年の東京オリンピック開催は日本の戦後史における最大の出来事であり、日本の近代化が急速に進んだ最大の要因でもあった。新幹線が開通され新幹線が誕生し、高速道路網が、立体の首都高速道路が開通し、我が国は高度モータリゼーション時代へと突入した。それに伴い交通指導取締の要として新時代の白バイの必要性が強調された。メグロスタミナK1Pはそのために500台が警視庁に採用され、乗るべきクルマ社会の法の番人として敬みをきかせた。そしてまたオリンピック開催期間中には首都の交通指導警備、また各国要人や賓客の警護などに活躍し、近代国家日本の治安維持時に大いなる貢献を果たした。メグロの白バイは昭和の威風を待つこともなく歴史の表舞台から消えていったが、あの輝かしくも活気に充ち溢れていたオリンピックの時代を振り返るとき、いつもその風姿のなかで正義の威容をいまも静かに語り続けている。

20世紀のプラモデル物語

第91回 白バイ
日東科学1/15

文＝平野克己
Text by Katsumi HIRANO

白バイ
日東科学1/15

同社の記念すべきプラモデルキット第1号。パッケージに表記されているようにモデルとなっているのはメグロ500スタミナK1の、警視庁機動警備隊で60～64年に使用された白バイ仕様K1P（Pはポリスを表わす）だ。キットそれ自体は全53パーツの簡単なものだが、日東製作所と警視庁の両協力を仰いだ結果、白バイ装備などの細部は的確に再現されている。タンク、リアフェンダー、車体部などが一体モールドされたフレームというスリ車体は当時の常套で、これに前後輪、フロントフォーク、エンジン、シートなどを組み付ける古典的手法だ。シングルシートとタイヤはゴム製、ウインカーと赤色灯にはアンバーのクリアーパーツが宛られるが、ヘッドランプと赤色灯のレンズはデカールで再現するようになっている。可動部は前後輪とフロントフォーク、センタースタンドのみ。79年の生産終了までその長い100円キットとして親しまれた。発売は1961年（昭和36年）、初出価格は100円

完成モデル製作：田村竹彦

平野克己●1950年のつもり／1953年生。元『モデルカーズ』編集長。「夢の降らない梅雨」「超大型台風」「巨大地震と不安定噴火が立て続けに」「いったい明日はどうなるのだろう」一般社会を大騒にさせクルマはおもしろいものの、昭和からかたるクルマやバイクに関するプラモ――最近に非常感を覚える今日この頃――」

http://mylibrary.exp.com/

ワンダーフェスティバル

WF2007【夏】直前 MaK25周年イベント情報ですっ!

Ma.K.

ZbV3000

Maschinen Krieger

月刊 シュトラール通信

INFORMATION COLUMN/NEWS and so on

まだまだ続くMaK25周年アニバーサリー。今度は夏のワンダーフェスティバル（以下WF）にてお祭りです。とりあえず、WF当日は東2ホールのCブースで皆さんをお待ちしておりますぞ!!

▼▶グローサーコント（下）やケーニヒスクレーテなどWFで発売されたガレージキットを横山氏が仕上げた作品が展示されるのだ

告知：MaK事務局

©2007 Yokoyama 2007

ようこいほどにMaKの周年を祝っている2007年ですが、当月8月分日（日）に東京ビッグサイトで開催されるワンダーフェスティバル2007「夏」会場でも特別ブースを設けてお待ちしちゃいます。

MaK発足の時にもWFにディーラー参加し、連載を続けていたMaKファンの方もありますし、WFにて販売されたアイテムが原作にフィードバックされるという相互性もWFならではのもの。それだけMaKにとってWFは特別なイベントなわけです。

今回は新作を中心に特別展示するとの噂に、日頃横山氏を応援してファンのみなさんに「聞いたかい？」と、横山氏による塗装実演を動画中。いったいどんな塗料をどんな道具で、どんな筆さばきを重ねて作品を仕上げていくのか。MaK作品の生まれる瞬間をぜひライブでお楽しみください。

●"MaK25th Anniversary Booth"にて3式塗装実演!

まるでお菓子屋さんの店頭の実演販売のように、横山氏が解説を交えつつ（ボロッコットしゃべりますよ）筆さばきを披露。まるでテレビで「MaKモデリングブック」の収録現場を見ているかのようなイベントになります（予定）。

●WF会場限定「ルナボーン」、ガレージキット「アーケロン」発売

同ブースではウェーブ製「25周年記念機甲兵ルナボーン」（1体）デカール付き）が販売されます。またモデルカステン製ガレージキット「アーケロン」も先行発売されます。

●ガイアノーツ製「MaKペインティングセット」発売

MaK専用カラーと、塗料の塗料の色み、レスポンスのよさを誇る工夫（「ボロッコットしゃべりますよ」）がセットになったペインティングセットが先行発売。これもCCCS周年記念ブースで販売する予定です。

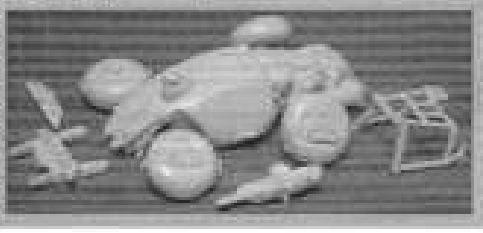
女がちみのWF直前情報!!

▲「Hardcore mag」からは1/20ケーニヒス・クレーテ（ロ万3000円・税抜本定）と、同型用ケーニヒス・クレーテ専用パーツセット（1800円・税抜本定）を販売予定

WF会場では、今回もMaKの新作のディーラーがMaK関係のガレージキットを販売します。そのなかからいくつかをご紹介。まず、今月の横山氏の記事にもあったとおり、「P-50参考」。今回は1/20スケールの女性ライダーユニアが熱い！ 本年は8月ファイボール用アルミ製ハニアなどを発表レディー！

▲▶「Armagon」では、1/20電磁ムチ日（仮称）（税抜本定）から1/20「電磁ムチ日ヘッドターゲット」（税抜本定）までの3点をWF会場限定（税抜本定）、ヘッドパーツ（税抜本定）はWAVE製「AFD No.2」用ルナボーン」に対応し、電磁ムチ日を取り付け可

▼「KOTATSU KINGDOM」は1/20の個人用月面探査機セストウナーを発売予定。レジンキャスト製全6パーツで時間をうかんで遊べるようになっている



ウ！「アルベジオ」の女性フィギュア。これはWF開催後に一般販売されます。また、アトリエイメットの林田氏、横山氏も手掛けるフィギュアだ。また林田氏が手がけている「スージーシンジケート」は、あのワリスタル中村を原型とする予定。「MaK Series 01」からも1/20金属製パイロットヘッドセットなどが販売されるなど、フィギュア関連作品もWFとなりそうだ。

フィギュア以外で注目するのは「04-S1 ゲルゼー」から1/20ラウンエーター（2万6250円・税抜本定）が発売。これは横山氏オリジナルの初期ラウンエーターを再現したもので、また「冒険人／ファイアエレンジ」からは1/35車両用ケーニヒスクレーテ（1万5000円・税抜本定）が出る。また「MaKモデリングブック」の横山氏が手がけたキットのバリエーション版の公開に関していたんは第2ブックの、そして「04-S1」からは本決定の年7月号に掲載される新コーナーリーボーンの公開セットが販売される。

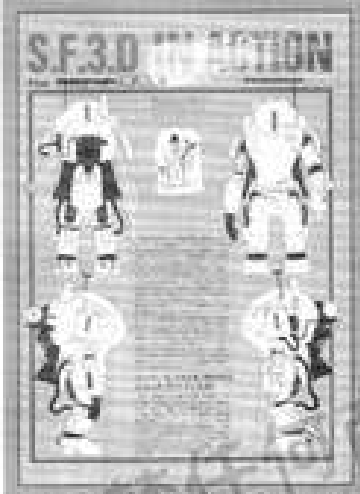
MaKは外には「ドラゴンドッグ&中国」から「ロボットホビー」（税抜本定）、「20 Mark」が、「ロボット20世紀」からは「ガンドッグ」が発売されます。

横山記●よこやまこう／わしがモデル界と初めて会ったのは今から30年前。ともに武蔵野美術大学の学生だった。シンは美大の学生でプラモデルを作る人は変っているけど多くはない。その中でも今井君のほど面白い人はいなかったなあ。今井君のおじいさんも模型屋さんだったことでそれも納得。そして息子さんの「今井哲也君」君は今年漫画家としてメジャー誌にデビュー。みんなは今井君の分まで応援してやってほしい。

http://anyikkr.yeapp.com/

Ma.K. Maschinen Krieger

▲おなじみのMaKのロゴもご本人さんがデザインしたもの。モデルのステンのパッケージも担当した



▲『装甲騎兵ボトムズ』『銀河漂流バイファム』『重装機兵レイズナー』『ガンドック』『ブルーシャンプー』『ブルーシャンプー』『ブルーシャンプー

http://mikan.exp.com/

日の丸船隊ギャラリー

今回はタイトルから少し脱線して、戦時中の日本で起こったドイツ艦の大爆発事故「横浜事件」を紹介する。連合軍の封鎖の網をくぐってはるばる来日した彼らを突如襲った衝撃的な実録、そしてとばっちりを受けた日本の被害とその対応とは。

再現・戦時下の日本輸送船

第66回

「ウッカーマルク」の巻

制作・文：岩重多四郎
Modeled and described by Tashiro IWASHIGE.

横浜事件

第二次世界大戦中の日本とドイツには、きわめて細々とそれはあるが交通があった。日本側の手段は実質的に潜水艦だけで、投入された5隻のうち本土→フランス占領地帯の往復を完遂したのは「伊8潜」のみだったことはよく知られている。一方のドイツ側には複数のパターンがあり、純粋な作戦行動であるUボートのインド洋進出、護衛艦と呼ばれた仮装巡洋艦の派遣、そして貨物船や輸送船大型による資源輸送が図られたが、やはりほとんどの場合は洋上で連合軍部隊に捕獲されるか、本国まで生還した例ははとんどない。そして、爆弾をあきらめて日本へ譲渡された商船、降伏時に接収された潜水艦も大半は、そのまま祖国から遠く離れた異郷で航海、海没・解体処分といった運命をたどっている。それらのうちにあって特異な経歴を残したのが、以下の船舶であった。

第二次世界大戦がはじまると、ドイツは第一次大戦の失例に倣ってただちに世界へ軍艦を放ち、神出鬼没の行動によって連合軍の海上交通を脅かす戦略を取った。ヒトラーの直感的な総決断によって不満な陸軍で大戦に臨まざるをえなかったドイツ海軍は、主力戦艦までも通商破壊に投入して連合軍をさんざん悩ませたものの、絶半の粘り強い対応によって行動は次第に封殺されつつあった。そんななか、何度も追っ手をまいて1942年まで活躍を続けていたのが仮装巡洋艦「トール」であった。青島運河船の船体に多数の武装を施した「仮装巡洋艦」は、1940～1941年の行動で連合軍商船の撃沈・1隻を拿捕、さらには豪州にあたっていた英仏巡洋艦3隻と相次いで砲火を交え、「アルカンタラ」「カーナーヴォン・カースル」を撃沈した上で「オルナール」を沈めるという武勲をも挙げて帰国。1942年に入ってまもなく再出撃し、またしても商船7隻撃沈、3隻拿捕の戦果を収め、意気揚々と来日したのであった。同艦が入港したのは10月10日、場所は横浜港である。

当時、関東方面のドイツ艦船保留地として横浜港の新港埠頭が指定されていた。いまも客船ターミナルとして使われている場所で、JRなら桜木町が最寄駅。山下公園の「氷川丸」から見て左側にあたる、たぶん海辺の倉庫の間隔や、長崎の出島のような形状が機密保持や警備に適していたことなどが理由だろうこのころには貨物船「ターフェルランド」が滞在していたほか、「トール」が今回の航海で拿捕した1隻である貨物船「ナンキン」も、ここに回航されてひと足早く係留されていた。同船には新しく「ロイテン」という名前が与えられていた。いっぽう、外洋で9ヶ月間行動した「トール」は、現在のみなとみらい21地区である三菱横浜造船所のドックへ入れられて本格整備を受けることになった。

11月28日、もう1隻のドイツ艦が新港埠頭に到着する。補給艦「ウッカーマルク」である。同艦は一見普通のタンカーだが、バルバスバウのついたエリムを船体を持ち、日本の義務タンカーの倍にあたる2万馬力の上のディーゼル機関を搭載、15ノット3門と水上偵察機1機などを持つ歴然とした軍艦だった。陸上時の艤装を「アルトマルク」といい、開戦直前から通商破壊艦用の補給ステーション配備についたが、1940年2月にノルウェー領海で英軍に捕捉されて艦内を解放させられる事件があり、帰国後「ウッカーマルク」と改名。その後も同じ年に再出撃、1942年9月の出撃時、仮装巡洋艦「ミヘル」への補給を済ませてから日本に向かった。途中で駐米とパリクパパンに寄港して油を搭載し、回航でこれをそろえてから横浜へ移動したという。

大爆発

11月30日朝、出港した「トール」は早速「ウッカーマルク」に接舷し、弾薬や糧食の搭載を開始した。「ウッカーマルク」ではこれと並行して、隣の埠頭にいる「ロイテン」の半舷上陸員を動員して油槽の清掃をおこなっていた。また、この2隻と同じ埠頭の陸地側では、たまたま日本海軍の特設給油艦「第三南海丸」が物資を積み込んでいた。

昼飯時が過ぎて作業を再開し、しばらく経った13：40ごろ、突然「ウッカーマルク」の船腹で大爆発が起こった。巨大な火炎が立ち上り、窓ガラスがばりばりと音を立てて割れる。「第三南海丸」では、ちょうど給炭作業員に出向いて不在だったが、乗組員がたまたま甲板を歩いていたところへ2回目の大爆発が発生した。「トール」で砲撃訓練中の弾薬に引火したらしい。爆発に巻き込まれた人は即死、ひとたまりもなく倒壊し、付近の建物も火の粉を浴びて炎上。岸壁に流出した燃料油が燃えながら広がっていき、「ロイテン」も巻き込まれて火災発生。さらに「第三南海丸」も14：10頃には火が回り、岸壁に残っていた乗組員は巻煙の直撃に逃げ出せずに船を放棄せざるを得なかった。

その後も爆発と炎上は続き、「ウッカーマルク」と「トール」は見るも無残な姿となって全焼着底、「ロイテン」「第三南海丸」も全焼使用不能となった。別の岸壁にいた「ターフェルランド」は被害を免れたが、死者は102名に、ドイツ人乗組員と中国人船員が大半を占める。爆発の影響は新港地区にとどまらず、三菱横浜や桜木町駅にも及ぶ。1m以上の市街地まで窓ガラスが割れるわ破片が降ってくるわ、近在の消防車が駆動員されるわと町じゅう上を下への大騒ぎとなった。市民のあいだでは早くから「ドイツ船が爆発したらしい」という噂が伝わっていたというが、車はきっぱり情報の詳細に乗り出した。住民には緘口令が敷かれ、船舶火災が発生したという事実だけ報じられた以外は被害状況の詳細な記録も事がおろそかで公表されず、被害の全容はいまなお明らかでない。火災の原因も、当然のようにスパイの破壊活動説が取りざたされるなど憶測出たが、いまでは古今無わずタンカーの最も一般的な火災、すなわち油倉内部の残留気化ガスに食内作業で偶然発生した火花が引火した事故と考えられている。

これだけの惨状した情報統制の理由は、戦後の様相な大きさよりも火元が強制たったためなのは明らかで、なかでも「トール」の爆発が問題視されたと考えられる。当時「第三南海丸」の保険船長にあたった林部正吉氏は、戦後間もなく著した『日本海戦隊の崩壊』で本件に触れているが、軍事設備でまだ「トール」の正体を知らず、「この特種船と呼ばれるものは、おそらく潜水艦であろう」と推測している。仮装巡洋艦は連合軍に多大な損失と戦力の拘束を強いる貴重な艦であり、自分の過失でそれを失ったことを公表するなど戦略上まったく好ましくなかったのだ。

大戦末期、横浜は合計33回もの空襲を受けて壊滅的な被害を出しているが、大空襲の2年以上も前にあった不思議な1日の出来事を知らなかったヨコハマを訪なるのも、また味わうことはないだろうか。

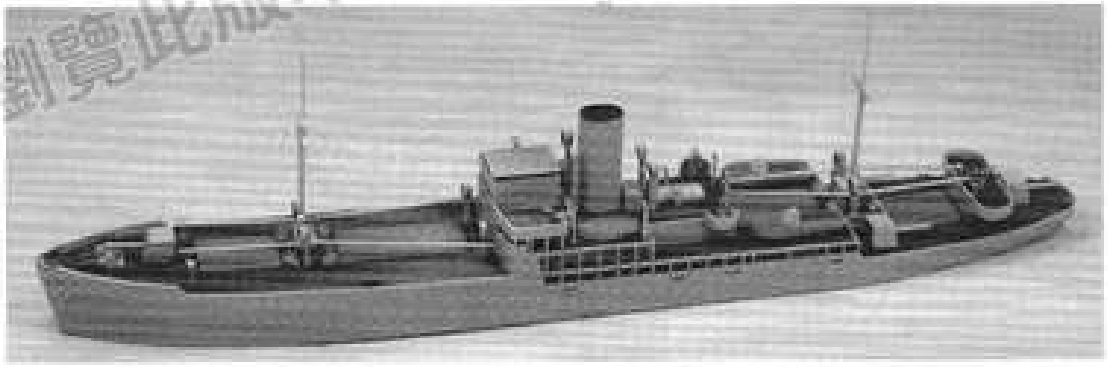
（文献は「日戦丸」の巻）

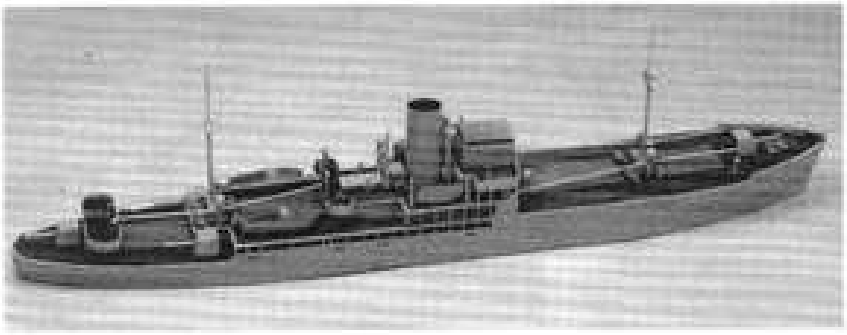
主要参考文献
『日本商船隊の最期』（林部正吉著　海事保険事業研究所）『商船戦記』（大内建二著　光人社NF文庫）『大西洋戦争』（レオンス・ペイケール著　長塚隆二訳　早川書房）
『Die schiffe der deutschen Kriegsmarine und Luftwaffe 1939-45 und ihr Verbleib』Erich Groener, J.F.Lehmanns Verlag

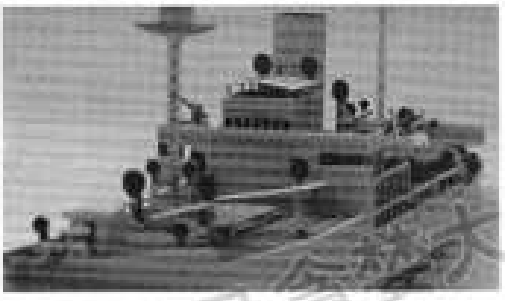
http://mishkryexp.com/

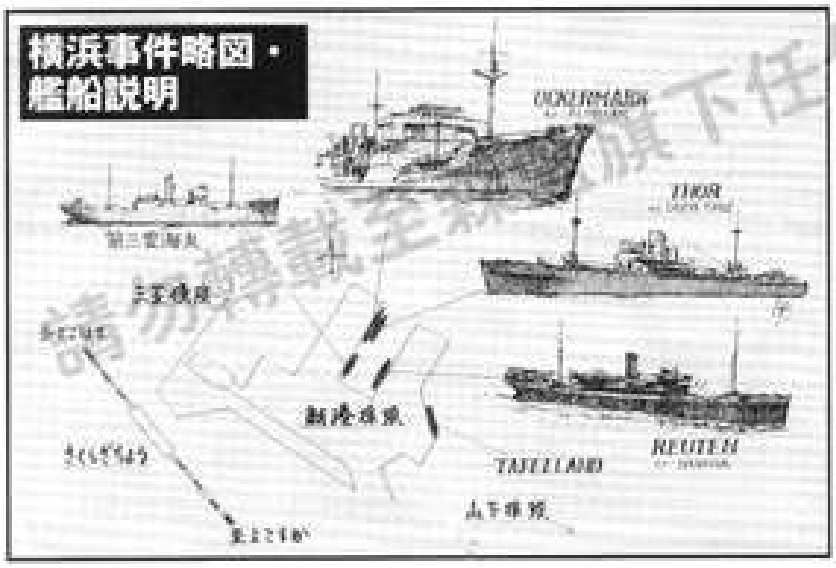
「ウッカーマルク」：
本稿ではめずらしい特殊船の作例で、HPモデルから発売されているレジンキット、タンカー隠れした細い船首部が標準形状は自然なが5、今回使用した改造後をタイトルとする商品は考証面に問題が有り、前後構造物をたこと作り直している。塗装前は「ちょっぱい」いなど粗雑な建物だ。15mを自ら、作例では省略しているが船橋左右のボートの下にも装備しており、本来は船尾の1門もこれと同様、ハウスのなかに隠していた。なお船橋直後の凹部は搭載機の収納場所で、キットには搭乗機とキャンバスの幕をかたどった部品もついている

「トール」：
こちらは自作品で、各種資料から図面を起こして製作。工作のプロセスは基本的に前作とともくに違いはないが、模型製作のセンスにどこかドイツらしさが漂うところが興味深い。やはり主砲はすべてきちんと装備するのが本来のスタイルで、作例の4門のほかに船橋直左右の上甲板にも搭載していた。もともと前部マストまでだった船首部を延長するなど、商船状態からほかなり形状が変化している









「ウッカーマルク」
ドイツ海軍が建造した特殊潜水機船「ノルトマルク」級5隻の2番艦「アルトマルク」として、1939年完成、1599総トン、排水量2200t。ディッチェ・ヴェルフ製の本船と「フランケン」がディーゼル搭載で、シーヒャウ製の「ノルトマルク」のラウェ&ステーヴァルト」「ディトマルシェン」「エルムラント」はターービン搭載。出力は21400、24000sなどの資料あり。速力は21ノットといわれているが、もっと出たはずだ

「トール」
1930年完成の貨物船「サンタ・クルツ」（3662総トン）を改造。バナナボート時代の通風設力を示す背の低いベンチレーターつきデリックポストが本来を取り払って甲板を広々としたと、15sa砲6門、無線発射管4門、水上偵察機1機などを装備した。新たな設備をとして支援神話の復権である「トール」を与えられたコト、第4号仮装巡洋艦（HSK4）、10番船（Schiff10）、さらには連合軍から貨物船（Raider "R"）とも呼ばれた

「ロイテン」
「トール」が1942年5月10日にインド洋で撃沈した英貨物船「アンキン」（7131総トン）。同艦の回航要員の乗組んで日本に到着、資料品を多く積んでいたため敵の商船船員いとされていたらしい

「第三雲海丸」
中代汽船所属の貨物船で、太平洋戦争開始後の1942年4月に海軍が特設船舶として徴用した。当艦の運用事故に巻き込まれて沈没するという稀有かつ不運な船だが、遠洋航路のすぐ隣の横浜船渠（二重橋丸の船渠）で建造されたのも奇縁。1910年進水、旧名「第山丸」3000総トン

http://myhkp.com/

月刊 ジョイフル倶楽部 第7回

モデラーなら誰もが抱く「超カッコいい模型を作っていつか誰かにほめられたい!」という野望を徹底応援。さあ、みんないっしょにレッツ・ジョイフル!

オレはJMCに入賞して星になる!
てな感じのページ

JMCチャレンジャー!
本誌編集 たかくくん

ハセガワ非公認
ボンナウジョイフルマン

「ハードルが高くなりすぎて高高度な感じです」の巻

ヤバいよ、うかうかしてたら締め切りが近くなってきた!　ってのはまあ置いとくとして、ディドノットスタート。いや、あれだな、このページでいえばディドノットジョイフルだからOKだなぁ。とにかくスコシは手にしなければ――って、このキットも長くなってきて飛行機の形になるな　マジでびっくりするんですけど

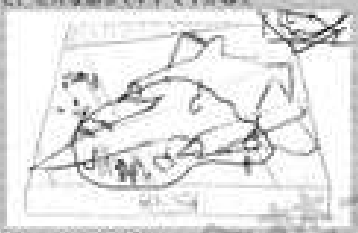
はら、もうできたも同然!　あとは色塗れば終了じゃん。とりあえずアレだ、飛行機の形になったら必ずみんなやるであろう儀式、「ふぉーんとととと」をしなければならんね。台座内を高高度演出なのだっ!　ふぉーん――

「お、もうできてるじゃん」
あ、ちっくしょーきんた!　いや、これまた色違ってないんですよね、ふぉーんとととと――

おお、ジョイフルの名を冠の上空に到達しましたよ

「何度目塗装してるんだ!　SAM発射!　どしゅー」
あぶないな!　誤射撃破イムな!!
「はちはちは、お、形になったじゃないか」
そうなんですよー、ところでさっきから梅本氏は何作ってるんですか?
「あ、これ?　五式戦、かっちょいいでしょ」

うーむ、たしかにかっこいい。ところで下に敷いてある紙はなんですか?
「アイランドベースだな」
なんすかそれ!?
「台だよ台、台が付くからダイオラマ、なんつってな。こんなふうに土台よりもスペースを切り詰めたベースを作ると逆に空間に広がりができるのよ、そうだ、たかくくんも台付きにしなさい、おもしろいよぉー」
うへー、通らったらまた説教食らわされるのかしら――。えーと、こんな感じでいいですかね。



「うーむ、ドラマチック!」
そういや今日はジョイフルマンとしてこなかったな――

今日のジョイフルアドバイス!!

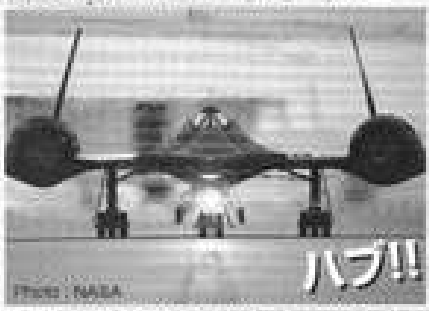
ひとこと解説のはちまで解説です!　みなさま、JMC作品審査対象作品の進捗状況はどんな感じでしょうか。ハセガワ取り扱う商品（ハセガワ製品、ドラゴン製品、ドイツレベル製品など）からいずれかでも作れるお手軽キットを見つけてゴーッと作るのもまた一興、ワタクシ、とにかく参加することに意義があるような気がしてきました（えええええ!!）

「ミョーな非常識の資料を集めるならここ!」

ドライデンフライトリサーチセンターの写真がめっちゃくちゃ使えるんですな

ジョイフル梅本のことば
こんばんは、「楽しい模型作り相談所」ことジョイフル梅本です。いいわげん締め切りがヤバいと気付いたそこのくんはなんだか資料を集っていますね。なるほど、インターネットで飛行機の画像を探しているわけですなん――って、このサイトすごいはずイ。

▲こちらはNASAの航空機関、ドライデンフライトリサーチセンターの写真ライブラリ。豊富な写真は資料価値ありまくりです。URL:http://www.dfrc.nasa.gov/gallery/Photo/



▲見てください!このかっちょいい写真!　NASAが運用する米軍機ならほとんどがこのライブラリに写真が収められています。もちろんそんな仕様のキットはあまり発売されていないので、ここにある機体を作るにはデカールやコンバージョンキットが必要になってくるわけですが、イメージをふくらませるには最高の資料がそろっています

▲こんな感じでエンジンはずしちゃってる写真もあったりしてモデラー心がくすぐられます。キットをこの状態にするのはめっちゃ大変ですが、中にはなんか実験装置積んでるし、そもそもNASAのロゴがくっついているだけで飛行機ってのは無数にレベルが違うんだよっ!（梅本人的見解）

▲台座みは何よりも大事ですから。何回やっても飽きないはず!　というわけで大変でキットを完成しているたかくくん、ガーカー。早く完成させないとホントに締め切りがヤバいッスよー!

▼右手に持っているのは改造みたい!?　なんで持っているのはとある資料（編集部から強奪したもの）。うむ、この造形メッチャかっこいいけどこんなものがF1はないんだよなぁ――

次回予告

ぶっちゃけそろそろ完成させないとヤバいんでねーの!?

おたすけジョイフルマンのひみつ●先月までこの欄に「ジョイフル倶楽部」と間違った表記で書き続けてきたのは君と僕だけのひみつだ!　というのは置いといて、現在ジョイフルマンははるかテネシー州のNASA研究所にある実家でバケーション中。しっかり姪っ子と英語ペラペラのバイリンガルなのだ!!

http://mylibrary.yahoo.co.jp/

お問い合わせ、ご注文は西山洋書まで
●通販に関する問い合わせは電話まで。発送による販売はありません。
東京店：東京都中央区銀座3-7-13松山屋ビル3F　〒104-0061　☎03-3562-0520
池袋店：東京都豊島区西池袋1-2-2ウエストワンビル1F　〒171-0021　☎03-3981-6301
神戸店：神戸市中央区三宮町3-1-1センタープラザ西館3Fアクセルシアター内　〒650-0021　☎078-332-3595

PICK-UP the NEW PRINTS 今月の洋書つまみ食い

このコーナーで紹介した洋書は、西山洋書で取り扱っています。表示価格はすべて税込みです。

MODELLERS DATAFILE No.10: THE MESSERSCHMITT Bf 109 Part2

英 DAMP刊
英語版　224頁　税込6615円

前作Part 1に続くもので、F型からK型までをモデラー向けの視点から組上に乗せている。まず開発からはじまり、カラー側面図26点とカラー写真、海外モデラー、カラーディテール写真、現在入手可能なキット評、キットとデカール、アクセサリーパーツリスト、各型の相違点一覧とオーソドックスにまとめられた一冊だ。また巻末には、F2、G6、K4各型の1/48スケール6面図が用意されている。

FROM THE COCKPIT No.6: BUCCANEER S.1

英 AD HOC刊
英語版　104頁　税込5850円

戦後のイギリス機、それも添めの機体ばかりを取り上げるフロム・ザ・コクピット最新刊は、これまた現役を退いて久しいバッカニアの海軍型S.1が取り上げられた。例によって開発をさらりと流したあとに、パイロットのコメントやエピソードを満載しており、往事の白塗装とエキストラダークシーグレイ／ホワイト塗装機の写真を存分に堪能できる。カラー写真やカラー図に加えて、事故機のリストも用意されているのはありがたい。

Tankograd MILITARFAHRZEUG AUSGABE 2/2007

独 Tankograd刊
ドイツ語版　64頁　税込2625円

巻頭特集は米海兵隊の新しい中型戦術トラック"MTVR"。続いてドイツ連邦陸軍に採用されたメルセデスの"スマート"（ちゃんと迷彩！）、レオパルト1の車体をベースに2連装の大型ウォーターキャノン1と2基の携行型"インパルス"を搭載した消防戦車"ファイア・コマンダー"、ティタデレ作戦でのパンター戦車、第2ストライカー騎兵連隊のストライカー装甲車ほか、盛沢山な一冊だ。

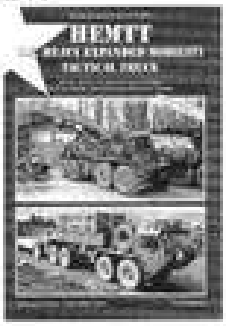
PLANES and PILOTS No.9: FOCKE WULF Fw 190 From 1939 to1945

仏 Histoire&Collectionsほか刊
英語版　87頁　税込4137円

フランスのヒストリー＆コレクション出版から刊行されている第二次大戦機オノグラフシリーズの最新刊で、Bf109と並ぶもう一方の雄Fw190を一冊にまとめている。フランスの出版物としてはめずらしくすべて英語で記述され、クオリティーの高いカラー側面図42ページ、計168機は圧倒的でこれが本書の売りだろう。A型からTa152までが取り上げられ、当時のカラー写真も挿入されている。

Tankograd American Special No.3003: HEMTT U.S. HEAVY EXPANDED MOBILITY TACTICAL TRUCK

独 Tankograd刊
ドイツ語版　64頁　税込3612円



大型高機動戦術トラックHEMTTシリーズの発達と技術的特徴と題する一冊。最初の10頁は開発経過やM997～M985E1まで12種類の基本型の分類、技術解説、派生型や発展型、性能諸元表。続いて各タイプが外観写真とウォークアラウンド（細部写真）、主要な寸法入りの側面図（M977だけは5面図）で紹介。運用のようすもよくわかる。

Tankograd-Missions&Manoeuvres No.7006: DANSKE HAEREN

独 Tankograd刊
ドイツ語版　64頁　税込3612円

デンマーク地上軍を扱った図録本。その成り立ちから編制、隊下の大隊や中隊まで網羅した編制表にはじまり、装備している車両や兵器をカタログ的に紹介している。戦車だけでもドイツのレオパルト2ASDK、同2A4、同1ASDK、同1A3/A4DK、イギリスのセンチュリオンMk.V.2DK、アメリカのM41 DK-1と多彩で、装甲車やトラックに至ってはいわずもがな。地上レーダーや電子戦車両などの特殊車両もたいへん興味深い。

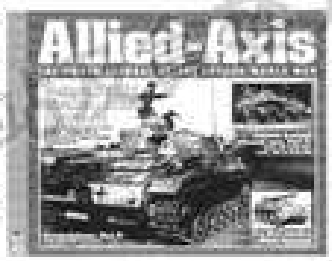
WORLD WAR II AFV PLANS: GERMAN LATE WAR ARMORED FIGHTING VEHICLES

米 STACKPOLE刊
英語版　93頁　税込2835円

第二次大戦後半のドイツ軍装甲戦闘車両を四面図によって紹介するカタログ本。戦車、突撃砲、自走砲、駆逐戦車、装甲車、装甲ハーフトラックなど、若干の写真は添えられるものの、ほとんどは四面図のみ。各図にはシャドーが付けられているので、図面を読み慣れない人、ドイツ車両の形状や細部をそれほど把握していないにも立体感がつかみやすくなっている。

Allied-Axis THE PHOTO JOURNAL OF THE SECOND WORLD WAR No.18

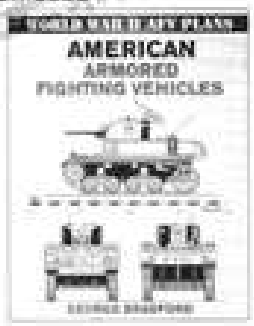
米 Amperland刊
英語版　96頁　税込3014円



大判写真で構成された有用な資料写真集。内容はドイツの8輪重装甲車シリーズSd.Kfz.231、232、233、263、アメリカの155mmGMC（自走砲）M12と装甲弾薬運搬車M30、ドイツ軍オートバイ兵のインアクションと車両モートバイ各型の詳細、ドイツ軍のⅢ号D型火炎放射戦車A、B型、B2（F）、Ⅲ号火炎放射戦車ほか。

WORLD WAR II AFV PLANS: AMERICAN ARMORED FIGHTING VEHICLES

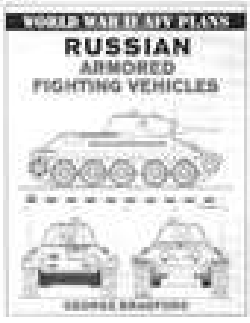
米 STACKPOLE刊
英語版　93頁　税込2835円



上や右と同じシリーズのアメリカ陸軍編。当然ながら、すべての特徴はそれらと同じ。M3ハーフトラックやM4シャーマン戦車の75mm砲タイプまでは1/35スケールの図だが、M12自走砲やシャーマンの76mm長砲身型、M26パーシングなどの大型車両は1/48スケールになるのはほかの2冊も同様。添付写真は数少ないものの、セレクトは気が利いていて侮れない。

WORLD WAR II AFV PLANS: RUSSIAN ARMORED FIGHTING VEHICLES

米 STACKPOLE刊
英語版　93頁　税込2835円



第二次大戦時のロシア軍の装甲戦闘車両を四面図によって網羅するカタログ本。戦車、装甲車、装甲車引車、自走砲などの主要な形式がバリエーションまで紹介されている。模型の細部工作や改造に直接参考になるような精密図面ではないが、車両の解説が不要な戦場写真集などを見る場合に形式を知るのに重宝しそう。もっとも、1/144に代表される小スケールモデルのスクラッチビルドをするには最適かも。

西山洋書のインターネット・Webサイト
http://www.nishiyama-yosho.co.jp

http://myhobby.exp.com/

西山洋書 夏のバーゲンセール

2007.7.20(金)～8.5(日) 月曜～土曜 11：00～20：00
日曜 10：00～19：00

熱い夏のバーゲンセール!!

西山洋書では夏のバーゲンセールを実施いたします。
□全商品1割引（特価品も多数あり）
□銀座店／池袋店／神戸店同時開催
□期間中は定休日はありません
□通信販売は地図にてあります

場　所
池袋店　東京都豊島区南池袋1－3－3ウエストワン1階
銀座店　東京都中央区銀座3－7－13 成田屋ビル3階
神戸店　兵庫県神戸市中央区三宮町2－11－1
センタープラザ西館3階 アクセルワーク内

[URL]http://www.nishiyama-yoshin.co.jp/

久美堂 東急ハンズ町田店 バックナンバーフェアのご案内

2007.8.1(水)～8.29(水) 10：00～20：30
8.22(水)は定休日 期間は時間変更あり

感謝の気持ちをこめて……

東急ハンズ町田店の移転にともない、8/29(水)で久美堂東急ハンズ店が閉店になります。つきまして、皆様に感謝をこめて、バックナンバーフェアを開催します。貴少なバックナンバーから新刊書籍まで豊富に取りそろえてお待ちしておりますので、ぜひ足をお運びください。

場　所　東京都町田市原町田4丁目1番17号
東急ハンズ町田店B1F
交　通　JR横浜線町田駅上りターミナル出口直結
小田急線南口より徒歩7分
問い合わせ先 ☎042-726-2772

INFORMATION

●イベントなどの情報の送り先●
〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町1-7
猿楽一丁目ビル4F アートボックス
MG 編集部「MG メカミックス」係
※毎月25日(予定)までに到着分を掲載予定

ぐるっと夕張 夏休みスペシャル

2007.7.28(木)～8.19(日) 9：30～17：00

この夏は夕張が熱いっ!!!!

夕張北炭の産業社内ロボット科学館に新設、マルチムービーシアター「ガンダム・グリーンダイバーズ」(33分)が上映されます。シアターのエントランスでは有志による模型作品展、デジタル版の特撮されたMS版モデラーFOOHによる製作実演、製作過程を展示。「グリーンダイバーズ」は北海道には初上陸。また夏ならではいろいろ企画がいっぱい。また、作品展は室内のモデラー達が力を傾ける作品を計十数体。熱い夕張を満喫、コアな模型ファンも楽しめること間違いなし!

場　所　〒068-0001 夕張市高松7
北炭の産業社内施設内 ロボット科学館シアター
問い合わせ　夕張リゾート株式会社
アトラクション部 もうはり体験館
[URL]　http://www.yubari-resort.com

下関模型クラブ S.F.F.C 第二回模型展示会

2007.08.25(土)～26(日) 10：00～12(100)

今年の展示テーマは対決!

下関模型クラブの第2回展示会です。今年のテーマは「対決」。当年度新しいスタイル対決模様を模型で表現します。また、作製中の1/200スモールダイオラマも準備中。オールジャンルの模型展示会です。

会　場　幡田町ふれあい会館1階 レクチャールーム2
メール　playback1@mac.com
[URL]　http://www.c3.dion.ne.jp/~bo/ptc/

スズカ・モデラーズ・ギャラリー

2007.8.1(水)～8.31(金)

"ダイオラマの達人"小池義弘の作品展も同時開催!

鈴鹿サーキットでは「スズカ・モデラーズ・ギャラリー」を開催!今年によって集まった「くるまとバイクがあるダイオラマ・ヴィネット」を展示します。また、モータースポーツダイオラマでおなじみの小池義弘氏の作品展も同時開催!　さらに、8月19日と19日の両日には小池義弘氏を講師に迎え「親子ミニダイオラマ工作教室」を開催します。小学生と保護者のペアが参加対象です。開催当日にモートピア内事務局受付窓口にお申し込み下さい。3回開催、各回定員10組20名様限定となります。参加費は無料です。

問い合わせ先　☎059-379-1111
鈴鹿サーキット 広報・営業推進室　山本まで

イラク原子炉攻撃！イスラエル空軍秘密作戦の全貌

ロジャー・ジョンソン著、高橋市兵衛・金木重男・松山[illegible]訳／680円／絶版中

イスラエルによるイラク原子炉攻撃の全貌が明らかに

イスラエル空軍が1981年に行なったイラク原子炉攻撃。25年以上にわたってその作戦詳細は秘匿され、誰もその実態を完全に把握することができなかった。しかしイラク情勢の変化、ことアセインの失脚によってようやく情報が明らかに。筆者は攻撃に参加したパイロット少佐関係者から作戦に関係をしイラク原子炉攻撃作戦の全貌を明らかにしている。

船の科学館水ものフェスティバル2007

2007.8.26(日) 10：00～16：00

フネカン2007開催!

今夏も船の科学館ものフェスティバル2007、通称フネカン2007を開催します。水に関する模型であれば、飛海空学園SF模型部でも参加OKです。題目として、水中モーターレース、50m電船レース、自動学習模型レース、ペットボトル潜水艦コンテスト、4艇はそのまま、フルハルコンテスト、当社・女性レース、ペーパークラフトレースの3種目を追加しました。その他に、参加艦船による艦隊式も予定しています。またディスプレイ模型では、引き続き広島先生による講座を行なう予定です。みなさまご参加ください。
なお、参加する場合はエントリーが必要ですのでご注意ください。

[URL]　http://twinstars.office110.co.jp/funekan/
場　所　船の科学館3階ラジコン船プール
参加者　船の科学館入館料(大人700円)＋カンパ(100円)

第2回 関南模型愛好会展示会

2007.8.24(金)～8.26(日) 10：00～17：00

会員以外の作品展示も募集中!

第2回関南模型愛好会展示会を開催することになりました。展示ジャンルの制限はありません。飛行機、船、AFV、ガンプラなど――。愛好会会員以外のかたの作品展示も募集しております。作品は前日（今週7時）までに関南模型同見高にお持ちください。参加費は無料です。自分の作品をみなさんに紹介するよい機会と思います。

場　所　山口県周南市城ヶ見高校 2F
山口県周南市城ヶ浜西塩田494
問い合わせ　関南模型愛好会事務局　橋本まで
☎0833-91-2025

JAG 犯罪捜査官ネイビーファイル シーズン2

ロイヤル・ホームエンターテイメント ジャパン／税込13,940円／8月24日発売

岡部いさく氏の解説つき！米海軍完全バックアップのドラマ!

軍内部でおこる犯罪を捜査し起訴、弁護、事件の究明をする組織、アメリカ海軍部、通称"JAG"(Judge Advocate General)に所属する女人公の活躍を描く、リアリティのあるストーリーが評判を博した。米海軍全面バックアップのためF-14トムキャットなどの航空機が出てくるシーンや艦船のシーンなど、ちょっとした軍事好きは目がポイントもしばしば出てくるのもたまらない。

ペクシル コンプリート・ガイド

小学館プロダクション／税込3,426円／8月8日発売予定

最先端CGアニメの充実ガイドブック!!

8月18日から全国でロードショー公開される3DCG映画「ペクシル 2077 日本崩壊」のオフィシャル・ガイドブックが公開にきがい発売。メカの詳細データやデザイン画、キャラクター設定のほか、モーションキャプチャーのメイキングなども収録される。また、日本がハイテク鎖国を行なうという設定の視点から現代社会と日本の未来を分析するなど、詳みごと満載のムック本。

バーチャルサウンドラジオドラマ 宮崎 駿の雑想ノート 全12巻セット

徳間ジャパンコミュニケーションズ／CD／税込2万0000円／絶賛中

名作「宮崎 駿の雑想ノート」のラジオドラマが再版!!

本誌に連載されていた「宮崎 駿の雑想ノート」がラジオドラマ化してリリースされてもうしばらくたってしまいましたが、今回、宮崎史郎、高木恵子など豪華なメンバーが参加、ラジオドラマがこのたび再版となった。珠玉のラジオドラマを堪能してほしい。

昭和シェル モータースポーツWebサイトでF1日本GPのバックアップ!!

昭和シェルのWebサイト「シェル モータースポーツ」で、F1日本GPの情報を中心にオンエアを実施している。昭和シェルのプレゼントも盛だくさんで、全国各地のなかから抽選で、なんと約2日間行なわれる日本GPのフリー・プラクティスに招待、という豪華なプレゼントも用意されている。この実施は、鈴鹿現地、ツインリンクもてぎ、富士スピードウェイの3会場のオフィシャルホテルにて、下見の日に開催されるF1ドライバーのトークショーに参加できるというもの。

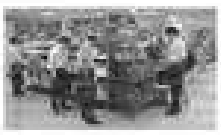
▲サイトでは日本GPの情報を随時アップ。また、ドライバーのトークショーに参加できるプレゼントが用意されている。「昭和シェル」のホームページにはまだ間に合う。

●Shell Motorsport 2007 URL：http://ms.showa-shell.co.jp/

タミヤモデラーズギャラリー2007

東京 2007.8.2(木)～8.7(火)　名古屋 2007.8.14(水)～8.19(日)

東京、名古屋でタミヤモデラーズギャラリーを開催



▲会場限定アイテムのひとつ、1/10 トヨタ ハイラックスC ボディパーツ、限定完売となる

今年のタミヤモデラーズギャラリーは東京、名古屋の2会場で開催です。東京会場・東武百貨店での開催は今年で25周年を迎え、ますます充実の内容でお待ちしております。新製品の展示だけでなく、会場だけの特別販売商品から最新モデル、各種オリジナルグッズなど約5000種類のアイテムが揃った販売コーナーも充実、ミニ四駆競技会やエアロボット、RCカーの体験コーナーなども盛りだくさんのイベントも各種用意されています。そして東京、名古屋ともに、プロモデラー山崎卓司氏の傑作作品展を開催。山田氏が来場してのスペシャルイベントも予定しています（詳細はタミヤwebサイトにて告知）。模型ファンはもちろん、ご家族揃って楽しめるタミヤモデラーズギャラリー。みなさまお問い合わせの上、ご来場ください。

7月号でお伝えした第1回プロモデルコンテスト(仮)in MODELING FLEAMARKETですが、開催を09年3月1日、1日(第7回をデラーズフェスティバルに延期いたしました。なお、同時に開催を予定しておりますAFVの部におけるコンテストは予定通り09年3月22日、23日に行なわれます。

http://mylikeyexp.com/

Akihiro KAMIMURA Presents

1/43 Ferrari 250GTO Diary

上村アキヒロの1/43ホワイトメタルモデル製作記 SUPERIOR MODELSの250GTOに挑む

第11回
ボディカラーはシルバー、下地の仕上げは入念に行なうべし!

構成・文・写真 上村アキヒロ
Conceived, Text and Photos Akihiro Kamimura

いよいよボディの塗装までこぎ着けたスーペリアモデルのフェラーリ250GTO。「え〜? てっきり赤だと思ってたのに、シルバーですか?」そう、シルバーはごまかしが効かない色で、下地の状態がダイレクトに影響してくるので、いつも以上に念入りな仕上げが必要となるのです。

▶さんざん修正を加えたはずのニックルボディだが、塗装前の最終チェックで、おとがのボリュームが不足していることに気がついてしまった! 途中まで進んでいたサーフェイサーを剥がして、ボディの下塗りから、8mmの高さから金属をハンダ付けし、その部分を埋めるように追加したホワイトメタルを盛りつけ、再一にサーフェイサーをかける

▶全体にサーフェイサーを吹く前に、目立ったキズや凹みの上に、サーフェイサーを定置するパテの代わりとして盛り付けておく。使用したのは二液型のウレタンサーフェイサー。このサーフェイサーは硬化時間が速く、あとから追加サンドペーパーをかけたとき、剥がれることもなく、ヒケやラックなどの問題を少なくしてくれる

▶ウレタンサーフェイサーは一度に大量に吹き付けると、ボテボテとしたイメージになるので、薄塗りを数回に分けて重ねる。一度に吹く量は極力少なくしている。塗装のときに自分のインターバルを置いて、次の塗装を行ないたいほど吹き付けた。リアフェンダーやサイドのルーバーなど、ハンダ付けで形状を整えた部分は薄めに吹いておくと安心だ

▶サーフェイサーの硬化を待って、表面を600番の極細目サンドペーパーで研ぎ出す。ボディとドアパネルの表面の曲率の強いにも注意が必要だ。ここでボディとドア、エンジンフードを仮組みして、それぞれのすき間と段差がどうなるかをチェック。これ以後の塗装の厚みも考慮して、少しだけクリアランスを設けておいた

▶このパーツは当年、日本のル・マン参戦車両に出場したS2000GTOに装着されていたパーツ。コクピットへフレッシュエアーを導くためのトンネル状のエアスクープ。外径3mm、内径2.5mmの真ちゅうパイプを適当分にカットして、ボンネットのカーブに合わせて形状を修正したあと、先端のエッジに金属線をハンダ付けしてリブを表現した

▶下地のホワイトには、インターネットの書き込みなどを参考にした調色を施工(日産FX50)のアクセルカラーを試してみた。塗膜が強く、隠蔽力もあり、何よりも下地への吸い付きがよいというのがこの塗料の最大のメリットだ。エアブラシでの吹き付けをすることに成功。吹き出しを繰り返して、最後はコンパウンドでとことんまで研ぎ行なう

これまでの長くつらかった(汗)ボディの故修作業もついに終了。いよいよ塗装の工程に入りました。塗装開始当初は92年のル・マンで2位に入ったゼッケン19の車を作ろうとしていましたが、途中で方針を変更、翌93年のル・マン24時間耐久を走ったゼッケン25で、シルバーに赤白青のトリコロールストライプが入ったものにしました。

シルバーの塗装を行なう際、その正否を決定するのが、その前の段階で行なう下地処理です。メタリックの粒子が均一に並んでこそ、美しい塗膜が得られるわけで、そのためにはいつにも増して滑らかな下地が必要になります。今回はサーフェイサーの上に白を若干薄めに吹き重ね、この塗膜をピカピカに磨き上げてから、ザラツキが出ないように通常より溶剤を若干多めに表記したシルバーを、エアブラシで遠目から吹きつけました。ボディ全体にムラなく吹けたことを確認したら、最後にクリアーで薄くコーティングし、この後のデカール貼りの作業に備えておきます。

▶シルバーも前回までのアクセルカラーを使用している。塗装はピンの先に注意してタマになっているメタリックの粒子を取り除くため、エアブラシのカップに移す際に目の細かいフィルターを通して塗料をろ過している。エアブラシの塗装ではあまりよく知られていないテクニックのひとつ。仕上げにクリアーを薄く吹いて表面をコートすれば、つぎはデカール貼りだ

http://anyikqryexp.com/

さらに「深化」するマスターグレード

MG Ver.2.0ゲルググを岡 正信氏が早速キットレビュー！

請勿轉載至禁藍旗下任何網站及貴樂大陸

http://anyikqr.yexp.com/

●ザクよりひとまわり大型化したゲルググ。ビーム兵器の標準装備など、汎用性を高めるための機体変遷が見て取れる
●腰スカートなどの装甲内にはトラスフレームが入っており、重装甲であることを表現
●背部に多数配置されたスラスターは独立して可動することで高機動であることを表している
●肩ユニットは独立したスラスターユニットとなり、ここでも高機動性を表出している

MS-14S シャア専用ゲルググ Ver2.0
出典／『機動戦士ガンダム』
バンダイ　1/100　MGシリーズ
インジェクションプラスチックキット
税込4725円　発売中
制作・文／岡 正信
㈱バンダイホビー事業部
☎03-3847-5116

「真の意味でのMG Ver2.0」を謳いそれを見事に具現化してしまった傑作キット、ザクVer2.0に続いて、ゲルググのVer2.0がついに発売になりました！ そこで、Ver2.0について詳しく掘り下げた本誌特集（'07年6月号）にてザクの作例を担当した岡プロにまたも登場いただき、Ver2.0ゲルググをキットレビューしていただきましたぞ!!

BANDAI 1/100 MASTER GRADE Ver 2.0 Series
MS-14 GELGOOG

©創通・サンライズ

http://anyikq.yexp.com/

ザクと並べることでわかるVer2.0の"奥行き"

恐るべきポテンシャルを具現化した Ver2.0ゲルググを活かす作り方とは？

ザクに対しての『同じメーカーが作ったことによって生まれるデザインの共通性』『戦況と時代の変化がもたらした構造、機能の変化』をコンセプトとしたVer2.0ゲルググ。設定とプラモデルの多岐にわたるリンクは、もはや神ワザ的なものを感じさせるほどの完成度。しっかりと構築された内部構造がキルビル的な外観という、模型でしか表現できない演出を存分に楽しむために、今回も新作のVer2.0ザク同様にカットモデル用外装を製作してみた。キットの外装は完成後も取り外し可能なように構成されているので、キットをふたつ用意して製作すれば、完成後もカットモデルの状態と普通に外装を組み込んだ状態を組み換えることができるのだ。

http://anyikq.yexp.com/

●今回は内部を見せることでこの機体の性格をより理解するためカットモデル用外装も別途製作した。内部フレームは、マスキングと筆による塗り分け、フレームのグレー系だけでも色味を使用し、さらにダンパーや金属色などのこまかいところは筆塗りで塗り分けたが、キットストレート組みでもここまで効果入がするものとなる

●ただ内装を見せるだけでなく一部を切ることで特徴点である内部エンジンやタンクなどのレイアウトが見て取れるようにされる。また、切ったついでに武器類の表現にはふくらはぎのタンクと内側の前にプラ板を貼んで砲弾を表現とした

●頭部はキットなれいなれいっぽいはずとても美味がよい。内部メカをプレしたいとするためにザクVer.2.0時代のアイの動作型を採用している

●スカート内部と腰部板フレア内部のメインエンジンはまって同じサイズだったので、あえてスラスターノズルも同サイズに統一してみた

●肩アーマーはエッジがシャープに見えるようプチを薄く加工、シャバラの位置が決まりづらいので次ページを参照した。可動はほんの少し制限されるが軸がかなりしっかりしているので問題はない

●変更部位

Ver.2.0のMS-06ザクJ型、S型に続いて、今回はMS-14Sの製作です。キットの内容はザク同様のクオリティとなっており、関節などはABSとポリキャップを適度に使い分けることでさらに組み立てやすくなり、剛性や強度もしっかりしたものになっております。ディテールに関しては、大腿部のタンクや肩部スラスターなどのザクとゲルググのキャラクターとしての相違点が表現されてとてもおもしろいものになっています。今回は、その相違点をより強調するためカットモデル用外装も製作しました。

今回もザク同様、完成後の強度や仕上がりを考慮して後ハメはできるだけ避け、塗装しながら組み上げていくという方法をとりました。一見めんどうに思われますが、可動させたときに関節からのぞく金属色など塗り残しが避けられ、可動の確実性も上がりますのでこの方法をお勧めします。また、仮組み時などにパーツがはずれなくなったり、パーツにテンションが掛かってスミ入れのときに割れるなどということがないように、あらかじめダボはニッパーで斜めに切っておくのを忘れずに。

●胴体

仮組みのときに気付いたのですが、立たせ力が悪いとスカート内で大腿部の後側と5発のスラスターノズルが少し干渉するようでスカートに隙間ができました。ボージングにもう少し余裕を持たせたい方は、逆T字の腰部、腹筋パーツの下側（股関軸）を切断して股関軸のみ数mm前方に移動してもよいでしょう。

胸部と肩部をつなぐシャバラのパーツは、可動のためかけっこうな隙間が開きます。そこで肩関節軸に付く3枚のうち胸部側2枚の穴を広げてやり、取り付ける際は3枚を先に重ねて接着してから取り付けました。そうすると、可動はある程度制限されますがシャバラが奥にめり込んで隙間は軽減されます。外装は、腹部と下のダクトの合わせ目やコクピットのヒンジなどをスッキリ見せたかったので、パテ＋瞬間接着剤で埋めました。

●脚部

とにかく、とても良くできています。元のデザインがよかったというのもあるでしょうが、ザクのときのような「成型の都合です」と言わんばかりな合わせ目もいっさい存在せず、すばらしいのひと言です。アンテナはブレードタイプがけっこう好きなのでこちらをチョイス。ちなみに個人的にはMSVシリーズはブーメランタイプ、それ以外はこのブレードタイプと使い分けて作っていますが、現実の世界でも性能や機能は同等でもマイナーチェンジで形状が違うなどということはよくあることのようで、このかたちだからリアルというわけではないということではないそうです。

●関節

中指一小指の三指を切り離したり外装の合わせ目を消したりしただけでキットのまま、先述したように関節などは先に塗装を済ませますが、注意したいのがポリキャップとスのABS関節です。ABSのみで構成されている関節はパーツのハメ合わせがかなりシビアなので、あとで関節が動かなくなったなどということがないよう、関節軸に付着した塗料は少量のラッカー系うすめ液で拭き取っておきましょう。

●関節

ヒザ関節内側のカバーが連動可動したりカカトがえぐられていたりと、とてもユニークな構造になっています。といってもパーツ構成がよく考えられていて、作業で悩むところは何もありません。もし、ディテールアップを考えておられるならスラスターエンジンなどにパイピングを施すとよいでしょう。「今回はキットのままです」。

●武器

Ver.2.0のザクマシンガンほど凝った分割ではないものの、でっかくなってうれしいビームライフル。合わせ目をていねいに消すだけで充分な仕上がりになります。

http://anjibkpryexp.com/

MSM-10 ZOCK

▶前後対称とはいえ特徴的なボディのゾックだが、本作例では本来の前面部を上面にすることで、上下対称であると解釈。クローを閉じた状態でディスプレイするとピタロククラブロのような印象に見えるのが面白い。胴体中央部はパーツを切り詰めてコンパクトにアレンジされている。

僅供個人商業用途 MSM物被騙子出售 需要出任何 用瀏覽此版本

バンダイ1/144HGUCゾックを速攻レビュー

前後対称MSのおいしい料理法とは?

HGUCならではの工作法、教えます

夏です！　夏といえば水陸両用MS！　というわけでバンダイがついにHGUCゾックをリリースしてくれましたっ。組んでみた第一印象は……「どこから見てもゾックはゾック」。そこで本作例では少し目先を変えてモビルアーマー風に解釈、前後対称ならぬ上下対称の機体を製作してみました。そしてPOOH氏の考える合わせ目処理の極意とは!?　見どころ満載です！

MSM-10 ゾック
出典／「機動戦士ガンダム」
バンダイ　1/144　HGUCシリーズ
インジェクションプラスチックキット
予価税込2625円　7月下旬発売予定
㈱バンダイホビー事業部　☎03-3847-5116
製作・文／POOH

▲今回の作例ではHGUCシリーズを製作する際に役になるポイント、合わせ目の処理を中心に重点的に工作している。組み上げの対処法をぜひとも参考にしてほしい。◀逆さになったジオンマークの不自然な合わせ目処理が上下対称という設定を演出。

■HGUCシリーズ＝年数無制限キットボーダー（はんじゃもりょ！）の称号を得るのはこのゾック。かなりのボリューム（目先でいえばマスターグレードの標準的なキット2個分レベル）を誇るキットとあって、お値段もボリューム感満点。しかし巨大かつ複雑形のパーツがパチパチと組み合わさり、まごうことなきゾックの形になっていくの様子は、これまで溜まりに溜まった制作意欲をバッチリ満腹されている。もちろん前後対称の機体を再現するためパーツは切りパーツをのぞきすべて枠付き一つ入りとされたランナーに配置されており、オールドファンもニヤリとする構成となっている。大きさ、ギミック、そしてなにより造形美を含めたカッコイイ！がいっぱいのキットです。

◆はじめに

HGUCシリーズにおいて、一年戦争時代のMSとしては最後発ということで注目されていたゾックがいよいよ発売されます。前後対称という独特のフォルムもさることながら、キット化に際して初めて発現された内部構造も注目したいところです。

MSM-10という形式からもわかるとおり、カテゴリ的にはモビルスーツなのですが、限りなくモビルアーマーに近いその形状、機能をいかんなく発揮したすばらしいキットだと思います。とくにモノアイ、前後ボリパーツによってHGUC初の全周可動を実現したクローは特筆ものでしょう。

◆製作

さて、今回の作例では、MSというよりはMAとしての機能を発揮させる方向で製作しました。言い換えれば、ゾックは水中での作戦行動に特化したMAであり、頭頂部が前例になると解釈。よって前後対称ではなく上下対称である、という意思。水中での高速かつ隠密な行動に大敵なのは水流の乱れ。そこで、クチバシ先端部と胸にはポーチックスジュラレーターを装備しました。また、脚の下には高速波を強制的に排出するためのフィンも装備されています。

今回の工作テーマは「合わせ目の処理」です。もともと、ボリパーツ以外のランナーがびっしり枠付き入っているキットですから、合わせ目の上からすべてきっちりと合わせ目があります。これをうまく処理して後ハメ加工をすることで、綺麗に仕上げました。

塗装および手直しは間隔なく合わせ目消しとなります。塗装のみアウセントのために投入もモールド化しました。残りの部分は基本的に設定をモールド化しました。ただ、単純にそれだけではおもしろくありません。ラインが単調にならないよう脚の下にはラインを設けたアクセントに、胴部と腕部の合わせ目のとっかかりを入れ、直線的なラインを演出させています。実際に合わせ目ラインを活用しているわけではないので、簡単かつ効果的な手法だと思います

http://anjikqryexp.com/

http://anyikqr.yexp.com/

http://anjitapryexp.com/

地球侵略をねらえ ケロン軍！

こぼんしんりゃく

199×年地球は突如謎の地球外生命体（と、そのバンダイ製プラモデル）の襲来を受けた!! 着々と侵略を進めるおそるべきケロン軍、その秘密基地がこれだ！ ゲロゲロゲロゲロゲロ！ しかも、なんとスクラッチビルドですと!?

▲キットはペーパークラフトなので、いきおい余ってプラ板とかで作り直しちゃった（扇山）

ケロン軍秘密基地
フルスクラッチビルド　製作・文／扇山孝一
＊ケロロロボはバンダイ製キット「ケロロロボセット＋ケロン軍開発工場」（税込3500円）のものを製作しています

ケロロ小隊（とロボ）勢ぞろいであります！

©吉崎観音・角川書店・サンライズ・テレビ東京・NAS

http://myhappy.cxp.com/

遠いあのころの記憶

子供のころ、「秘密基地」は、誰でも憧れる場所でした。野原の隅に捨てられた廃材のあいだ、使われなくなったプレハブ小屋……。光の届かない少し湿っぽい場所が「秘密基地」となるベストプレイス。家のなかの、学習机の内側や押し入れのなか、庭の隅、はたまた「秘密基地の一部所」でしたっけ。やがてサンダーバードの秘密基地が発売されるとおもちゃで「秘密基地遊び」ができることを知りました。私が初めて手に入れた「秘密基地」はウルトラホーク3号秘密基地。実の表面がなぜかなくなってしまったにもかかわらずそれがせり上がるという、設定となった「秘密基地」ではありましたが、子供心を満たしてくれて離しませんでした。

後に大人になってからは、「基地」は、「秘密基地」とあのけっこうキツいお値段で購入しまくりました。サンダーバードの秘密基地やムーンベースはもちろん、ガッチャマンのセロテスター、クレートマジンガー、ウルトラマンレオ・マッキー秘密基地……。中古おもちゃ屋でグレンダイザー秘密基地を（なかなかいい値段でしたが）思わず買ってしまったこともありました。「遊ぶ幻ナ」トの夜明けが動くなってきているのはとても嬉しいことですね。ウルトラホーク秘密基地が再販なんてことになったら――と、想像しではワクワクしてしまいます。

そんなこんなで秘密に時が流れて時代はケロン人秘密基地を舞に出現させました。これは作らなくてはいけません（強迫観念）。しかし、キット形態はペーパークラフトでした。プラモ復権の私には厳しいです。次々と生産されるケロロロボたちをワシワシ食べて遊べる「秘密基地」がほしい！　遊ぶことなくプラ好き切り出していた私は、小学生のころに戻っていました。プラモデルひとつまともに完成させることができなかったあのころの「悪い」を、いまこそケロロ軍秘密基地でスッキリさせて……って、あれ？　コレは「基地」では全くて「工場」じゃん？　まぁ、いいか。

http://anyhkp.exp.com/

やっと5体そろって誕生!! なのであります!!!

今回の例として掲載した2体と合わせ、本誌8月号掲載のケロロロボ（製作／奥山淳一）、ギロロロボ（製作／吉田かずのり）、クルルロボ（製作／POCHIの3体が揃い、合体することで「グレートケロン」に！合体というでも言えば、手や足や胴体やらを一度バラして組み合わせる合体――でもいいんです！ひみつ基地ときたら合体、これ鉄則ですから。あなたの工夫で作る場合は、重量オーバーに気をつけないとへろへろになるであります（体験談）

武器がミソであります！

本誌のキャノン砲は小さめに変えたので基部はキットのものを使い、後部と胴身を切断、後部の延長にエバーグリーンのスクエアパイプを使用、胴身自体もエバーグリーンのプラパイプを放射状と太目のディテールアップパーツなどでひと回り大きく制作、また、下方向にボリュームを感じたので、HGUCガンダムMkIIのバズーカマガジンを移植しました。左肩のミサイルランチャーには追加武装として、上部にMGF2ザクの3連ミサイルポッドが上下左右に可動するように取り付け基部をプラ材で新作し増設しました。

足のボリ部品は塗装ができないため、内抜き穴を綺り消しゴムで埋めてからレジンで複製して形を整えています。中央の細いモールドの再現にO・25㎜厚の薄切りプラ板を貼りました。足の中央部は塗装をしやすくするため切断し、プラパイプで補強しています。そのため効果はあまりありませんが回転します。スネのパーツは合わせ目に段落ちモールドを入れ、スジ彫りを追加して塗装後に組み立て可能としています。足やスネの目立つ合わせ目にはスリット入りプラ板を貼って目立たなくしています。ソーサーはあまりにシンプルだったので、ハンドルをプラパイプと流用パーツでディテールアップしています。

●基本工法として、スジ彫りはすべて彫り直しています。パーツ数を少なくするためにいくつかのユニットが一体成型されている箇所は、別パーツに見えるようにスジ彫りを適宜に入れていますが、スジ彫りを入れることによって、塗装の際のマスキングの手間がかなり軽減されるというメリットもあります。足の裏部のボリ部品は塗装ができないのでレジンで複製しました。塗装はタミヤ系の基色とかりの色にしたので、いつものようにフィニッシャーズのアクリルプラサフとかりイトで全体つや消し。フィニッシャーズカラーで成型色に近いものを使用して調色しました。イエロー部はレモンイエロー、ボディ部はスーパーディープブルーをイメージして使用しています。塗装にもアクセントを付けるため、武器とソーサーの塗り分けにこだわってみました。武器をキャノンとミサイルも塗り分けています。全体はつや消しで仕上げていますが、ロボとタママの顔のみツヤありにしました。チャームポイントですからね。

TMM-タママロボ

Modeled by Kouji TAKEMOTO

タママロボ
出典／「ケロロ軍曹」
バンダイ ノンスケール
インジェクションプラスチックキット
税込630円　発売中
製作・文／竹本浩二

ドロロロボ
出典／「ケロロ軍曹」
バンダイ ノンスケール
インジェクションプラスチックキット
税込630円　発売中
製作・文／米山正樹
㈱バンダイホビー事業部
☎03-3847-5116

バイクをモチーフに……

今回は、ほかの方と同じく合体を意識しない装備で、という基準で製作することに……というわけで無改造が前提だった時期ですが、どうにかモチーフ心をくすぐる形をしていたため、関節部分を手近にあったHGUCシャアザクのキットから流用してしまいました。

基本となる改造はここまでとし、あとは「コンペ的装備」の盛り込みですが、ロボ本体の目と背面、ソーサーの形状などから

ヒントを得て、全体的にバイクなどの乗り物をモチーフにディテールを加えていきました。ロボの目の部分は、黒目をナイフでくりぬき、内側から市販の円形パーツを重ねて「プロジェクターランプ」風にしています。テールランプも同様にくりぬいて、内側からモールド入りプラ板を貼ってベースを作り、そこに市販のパーツを貼って作りました。

肩、脇の関節はHGUCシャアザクの関節を移植、取り付け方は、上腕、下腕の関節部のスイングの中心を大まかに決め、3㎜の穴を開けてプラ棒をとおし、軸の付いたポリキャップをあいだに挟んで関節パーツの軸としました。関節も基本的には同じ方法です。関節は大腿部が円形のジャンクパーツ、膝下側がコの字型プラ板で関節部で左右スイングできるようにしました。

●ロボの目はヘッドライトをイメージして、くり抜いた黒目の後側にコトブキヤの広角パーツを仮置きし、その奥に「HDアイズ」を貼り付けました。HDアイズは裏からシルバーを吹き、表からクリアーブルーを吹いています。貼り付けは、塗料が溶けるのを防ぐため両面テープを使用しました。なお、テールランプも同じ方法で製作しています

●ソーサーに装着したメーターパネルは1/24カーモデルのステアリングのパーツと1/48戦闘機のコルセアの機器のパーツで製作。マフラーは同じくコルセアのエキゾーストを加工して、L字に曲げた真ちゅう線と組み合わせました

●ソーサーは、バイクのディテールをイメージして、メーター、ハンドルバー、マフラーを追加してみました

DRR-ドロロロボ

Modeled by Masaki YONEYAMA

http://mylikeyexp.com/

ついにテストショット公開のシリーズ100点目

マスターグレードVガンダム

発売まで秒読み段階!

最高のスタイルはまさに「傑作」!!

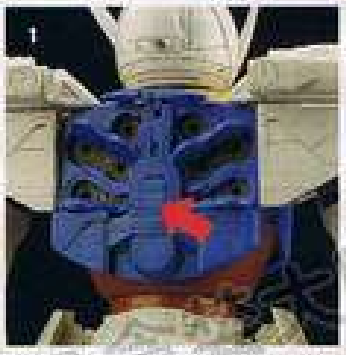
静岡ホビーショーでの電撃発表から2ヶ月あまりを経て、ついにその姿を現したマスターグレードVガンダム。どこをとっても美しいアウトライン、全身の繊細なディテール、そしてありとあらゆるポージングが破綻なく決まる可動ギミック。奇跡のキットが手に入る日は近い!!

WD-MD1 Vガンダム
出典:『Vガンダム』
バンダイ 1/100 マスターグレードシリーズ
インジェクションプラスチックキット
8月発売予定 予価税込3990円
(㈱バンダイホビー事業部 ☎03-3847-5116)

■写真はキットをストレートに組み上げたうえで決定的な違いを加えたもの。全体にちりばめられた繊細なスジ彫りはこれまでのガンプラと一線を画すシャープさ

■ところどころに見える黒いモールドは、外装の開口部から内部のメカ的パーツを露出させることで再現。いわゆるフレームにあたるパーツは車輪としての機能ではなく、あくまで外装の隙間から少のぞく内部メカとして設計されている

■アウトラインはシド・ミードによるオリジナルスケッチやアニメ作品用の資料など膨大な資料をカトキハジメ氏が徹底解析。バンダイ開発陣とともに、全体のアウトラインだけでなく内部の構造や各所のディテールまで1/100m単位で検討していった結果このモデルの完成した



■胸部のハッチはすべて設定どおりに開閉。マルチバーバスザイロ後端部が見える。中央の黒い小ブロックは胸部ハッチ開放のきっかけを作るスイッチ。勝手になくピッタリと閉じているハッチを開閉するために、背面のスイッチを押すことでオルデバーバスザイロが前方にせり出すギミックを装備。閉じていたハッチがそれぞれ浮いた状態になり、ハッチが開くようになるのだ

■ぴっしりとディテールの詰め込まれた胸部ハッチはヒンジが露出しないよう設計されており、ご覧のとおり外観を損ねることなくピッタリと閉じる。胸の十字型のパーツは白と黒の選択式。シドファンにはうれしいオマケだ

■ビームサーベル、ビームライフル、シールドはもちろん、ガンダムハンマーも付属。コクピットブロックはフロントスカートとともに取り外すことができ、コアファイターに変形させられる。手の平にはこまかな波模様のモールドが!

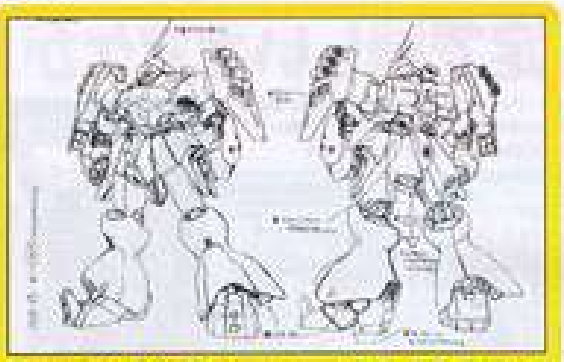
真のインダストリアルデザインが動くモデルで手に入るということ

シド・ミード氏は"ヴィジュアル・フューチャリスト"として知られるインダストリアルデザイナー。独特の線で描かれたドローイングで未来的なヴィジュアルを提示し、そのデザインは建築物や家電製品、映画用プロップなど多くの立体物となって具現化されている。なかでも今回バンダイが発売するマスターグレードVガンダムは最先端の工業製品でもある「ガンプラ」という形態でシドデザインを立体化したものとなるわけだが、両者の親和性が極めて高いことを改めて感じさせる製品となっている。

写真Aを見ると、胴部前面を通る円形のレールに沿って胸アーマーをはね上げ、脇の内部機構を確保するというアイディアや、スッキリとしたアウトラインでありながら微妙な曲げられる脇の構造などがみごとに再現されている。また、写真Bを見ると、滑らかな可動なひざ関節と足首の機構、複雑な形状の腰部装甲のスラスターベーン、中ほどで前方に折れ曲がるスネ部分など魅力的な要素が満載。シドデザインフリーク指数が高ければ高いほど、この立体を手にすることで初めて「ああ、あのデザインはこういう意図で描かれていたのか」という新鮮な感動を味わうことができるだろう。

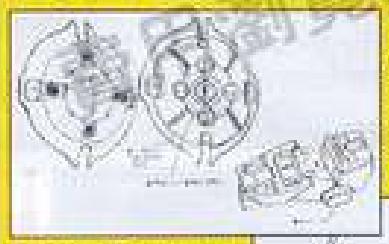
http://myhkr.exp.com/

HGUCシリーズ、ついに『逆襲のシャア』シリーズへ!!
ギュネイ・ガス用ヤクトドーガ出撃!!

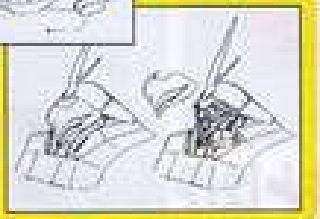


開発参考用画稿公開!!
ヤクトドーガの細部をチェックする

▶ヒートナイフつきビームサーベルを設定どおり腰部に内蔵可能とするため、ずらされた腰部、サイドスカートを開口し、そこから柄をつかむ手がのぞき、内部にスリットのあるメカ的ディテールが採用されているなど、細部にまで工夫がされている



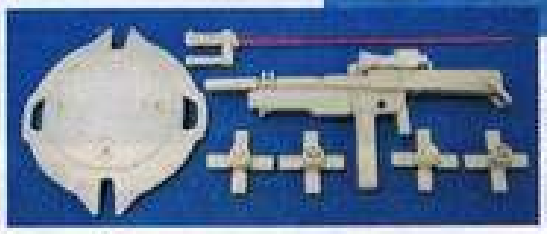
◀メガ粒子砲内蔵のシールド。メガ粒子砲が入っている部分力を示すこと、合分けなどのこともあって同パーツがかぶせて構成されるようだ。右下では設定のディテールを検討



▶ヤクトドーガ最大の特徴であり機能は形状をなす頭部。目のような高機形状の確認と、内部モノアイの設置、フェイス部分の分割、目の周部など難しいパーツやギミックが随所に集中するため、立体化のハードルは高いといえる

■HGUCシリーズもものラインナップが80を超え、ついに『逆シャア』登場MSも同シリーズに加わることとなる。そのトップバッターをつとめるのは強化人間ギュネイ・ガスの駆るヤクト・ドーガ。今回公開された形状参考用設定を見ると、複雑な曲面で構成された"恐人顔"の頭部や、手首を覆うようにフレアが伸びている前腕部分など、これまでの立体物では見られなかった新たな解釈を加えて立体化されていることが見て取れる。ヒジやヒザなどの可動部を見ると、「可動のために切り欠きを設ける」というアプローチではなく、組み込み式関節の採用などにより「逆シャア」登場MS特有のアウトラインが崩れないように計算された構造になっているのも興味深い

■HGUC ヤクト・ドーガ
(1/144 10月発売予定 予価税込2200円) 出典「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」
●バンダイ ※バンダイホビー事業部

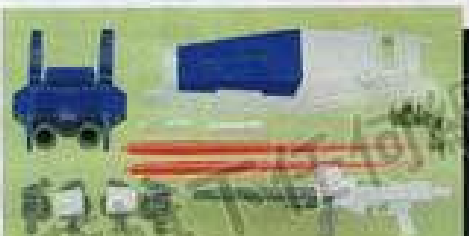


◀武器はグレネードつきビームアサルトライフルのほか、ヒートナイフつきビームサーベル、メガ粒子砲内蔵のシールド、ファンネルなどが付属。カバー展開状態のファンネルが1/144スケールでキット化されるのは初めてのこと。ディスプレイ方法が気になるところだ

▲左からブルーディスティニー1号機、2号機、3号機。並べると各機の形状の変化だけでなく、武装や成型色の違いも浮かび上がってくる
▶武器はビームライフルとビームサーベル。シールドは連邦軍の標準シールドと異なる上下に突起のついた専用のものが付属する。ボーナスパーツで左手でライフルを持つ手首が付属するのがうれしい

ブルーディスティニー3号機発売でBD全機そろい踏み!

■HGUC ブルーディスティニー3号機
(1/144 6月発売予定 予価税込1575円) 出典「機動戦士ガンダム外伝 THE BLUE DESTINY」
●バンダイ ※バンダイホビー事業部



▶設定の3号機、1号機に続き、ブルーディスティニーシリーズ最後の1機。3号機は、前作の機体は設定の3号機と比べ、ほとんど同じだが、腰部色が設定と違ったトリコロールカラーとなっている点、特徴部の変更が施されている

成型色はアニメカラー 水陸両用MSセット

■HGUC シャブロー攻撃作戦 水陸両用MSセット
(1/144 7月発売予定 予価税込1575円)
出典「機動戦士ガンダム」
●バンダイ ※バンダイホビー事業部

データ内容略文字：■=インジェクションプラスチックキット

© 創通・サンライズ

http://mikuryexp.com/

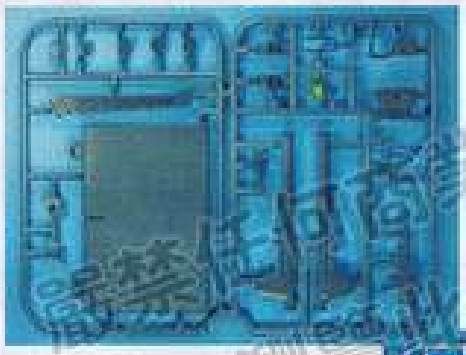
■『スターダグレード RX-78 ガンダム VS. ロイ・W・ロッドのアニメーションカラーバージョン』（1/100 発売中 ¥3,675円）
アニメで描かれたガンダムのカラーをイメージした塗装が施されたガンダム。白はいなと表現されたキット。いわゆるスペシャルガンダムとしてい設定されている
●バンダイ 他バンダイホビー事業部

初回出荷限定で嬉しいオマケが！

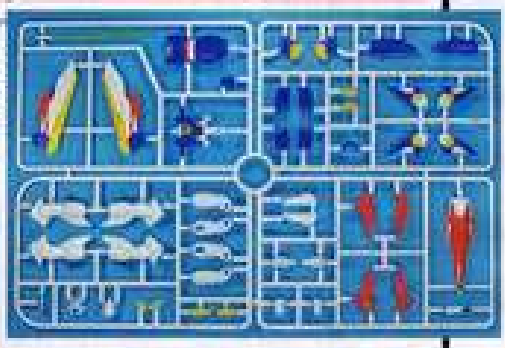
■ディアッカとイザークの専用機が発売。初回出荷には特典としてそれぞれのキャラが描かれたSeed Club Mobileのカードが付属する

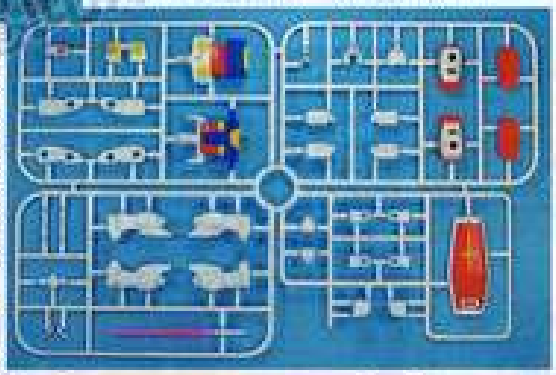
■HGブレイズザクファントム ディアッカ・エルスマン専用機
（1/144 9月発売予定 予価税込1575円）
出典/「機動戦士ガンダムSEED DESTINY」
●バンダイ 他バンダイホビー事業部

■HGグフイグナイテッド イザーク・ジュール専用機
（1/144 8月発売予定 予価税込1575円）
出典/「機動戦士ガンダムSEED DESTINY」
●バンダイ 他バンダイホビー事業部

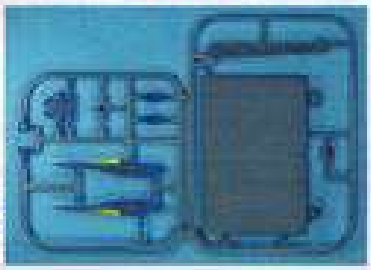


◀▼ランナーを見る限りRX-78ガンダムのパーツが彩色済みの状態で並んでいる。サイドスカートと脚部を一体成型するなど新規な構造。フェイス部の塗り分けやシールドの塗り分けもしっかりされている。グレーのランナーにはディスプレイベースと思われるパーツや各種武器が配置されているのが分かるが……





■ここに掲載したのはバンダイホビー事業部より突如届いた画像。白にゃらが色塗り色ランナーがてんこもり。その名も"Speed Grade Collection"（スピードグレードコレクション）といい、HCM-Proなどと同じ1/200スケールで展開される新展開のガンプラとして開発中とのこと。現段階ではラインナップなど不明な点も多いが、第1弾の発売は9月、予価税込780円となる。スピードグレードという名称は「早く組める」という意味を表しているのか、はたまた――。なんにせよガンプラに新しいカテゴリーが加えられることでより楽しみの幅が広がることは間違いなさそうだ。



◀▼ウィングガンダムのランナー配置。ほぼ全面塗装が施された

ガンプラ新展開!!
突如公開された塗装済みランナーの意味とは!?

バンダイのキャラホビ限定アイテム どのアイテムも見逃せませんよ!!

■HGUC 1/144 シャア専用リック・ドム コーティングバージョン
（1/144 価格未定）
●バンダイ 他バンダイホビー事業部
HGUCのドムにシャアカラー配色、ツヤをおさえたメッキに近しい色のコーティングが施されと戦場の華に仕上がっている

■HG 1/60 RX-78-2 ガンダム 大河原邦男 イラストバージョン
（1/60 価格未定）
●バンダイ 他バンダイホビー事業部
ついにPGで発売になるいわゆるリアルタイプカラーのガンダム。胴体や脚部などそれぞれ異なるカラーが塗られるものを組み合わせて再現できるのもPGならでは

■1/100 ライブコンサートカラー ザクウォーリア エクストラフィニッシュバージョン
（1/100 価格未定）
●バンダイ 他バンダイホビー事業部
ミーア・キャンベルが乗るザクウォーリアがビッグサイズでエクストラフィニッシュに

■メカニックコレクション ランスロット カラーコーティングバージョン
（1/35 価格未定）
●バンダイ 他バンダイホビー事業部
「コードギアス 反逆のルルーシュ」に登場したランスロットのメッキバージョン

■バンダイ・ホビー事業部よりの話題となったキャラホビ全種限定アイテム4点が発表された。約スケール2点、個性的なキャラクターがそろっており、コレクターならずともぜひ手に入れたいアイテムばかり。詳細はhttp://bh-genmai.net に掲載されるので、合わせてチェックしてほしい

C3×HOBBY2007 キャラホビ2007

●開催日:2007/08/18(sat)・19(sun)
マーケットアマチュアは8/18(土)のみ開催
マーケットPROは8/19(日)のみ開催
●会場:幕張メッセ国際展示場
●主催:C3×HOBBY 2007実行委員会
●後援:日本商品化権協会、日本玩具文化財団、千葉県、千葉市
●協賛:興和ホビリ株式会社
●特別協力:月刊電撃ホビーマガジン、月刊ホビージャパン
●協力:アニメイトムービック

今年もC3×HOBBY2007(以下キャラホビ)が開催される。ホビーの総合イベント化著しいこのイベントだが、唯一のガンダム・創造物種の降り場としてアマチュアディーラーの作品発表の場となっている。アマチュアディーラーは18日のみだが、ここでしか見られない作品も少なくないはずなのでぜひ足を運んでみよう

©創通・サンライズ
©創通・サンライズ・朝日放送
© SUNRISE/PROJECT GEASS・MBS Character Design ©2006 CLAMP

http://myhkpr.exp.com/

『機動戦士ガンダム00』4機のガンダムが揃い踏み!!

新たなる「ファーストグレード」の始動

10月よりスタートする新番組「機動戦士ガンダム00」に登場する4機のガンダムがファーストグレードの名を冠してプラスチックキット化。シンプルなキット構成ながら、新機構を取り入れたことで全身可動のキットとなっている。

※本ページ機動戦士の問い合わせはすべて、バンダイホビー事業部 ☎03-3847-5119

FG FIRST GRADE

■ガンダムキュリオス
(1/144 9月発売予定 予価税込630円)
出典/「機動戦士ガンダム00」

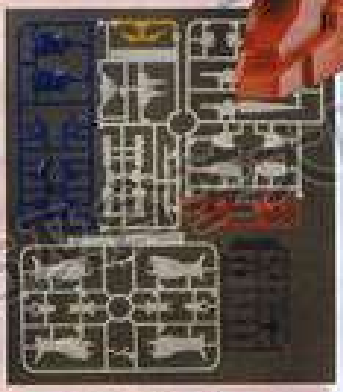
■ガンダムデュナメス (1/144
9月発売予定 予価税込630円)
出典/「機動戦士ガンダム00」

■ガンダムエクシア
(1/144 9月発売予定
予価税込630円)
出典/「機動戦士ガンダム00」

■ガンダムヴァーチェ
(1/144 10月発売予定 予価税込735円)
出典/「機動戦士ガンダム00」

■胴体と腕はダブルボールジョイントの異関節で接続。胸部左右ブロックは別パーツで、「00」MSの特徴的な形状再現と可動範囲の拡大などと投資している
■「SEED」関連のコレクションシリーズでは不可能だったヒザやヒジの可動も新開発のポリパーツによって実現。どの部位もすべて強いパワー可動なのがうれしい

▲ガンダムエクシアの装甲はパーツで構成され、立体感あふれる出来となっている。フェイスが別パーツなのでお好みの表情を選択できるのもうれしい
▶少ないパーツ数ながら形状・可動範囲ともすばらしいバランスで再現されている



HCM-Proでも展開! エクシアには初回特典も!!

■HCM-Pro 44-00 ガンダムデュナメス
(1/200 10月発売予定 予価税込2,415円)

■HCM-Pro 45-00 ガンダムエクシア
(1/200 10月発売予定 予価税込2,415円)

■塗装済み完成品シリーズのHCM-Proでも「00」関連アイテムが登場。音楽に対する武器が劇中での活躍を予感させる。ガンダムエクシアの初回出荷分には特典としてなんと豪華アクションベース(付属)。複数のMSが展示可能なのだ

©創通・サンライズ・毎日放送

データ内容略文字:■=インジェクションプラスチックキット、■=塗装済み完成品

http://mikaryexp.com/

HCM-Proシリーズ夏の大攻勢に注目せよ!

▲【HCM-Pro SP-003 νガンダム スペシャルペインテッド(仮)】
(1/200 9月発売予定 予価税込5040円)
出典/「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」
●バンダイ ㈱バンダイホビー事業部

▶【HCM-Pro01-02ガンダム ロールアウトカラーVer.】
(1/200 9月発売予定 予価税込2100円)
●バンダイ ㈱バンダイホビー事業部
HCM-Proシリーズ3周年記念として発売されるのがこのガンダムロールアウトカラー。本体から黄色や青の鮮やかなカラーが放たれ、ホワイトとメタルカラー、赤で構成されている。カラーリングとしては目新しく感じるが、「HOW TO BUILD GUNDAM」の表紙を飾ったガンダムもこのカラーということで、じつに「面構えしい」カラーだったりする

◀HCM-Proのνガンダムがスペシャルカラーで帰ってきた。完成後の高いクオリティは本体小さな本体に収まったギミック、ディテールはそのままに、塗装部分はパール塗装、マーキングもニューデザインとなる

【HCM-Pro43-00 ジェガン】
(1/200 9月発売予定 予価税込2625円)
出典/「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」
●バンダイ ㈱バンダイホビー事業部
HCM-Proシリーズのなかで「逆襲のシャア」最後の立体となるジェガン。最後を飾るにふさわしく、のちに発展型として登場するジェガンAタイプ、ジェガンBタイプそれぞれの追加パーツを追加した豪華な仕様。腰のミサイルポッドやグレネードつき武器類、ビームサーベルラックの装備など、装備選択したいで好みのジェガンを作ることができる

HCM-ProスペシャルマーキングキャンペーンVol.1+2

現在でHCM-Pro製品を購入するとHCM-Pro用のデカールが貰えるキャンペーンが7月、8月と続けて行なわれる。7月配布の第一弾のデカールはSDEO+連邦軍のマーク。8月配布の第二弾は、逆襲のシャアカラーのマーク。そのほか7月中旬からはHCM-Proカタログを貰えるキャンペーンも開始

▶【BB戦士三国伝 曹操ガンダム】
(ノンスケール 今秋発売予定 価格未定)
▼【BB戦士三国伝 孫権ガンダム】
(ノンスケール 今秋発売予定 価格未定)
●バンダイ
㈱バンダイホビー事業部

■三国志をモチーフとした新たなBB戦士シリーズ「三国伝」から曹操ガンダム、孫権ガンダムが発売決定!

▶【BB戦士三国伝 呂布トールギス】(企画中)
劉備たちの最後の敵。サブビーに続き、ガンダム系以外の武将にも商品化の企画が回ってくるか?期待を込めて!

BB戦士三国伝がおもしろくなってきた!

金色に輝くアストレイのバリエーション機

【BB戦士 209 アストレイゴールドフレーム】
(ノンスケール 9月発売予定 予価税込1050円)
BB戦士のアストレイに新たなバリエーション商登場。レッドフレームにつづきゴールドフレームが仲間入り。装甲のあいだ、フレーム部分のゴールド色部分は金メッキで再現される

【BB戦士 207 スターゲイザーガンダム】
(ノンスケール 8月発売予定 予価税込630円)
●バンダイ ㈱バンダイホビー事業部

© 創通・サンライズ
© 創通・サンライズ・毎日放送

http://mylibrary.exp.com/

「1/100ギャリアR3化」勝手に応援団!

連載第8回 「ついに公式応援団長就任決定!」の巻 &「あんたギャリアの何なのさ」スペシャル

なんとなく流れで今月もまた1ページ枠ゲット!(笑)
(しかし、いつまで連載できるのかマジ不安)

企画・構成・写真・文・勝手に応援団長 あさのまさひこ

©創通・サンライズ

先月号に記した「ギャリアR3化の夢は完全には絶たれていなかった」という旨に対し、こちらの予想をはるかに上まわる数多の声が寄せられた。

反響が大きいのはもちろんうれしいわけだが、少々悪い意味で「ほっとしすぎ」というか、「……ちょ、ちょっと待ってよ!」と声掛けをしたくない部分もある。

と、いうのも――確かに、ギャリアR3化の夢は完全には絶たれていなかったが、いま現在R3ギャリアが置かれている状況は、ペンディング(企画の保留凍結)以上でも以下でもなく、今後、ペンディング状態のままキット化が お蔵入りになってしまう可能性がないとも言い切れない。

つまりは、見方を変えれば「キット化が完全に ボシャったと公言するには時期尚早なだけ」とも言えるわけで、R3ギャリアの置かれた状況に何かしらの明確な変化が生じない限り、このペンディングが解消するのは難しいと考えるほうが賢明だろう。

そんなギリギリの状況のなかで、新たなニュースがひとつ、バンダイ ホビー事業部のR3チームから、正式なかたちでぼくに対し「R3ギャリア公式応援団長への就任オファー」が届いたのだ。

え、勝手に応援団長が「公式応援団長」に変わったところでやることは自体はたぶん何も変わらないと思う反面、これまではバンダイの広報部には無関係にぼくと M2は編集部の自由意志でこの応援ページを作ってきたわけだが、バンダイのほうから「R3ギャリアのキット化の可能性を捨てないために、勝手に応援団をプラットフォームにしてキット化機運を盛り上げていってほしい」と頼まれた以上、今後の当ページには ある種の「責任」と共に これまでは上あった「説力」が生じたのだと思っている。

そう――真意での「絶対に負けられない戦い」はここからはじまると考えるべきだろう。R3ギャリアの置かれた状況に「何かしらの明確な変化」を起こすため、みんなにもいっしょに戦ってほしい。何をどう戦うべきかはぼくからも提案していくつもりだが、戦いが第2章(終章?)へ突入したという事実をみんなにも広く受け止めてほしいのである。(以下次号!) ■

▲「モザイクなしで見せろ!」という投書が続出の第2次試作モデルだが、バンダイからの回答は今月も「ご勘弁を」。ゆえに、既制ギリギリでモザイクを薄めにして再掲載!

お子様急増、その思いバンダイへ届け! あんたギャリアの何なのさ!?

(みなさまからの「1/100ギャリアR3化」に対する意見・要望・はげまし・期待・ご意見・ご感想・「あんたギャリアの何なのさ」等を、思いと意見そのままでバンダイ ホビー事業部にも公開します!)

●R3の発表時期を考えると、「ギャリアのキットは来年のものではない」ロットをとられるコメントを頂けますとなるほど多くの人が、ギャリアR3化に対しても、いろいろ思いがあるようですね。

[illegible]

●こんないい話に乗っかっちゃうんだよ! しかしあのとき頑張ってやってもらった一言は忘れないぞ。ちょっとがんばるのは絶対! 本当ありがとう! 頑張ってください! 応援してます!

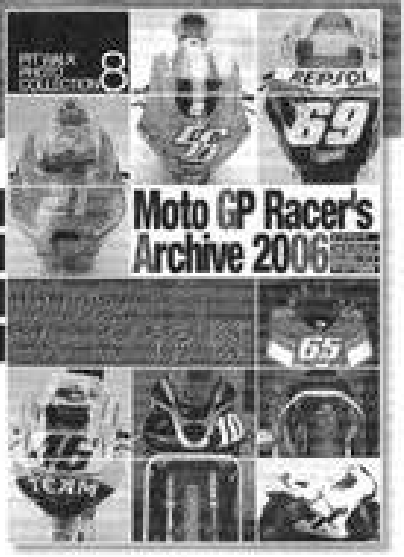
[illegible]

●あのひとつ、意見と応援。もひとつ、あの時代、ギャリアがクロスを見えてしまうようなデザインは、今の時代の感覚で言うのもオ[illegible]。よくいえば

http://myhkpr.exp.com/

Moto GP Racer's Archive 2006

ビットウォーク
フォトコレクション8
Moto GPレーサーズ
アーカイヴ2006



吉村誠也 著 定価3,675円(税込)

A4サイズ／ソフトカバー／145ページ(オールカラー)

好評発売中

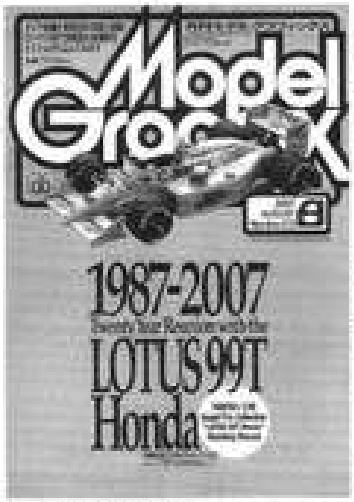
2006年にMotoGPへ出場した全マシンを網羅した資料写真集。巻末には07年シーズンオフテストの取材を敢行し、さらに開幕戦も取材している。排気量が990ccでの最終年となる2006年と、800ccの初年度となる2007年で、マシンがいかに進化していくかがわかる貴重な写真が満載。

990ccラストイヤー モンスターたちの最後の晩餐

お問い合わせ お申し込み先
株式会社 大日本絵画
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町1-7
TEL.03-3294-7861
http://www.kaiga.co.jp/

http://anyikqr.exp.com/

バックナンバーのご案内



モデルグラフィックス8月号

[巻頭特集]2/48 エンゼルロータスMF1 ロータス99T Honda/フランスGP アイルトン・セナ仕様/ジミ・ヒ 1/20/松尾哲二 ●ミ・ヒ1/20ロータス99T をみるみるうちにセッコンスに作る方法/松尾哲二 ●M.B.D.Ⅱ That's "LOTUS 99T Honda"/ロータス99T Honda(前期型)/ローズ・アップ&ヒストリー/大澤 慧 ●ミ・ヒ99Tモデル全を徹底まで検証する!/ハイクラフトコレクションシリーズ2/ロータス99T Honda/ホンダF1ハイクラフトコレクションシリーズ2/ロータス99T Honda/あさのまさひこ ロータス99T Honda「日本GP」/平嶋 雅信編/ジミ・ヒ 1/20/松尾門 LOTUS 99T Honda「かく戦ひ」/小倉清隆 「知る知るお問いかさせていただきますか」——[聞き役]鳥、ミ・ヒはもちろん作品ちゃってこれならいいのでしょうか?/あさのまさひこ ■CHARACTER MODELING MGの地球儀(世界地図)作戦、始めます!(前編) ナロロロボ/ジンダイ ノンスケール/富山幸一 ナロロロボ/ジンダイ ノンスケール/SOON 機動戦士ガンダムシンダイ UTAN MOJIK/小林誠介 WildRiver's G-WORLD 月刊戦車 MS-06J ザクⅡ量産型 Ver2.0 MS-07B-3グフカスタム/ジンダイ 1/100 MG/WildRiver's 月刊戦車 機動戦士ガンダム ■AFV MODELING スカイライン 2000GT-R/ファイン 1/24/M.B.D.I スカイラインGT-R BNR34 ニスモ・ロンバー仕様/ホ上アキラ ■AIRCRAFT MODELING このキットの作成過程が見たいんしょ! C-130トランザール/ライフシャル 1/72/清谷真一郎 B-29ボ ローター/ハセガワ 1/72/松本憲男 紫 フルスプラッシュ・ヒーローの誕生 デ!ハピ!ランド!DPS社 ファメラス・モスピ/フルスプラッシュ・ヒーロー/中島正治 ■AFV MODELING MG1スーパー ■CAR MODELING レジェンドミュ エディション(ジャパン)/ 竹山洋 ■CAR MODELING オ ■AIRCRAFT MODELING EUTAN! ATM-09-ST スコープドッグ/ハセガワ 1/20/WOTAN! マガンダム/ハンダイ SOONMG! MS-14S ゲルググ/MG2.0/ハンダイ 1/100 MG! MT-06 ウルフ・ライター(AFV/ケラブ) 1/35

モデルグラフィックス

月刊モデルグラフィックス
定価780円(本体743円)
毎月25日発売

MGバックナンバー常備店

●東京ドラゴン(株) 東京都千代田区神田錦町1-1 TEL03(3294-0011)
●東京ファンタジー 東京都千代田区神田錦町1-1 TEL03(3294-0011)
●東京ナンバーワン 埼玉県川口市 TEL048(281-0011)
●東京ワンダー 埼玉県川口市 TEL048(281-0011)
●大阪ドラゴン 大阪市中央区 TEL06(6211-0011)
●ファンタストア 大阪市中央区 TEL06(6211-0011)
●ホビーランド 愛知県名古屋市中区 TEL052(331-0011)
●ホビーランド 愛知県名古屋市中区 TEL052(331-0011)
●ホビーランド 愛知県名古屋市中区 TEL052(331-0011)
●ホビーランド 愛知県名古屋市中区 TEL052(331-0011)
●ホビーランド 愛知県名古屋市中区 TEL052(331-0011)
●ホビーランド 愛知県名古屋市中区 TEL052(331-0011)
●ホビーランド 愛知県名古屋市中区 TEL052(331-0011)
●ホビーランド 愛知県名古屋市中区 TEL052(331-0011)
●ホビーランド 愛知県名古屋市中区 TEL052(331-0011)
●ホビーランド 愛知県名古屋市中区 TEL052(331-0011)
●ホビーランド 愛知県名古屋市中区 TEL052(331-0011)
●ホビーランド 愛知県名古屋市中区 TEL052(331-0011)

年間購読のお知らせ(割賦・特別扱い)

年間12号分購読料10,000円(送料・税込)現金書留・為替にて受け付けます。下記の住所 模大日本絵画「年間購読係」まで送金してください。尚、お申し込み受付日以降に発売される号より順次とどけて参ります。

お問い合わせ・お申し込み
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町1-7
㈱大日本絵画 通販係
TEL03-3294-7861
http://www.dainippon-g.co.jp

ご注文方法

お求めの書籍・雑誌の本体価格+消費税5%+送料を現金書留・為替のうちのいずれか1つの方法で送ってください。必ず書名、冊数、住所、氏名、電話番号、郵便番号を明記してください。封筒の裏にも名前を書いてください。おつり、送料差額は切手代用にてお返しします。また、本が届かない場合は左記まで一報ください。

通信販売の送料

1回のご注文が(MGのみ)

1冊の場合……送料100円
2冊の場合……送料150円
3冊の場合……送料240円
※4冊以上から小社負担

MG絶版リスト

●[illegible] 通巻1号 通巻[illegible]円
●[illegible] 通巻[illegible]号 通巻[illegible]円
●[illegible] 通巻[illegible]号 通巻[illegible]円
●[illegible] 通巻[illegible]号 通巻[illegible]円
●[illegible] 通巻[illegible]号 通巻[illegible]円
●[illegible] 通巻[illegible]号 通巻[illegible]円
●[illegible] 通巻[illegible]号 通巻[illegible]円
●[illegible] 通巻[illegible]号 通巻[illegible]円
●[illegible] 通巻[illegible]号 通巻[illegible]円
●[illegible] 通巻[illegible]号 通巻[illegible]円
●[illegible] 通巻[illegible]号 通巻[illegible]円
●[illegible] 通巻[illegible]号 通巻[illegible]円
●[illegible] 通巻[illegible]号 通巻[illegible]円
●[illegible] 通巻[illegible]号 通巻[illegible]円
●[illegible] 通巻[illegible]号 通巻[illegible]円
●[illegible] 通巻[illegible]号 通巻[illegible]円

MGの定期購読はセブンイレブンで申し込めます。詳しくは店頭でお問い合わせください。

http://military.exp.com/

月刊「モデルグラフィックス」姉妹誌 バックナンバーのご案内

Armour Modelling

戦車、装甲車、兵士などのミリタリーモデルとそれにまつわる情報を一冊につめこんだ、ミリタリーモデラーのための専門誌。戦車模型を作り始めたばかりの初心者からベテランモデラーまで、すべてのミリタリーモデラーにとって、なくてはならない記事を満載。バックナンバーも残りわずかなのでお申し込みはお早めに

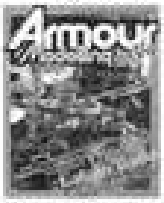
月刊アーマーモデリング
定価1380円(本体1314円)
毎月13日発売

AM専用バインダー(6冊用)発売中
1,000円+税(送料サービス)

8月号好評発売中!
【特集】
実在しない"ホンモノ"の戦車

これまで比較的不人気なテーマとして扱われてきた架空戦車車両。「超兵器過ぎて現実味が足りない」「実在しないものはスケールモデルの定義から外れる」などの理由が挙げられるが、それは果たして正しいジャッジなのか? 次世代のAPVモデルシーンを先導する集団といっても過言ではない「はかた戦板組」の男が真実の装甲車両の楽しみかたを提示する!

(エクストラ 3)



(エクストラ 4)

(3月号)

(4月号)

(5月号)

(6月号)

(7月号)

Scale Aviation

スケールアヴィエーションは飛行機モデラーのための航空模型専門誌です。人気のWWII戦闘機をはじめ、各ジャンルの航空機を毎号特集形式で紹介します。さらに初心者向けの記事、国内外のモデラー、研究家によるキット製作記事やコラム、資料も充実。バックナンバーを買いのがされたかたは、この機会にぜひお求めください。

隔月刊スケールアヴィエーション
定価1380円(本体1314円)
隔月刊(偶数月13日発売)

SA専用バインダー(6冊用)発売中
1,000円+税(送料サービス)

Vol.56好評発売中!
【特集】
眼きのプロ
RECONNAISSANCE PLANES

戦場に最初に投入された飛行機は偵察を任務としていた。以来偵察機は今日までつねに軍用機の最先端を走ってきた。今回の特集では第一次大戦の複葉機から現代の戦略偵察機までその進化を見る。竹一郎氏製作の「星の王子さま」の作者、サン=テグジュペリのフィギュアも必見。

(Vol.49)

(Vol.50)

(Vol.51)

(Vol.52)

(Vol.53)

(Vol.54)

(Vol.55)

年間購読のお知らせ

アーマー・モデリング年間購読(別冊・増刊を除く)
年間12冊+送料の合計で17,000円(税込)を現金書留か為替にて右記宛直接お申し込みください。尚、お申し込み受付日以降に発売される号より開始とさせて頂きます。

スケールアヴィエーション年間購読(別冊・増刊を除く)
年間6冊+送料の合計で8,500円(税込)を現金書留か為替にて右記宛直接お申し込みください。尚、お申し込み受付日以降に発売される号より開始とさせて頂きます。

ご注文方法

お求めの書籍・雑誌の本体価格+消費税5%+送料を現金書留・為替のうちのいずれか1つの方法で送ってください。必ず書名、冊数、住所、氏名、電話番号、郵便番号を明記してください。封筒の裏にも名前を書いてください。おつり、送料差額は切手代用にてお返しします。また、本が届かない場合は右記まで一報を。

通信販売の送料(本体価格)
1回のご注文が
1冊の場合 …… 送料100円　3冊の場合 …… 送料240円
2冊の場合 …… 送料150円　※4冊以上から小社負担。

お問い合わせ、お申し込み
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町1-7
興大日本絵画 通販係
☎03-3294-7861
http://www.hobby.co.jp

http://mylibrary.exp.com/

大日本絵画 新刊ご案内

ピットウォーク フォトコレクション No.7

スズキRG Γ 1974-1986アーカイヴ

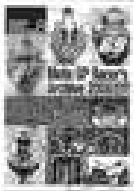
○吉村誠也［著］ ○A4判 ソフトカバー 84ページ・オールカラー
○好評発売中・3,000円

世界GPの500ccクラスで、メーカータイトルを1976年から1982年までに7年連続でタイトルを防衛し、スズキ黄金時代を築いた。現存している当時のマシンを新たに取材撮影した写真と、貴重な当時の写真を交えて、一冊にまとめた。貴重な資料写真集となっている。

ピットウォーク フォトコレクション No.8

Moto GPレーサーズ アーカイヴ2006

○吉村誠也［著］ ○A4判 ソフトカバー 145ページ・オールカラー
○好評発売中・3,500円



2006年にMotoGPへ出場した全マシンを網羅した新しい写真集。巻末には07年シーズンオフテストの現場を取材し、ホンダ、ヤマハ、ドゥカティ、ロータスの新車、また排気量が500ccでの最終年となる2006年と、800ccの初年度となる2007年の、マシンがいかに進化していくかがわかる貴重な写真が満載。

武器と爆薬

［悪夢のメカニズム図解］

○小林源文［著］
○A5判ソフトカバー 146ページ（カラー2ページ）
○重版出来！好評発売中・2,500円

陸兵をいかに殺傷し、戦車の装甲をいかに厚つか……。爆薬とそれが生み出す"死のエネルギー"に魅せられた戦争劇画の第一人者・小林源文が、［悪魔の機械］と呼ばれる陸戦用武器の用法とその効果を思い入れたっぷりに描いた図学イラスト集。

【おもな内容】
88mm対空砲の運用、野砲の射撃プロセス、手榴弾の誤性と操作、迫撃砲の使用、地雷の危険とブービートラップ、装甲と砂嵐の機械、成形炸薬による装甲貫徹概念など。

タンコグラード写真集シリーズ No.1

戦場のドイツIII号戦車

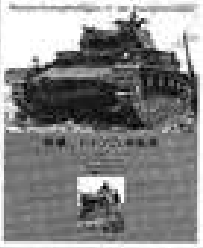
○マルクス・ツェルナー［著］
○岡崎淳子［訳］
○好評発売中・2,400円

III号戦車は、電撃戦を遂行するため国防軍最高司令部と参謀本部の要求に基づいて、開発作業が進められた中戦車である。本書は、ドイツ・タンコグラード社から出版されている写真集の翻訳本である。当時撮影された III号戦車の姿を、全型式を網羅するように構成。また当時戦車として使用された車輌の写真も多数掲載されている。写真点数100葉を超える充実の内容。また各型式の基本スペックも掲載。

タンコグラード写真集シリーズ No.2

戦場のドイツIV号戦車

○マルクス・ツェルナー［著］
○岡崎淳子［訳］
○好評発売中・2,400円



IV号戦車は1936年、陸軍兵器局の"試験車両622"として登場誕生した。設計思想の根幹は、強大な戦線を迅速に移動可能な機甲部隊による機動戦という、いわゆる電撃戦構想において、III号戦車の支援をつとめることにあった。装甲の厚さよりもスピードが重視され、終戦までドイツ戦車隊の基幹兵器として活躍しつづけたのであった。当時の戦場の様子をプライベートに撮影し、生きたIV号戦車の姿を、全型式を網羅して構成。写真点数100葉を超える充実の内容。

ヘルマン・ゲーリング戦車師団史［上・下巻］

○フランツ・クロウスキー［著］
○高橋慶史［訳］
○上巻・好評発売中・3,900円 ○下巻・好評発売中・4,100円

陸下第兵戦車軍団「ヘルマン・ゲーリング」の決定版戦史として、海外で高い評価を得た大著が、『ラスト・オブ・カンプフグルッペ三・號』（小社刊）の著者、高橋慶史氏の翻訳により邦訳版で登場。1933年に誕生した部隊の前身である警察大隊の編成から、第二次大戦の開戦とその後のチュニジア、シシリー島やイタリア本土、ポーランドやロシアでの戦いを通い、ヘルマン・ゲーリング師団に関係する一連の報告書、メモ、公式の作戦日誌、さらに非公式の個人日記などを元に、部隊の変遷と歴史を開戦前夜の日まで克明に記述。受勲者のリストや地図などの資料も充実。

続・クルスクの戦い戦場写真集

北部戦区 ―1943年7月

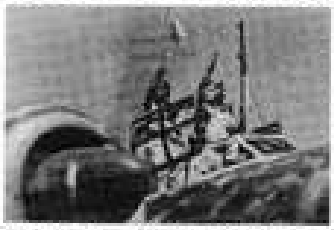
○ジャン・ルスタン＋N・モレル［著］ ○岡崎淳子［訳］
○A5判ソフトカバー ○360ページ
○近刊・5,500円

独ソ戦の天王山とされる"史上最大の戦車戦"を、プロパガンダの手法を排し、時系列に沿った写真で再検証を試みた『クルスクの戦い』の続編。前作が扱った大規模作戦『ツィタデレ』の"下あご"に当たる南部戦区を扱ったのに対し、本書では"上あご"に相当する北部戦区を取り上げる。これを担当したドイツ中央軍集団は少ない兵力で強大な敵と対峙したが、本書では南部戦区に比べて記録が格段に少ないハンデを乗り越え、中央軍集団麾下すべての戦車部隊を貴重な写真で紹介。その他、部隊の編制一覧や独ソそれぞれの兵力損耗数、作戦地図、車両のカラー側面図も挿入。

中国的天空 沈黙の航空戦史［上・下巻］

○中山隆平［著］
○四六判ハードカバー ○各巻336ページ
○近刊・価格未定

幻の名著が大幅な増補改定で復刊！



1981年にサンケイ出版から刊行され、本邦唯一の中国航空史でありながら永らく絶版にあった名著が待望の復刊！ 30年の間に判明した新事実の追加はもちろん、新たに発見された写真も満載。『エアワールド』連載分も収録した完全版。本書を読まずして、中国の航空戦史は語れない。

お問い合わせ ―― 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-7 株大日本絵画 TEL03-3294-7861

※表示価格に消費税が加わります。 http://www.kaiga.co.jp

如果此电子版本。那么任何禁止内容。

http://anyikqryexp.com/

WSC #039 Benitakirou Tenpo | 紅太楼

ベニダロウ店主

キャラクターデザイナー金子一馬の描く男性キャラクターに心底惚れ込み、美少女フィギュア異色くワンフェスへ男性キャラクターフィギュアを提示し続ける孤高の存在、ベニダロウ店主。プレゼンテーション作品となる葛葉ライドウ(PS2用ゲームソフト『デビルサマナー 葛葉ライドウ 対 超力兵団』より)は、WSC初となる男性キャラクター作品のプレゼンテーションであると同時に、ベニダロウ店主の鋭やかな造形を堪能することができる逸品です。06年冬のワンフェスにて初発表された状態から各部ディアールに改修を施されたWSCヴァージョンとしての信頼とはなります

WSC#039プレゼンテーション作品

『葛葉ライドウ』

ノンスケール(全高270mm)レジンキャスト・キット
ワンフェス会場の一般小売価格 5,800円(税込)
©ATLUS CO.,LTD. ©KELONG ALL RIGHTS RESERVED

ワンフェス会場特別価格 5,800円(税込)

こちらは単行本の販売商品ではなく、すっと売り続けるWSCのスタイルTシャツが欲しいのではない!という意味から、当初は昨冬(07年)のWSCスタイルTシャツは制作されませんでした。しかし今回、海外特してWSCの商品ラインナップ、空間アイテムの幅(ポーセンティッシュ、ヤッ、マウスパッド、トートバッグ)の充実してきました。

Yellow Card & Red Card ver. Ver. [Black]
(イエローカードとレッドカードver.)
Price:2,100yen Size:L/Middle-T designed by Masahiko ADANO

Point of view ver. [Black]
(ポイント・オブ・ビュー)
Price:2,100yen Size:L/Middle-T
designed by Masaki KOBAYA

プレゼンテーション作品といっしょに、こちらもぜひ。

"WSC style" T-shirts(Part16)

ワンダーショウケース前哨戦プレゼンテーション

「売れるか売れないかは関係なく、とにかく自分はこれを本気で造形してみたい!」そんな初期衝動を忘れてはいませんか?

今回はひとりだけの選出でやや寂しげですが、まずは、このすばらしい造形物をじっくりとご覧ください。そして、「彼が選ばれた理由」をあれこれと想像し、できることならみんなで語りあってください。それこそが「ワンダーショウケースの存在意義」なのです。

ひとりでも多くの方に興味していただきたいと考えたからこそ、ワンダーショウケースは新進を意味した価格設定に踏襲しています。また、プレゼンテーション作品は完成品を展示しておりますが、別かて、古西のはおはつ、ご覧ください。

Wonder Showcase

A vital new label tapping the world's garage kit spirit

ワンダーフェスティバルのプレゼンテーション[ワンダーショウケース] 主催:ワンダーフェスティバル実行委員会

〒551-0021 大阪市西区千代崎1丁目-8 海洋堂 ワンダーフェスティバル実行委員会「ワンダーショウケース」広報担当/小林弘行、藤田博史
PHONE. 06-6595-0440(平日10:00~18:00を受け付け) INFORMATION: www.wonfes.co.jp

Produced by Masahiko ADANO
©1999-2007 Wonder Showcase All Rights Reserved

http://mikanyo.exp.com/

世界最大の造形の祭典今夏も有明に咲く！

ワンダーフェスティバル2007【夏】

8月12日（日） 10:00 -17:00

東京ビッグサイト東棟 入場2000円（ガイドブック付）

ガイドブック前売り販売情報はこちら http://www.kaiyodo.net/wfgb/

駐車場がまったくありません公共交通機関をご利用ください

交通アクセス情報 http://www.bigsight.jp

入場チケット兼用WFガイドブック 8月3日頃、前売開始

チケット兼用ガイドブック取扱店

禁止商业用途 禁止转载 禁止传播 禁止复制 禁止出售 禁止出版 禁止翻译 禁止改编 禁止摘录 禁止引用 禁止展览 禁止放映 禁止广播 禁止表演 禁止发行 禁止出租 禁止出借 禁止展示

http://mylikeyexp.com/

トランペッター7・8月の新製品 大量投入!!

インターアライド http://www.interallied.co.jp

INTER ALLIED

01617 1/72 ハリアーGR.1 サンダーバーズ ¥2,940

00690 1/72 米海兵隊揚陸艇 ブリッジランレーダー LCM ¥6,090

00870 1/35 USMC LAV-R 装甲回収車 ¥3,780

06603 1/48 ストライカー ¥2,625

07247 1/72 ストームタイガー 後期型

07274 1/72 ストームタイガー 初期型

07255 1/72 ストライカー

http://www.interallied.co.jp/starshopping/top.html

TEL.045-549-3033(平日11:00~19:00)

FAX.045-549-3032(24時間オーダー受付)

世界の傑作機

FAMOUS AIRPLANES OF THE WORLD

No.122 好評発売中

ブラックバーン・バッカニア

BLACKBURN BUCCANEER

●カラー16ページ モノクロ80ページ 全96ページ

定価980円(税込)

No.123 7月30日発売

メッサーシュミット Me 163

Messerschmitt Me 163

●カラー32ページ モノクロ80ページ 全112ページ

定価1,400円(税込)

株式会社文林堂 〒164-0001 東京都中野区中野3-39-2 編集部03-5385-5868 販売部03-5385-5671

http://www.monomagazine.com

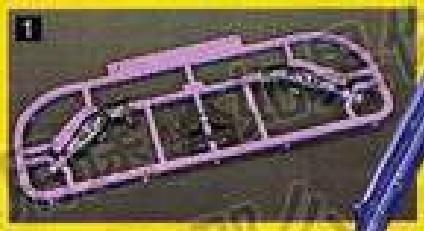
http://myhkr.exp.com/

「新劇場版」エヴァンゲリオン 各機テストショットから構造を詳説!!

2

▶Ⅱエヴァンゲリオン初号機
(ノンスケール　8月発売予定　予価税込2940円)
出典/「エヴァンゲリオン新劇場版」
●バンダイ　㊐バンダイホビー事業部

▶Ⅱエヴァンゲリオン零号機
(ノンスケール　8月発売予定　予価税込2940円)
出典/「エヴァンゲリオン新劇場版」
●バンダイ　㊐バンダイホビー事業部



1

■既存の可動機構があらかじめ内蔵された状態で成形されている胴体パーツ。ヒジ関節内部にスペースを設けることで、旧仕様版のキットに比べ関節の保持力が向上している

■(1)で有効な部位：脚部、胴体、肩などのパーツが零号機と異なる

▶ロンギヌスの槍を片手に立ってビルをつき破る様子。ロンギヌスの槍はパーツ数6で、ビル部分の構造はLo-boxで成形されている

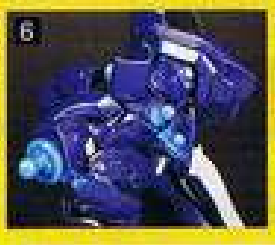
4

3

■キット最大の特徴は上半身各部の可動に連結してフレームや外装が動作のように移動する構造。たとえば腕部を上下左右に動かすとこまかく分割された胸の外装があたかも胸に隠れているかのように移動。可動に伴って不自然な隙間ができたり、崩れたようなアウトラインにならないよう配慮されている。写真は零号機の胸部だが、肩一面にかけて隆起する筋肉的な表現が秀逸だ

■(3)号機の左腕には新設定のプログレッシブナイフを取り付けるギミックが仕込まれている。腕部開きに連動する下部のカバーは可動するピンセル一体で成形されている。展開状態、収納状態のナイフは差し替え式で用意され、手に持たせるものはやや大きめのサイズで立体化

■胴体部は前後ふたつのボールジョイントで接続され、動きのなめらかさが表現される。エントリープラグもしっかり再現

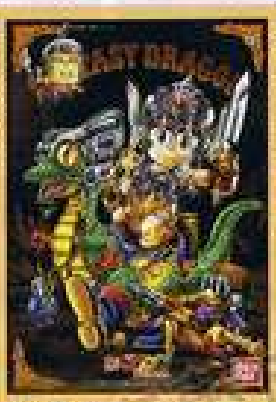


6

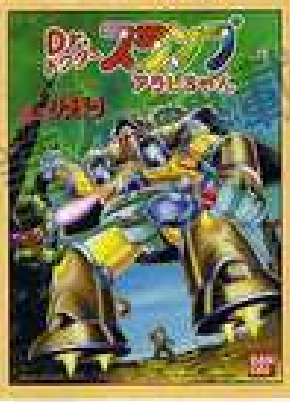
5

懐かしのアラレブラモ、4種が発売中!

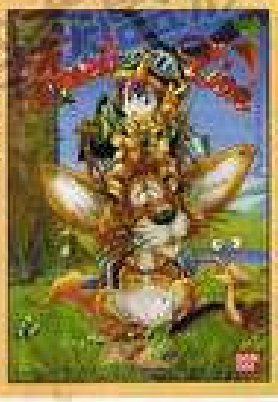
Ⅱキャスケットキング
(ノンスケール　発売中　税込1575円)
出典/「Dr.スランプ アラレちゃん」



Ⅱファンタジードラゴン
(ノンスケール　発売中　税込1890円)
出典/「Dr.スランプ アラレちゃん」



Ⅱリンゴコ
(ノンスケール　発売中　税込1575円)
出典/「Dr.スランプ アラレちゃん」



Ⅱファンタジードラゴン
(ノンスケール　発売中　税込1890円)
出典/「Dr.スランプ アラレちゃん」

HCM-Pro初号機も発売間近!!

Ⅱエヴァンゲリオン初号機
(ノンスケール　8月発売予定　予価税込2940円)
出典/「エヴァンゲリオン新劇場版」
●バンダイ　㊐バンダイホビー事業部

■手の平サイズながら全身の関節が可動するHCM-Proの初号機はとにかく繊細な造形がうれしい。新設定のポジトロンライフルやこれを運用するための6G装備など劇場公開が待ち遠しくなるギミックも

データ内容略文字：Ⅱ=インジェクションプラスチックキット
Ⅱ=塗装済み完成品

©カラー・GAINAX
©貞山岡/東映社・東映アニメーション

http://mikaryexp.com/

ケロロ小隊ロボMk-Ⅱ第4弾は ギロロロボMk-Ⅱ!!

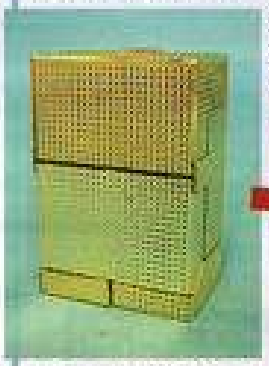
■ギロロロボMk-Ⅱ
(ノンスケール 9月発売予定 予価税込840円)
出典/「ケロロ軍曹」
●バンダイ ㈱バンダイホビー事業部

◀ケロロの様ロボMk-Ⅱシリーズにも出ボチックガ、こめかもは見れよ、ストはえるの!

■ケロロ小隊ロボMk-Ⅱシリーズも4体目となりギロロロボが登場。大概正所生産のギロロらしく装備が武器がラッ、前のミサイル[redacted]はなのダボと連動しミサイルがせりなす構造。Mk-Ⅱロボはいよいよドロロロボを残すのみとなった

ゴールドライタンが黄金メッキでよみがえる……

■ゴールドライタン ゴールドコーティングバージョン
(ノンスケール 8月発売予定 予価税込1575円)
出典/「ゴールドライタン」
●バンダイ ㈱バンダイホビー事業部



■ゴールドライタンが金メッキになって復活。発売当時から現在まで一度も実現しなかった金メッキ仕様に、オールドファンは立ちがきにはいられない。いまこそ超合金を超えるゴールドライタンが手に入るチャンス。もちろんライターからロボットへの変形も可能だ

クルルロボMk-Ⅱ出撃間近!!

■クルルロボMk-Ⅱ
(ノンスケール 8月発売予定 予価税込840円)
出典/「ケロロ軍曹」
●バンダイ ㈱バンダイホビー事業部

■クルルロボMk-Ⅱのテストショットが公開された。激しいディテールと躍動感が特徴のクルルロボ。クローの開閉やアンテナの可動、背のワイヤー表現などプレイバリューも高い。リニューアルされたスクーターとパイロットのクルルが付属する

■Mk-Ⅰ時代は浮遊するロボットだったが、今度のクルルロボはアームを利用して立つ。一見Mk-Ⅱシリーズ共通の変形システムがないように見えるが、アンテナ部分が変形するのか!?

グロス成型+発光ギミックで復活! MGイングラムのスペシャルパッケージ!!

■マスターグレード イングラム スペシャルセット
(1/35 9月発売予定 予価税込5800円)
出典/「機動警察パトレイバー」
●バンダイ ㈱バンダイホビー事業部

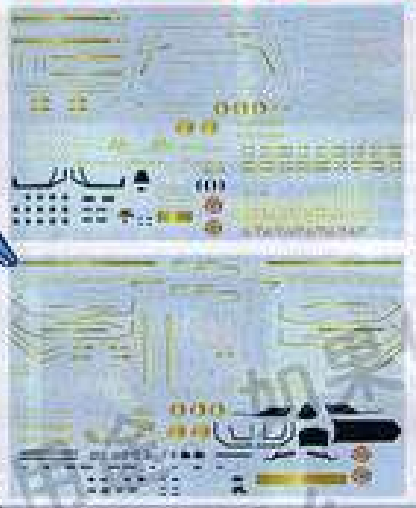
■MGシリーズとして復活されたイングラム。今回、表面マットあるいはグロス仕様になって登場。発光ギミックと実物のパトカーのような光沢や表現、背のパトランプを再現するため様々なギミックを搭載。月島のパイロットフィギュアも付属する

◀MGシリーズ(3)番の車両が特徴。後部窓、後部二分割窓部分も再現する。前部三面体しだい

© 吉崎観音 / 角川書店・サンライズ・テレビ東京・NAS
© タツノコプロ
©HEADGEAR / BANDAI / TFC

http://mykrycxp.com/

マクロス25周年記念、メタリック塗装のバルキリー出撃!



■VF-1S バルキリー マクロス25周年記念塗装
テー70 8月下旬発売 予価[illegible]円
出展/「超時空要塞マクロス」
■VF-19 マクロス25周年記念塗装
テー70 8月下旬発売 予価[illegible]円
出展/「マクロス フロンティア」
●ハセガワ 1/72 バルキリー

VF-1Sは青メタリックブルーのメタリック塗装、VF-19はダークブルーのメタリック塗装。両機とも専用デカールが付属。

CM'sのブルーナイトウェザリングバージョンセットにテスタロッサが加わった!!

■サンライズメカアクションシリーズ
超甲機兵ボトムズ外伝 青の騎士ベルゼルガ物語
ブルーナイト ウェザリングバージョン4体セット
(イベント限定販売 現在のセット 予価税込2万円)
出展/「超甲機兵ボトムズ外伝 青の騎士ベルゼルガ物語」
●CMsコーポレーション 京CMsコーポレーション

■ベクシル ファイタースーツ
(1/20 全高約120cm 8月発売 予価税抜9400円)
原型製作/青戸秀樹 (DD-WORKS)
出展/VEXILLE ベクシル 2077日本鎖国
●プラッツ ※プラッツ

VEXILLE ベクシル 2077 日本鎖国
米国特殊部隊"SWORD"ファイタースーツ

今春公開のフル3D CG劇場アニメ映画「ベクシル 2077日本鎖国」。新生ベクシルが活躍するのが米国特殊部隊"ソード"。この部隊が使用するのが米国特殊部隊パワードスーツとも言える「ファイタースーツ」だ。本編の重要な設定にあたり、このファイタースーツは、20スケールでピンキャストキットとして、新製品ながら、当社は日本初ピンキャストキットとして開発される「ウンターフェンバルバ2077」(第1作、フルシュプラーム)とともに進められている。

ベクシル2077日本鎖国

「まるかじり」で話題となった映画「ピンポン」で注目されたビューを果たした実力派監督が最先端の映像表現で挑んだのが映画「ベクシル2077日本鎖国」。近未来、国連を脱退し10年間ハイテク鎖国を続けた日本に潜入した主人公ベクシル。彼が見たのは幽霊を追なに隠される実験を進めた日本であった。3Dライブアニメ映画である本編は日本人公ベクシルのVFXを動画文化研究メイツが担当。音楽はUKクラブシーンの雄、ポール・オークンフォールドが担当。8月18日(土)全国ロードショー

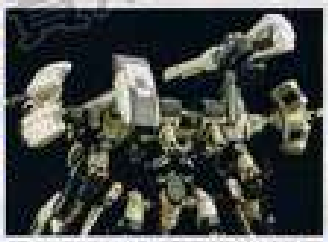
©サンライズ 協力:博報堂 ©1982.2007 ビックウエスト ©1994.2007 ビックウエスト
© 2007「ベクシル」製作委員会

http://mikuryexp.com/

"切り札"も忠実に再現だ!!

■PTX-003D アルトアイゼン
(1/100 全高/約200mm 7月発売予定 価格未定)
出展/『スーパーロボット大戦 ORIGINAL GENERATION』
1/144から1/100へのスケールアップにより、1/144にはなかったモールドまで精密造形! 『スクエア・クルイモア』や『リボルビング・ステーク』も、差し替えなしで再現できる。クリアーパーツで表現された『ヒートホーン』は別途付属。頭部アイに発光ギミックまで搭載する力の入れように期待大!
●コトブキヤ ※コトブキヤ

AC4から早くも二機目が!



■V.Lシリーズ インテリオル YO1-TELLUS (テルス)
(1/72 10月発売予定 予価税込3990円)
出展/『ARMORED CORE 4』
●コトブキヤ ※コトブキヤ
ゲームの優美な造型そのままに、流麗なフォルムをインジェクションプラスチックキットで見事に再現。AC4からの出展としては2機目だが、パーツ互換性のフォーマットはそのままなので、作品を超えた自由な組み換えが楽しめるのだ!

今月のリボルテックはバルキリーと黒ゲッター!

▶■リボルテック・ヤマグチ No.34
スーパーバルキリー VF-1J (ピカル機)
(9月15日発売予定 予価税込1995円)
原型制作/山口勝久
出展/『超時空要塞マクロス TVシリーズ』
●ジーベック
※オーガニック

▲胸、脚、背中のスーパーパーツは別売り。変形機構を活かしスタンバイシュミットやクリシュナ・ボーズとも合わせて遊ぶ

◀■リボルテック・ヤマグチ No.33
OVA版 ブラックゲッター
(真ゲッターロボ)
(9月15日発売予定
予価税込1995円)
原型制作/山口勝久
出展/『真(チェンジ!!)ゲッターロボ』
●ジーベック
※オーガニック

▲左右非対称の2丁拳銃に銃の予備弾倉、右腕のショットシェルなど、武装のこまかい造形は見かけ以上!

リボルテックに弟分登場か!?

■リボルテック・ミニチュア EVA-01 New Movie Edition エヴァンゲリオン新劇場版
■リボルテック・ミニチュア EVA-00 New Movie Edition エヴァンゲリオン新劇場版

■『リボルテック・ヤマグチ No.31 EVA-01 New Movie Edition エヴァンゲリオン新劇場版』
■『リボルテック・ヤマグチ No.32 EVA-00 New Movie Edition エヴァンゲリオン新劇場版』
(9月20日発売予定 予価税込1995円)
原型制作/山口勝久
出展/『エヴァンゲリオン新劇場版:序』

■『リボルテック・ヤマグチ ヤシマ作戦試作セット』
(9月20日発売予定
予価税込2205円)
原型制作/山口勝久
出展/『エヴァンゲリオン新劇場版:序』
●ジーベック ※海洋堂

©SRWOG PROJECT
©1997 - 2007 FromSoftware, Inc. All rights reserved.
©1982 ビックウエスト ©1998 永井豪/ダイナミック企画・『真ゲッターロボ製作委員会』 © カラー・GAINAX

http://myhkp.exp.com/

マイティ・シリーズの特別再版!

ウェーブ20周年記念 特別企画はK.O.G!

ウェーブがFSSのキットを世界で初めて世に送り出してから20年。その最大級ともいうべきハイエンドモデルK.O.G.が、この春ワンフェスにて発表されることが決定! マイティシリーズでつちかったクリアーレジンはもちろんのこと、さらに新たな特殊マテリアルも導入予定とのこと。しかも原型は、これまで数々のMH原型で定評のあるSyujyu氏が手掛ける、"黄金の騎士"の名に恥じぬビッグアイテムに期待大! 詳細は来月号でお楽しみ!

■マイティ・ゼロ 再版
(1/144 全高/約210mm 8月31日受注開始から10月発売予定 予価税込2万7,000円 原型制作/Syujyu (ミレニアムモデル)
出典/『ファイブスター物語』
●ウェーブ ※ウェーブ

■マイティ・ゼロ王丸 (通常版)
(1/144 全高/約200mm 8月31日受注開始から10月発売予定 予価税込2万2,050円) 原型制作/Syujyu
出典/『ファイブスター物語』
●ウェーブ ※ウェーブ

造形村MHマイスター・平井興治のバンドール、ハンガーアウト!!

グバルカン出身の時を経て造形村MHの一員、この春待望の完全新金型でハンガーアウトだ! エネルギー・ソードや背部のスタビライザーなどのエッジの効いたパーツもすべてレジンキャスト成型。下の写真とデザイン画を見比べて、その再現度の高さを堪能していただきたい。

◀前ページの別バージョン。コミックスの表紙でおなじみのデザイン。通常版とは異なるカラーリングを再現できる

■造形村MH THE HARBOR NO NINJYO
(1/100 全高/約270mm 8月31日受注開始から10月発売予定 予価税込2万5,200円)
原型制作/平井興治(造形村)
フィニッシュ/村田勝之(ファンタジスタ・アート)
出典/『ファイブスター物語』
●ウェーブ ※ボークス

▶ソードの柄やベイルの形状、メカディテール、肩につながるウイングまで、デザインイラストにはなかなか表現しにくい部分も確実に再現。背部からのびるツノやトゲからのぞく、腰のそっけない部分のディテールも見ごたえ十分。

◀ベイルと右肩の「踊る人形」と、腰部と右肩の「V」のマーキングは、デカールではなくディテールとして彫り込まれている。

©EDIT
©EDIT.All rights reserved.

http://miyikpr.exp.com/

アシュラテンプルパイドル騎

大輪正和氏原型製作のWSC 1/100最新作キットここに！

個性的なフォルムと圧倒的な存在感で、通好みのMHとして人気も高いアシュラテンプル。ワークショップキャストからはトラフィックス編に登場するイラー騎がすでに発売されているが、ついに「魔界大戦」に登場するパイドル騎騎もキット化されることとなった。ぜひ並べてみたくなる「模型バリエーションの妙」をお楽しみいただきたい。

生嶋氏原型製作のイラー騎とは95%別物です！

見比べていただければわかるが、ワークショップキャストから発売されているアシュラテンプル・イラー騎と共用の部分はほぼナシ！似てるけどぜんぜん違うぞ

アシュラテンプルAP03／パイドル騎
出典／「ファイブスター物語」
ワークショップキャスト 1/100
レジンキャストキット
8月発売予定
価格2,739,500円（税込）
ラフスケッチ／生嶋毅彦
原形製作／大輪正和
㈱ワークショップキャスト
☎075-922-5066
通販Webサイト URL／
http://www.workshop-cast.co.jp/

http://myhkpr.exp.com/

●本編中では、ちゃあの駆るルミナスミラージュにおちょくられまくったアシュラテンプル バイドル部隊だが、改めて立体となるとその威容は猛々しく威容に満ちている。ディテールはイラー級から完全に改修されており、多層的な3次元感で構成された美しいフォルムを堪能することができる。バイドル機の特徴である「本物のドラゴントゥース」は、収納・展開を選択式で再現でき、展開時は約40cmという迫力が魅力。キットは8月12日のワンダーフェスティバルで先行販売され、その後は一般商品として通販を予定（模型店での小売りについては未定）

MHによる戦闘戦を描く、というコンセプトの「魔導大戦」では、画面中のMHたちは従来より大きなアクションを要求される。テンプルシリーズも例外ではなく、そのためにシェイドテンプルの肩アーマーは上がり気味で腕を出しやすくなり、腰のスカートが分割されることで脚を大きく広げられるようになった。ドラクロアⅢベルリンSR2も同様だ。スカートだけでなくさらに旧型の1枚ものの大型ペイルが肩の外側につくシールドと左手に付く小型のペイルに枝葉分割され、より機能的になった。

アシュラテンプル バイドル部隊も、腰アーマーが旧型の円筒状に腰を挟む形状からスカート状に大きく膨らんだかたちになり、旧型のアーマーに付いていた胴部外装甲のラインも薄ねたボリュームとなった。ドラゴントゥースも展開／収納機構がシンプルになってより実戦的である。このようにこの「魔導大戦」シリーズを見てみてもおもしろいかと思う。（文／生嶋敏彦）

ワークショップキャストのテンプルシリーズ第4弾となるアシュラテンプルは、生嶋氏のコンセプトを元に私が原型製作を担当しました。実作業としては、生嶋氏のアシュラテンプル（「右ページのもの」）をベースに製作をはじめたので、一から丸々作るよりは楽かな、と思ったのですが大間違いでした。そりゃ、まあ、MHの常として、同じ骨格でも時と場所が変われば大きく変化しますからねぇ。私自身、アシュラテンプルを作るのは2度目になりますが、やっぱりこのMHはむずかしいっ！　実際、生嶋氏のアシュラテンプルのパーツはほとんどそのままとなっておらず、まったくの別物になったのがおわかりいただけるかと思います。なんつーかねぇ、生嶋氏のテイストに合わせてMH作るのって、ホントヒけるくらい大変なのよ……（苦笑）。

バイドル部の特長である1本爪のドラゴントゥースは「収納と展開の両形態でかなり異なった顔になりますので、お好みのほうを選択して楽しんでみてください。（文／大鶴正彦）

http://mikuxp.com/

今度の限定カラーはピンクだ！

■西門静香 バニーガール
原型製作/ 宮本
(1/6 全高/約250mm
W・D/ 宮本
予価税込7,560円)
原型製作/ 宮本
出版/ 「涼宮ハルヒの憂鬱」
●アトリエ彩 ※アトリエ彩
手首の差し替えで、腕輪をスターリングインデルノ(青赤のステッキ)に持ち替えることができる、黒いストッキングかも選択カラーチェンジ

■ドロロ&ケロロ Vガン4 (ファンディングプラモード)
(1/8 全高/約135mm W・D/ 宮本
予価税込2,625円)
出版/ 「ケロロ軍曹」
●アトリエ彩 ※アトリエ彩

▲既発のKOS-MOB Ver.4のバリエーションとして新金発売。武器の「ドラゴントーラー21」と「ハンドガン」が付属

■涼宮ハルヒ 学生服
(1/6 全高/約250mm
11月発売予定
予価税込7,560円)
出版/ 「涼宮ハルヒの憂鬱」
●アトリエ彩 ※アトリエ彩

■神崎雅乃
(1/8 全高/約135mm 10月発売予定
予価税込2,520円) 出版/ 「風のスティグマ」
●アトリエ彩 ※アトリエ彩

夏らしい水着姿で、ホリディさん新登場！

「レアリティ」誌にて連載されたホリディが、水着と髪型を同時変更して新登場！ ウエストはシンプルに、バストとヒップラインは官能的に魅せる造形美はさすが、鍵ぐっすりは水着で、やわらかい部位にぷるプルを演出

■ホリディ (ファンディングプラモード)
(1/8 全高/約135mm 発売日未定 価格未定)
原型製作/ 巻子
出版/ 「オリのたちやるなちゃんシリーズ」
●クルシマ製作所 ※クルシマ製作所

新連載 らけっこ徒然 おんなの子GK 第52回 定点観測。

らけっと徒然が独断と偏見で、美少女フィギュアを大承認!! 今回は、あちらこまった雲の新作フィギュア、お菓子の妖精さんを徹底解析だ!

最近、作りの「品が少ないと好評」の雲見、この「クリーム・コル姫」は、いかがなものでしょうか？ 人によっては、クリームとかお茶のエクボとかに目がいくかもしれませんが、造形オスメの部位はお腹まわり。腰周りを強調しながら、下腹部に向けて前の張り出しを上乗せし、おへそあたりで最大の神秘を出かせつつ、設計「正確には腹体験？」上にて絞り込むことで、ぽっこり感を演出。それきわかりやすくするために上半身のひねりは控えめとなっておりますが、これは全体のインパクトよりも、お腹への愛を込めた伸びの造形なのです。

このお腹まわり、上体をかがめて両脇も前面に持ってきておりますので、なかなか写真では確認しにくく、関西上で伝えるのは難しいかもしれません。もともとキットを手にとって、持ち上げて観察したときに最大限の効果を発揮するような「全体造形物」として作られておりますので、読者の皆様には、ぜひとも各フィギュアイベントに出展される実物をご覧いただきたい所存でございます。

■ぷっちょ&ぷっちょ
お菓子の妖精 クリーム・コル姫
(全高/約140mm 9月下旬発売予定
予価税込2,520円(定価))
原型製作/ ちびリア
原型イラスト/ M3やすひろ
出版/ 雲見スタジオ

レジンキャスト製 フル可動キットで、あいつが帰ってきた！

■ほめば藍のコスモス姫
ドッコイダーキタンボール
(全高/約140mm 7月下旬発売予定
予価税込3,980円)
原型製作/ たどころかつや
出版/ 「ほめば藍のコスモス姫」
●いいなプランニング
※いいなプランニング

©KEIKO/ クルシマ製作所 ©2007 風のスティグマ制作委員会
©NBGI ©2006 谷川 流・いとうのいぢ/SOS 団
© 阿智太郎・矢上 裕/メディアワークス

http://myhkpr.exp.com/

一般流通じゃゲットできない黒メイド

▲カラーチェンジにとどまらない、背元のリボン、スカートとエプロンのラインも細かな部分にこだわった

■ドリームテック ルーシィ・マリア・ミラ 黒ver.・黒メイド服ver.
(1/7 全高/約270mm 予価税込7,140円)
原型製作/高橋 誠(CLAYHOLIC)
出展/「コミックマーケット」
高橋氏入魂のルーシィが、黒メイドと黒ドレス両登場!
●マニュアル 対ウェーブ

■ハロウィン版
(1/6 全高/約150mm 10月発売予定
対象年齢18歳以上 予価税込7,980円)
原型製作/Sunny Day (Cerberus Project)
出展/「テックジャイアン」
各イベントで絶大な人気を誇ったケルベロスプロジェクト製のハロウィン版が、PVC完成品に!
●和風堂玩具店 対エンターブレイン

ワンフェス/コミケで赤と黒のイーリス登場!

■イーリス レッドカラー/ブラックカラー
(1/7 全高/約200mm
WF07【夏】・コミックマーケット限定
予価税込7,000円)
原型製作/FrenchDoll (CerberuProject)
出展/「プリンセスウルク」
7月上旬に発売されたイーリスに早くもカラーバリエーションが! この夏限りのレアな逸品
●和風堂玩具店 対エンターブレイン

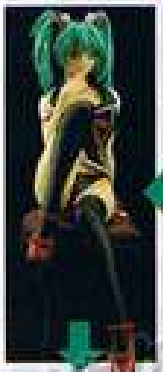
炎を纏い、イグニス再び降臨!

■Ignis the white
"永遠に消せぬ炎のイグニス"
(1/7 全高/約290mm
WF07【夏】限定発売
予価税込1万1,700円)
原型製作/石山 智
出展/「原宿魔祭」
ウェディングドレスは脱着式。スカートの繊細なしわの造形に注目
●オーキッドシード
対オーキッドシード

■ちちのぞき カバーガール 恋愛スマート
(1/6 全高/約270mm 発売日未定 価格未定)
原型製作/石山 智
出展/「いわうえたくや原案「ちちのぞき」シリーズ第3弾に、カバーガールのセクシーバージョンがラインナップ!
●オーキッドシード 対オーキッドシード

▲リボンがピンクから赤で、ガーターベルトとストッキングが白から黒に変わっただけで、印象から雰囲気がチェンジ。日本人らしいキャラクターになった

赤ゴスロリ、一足早く限定発売!



■高町なのは ゴスロリver.
(1/7 全高/約170mm
10月発売予定
予価税込6,800円)
原型製作/石山 智
出展/「一騎当千」
赤い目盛はワンフェス限定のレアアイテム。通常版と違い、ドロワースがないのが特徴
●オーキッドシード
対オーキッドシード

■桜井子桜
(1/6 全高/約140mm 11月発売予定 予価税込5,800円)
原型製作/ひろまん 出展/「一騎当千」
コミックスのイラストをそのまま立体化。腰を落とし、強く構えているので、重度感が非常に高い。スカートは取り外しできる
●オーキッドシード 対オーキッドシード

データ内容略文字:■=塗装済み完成品

©2004 AQUAPLUS ©七荒原稿/Enterbrain,INC. ©2005-2006 Nitroplus ©2007 YUJI SHIOZAKI-WANI BOOKS
©WB/PULLTOP ©いわうえたくや/WANIMAGAZINE CO.,LTD. ©2007 YUJI SHIOZAKI-WANI BOOKS/KKOTOUSEN DD PARTNERS

http://myhkpr.exp.com/

黒い翼のはばたきを巧みに再現

■カミュ
(1/8 全高/約220mm 10月発売予定 予価税込6090円 原型製作/IDUKI 出展/『うたわれるもの 一粒ひかる君への子守唄』
ベストのアクロバティックなポーズを立体化。[illegible]こだわった造形で[illegible]
●コトブキヤ ※コトブキヤ

■吉岡チエ
(1/8 全高/約190mm 11月発売予定 予価税込7245円 原型製作/Fro 出展/『Tri-Heart』『Angel Days』
ベストになるためのしわをつけることで、体のひねりを多く演出。躍動感が伝わってくる
●コトブキヤ ※コトブキヤ

精霊王も付いてくる!

■ザクティ・ライン
(1/8 全高/約210mm 11月発売予定 価格未定 原型製作/中村克臣 出展/『シャイニング・ウィンド』
体のラインに合わせ、うしろになびく髪の形も計算されてデザインされている。剣の精霊王『ラッシャ』も嬉しいオマケに付属
●コトブキヤ ※コトブキヤ

ベッキーと仲間たちがワンコインに!

◀オプションパーツも多数あり、顔面パーツが取り外しできるほか、オオサンショウウオ、きのこ型など、フィン部分がまるごと換えたりできる

■ワンコインクランデ ぱにぽにだっしゅ!
(全高/約50～110mm 9月発売予定 予価税込682円 原型製作/コケ・Riuna・阿部まさと・大塩秀明 出展/『ぱにぽにだっしゅ!』
原作の個性的なキャラクター性を、ポージングで見事に演出。顔の造形美が光る
●コトブキヤ ※コトブキヤ

ワンフェス限定アイテムはシシトラだ!

■PAH シシトラ
(全高/約300mm WF限定発売 予価税込1万6800円 原型製作/DESIGNER'S STUDIO・JACK 出展/『スーパーライダー』『月光蝶』『キングコブラ』『JACK』『ブロックライダー』『ライオンスカル』『ブロックライダー』『JACK』『ブロックライダー』『ライオンスカル』
●メディコム・トイ ※メディコム・トイ

■PAH
DARHT MAUL
(全高/約300mm 08年2月発売予定 予価税込1万6800円 原型製作/前田恭治・PERFECT-STUDIO・秋元みえこ 出展/『スターウォーズ エピソード1 THE PHANTOM MENACE』
ファンの声に答え、エピソード1の悪役を完全再現! フィギュアスタンドも付属する
●タカラトミー ※メディコム・トイ

■PGM
仮面ライダー THE NEXT 1号
(12インチアクションフィギュア)
(全高/約300mm 11月発売予定 予価税込1万7640円 原型製作/小熊しもん・PERFECT-STUDIO・秋元みえこ 出展/『仮面ライダー THE NEXT』
11月の劇場公開と同時に、1号ライダーを製作シリーズ化!
●バンダイ ※メディコム・トイ

▶■アリカ・ユメミヤ×ロザリー・クローデル 水着Ver.
(イベント限定発売 予価税込3500円 出展/『舞・乙HIME Zwei』
舞・HIMEイベント限定フィギュア第2弾は、ミコトも付いたセクシー水着バージョン
●CM's コーポレーション ※CM's コーポレーション

▼■九条りん
(イベント限定発売 予価税込3000円 出展/『こどものじかん』
とび箱とマットのアクセサリーで、原作のシチュエーションを巧みに演出しているぞ
●CM's コーポレーション ※CM's コーポレーション

今年もCM'sのイベント限定アイテムを見逃すな!

データ内容欄文字:■=塗装済み完成品

©石森プロ・東映 ©2007 Lucasfilm Ltd.&TM.All rights reserved. ©ビープロダクション/『G』製作委員会 ©SEGA ©2007 Leaf/AQUAPLUS ©2006 AQUAPLUS ©水川へきる/スクウェアエニックス・ぱにぽに製作委員会 ©サンライズ ©松尾カフル/こどものじかん製作委員会

http://mylikeyexp.com/

グラマン F8F-1 ベアキャット
モノクローム 1/32
インジェクションプラスチックキット
発売時期未定 価格未定
(問モケイランキー ☎045-252-2567)
製作・文 鹿目晃一郎

嚴禁任何商業用途 如果你是在付費網站 請立即刪除 請勿瀏覽此版本 那麼 你被騙了

遅すぎた"レシプロ最強の戦闘機" 1/32 F8F-1 ベアキャット モノクロームから発売!!

モノクロームから1/32スケールでF8Fベアキャットが発売されることになった。そのベアキャットのテストショットを入手、キットの内容を解剖すべくレビューする。はずが……。あ、あれ、鹿目さん、色がついてますよっ!?

▲パイロットは他のキットから流用。キャノピーはテストショットでまだ透明度が足りなかったためよーく磨いて透明度を出した

▲マーキングはデカールがまだ入っていなかったため手書き。コーションデータだけはトランペッター製1/32アヴェンジャーのデカールを流用

◀最先なことにこの通常タイプのベアキャットは尾周りからすべてグロスシーブルー。タイヤのホイールにシルバーが残る程度なのだ

1/32ならではのF8F

どうしましょー　手遅いで完成させてしまいました、本来は未塗装状態でキットの素性を解析する予定だったとか……（だから真相に納期が短かったわけだ）。完成しちゃったのでキットの素性が解り難くなってしまいました。ゴメン！　キットはパラの形状など気になる部分もありますが、この後金型修正されるので発売時には若干変更があるかもしれません。新製品の相次ぐ1／32キットですが、F8Fが出るとは！　1／32米海軍レシプロ単発戦闘機がこれで全揃いです。キットはモノクロームで、最近の同社製品らしく機体内部がじゅうぶんに再現されています。エンジン、燃料タンク、補機類、排気管、防火壁、各空気取り入れダクトも再現されており当然カウリングは透明で、1／32のスケールメリットを十二分に生かしきっています。主翼は折りたたみ可動式、タイヤはゴム製になっています。各点検用パッチは取り外し式で、機銃ももちろん内蔵されています。小柄なベアキャットですが、完成すると1／32ならではの迫力があります。テストショットはうけとったものの組み立て説明書、エッチングパーツ、デカールもなく、実機の資料も少なく、ジグソーパズル状態で製作。難渋、パーツが山ほど余ってしまいました。コクピット内は寄せ集め製作のパイロットを乗せました。塗装は1951年の米海軍広告誌「ゴンズ&」に掲載されていたカラー写真ウイークエンド・ウォーリアーズの米海軍戦闘機隊行脚の塗装を再現しました。全機グロスシーブルー、胴体にインランディア・オレンジの帯が入り、胴体国籍マークが通常位置より前方にずれる変則的な塗装です。オレンジ帯の上に国籍標識、白のNAVYが重なるのが普通なのですが、写真の4機編隊のうち2機がこのめずらしい塗装です。発売されるキットのデカールは第19空母群の司令機のようです。

■全体的なフォルムはグラマン製の機体らしくがっちりとしたスタイル。全長は零戦よりも小さいほどだ。機銃にのみ的を絞った設計ゆえに、ジェット戦闘機の時代に対応できず1952年退役した

http://mykrcxp.com/

Newcomers AIR

A

B

C

D

E

F

G

H

I

J

K

L

M

N

■ランカスター "ポストウォー" 00850
(1/72 税込5040円)
■F/A-18C ホーネット
"VFA-192 ゴールデンドラゴンズ 2007"
00869
(1/72 税込2310円)
■A-4M スカイホーク
"VMA-131 ダイヤモンドバックス" 09752

(1/48 税込2730円)
■GF-4S ファントムII
"VX-30 ブラッドハウンズ" 09762
(1/48 税込3990円)
■ユンカース Ju88C-6 "夜間戦闘機型"
00858
(1/72 税込3570円)

■メッサーシュミット Bf109K-4 "ハルトマン"
09173
(1/32 税込4410円)
■F/A-18F スーパーホーネット
"ローピン" 09759
(1/48 税込6090円)
■フォッケウルフ Fw190A-5 w/
BMW 801 09755
(1/48 税込3780円)
■三菱 G4M1 一式陸上攻撃機 11型
"レバルス アタック" 00854
(1/72 税込2940円)

■フォッケウルフ Fw190D-9 "イエローテイル" 09178
(1/32 税込4410円)
■F-104 スターファイター "レッドバロン"
09749
(1/48 税込3360円)
■F-104 スターファイター "レッドバロン"
00858
(1/72 税込2100円)
■中島 B5N2 九七式三号艦上攻撃機
"雲龍攻撃隊" 09761
(1/48 税込2940円)
■メッサーシュミット Bf109F "メルダース"
09760
(1/48 税込2520円)
●ハセガワ 非ハセガワ

▼メッサーシュミット Me262
B-1a w/エンジン 5512
(1/48 税込3675円)
前期型のメッサーシュミット、エンジンパーツを再現し内蔵している。デカールはカルトグラフ製

▲ユンカース Ju88A-6
w/パルーンカッター
5513
(1/48 税込4358円)

▲F-5E タイガーII & F-5F タイガーII (2機セット)
4604
(1/144 税込1145円)

▲EA-18G グローラー w/キャリアデッキ 4598
(1/144 税込1575円)
●ドラゴン 非ハセガワ

■ミラージュ III (ロリアーナ・ティンスン) &
フィールドカー 02422-02
(1/48 税込2940円) ■ スポット生産品
●タミヤ 非タミヤ

▶ホク25 FV10001
(1/100 税込1000円)
●AFVクラブ
他GSIクレオス

MiG-23 FLOGGER INTERCEPTOR FIGHTER

F-14A TOMCAT

▲F-14A FV10003
(1/100 税込1000円)

■F-86F セイバー "ブルーインパルス"
(1/48 税込2520円) ■
●キネティック 非ハセガワ

F-84F Thunderstreak

▼Daimler Benz
Project 7
№002
(1/144 税込
3150円)

▲Lippisch Li
P 13a №003
(1/144 税込
2100円)
●WING144
非WING144

▲Blohm &
Voss Bv
P170.01
№001
(1/144
税込4200円)

▲航空自衛隊 F-4EJ/EJ改
"浜松基地、8月、11
(2機セット)
(1/144 税込1575円)
●ウィング 非ウィング

WING 航空自衛隊 F-4EJ/EJ改

▲航空自衛隊 F-2A
"浜松基地、8月、11
(2機セット)
(1/144 税込1575円)
●ウィング 非ウィング

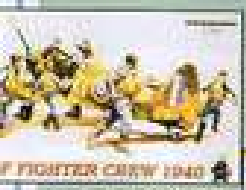
WING 航空自衛隊 F-2A 浜松基地

■WWII イギリス 爆撃機
ウェリントン Mk.III VA48001
(1/48 税込10375円)
(マルチマテリアルキット) トランペッター製
●ボイジャー 非サクセスモデルズ

データ内容略文字：■=インジェクションプラスチックキット、■=レジンキャストキット

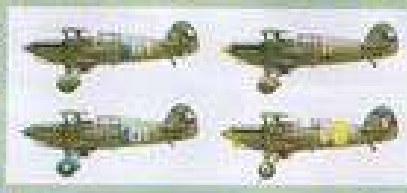
http://mylikeyexp.com/

アビアB-534に早くも密閉キャノピータイプ登場!!



◀WWII イギリス空軍 パイロット 8507
(1/48 税別2000円)
スクランブル発進のポーズが楽しめるイギリス空軍フィギュア。パイロット4体と、整備員2体をセット

▶ミラージュ型C 8488
(1/48 税別3100円)
ウィークエンドシリーズにミラージュが仲間入り



BF109と対峙する44年の本機までスロバキア空軍の主力機として活躍した単座・複葉戦闘機のキット化。先に発売された開放式コクピットの後に続き、密閉式キャノピーとレーバーバックに改造されたIV型が登場。デカールはスロバキア空軍4種が付属する

■アビア B-534 IV型 8192
(1/48 税別3900円)
●エデュアルド/ピーバーコーポレーション

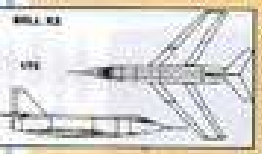
◀メッサーシュミット M20b-2 PLT198
(1/72 税別8200円)
1920～30年代初頭に設計で活躍したドイツ製民間旅客機。フルレジンキャストキット

▶SIAI マルケッティ SF-260 PLT198
(1/72 税別4400円)
●プラネット
/ピーバーコーポレーション

イタリア製初級練習・攻撃機のキット化。イタリア空軍と、ベルギー空軍仕様のデカールが付属。フルレジンキャストキット

◀ベル X-1A/B OP038
(1/72 税別4150円)
X-1による音速飛行後、さらなる高性能を目指した試験機。機首にイエーガー号、後部はペアームストロングが搭載した

▶ベル X-1E OP039
(1/72 税別4150円)
X-1（2号機）をもとに、超高翼にするなどの改良を加え、後期型によるマッハ3を目指した機体



◀ベル X-2 OP040
(1/72 税別4150円)
ドイツから得られた後退翼の技術を取り入れた試作実験機。マッハ3.196と高度37930mの記録を樹立

▶ダグラス D-558-2 スカイロケット OP044
(1/72 税別4150円)
空軍のX-1のライバルとなった、海軍の先進実験機。マッハ2.01の世界記録を樹立
●マッハ2/ピーバーコーポレーション

◀アブロ 626 プリフェクト7229
(1/72 税別3300円)
1930年に初飛行したイギリス初等練習機のキット化。ニュージーランド、ドイツ、ポルトガル仕様のデカールが付属

▶アブロ 620/タトラ T-120 7230
(1/72 税別3300円)
アブロ626のチェコスロバキアライセンス生産バージョン
●A2モデル
/ピーバーコーポレーション

■F-14B ボムキット コンバート
●スケール 1/48 ●ハセガワ社製
(1/48 税別4200円)
ハセガワ製 1/48 F-14B ボムキットのコクピット用レジンキャスト製ディテールアップセット
●アヴィオニクス/ピーバーコーポレーション

◀ニューポール Nie-11 ペペ 8H32015
(1/32 税別6700円)
1/32スケールでは初のキット化となる本機は、1915年に登場し、小さい機体からペペ（赤ん坊）と呼ばれた1機

半員のフランス製戦闘機。母国フランスをはじめ、イギリス、ロシアなどの連合軍各国の航空隊で活躍した

▶ブラックバーン ロック Mk.1 8H48060
(1/48 税別5450円)
艦上爆撃機スキュアをもとに、艦隊を攻撃する艦爆戦闘機のために開発された。試作が開始されたのみのイギリス海軍

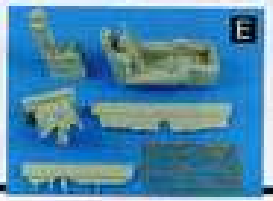
上戦闘機のキット化。本試作機中の「世界の駄っ作機」や、「雑色ノート」にも登場する数の目付きには外せない機体!

◀フィアット G.55 チェンタウロ 先行量産0型 8H48068
(1/48 税別5350円)
ドイツの傑作エンジン、ダイムラーベンツDB605を装備することを前提として設計されたイタリア軍戦闘機。翼下に爆弾架を装備していない、先行量産型をモデライズしている

▶ハインケル He100V8 高速実験機 8H72117
(1/72 税別2950円)
1939年、時速746.606kmの世界速度記録を樹立したハインケルの高速実験機をキット化。ライバルであったMe209V1に記録を奪取されると同時に、実験停止命令が下ったため再挑戦がかなわなかった不運の機体

◀メッサーシュミット Me264 BMW 801 エンジン型 8H72186
(1/72 税別8800円)
アメリカ本土爆撃計画により開発され、2機のみが完成したドイツ軍の4発爆撃機。先に発売されたユモ211液冷エンジン型に続き、BMW801空冷エンジンを装備したタイプをキット化

▶三菱 キ83 東京1946 ハイテック 8H72187
(1/72 税別5050円)
日本陸軍が試作した単座長距離戦闘機。今回発売されるのは、先に発売された通常版に、コクピットのカラーエッチングパーツと、実戦記録写真を想定した第64戦隊仕様のデカールが付属するハイテック版となっている
●スペシャルホビー/ピーバーコーポレーション



■F-15C イーグル コクピット 後期型 2063
(1/32 税別3500円)
(タミヤ用)
■スピットファイア F.Mk.22 ディティール 4340
(1/48 税別4800円)
(エアフィックス用)
■F-104G スターファイター コクピット 4344
(1/48 税別2750円)
(ハセガワ用)
■F-16C ファイティングファルコン コクピット 4346
(1/48 税別1550円)
(タミヤ用)
■B-58 ハスラー 排気ノズル 4345
(1/48 税別2750円)
(レベル/モノグラム用)
■F-104G スターファイター 排気ノズル 7172
(1/72 税別1000円)
(ハセガワ用)
■Bf109G-6 コクピット 7169
(1/72 税別1000円)
(ファインモールド用)
■F-16C ファイティングファルコン レーダーアンテナ 4347
(1/48 税別1200円)
(タミヤ用)
●アイリス/ピーバーコーポレーション

http://mylikr.exp.com/

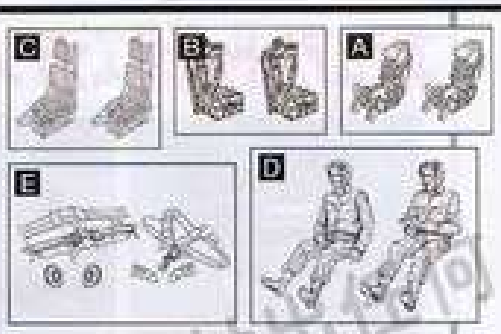
■P-47D コルセア 後期（トランペッター用）
Q832029
(1/32 税別900円) G
■Bf109K 機銃装備（MG131 13mm/MK108 30mm）（ハセガワ/レベル用）
Q832030
(1/32 税別850円) G

■Fw190A-7 上面翼スリップタンク（エデュアルド用）
Q848106
(1/48 税別1200円) G
■Fw190 機銃カバー
Q848107
(1/48 税別650円) G
■Bf1090 機銃用
Q848108

(1/48 税別650円) G
■Fw190A-8 機銃装備（MG131 13mm/MG151 20mm）（タミヤ用）Q848109
(1/48 税別650円) G
■Bf109F 排気ノズル（ハセガワ用）Q848110
(1/48 税別650円) G
■ボーファイター 予備燃料タンク（タミヤ用）Q848111
(1/48 税別1200円) G
■F4U-1 コルセア
Q848112
(1/48 税別900円) G
■P-40M/N ウォホーク 排気ノズル（アカデミー用）Q872096
(1/72 税別500円) G
■Bf1090 機銃用
Q872097
(1/72 税別500円) G
■Bf1090 MG131 機銃ターズ Q872098
(1/72 税別500円) G
■P-61 ブラックウィドウ 機銃装備（12.7mm/20mm）（ドラゴン用）Q872099

(1/72 税別850円) G
■F4U-5 コルセア エンジン（P&W R-2800-32W）（レベル用）Q872100
(1/72 税別900円) G
■ボーファイター 排気排気ノズル パート2（ハセガワ用）Q872101
(1/72 税別500円) G
■TBM-1 アヴェンジャー 排気ノズル（ハセガワ用）Q872102
(1/72 税別500円) G
■P-47 サンダーボルト 翼カバー（ハセガワ用）Q872103
(1/72 税別850円) G

リップが特徴なエグリーストや、機銃ディテールを強化したビッグエンジン、補正された新しいなどなど、大戦機のディテールアップパーツにかかせないクイックブーストレジンキャスト製ディテールアップパーツの新作が登場！
●クイックブースト/ホビーバーコーポレーション



■KM-1 イジェクションシート Q4817
(1/48 税別470円) G (US S1-MG-23用)
■マーチンベーカー MK.4b イジェクションシート Q4818
(1/48 税別470円) G (BAeライトニング用)
■ロッキード/スタンレイ C-2 イジェクションシート Q4819
(1/48 税別470円) G (F-104スターファイター用)
■ロシア軍 ヘリコプター パイロット F35169
(1/35 税別2450円) G (2体入り)
■帝国軍2型 軍用0 5020
(1/32 税別1900円) G (タミヤ用)

写真説明：タミヤ 1/32 零戦二一型用のレジンキャスト製ディテールアップパーツセット。内容は、主脚格納庫、主脚、尾脚格納庫、脱着式テイルコーンがセットされる
●CMK ホビーバーコーポレーション

ワンダーフェスティバル'07夏直前情報!!

■キ-78B 試三改 Fire bird II Ma型
(1/72 税別4000円) G
'07年8月12日に開催される「ワンダーフェスティバル'07夏」にてディラー名THE RIGHT STUFFから、下の「ワードゥーへの道」でも活躍中の松田未奈氏の同人誌「アンリミテッド・ウィングス+」に登場するキ-78B 試三改 Fire bird II Ma型を出品予定。エアレースファン以外の人も要チェックな出来になりそうだぞ！

■ウィングキットコレクション vol.1 WWII日本海軍機編
(1/144 税込3675円) G
※発売日8/13日発売予定
エフトイズから待望の新シリーズが登場！ その名もウィングキットコレクション。塗装済み半完成組み立てキットとなっており、第1弾はWWII日本海軍機。次になるラインナップは、零戦二一型、九七式艦攻、九九式艦爆、彩雲、彩雲改、烈風で各カラーバリエーションも含め全9種+？同梱される解説文は神谷直彦氏が担当する
●エフトイズ 株エフトイズお客様相談室

◀▼ワードゥーはP-51マスタング改造レーサーとしては改造度最高の1機。ところが03年からキャノピーを下写真のようにノーマルに戻している。でもモデラーとしてはやはり左図のようなレーシングキャノピーで作りたいところなので、オフに組み込んでこっそりOKの許可をもらった

神谷直彦の 続・競争機計画図 ワードゥーへの道 Vol.2

苦節4年にして今年のリノには間に合うのか？

原型未完成でデカールが完ってどゆこと!?

いよいよ作業写真登場。本来ならまず図面とかもみんなが形とかが出てくるところだけど、今回は思ったルールかに、イタリアはガルトグラフで頼ってもらうので、その納期を考えると先にやっておかないと9月に間に合わないというわけ。でも胴体と主翼はカタチがあるように見えたりしている所に関しては、次回以降で解説しましょう

きあ、いよいよ作業スタートと行きたいところですが、ここに至る経緯も大事なんですよ。だから、前回でも紹介した「アリフラウの栄光」、これをチームに納品した直後がスタートラインでした。完成品を手にご機嫌のチームオーナー、マイクがそのまま連れて行ってくれたのがワードゥー・チームのピット。で、すぐに機能化の許可をもらったのが09年9月のこと。そしていまで10年7月ですよ、「苦節4年」ってのは大げさにしても、この間ほとんど手つかず状態だったのは事実。じゃあこの3年と数ヶ月、僕は何をしていたかというと、毎年リノに酒を運んでおりました。いろいろと忙しくてキット開発の時間が作れず、毎年9月のリノ行きのたびにチームオーナーにお土産片手に詫びを入れていたというわけ。オーナーの求ブはリノの各チームのなかでもとくに見た目のコワさが際だつ存在を誇り、でも中身は気のいいオッチャンなんで「ハハハ、気にすんなー」とすっと笑ってくれてきたんですが、とはいえさすがに4回目はないでしょう、ということなのですよ。で、いよいよ年を動かしはじめたというわけで、続く。

Illustrated by Mio Matsuoka
Text by Yasuhiko Kanagaki
イラスト：松岡美穂／文：神谷直彦

リノ・エアレースまで
あと51日

神谷直彦●かみやなおひこ／1969年生まれ。いちおうアンリミ・モデルの表ですが、ここ数年はフリーランサーとしての模型・絵画・出版関連のいろいろな仕事がやらで、自社製品開発はご覧のとうり休業状態。なのでこの夏は一気にスパートかけて作業を進めたいとこなのですが、え？ アメリカ出張？ どうすんの？

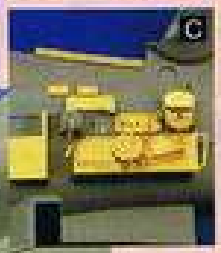
http://mylikeyexp.com/

エデュアルドの新作エッチングパーツ チェコより続々到着!!

インジェクションプラスチックキットの新作も多数発表され、最近非常に元気のいいチェコのエデュアルド。同社の代名詞ともいえるエッチングパーツは質はもちろん、アイテム数も豊富で、他社の新作インジェクションプラスチックキットにもいち早く対応しているなど、今やモデラーにとってかかせない存在だ。そこで今回は注目のエッチングパーツの新作が到着したので一挙に掲載しちゃうぞ!

P94、P95に掲載した商品はすべてエデュアルド製です。
※ピーバーコーポレーション

B-26B/C マローダー 外装 と 機関銃 72465
(1/72 税別3750円)
エッチングパーツ (ハセガワ用)
B-26B/C マローダー 内装 73292
(1/72 税別3400円) (ハセガワ用)
B-26B/C マローダー 計器板/シートベルト 88292
(1/72 税別1250円) (ハセガワ用)
B-26C/K インベーダー 機関銃 72434
(1/72 税別3400円)
ハセガワの模型キット、1/72 B-26専用のエッチングパーツセット。
には同機の複雑な機内構造や、主脚部のディテールがセット。特にコクピットのシートベルトや機関銃の繊細なエッチングパーツが特徴

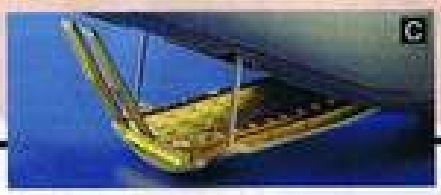


P-51D ムスタング 外装 32168
(1/32 税別3750円) (ドラゴン用)
P-51D ムスタング 胴内機関銃 32597
(1/32 税別3000円) (ドラゴン用)
P-51D ムスタング 内装 32569
(1/32 税別3750円) (ドラゴン用)

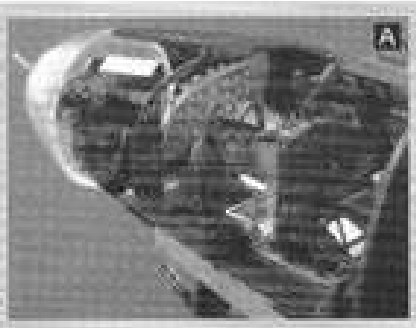
ドラゴン社の1/32戦闘機キット、P-51用エッチングパーツ。胴の外装セットには、ロールスロイスマーリンエンジンに刻印された社名ロゴまで再現されている

F-2000 タイフーン 機銃型 内/外装 73289
(1/72 税別2650円) (レベル用)
F-2000 タイフーン 機銃型 計器板/シートベルト 88289
(1/72 税別900円) (レベル用)

C-130H ハーキュリーズ 外装 72461
(1/72 税別3400円) (イタレリ用)
C-130H ハーキュリーズ 内装 73285
(1/72 税別3750円) (イタレリ用)
C-130H/J ハーキュリーズ 機関銃座 72470
(1/72 税別3750円) (イタレリ用)
C-130H ハーキュリーズ シートベルト 73289
(1/72 税別900円) (イタレリ用)
C-130H ハーキュリーズ 計器板 88288
(1/72 税別900円) (イタレリ用)

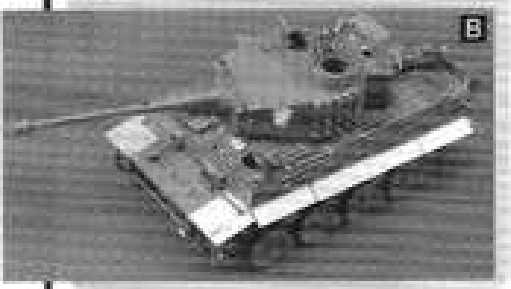


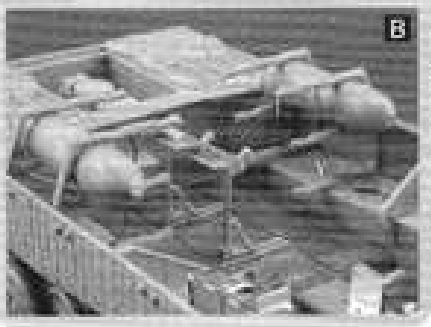
http://mylikeyexp.com/

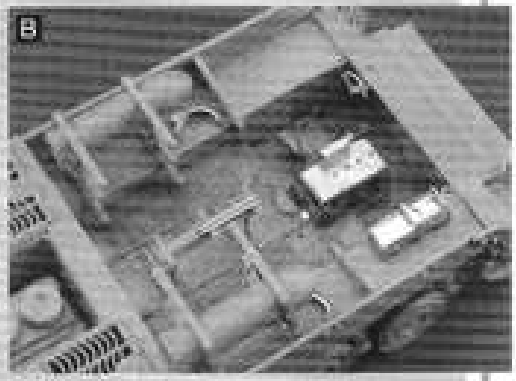


B-25 マローダー 内部 49377
(1/48 税抜3750円) (レベル、モノグラム用)
注目の新型、モノグラム1/48 マローダー用のエッチングパーツセット。コクピットのエッチングパーツの出来は驚異の一言!!
MH-60G ペイブホーク 内部 32168
(1/35 税抜3750円) (アカデミー用)
MH-53E シードラゴン 内部 72276
(1/72 税抜3750円) (イタレリ用)
海軍誇る大型ヘリコプターである MH-53E (イタレリ 1/72) のコクピットやキャビンをディテールアップできるエッチングパーツセット
AH-64A アパッチ 内部 49355
(1/48 税抜3750円) (イタレリ用)
機体周辺に装着された7.62mmミニガンのディテールアップや、キットでは省略されていたキャビン内の小物などを再現できる

M-ACV 内部 フィールドカー 35053
(1/35 税抜2250円) (タミヤ用)
ドキャンター I 型 自車 内部 35070
(1/35 税抜3400円) (タミヤ用)

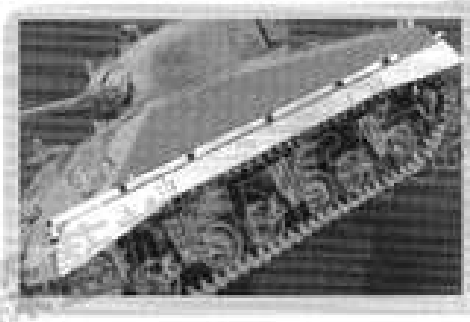






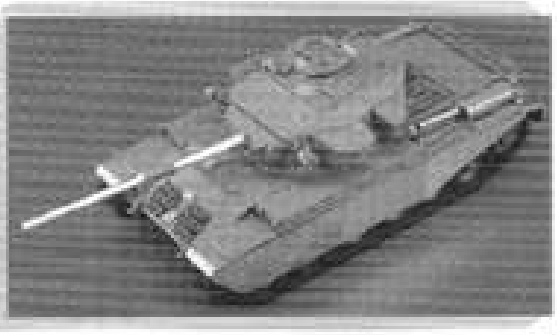
IDF ストームタイガー 突撃口径 内部 35950
(1/35 税抜3400円) (レベル用)
IDF ストームタイガー 突撃口径 内部 35940
(1/35 税抜3750円) (レベル用)

シャーマン Mk.II (M4A2) 内部 35968
(1/35 税抜2850円) (ドラゴン用)
シャーマン Mk.II (M4A2) フェンダー 35972
(1/35 税抜3000円) (ドラゴン用)



パンサー A後期型 35977
(1/35 税抜2250円) (ドラゴン用)
パンサー A後期型 ツィンメリット 35978
(1/35 税抜2250円) (ドラゴン用)
貼るだけで簡単にツィンメリットコーティングパターンの再現できるパンサーA後期型用エッチングパーツ

センチュリオン Mk.5/2 105mm砲搭載型 NATO仕様 35973
(1/35 税抜3400円) (AFVクラブ用)
センチュリオン Mk.5/2 105mm砲搭載型 NATO仕様 サイドスカート 35983
(1/35 税抜3000円) (AFVクラブ用)



http://myhkpr.exp.com/

タミヤMMシリーズ新作2点発売へ!!

▲WWII アメリカ歩兵 戦闘休憩セット 35235
(1/48 税込1680円)

▼フランス軍車 UEトラクター 35204
(1/35 税込2520円)
フランス軍の使用した多目的トラクター。通常式のキャタピラ、車付用カーゴと装甲装甲車、月土牽引仕様

▲ドイツ軍装甲車 ヘッツァー中期生産型 35265
(1/35 税込3570円)
チェコで生産されたドイツ軍の戦闘車ヘッツァーが第二次大戦後にも生産され、中東諸国を中心に輸出された。中期のシャシーが特徴

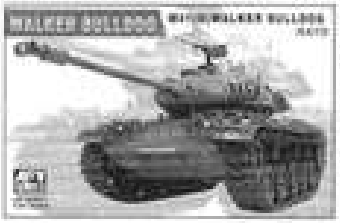
▲ドイツ重戦車 タイガーI 後期型 ミュンヘン工場生産 アフリカ仕様 第501重戦車大隊 第8中隊 第23号車 (実戦品) 35325
(1/48 税込5145円)
●タミヤ 特タミヤ

■WW.II ドイツ軍 Sd.Kfz.234/3 "シュツンメル" CH6257
(1/35 税込3900円) ●サイバーホビー 特ブラッツ

◀M1126ICV ストライカー用 M151リモートウェポンステーション FV35157
(1/35 税込1000円)

▶YPR765AP用 エッチングメッシュパーツ AG35017
(1/35 税込600円)
(エッチングパーツ)
●AFVクラブ 特GSIクレオス

▲シュトルムタイガー インテリア内部パーツセット FV35S40
(1/35 税込5200円)



▲ウォーカーブルドッグ 35 (1/35 税込2500円)

▲T-34/76 SPZ Model 1941 6325 (1/35 税込2500円)

■AAVR7A-1 水陸両用強襲車 (初期型) 7319
(1/72 税込1575円)
●ドラゴン 特ハセガワ

▲SdKfz251/17 Ausf.C コマンドバージョン 35 (1/35 税込2500円)

▲キューベルワーゲン W 1/2 t 4WD 35 (1/35 税込2500円)

▲SdKfz251/17 Ausf.C コマンドバージョン 35 (1/35 税込2500円)

●サイバーホビー 特サイバーホビージャパン
1日生産のみの限定品。直接通販で一般の買い求めは困難。

▲ドイツ軍 ハノマグ 1.5t 4WD 35 (1/35 税込2500円)

▲ジープ ウィリス MB 35 (1/35 税込2500円)

●アトラクトアーツ 特M.S Models

■ゼクラー RK-7 (ロボット兵器) 1号機 (ロボット兵器試作部隊 東京陸軍試作工廠所属) V35C114
(1/35 税込3010円)
●Gaia's 特M.S Models

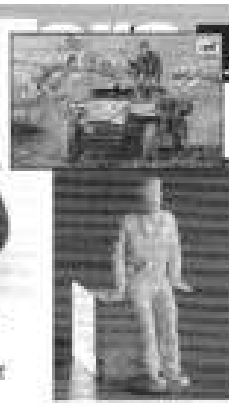
■ランドローバー ディフェンダー 110 ロングボディ ピックアップ
(1/35 税込1760円)
●JP Hobby 特M.S Models

■90式広帯域戦車 フルキット K35001
(1/35 税込7140円)
●Kahana 特M.S Models

http://mylikpr.exp.com/

AFV

■英国陸軍装甲車・ハンバースカウトカーMk.II
CB35009
(1/35 税込5040円) D ※7月～8月発売予定
●ブロンコ 対ウクマン



映画「誇りさだめ」にも登場するイギリス軍の装甲車が発売。車輪間、エンジンなどの内装も再現。タイヤは予備タイヤ含めゴム製。初回特典として同スケールのレジンキャスト製フィギュアが付属する

■イギリス陸軍 ベッドフォード
戦車搭載用車輪 改造キット
(1/35 税込1470円) D
■イギリス陸軍 ベッドフォード
戦車搭載用車輪 フルキット
(1/35 税込3570円) D
●レジンマン 対ドラゴン

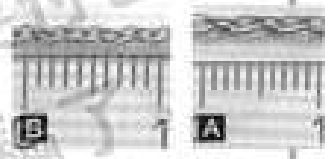
▶75mm StuK 40 L/43 用
弾薬庫付8発搭載砲身セット
035-068
(1/35 税込2040円)
(黒ちゃう焼きもの)
●Armoscale 対M.S Models

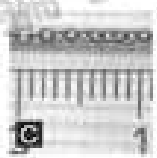
▼100mm StuH 42 L/28
用 StuH 42用金属砲身セット
035-065
(1/35 税込1100円)
(黒ちゃう焼きもの)

◀76.2mm F-34 T-34/76
用砲身用金属砲身セット
035-066
(1/35 税込1620円)
(黒ちゃう焼きもの)

▲30mm L2A1 Rarden
用 AFV Warrior用
金属砲身セット 035-043
(1/35 税込1017円)
(黒ちゃう焼きもの)

■ロッキング・ボックス
(1/35 税込2520円) D
■ロッキング・ボックス
(1/35 税込2520円) D
■ロッキング・ボックス
(1/35 税込2520円) D
■ロッキング・ボックス
(1/35 税込2520円) D
●ロッキング・ボックス



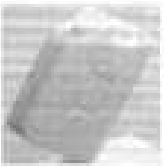


▼M2/M3 フロントボディ
アップデートセット
TWS0037
(1/35 税込2940円) G
対応キット

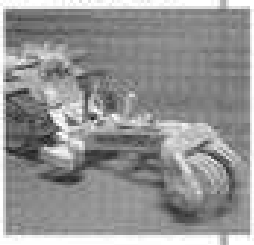
▲シャーマン用固定式
補用スタッドセット
TWS0036
(1/35 税込2363円)
G・ドラゴン用
●Tank work shop
対M.S Models

▲M2/M2A1
アップデートセット
TWS0035
(1/35 税込1万765円) G
ドラゴン用

■Tiger I 後期型 ATL-4507
(1/48 税込4095円)
(メタル製可動履帯)
●Final Model 対M.S Models



◀イタリア軍ジェリカン (24個)
BM042
(1/35 税込3360円) D



▶01 Bisマインローラー
タミヤ用コンバージョン
BM043 (1/35
税込1万920円) D
●BrachModel
対M.S Models

60式無反動砲B型のレジンキャストキット発売

▶車体はレジンキャスト製。装填台やハッチはホワイトメタル製。砲身はアルミ焼きもの。と様々なマテリアルを駆使している。にもかかわらず組立性はのち助力

■60式 無反動砲 B型
(1/35 予価1万5000円) D
8月12日開催のワンダーフェスティバル2007[夏]において発売予定
●プレイアモデル

■キングタイガー 初期
ヘンシェル砲塔 CV201
(1/48 税込2700円) D タミヤ用
■キングタイガー 初期
ポルシェ砲塔 CV202
(1/48 税込2700円) D タミヤ用

■パンサー D型 初期
水平パターン CV203
(1/48 税込2700円) D タミヤ用
■パンサー D型 初期
タイルパターン CV204
(1/48 税込2700円) D タミヤ用
■対空戦車 J型 CV205
(1/48 税込2700円) D タミヤ用
ドイツ戦車のツインスリットコーティングをレジン製のシートで再現する
●キャバリア
対ビーバーコーポレーション

懐かしい情景がレジンキットに。

▲子供の遊び編 No.1 (女の子)
(1/24 税込3240円) D
▼子供の遊び編 No.2 (ちゃんばら)
(1/24 税込3240円) D
●ジョーキャンター 対エクセルマスター

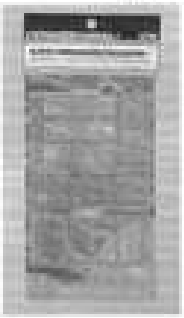
▼WWII ソビエト SU-85M/
SU-100用 自走砲
PE35152
(1/35 税込3570円) (マルチマテリアルキット) ドラゴン用

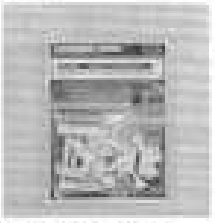
▲WWII ドイツ自走砲
ディッカーマックス PE35150
(1/35 税込2940円)
(マルチマテリアルキット)
トランペッター用

▶WWII ドイツ タイガーI戦車
初期型 PE35127
(1/35 税込5880円) (マルチマテリアルキット) ドラゴン用

◀WWII ソビエト T-34/85
1944 PE35124
(1/35 税込3570円) (マルチマテリアルキット) ドラゴン用

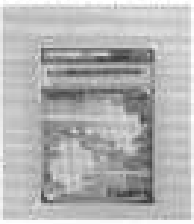
▶自走砲 ソビエト T-34、85、76
初期型 ロシア戦車 PE35123
(1/35 税込5880円) (マルチマテリアルキット)
●ミニアートモデル 対ドラゴン用





▲WWII ドイツ タイガーI
エアクリーナー後期型 PEA087
(1/35 税込1695円)
(エッチングパーツ)

▼WWII アメリカ M1919
機関銃 PEA081
(1/35 税込1680円)
(マルチマテリアルキット)

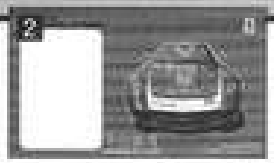
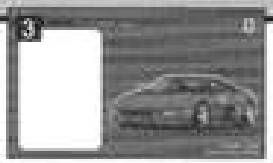


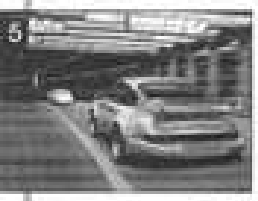
▲WWII ドイツ タイガーI
戦車用 機関銃 PEA085
(1/35 税込1680円)
(エッチングパーツ)

データ内容略文字・D=インジェクションプラスチックキット、G=レジンキャストキット

©ESTERMASTER 2007

http://myhkpr.exp.com/



静岡のビーショーで発表された試作を参考に、フェラーリ126C2のCGデータがこれ。こまかいパーツで色分けされたエンジンやブレーキ周り、形状試作では確認できなかった、ウイングステーの内側などでも見て取れるぞ

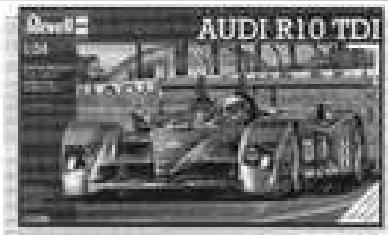
■フェラーリ126C2 1982サンマリノ (1/20 税込3675円)

■フェラーリ599GTB バンアメリカン USA (1/24 税込3360円)
■フェラーリ599GTB バンアメリカン ブラジル (1/24 税込3360円)
■フェラーリ355 チャレンジ (1/24 税込3360円)
■BMW M5 GTWウイング (1/24 税込2100円)
■ポルシェ 3.8RSR (1/24 税込3150円)
■ポルシェ ケイマン (1/24 税込2940円)
■JZX90 マーク2 (1/24 税込2100円)
■TE27レビン (1/24 税込1890円)
■スカイライン R32 GT-R カルソニック '90 (1/12 税込13,440円)
■日産R34スカイラインGT-R V-spec II Nur NISMO (1/24 税込2520円)
■R31 スカイライン 2ドア ハルトゲ (1/24 税込2310円)
■アルトレーシング (1/24 税込945円)
■チューブアルトカー 宮城県仕様 (1/24 税込945円)
●フジミ 各フジミ

大人気ビッグスクーター新発売! 往年の名スクーターも再販!!

■ビックカスタム マシンRS-2 (1/24 税込2730円)
■ビックカスタム マシンX (1/24 税込2730円)
■ビックカスタム スーパーグレード ハイルーフトレーラー (1/32 税込4725円) スポット生産
■秘密デコトラ物語452 天龍 (模型部)

(1/32 税込3990円) スポット生産
■修学旅行バス (観光バス) (1/32 税込4725円)
■ジェイアール貸切バス (高速バス) (1/32 税込4725円)
■アドミレイション クレアトール 18 マジェスタ 前期型 (1/24 税込2310円)
■Honda フォルツァ '04 (1/12 税込2100円)
■Honda フォルツァ '04 3シルバー仕様 (1/12 税込2100円)
■ネイキッドバイク モトコンポ 1981年式 (1/12 税込840円)

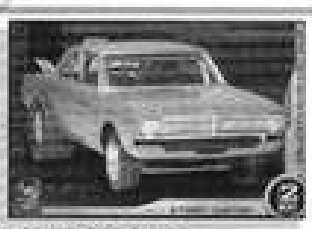


■アウディ R10 TDI (2006 ル・マン優勝車) (1/24 税込2940円) 4月発売予定
●ハイフンベル 各ハセガワ

■ポルシェ 550 スパイダー (1/12 税込2,625円) (ホワイトメタル)
●ベーシックス 各クラウンオート

■ZENT CERUMO SC 2006 (1/24 税込2,625円)
●ウェルキット 各ウェルキット

■クレマー K8 Gt-R ルマン1994 (1/24 税込2,625円)
●プロフィール24 各クラウンオート



■HEMI ハンター モパー ストリートレーサー (1/25 税込3360円)
●AMT/ERTL 各ブラッド

■シトロエン C4 WRC モンテカルロ 2007 (プロポーションキット) (1/43 税込3,822円) (ホワイトメタル)
■シトロエン C4 WRC モンテカルロ 2007 (ドアオープンキット) (1/43 税込1万2,757円) (ホワイトメタル)
■ミツビシ パジェロ パリダカ 2006 (1/43 税込3,822円) (ホワイトメタル)
■レクサス ラリー GANAGSI Daytona 2007 優勝車 (モントーヤ) (1/43 税込3,822円) (ホワイトメタル)
●プロポーションスタニチュア 各クラウンオート

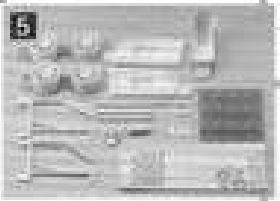
■F1 ルノーR26 (1/18 税込2835円)
●エレール 各ビーバーコーポレーション

http://mylikpr.exp.com/

バンダイ1/43GTに、早くも2登場!

■REAL MODEL KIT BANDAI DUNLOP SC430
REAL MODEL KIT 富山TOMS SC430
REAL MODEL KIT ZENT Cerumo SC430
(1/43 税込1890円) 6月発売予定
●バンダイ 対バンダイホビー事業部

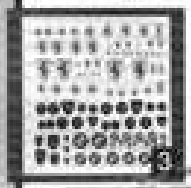
■REAL MODEL KIT Xanavi NISMO Z
(1/43 税込1890円) 9月発売予定

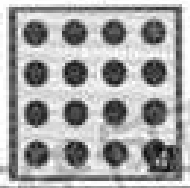


■ルミピンク (税込630円) (塗料)
●フィニッシャーズ
対オートモデリスト

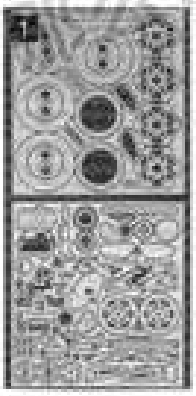
■マイクロスケール 各種セット
(税込2730円) (工具)
■マイクロスケール ロングセット
(税込2520円) (工具)
■Mobil 1 SC 2006
メカニカルパーツセット
(1/24 税込2100円)
(エッチングパーツ)
■ラジエーターテンプレートセット
(1/12 税込2310円)
(1/20 税込2100円)
(1/24 税込1995円)
(1/43 税込1680円)
(エッチングパーツ)
●アク・ステオン 対アク・ステオン

■プロテック モデルカーパーツ
メッシュホース 各種#0.4/0.6/0.9/1.1/1.5/2.0mm
(各税込840円)
●プロテック 対カスタムモデル

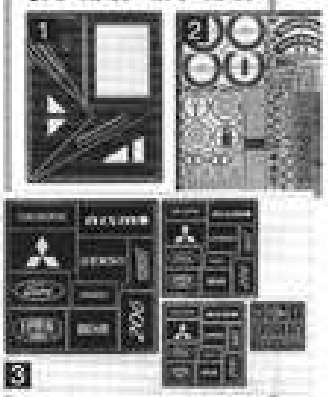




■YZR500 OW70
'83タニー
(1/12 税込1470円)
(デカール)
■YZR-M1
コロワース05
(1/12 税込1890円)
(デカール)
■ヨーロッパカー
エンブレム
(税込315円) (デカール)
■ヤマハエンブレム
(税込315円) (デカール)
■350チャレンジ
シューマッハ&ニュルブルクリンク (トランスキット)
(1/24 税込5040円) F
■F1ドライバー
(1/20 税込1890円) F
■F1ドライバー
(1/24 税込1890円) F
●SMクリエイション
対カスタムモデルズ



■ヤマハ YZF-M1 Moto GP '05/'06 グレードアップパーツ (タミヤ対応)
(1/12 税込2310円)
(メタルパーツ)
■ヤマハ YZR-M1 Moto GP 2005 (タミヤ対応)
(1/12 税込1890円)
(デカール)
●スタジオ27 対スタジオ27



1/43+α カーモデルレーダー

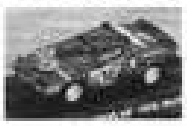
文/竹岡 (本誌お手伝い編集)

タメオキットの新製品は1970年のフェラーリ312B、オーストリアGP、カナダGP、メキシコGPという、すべてジャッキー・イクスが優勝を収めたレースのコンバーチブルキットとなっている。キットは既発売のプロポーションモデル、同車のベルギーGP仕様、イタリアGP仕様のバリエーションモデルとなっており、基本的なパーツ構成は変わらず、ノーズコーン別体でエンジンまで再現された、パーツ点数の多い部品構成となったハイディテールキットのシリーズとなるようだ。これらは7月下旬に日本に上陸予定。

シルバーラインからは、'79年から母国フランスのマトラV12エンジンに見切りをつけ、フォードDFVを搭載して快進撃を開始したリジェJS11と、ウィリアムズ初のオリジナルマシンにしてパトリック・ヘッドの処女作、'78年のウィリアムズFW06がラインナップされる。JS11はエースドライバー、ジャック・ラフィーが優勝したアルゼンチンGP仕様か、パトリック・デュバイエが勝利を収めたスペインGP仕様のいずれかをチョイスすることが可能となっている。また、FW06は第15戦ワトキンスグレンで開催されたアメリカGPにおいて、2位表彰台を獲得したアラン・ジョーンズのマシンを再現することができる。こちらも発売は7月下旬予定。

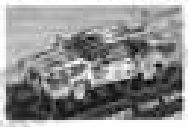
タメオからは実物車をベルのリリースも予定されている。M.シューマッハが自身のF1レース150勝目を飾ったフェラーリ248F1の'06年イタリアGP仕様と、同じくM.シューマッハのラストレースとなった'06年ブラジルGP仕様が、それぞれ総生産数300個の限定販売モデルとして7月下旬から8月中旬の発売予定。素材は同車のキットシリーズと同様のホワイトメタルを使用し、専用ベースが付属したハンドメイドモデルとなっている。

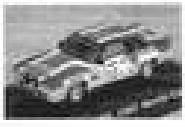
CM'sから、1/64新旧ラリーカーが続々ラインナップ!!



■ラリーカーコレクションSS.13 ランチア ストラトス スペシャル (1/64 6種+シークレット 税込735円) F 発売中
●CMsコーポレーション 対CMsコーポレーション

■ラリーカーコレクションSS.14 日産
(1/64 6種+シークレット 税込735円) F 9月中旬発売予定
●CMsコーポレーション 対CMsコーポレーション





■ラリーカーコレクションエクストラ
Toshi Arai Special
(1/64 6種+シークレット 税込945円) F
9月中旬発売予定
●CMsコーポレーション
対CMsコーポレーション

データ内表記文字 F=インジェクションプラスチックキット、P=塗装済み完成品、R=レジンキャストキット

http://mylikpr.exp.com/

ハセガワ1/350長門開発中!!
船体、艦橋パーツに見る1/350の"新基準"

■戦艦 長門
(1/350 価格未定) ※発売日11月末日(長門進水の日)
●ハセガワ 担ハセガワ

ハセガワが1/350スケールの長門開発を発表。船体と艦橋のテストショットが公開。開発現場には資料や写真類などの参考が並ぶ。船体は細部までディテールが施されている。艦橋下部(写真)にはディテールが、また、中央には7機搭載機のカタパルトが見える。主砲は砲口の位置が特徴的。後部に搭載される機銃機器はもちろんのこと、艦橋は前面に至るまでディテールがびっしり。艦首まで細くパカリとあけたカタパルト、ピシッとキールのラインなど注目!

テストショット公開!!
ピットロードが1/700スケール フランス・リシュリュー建造中!!

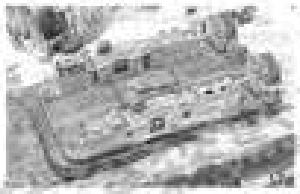
先日行なわれた東京おもちゃショー2007のピットロードブースでは、リシュリュー、フッドなどの新製品が展示された。リシュリューのインジェクションプラスチックキット化によって1/700スケールでWW2主要国の戦艦が揃う。

■フランス海軍リシュリュー級戦艦 リシュリュー 1943 W100
(1/700 価格未定) ※年末発売予定

■イギリス海軍巡洋戦艦 フッド 1931 W110
(1/700 税別4200円) ※秋頃発売予定
1920年に就役したイギリス海軍のフッドが登場。ドイツ海軍のビスマルク登場まで世界最大の誇り高を同じ。イギリス海軍の象徴として親しまれた。第二次世界大戦開戦前、まだ14in砲塔の残る1931年仕様での立体化

■海上自衛隊 エアクッション型揚陸艇 LCAC D01
(1/144 税別4800円)
※7月下旬発売予定

■海上自衛隊 イージス護衛艦 こんごう型 用グレードアップパーツ
(1/350 価格未定)(エッチングパーツ)
※7月下旬発売予定
●ピットロード 担ピットロード



■海上自衛隊 イージス護衛艦 DD(I)177 あたご J03
(1/700 税別3200円)
※7月中旬発売予定

■日本海軍 戦艦 伊勢 フルハル スペシャル CH111
(1/700 税込6090円) ※8月発売予定

■日本海軍 戦艦 日向 フルハル スペシャル CH112
(1/700 税込6090円) ※8月発売予定
●ハセガワ 担ハセガワ

■アメリカ海軍 BB-59 マサチューセッツ DS306
(1/350 税込1万4490円)
●トランペッター 担インターアライド

■U.S.S. ジュノー CL-52 アルバニー 1944 1/700
(1/700 価格未定)
●ハセガワ 担ハセガワ

アングルドデッキ仕様の空母がついに発売!!

■米海軍空母 U.S.S アンティータム CV-36
(1/700 価格未定)
※8月発売予定
●サイバーホビー 担ブラッド

■艦船用 エッチングパーツ SPE002-2500
(1/700 税込2625円)
●フォーサイト 担フォーサイト

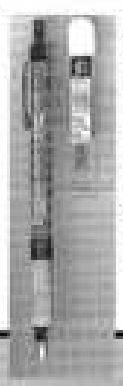
■シリウス モデリストブラシ F8
Sサイズ (税込588円)
Mサイズ (税込840円)
Lサイズ (税込1155円) 6月発売中
●シリウス 担トライスタージャパン

■スペアボトルミニ (角ピン) 81043
(税込94円)

■スペアボトルミニ (丸ピン) 81044
(税込94円)
●タミヤ 担タミヤ

■ブラパン
1.5mm
B4サイズ(1枚)
70176
(税込630円)

■ブラパン
2mm
B4サイズ(1枚)
70176
(税込735円)



■GUNDAM エスカベン G3-2
(0-2番) G3-01 (税込525円)
■GUNDAM エスカベン SH480
■GUNDAM エスカベン G3-2
(0-2番) G3-03 (税込735円)
●ミリオンクレスト 担ミリオンクレスト

©創通・サンライズ

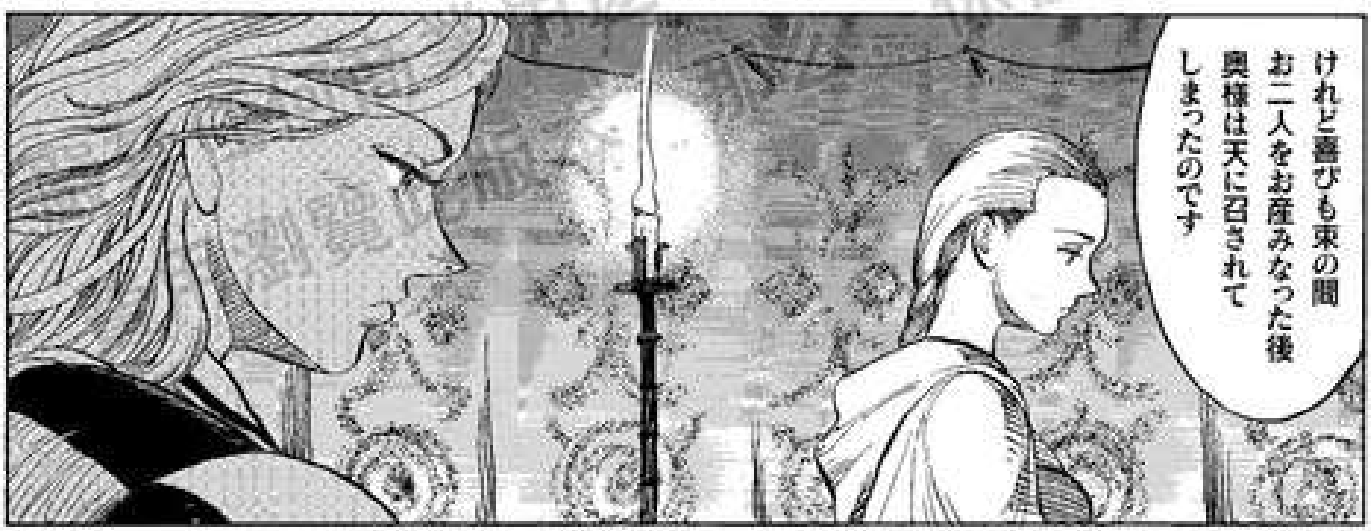
http://mylibrary.exp.com/

ばら物語

第30回

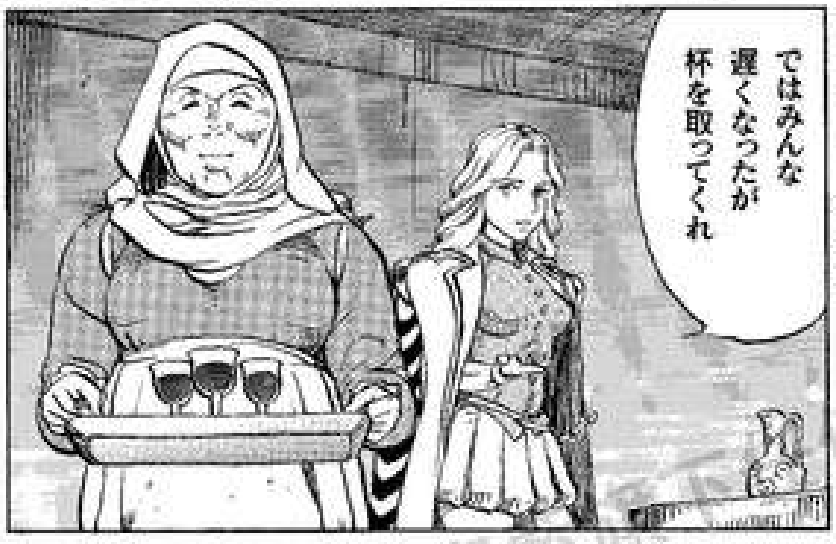
滝沢聖峰

http://mylikeyexp.com/

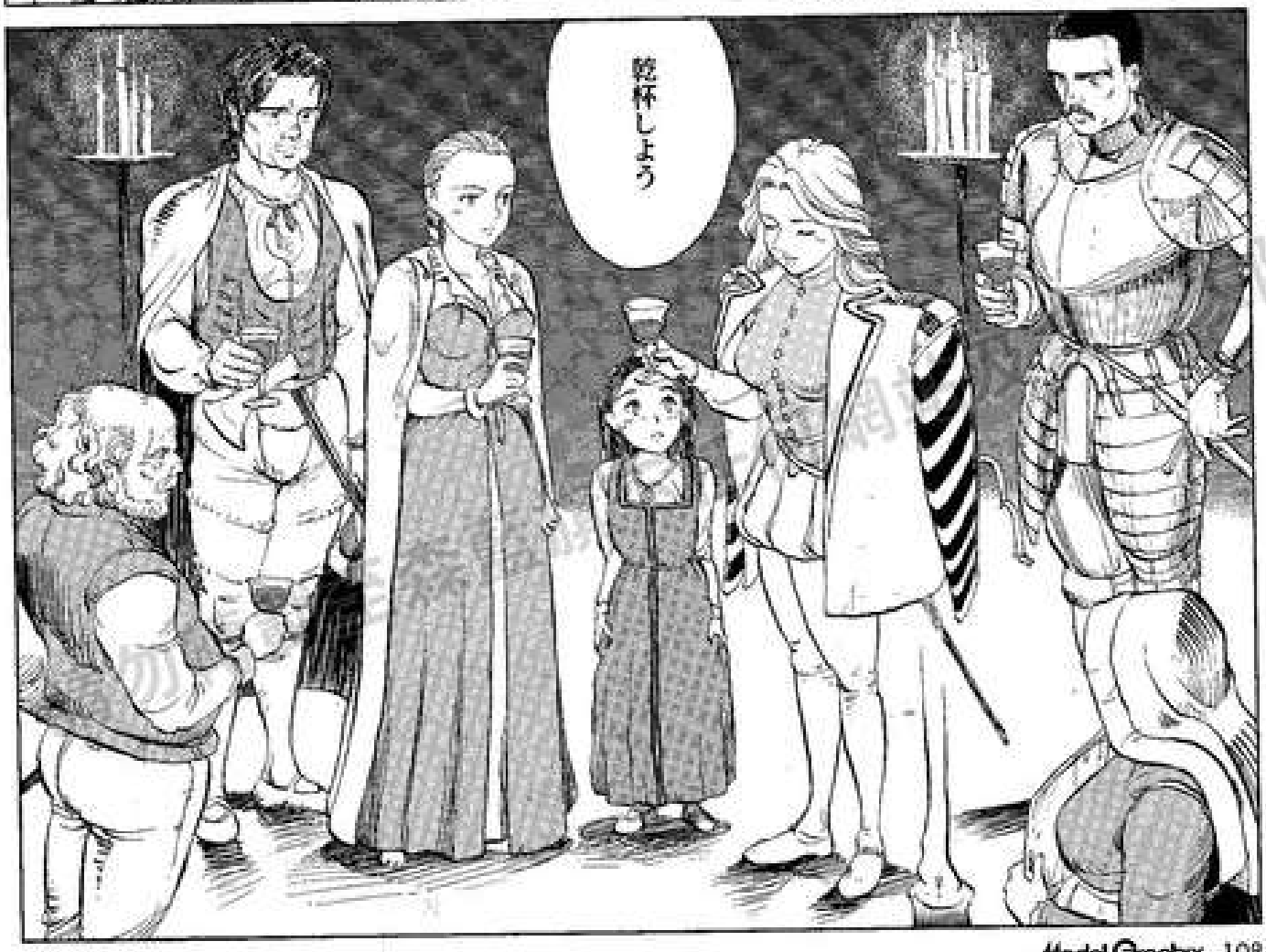


http://mylibrary.exp.com/

※16世紀初頭、神聖ローマ皇帝が教皇を攻め、ローマを略奪し破壊した。

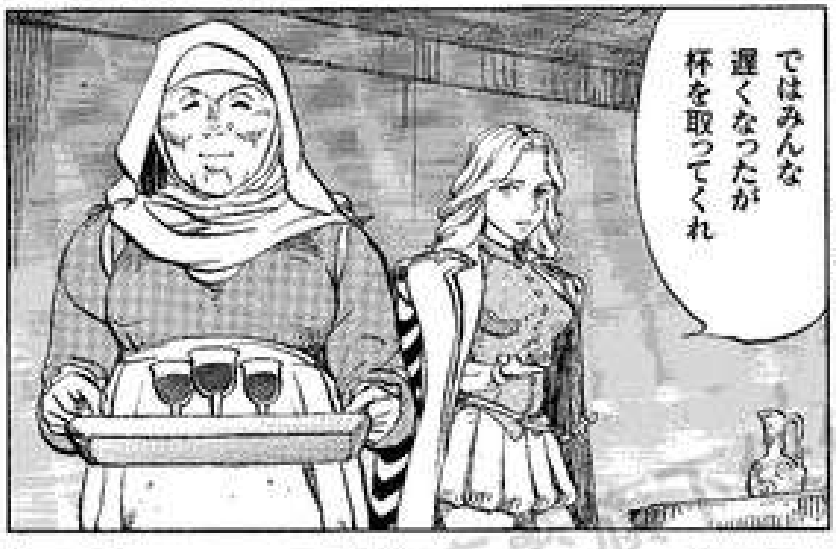


http://mylikeyexp.com/

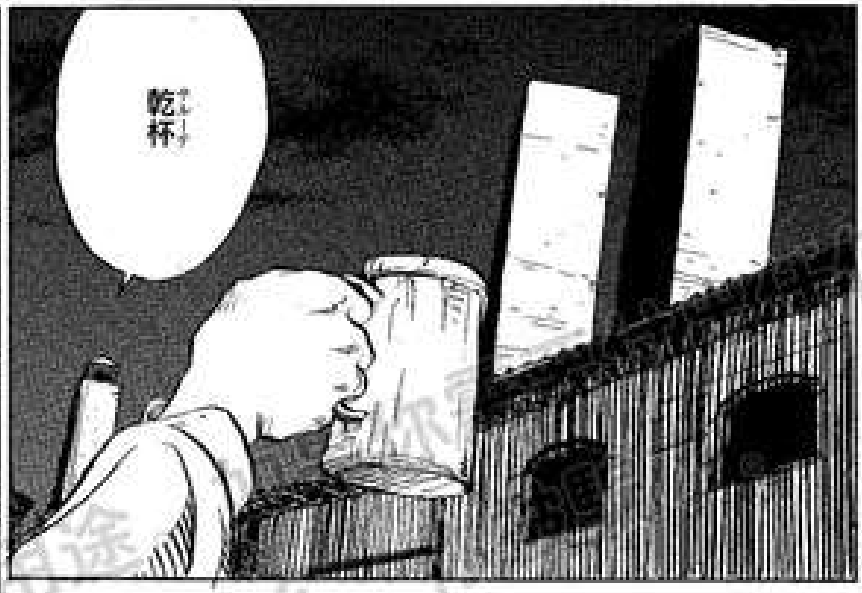


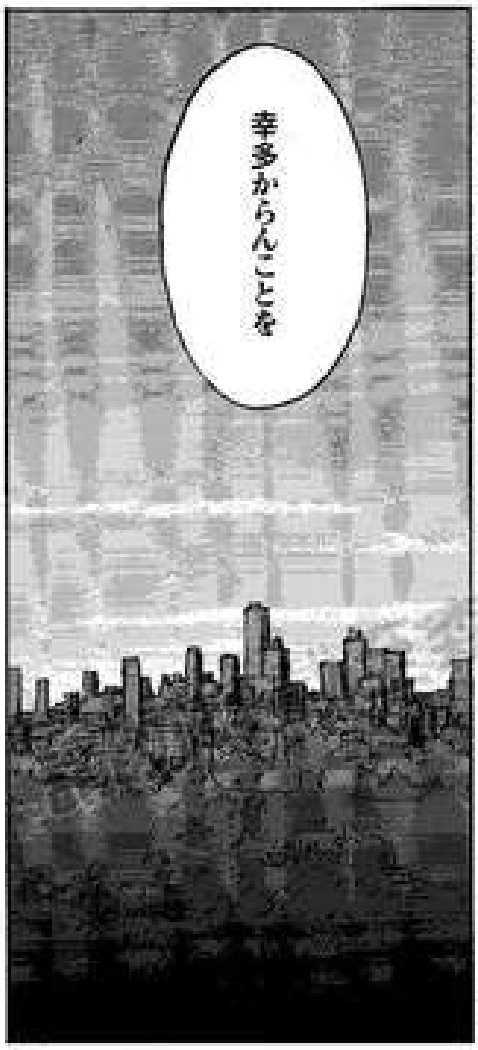
http://mikaryexp.com/

※16世紀初頭、神聖ローマ皇帝が教皇を攻め、ローマを略奪し破壊した。



http://mikaryexp.com/



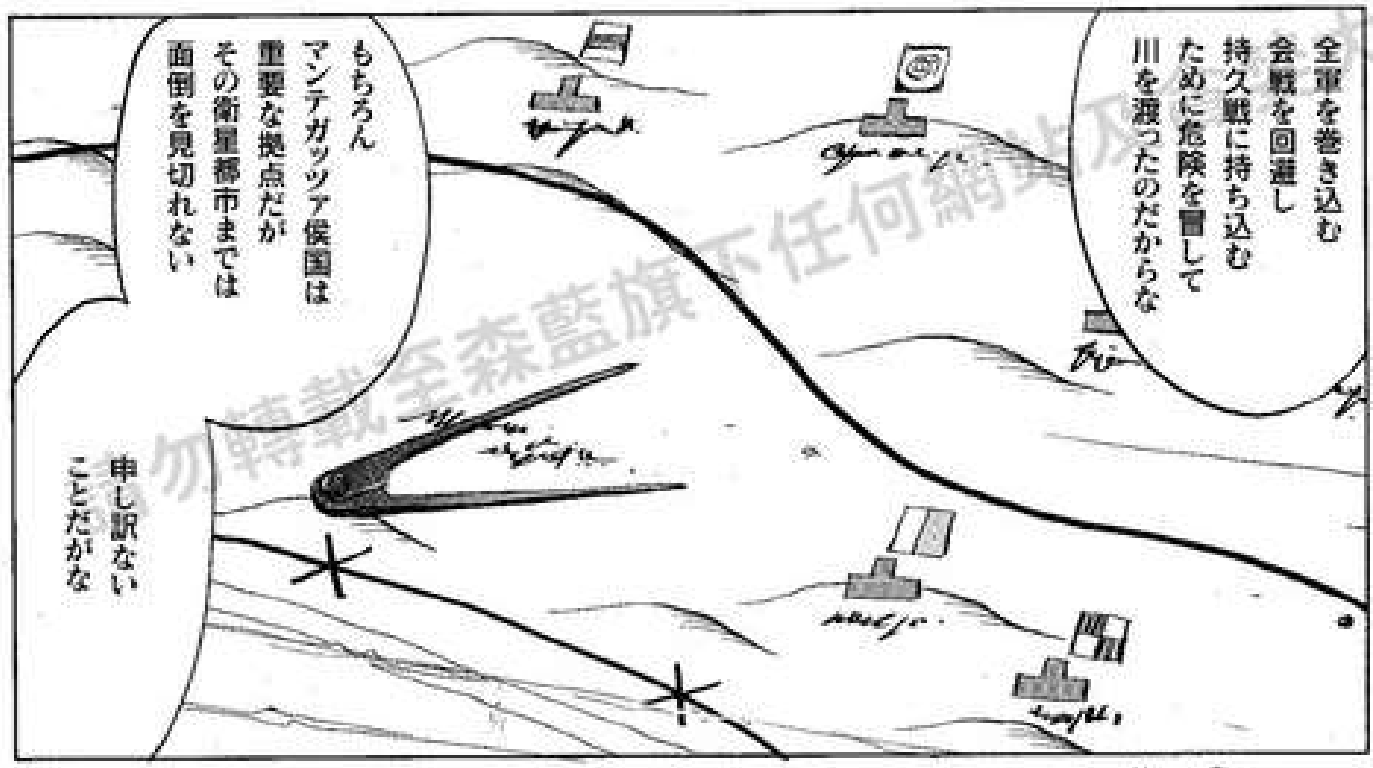


http://mylikeyexp.com/

防衛線を我が領地まで下げるということは突出部となる街は見捨てるということですか？

後方支援は協力を惜しまないだが大規模な援軍は戦力の均衡を崩すことになる

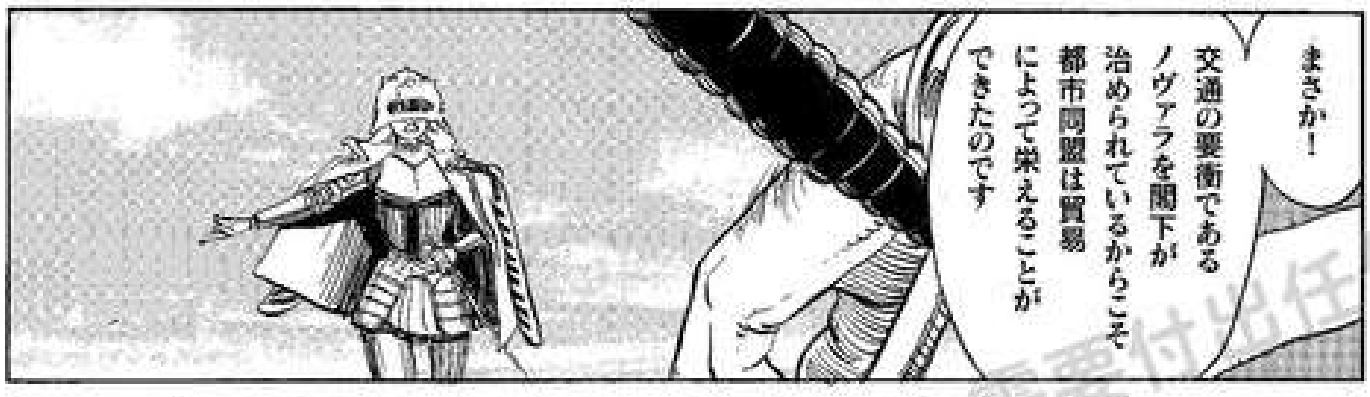
教皇軍総司令官
マントヴァ公の天幕

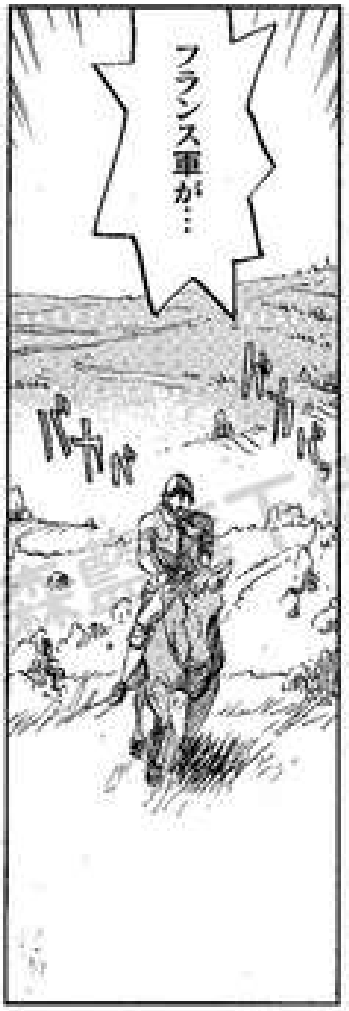


資料製作・商業用途・加筆修飾・付出任何
勿轉載至森藍旗下任何網站及大陸

http://mylikeyexp.com/

http://mikan.exp.com/





次号につづく！

http://anyikqr.yexp.com/

Y-ウイング
ファインモールド　1/72
出典「スター・ウォーズ　エピソード4　新たなる希望」
インジェクションプラスチックキット
発売中　税込3570円
(有)ファインモールド　m0532-23-6810
製作：文　大里 元
Finemolds 1/72
Y-Wing Attack starfighter
Injection-Plastic kit
Modeled and described by Hajime OHSATO

©2007 Lucasfilm Ltd. & TM. All rights reserved.
Used under authorization

Y-WING ATTACK STARFIGHTER

映画「スター・ウォーズ」劇場公開30周年にあたる今年は、続々と新作プラモデルも発表されています。そんななか、先陣を切って発売されたのがファインモールド製1/72 Y-ウイング。簡役ながらも内部構造むき出しで飛び立つその独特のスタイルは、根強いファンが多いものの、長らくキットに恵まれないアイテムでもありました。そこで今月は23年前に、ただひとりY-ウイングのスクラッチビルドを果たした男、大里 元氏が決着をつけるべくファインモールド製Y-ウイングに挑みました！

http://anyhkpr.yeap.com/

古参"S.W.モデラー"大里元が Y-WINGに決着!?

Y-WING ATTACK STARFIGHTER Gold 2

（コーンシャイヤーBLT-[illegible]）[illegible]エンジン/コーンシャイヤーBLT-[illegible]エンジン/[illegible]ロイオン[illegible]エンジン/[illegible]ロイオン[illegible]エンジン/[illegible]レーザー[illegible]/プロトン[illegible]ミサイル/[illegible]イオン[illegible]

Y-ウィングは[illegible]大型[illegible]機であり、[illegible]ウィングの[illegible]

大里元、前世紀的塗装でブロップる

文/大里元

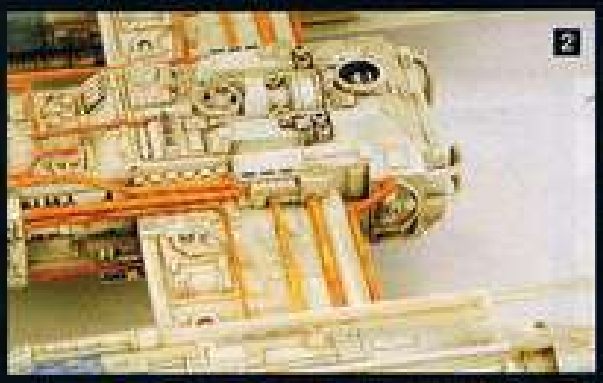
まず、それはもう前世紀のことになるのである。若さゆえの過ちでY-ウィングをスクラッチビルドしたのは、それから後多のキットが発売されてきたことだろう。いや、いくらもキットが発売されることはなかった、いずれも「自分で組んでよ式トイ」でな感じであった。いずれもというとキットが何種類もあるみたいだけど、発売された実質的なインジェクションプラスチックキットはmm0版のスナップフィットキット1種類だな。おっちゃんは同じキットでも別の箱を開けてみたら、女人女もつとこう、ディテールが増えてるとか、エッジがシャープになっちゃってたとか、1年重いとくと自然に完成してるとか……そんな昔にも稀なる興味の金鎖を期待していたのかも、でも世の中まるっきりブラッドベリじゃないもんな、やっぱり。

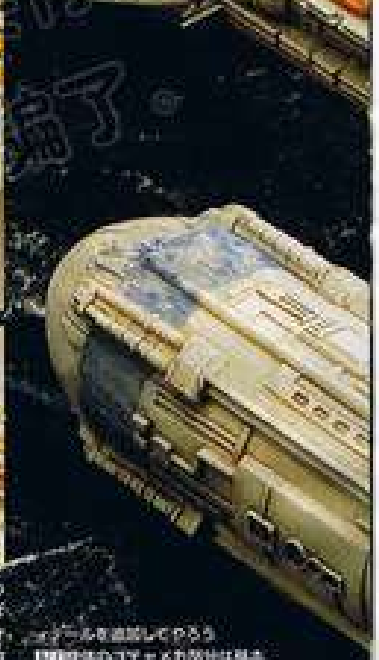
思い起こせば、我、そもそもY-ウィングをスクラッチビルドした理由はきわめて単純だった。だって好きなんだもん。胸を立てキットがなかったんだもん。某模型雑誌という人からキターンV型のプラモデルをいただいちゃったんだもん。

で、今回は、過去にスクラッチビルドしなければ単純たまらんような情熱は無で生きてきた部分化石化した時代製作人が、ギガすごいファインモールド製新キットを見てY好きの心が満足させられておるのかどうか、はたまたこれを作ることによって20年余年にわたって足下が定まらず三寸浮いたようなココロモチを、果たして重量に着地させることが可能であったのか、みたいなことを試くのだモー！　と決命を受けたのである。

ぶっちゃけてしまうと「懐かしい、由良之介」である。女に対して、めっきり興味が薄れて久しいもなく、なまさ持久力と勢いが減じてパンチ力も落ちてもところにこのキットが発売になっちゃったもんだから、たいへんだあ、それはキットのせいじゃない、おっちゃん個人の弱り具合の問

http://anyikqr.yexp.com/





23年前のスクラッチビルド作品 大里 元作『Y-ウィング』

S・W公開当時『月刊ホビージャパン』誌上では佐藤直樹氏、梶浩秀樹氏らを中心として盛んにS・W作例が作られていた。mpc製キットの制作が中心だったが、スクラッチビルドで発表された佐藤直樹氏の特大スター・デストロイヤーとともにS・W模型ファンの度肝を抜いたのが、この大里氏の手による1/48Y-ウィングだ。当時は資料となる写真がパースのついたスチル2枚のみ、そこから形状を読み取り流用パーツを解析、これだけの完成度を誇る作品を作り上げられたことで、いまだにY-ウィングというとこの作品を思い出す昔からの読者も多いハズだ。

[illegible]をベースにエッジ[illegible]がつい[illegible]ない十文字の[illegible]ばテ[illegible]マとヤスリ[illegible]けをするだけ、でもカッコよくなるモンスルの[illegible]は、ファインモールドの1/72メッ[illegible]ンを買ったときにあまるノ[illegible]ルのパ[illegible]を[illegible]ると、これまたちょ[illegible]いいアイテ[illegible]ルがたくさん[illegible]

[illegible]かうて左側の[illegible]ルは135度ほど回して写真のように上面に接着してあげるとプロペラの[illegible]

[illegible]コクピットまわりは[illegible]に沿っていけいてやり[illegible]その後[illegible]をヤスリ[illegible]で[illegible]した。[illegible]には[illegible]ものです。

[illegible]フィ[illegible]ールを追加してやろう

[illegible]体のコマ[illegible]メ部分は基本的にキットのままで別[illegible]に[illegible]がよい。おじさんは単に工作したかっただけで[illegible]の[illegible]リイドにあるスラッ[illegible]を再現したり、ダクトやどう[illegible]やはしランナ[illegible]を[illegible]に切ったものを貼った[illegible]ウ[illegible]ンター部分も一[illegible]プが高いとうれしいのでプラ板を貼った。[illegible]のルーバーは、コーナ[illegible]ルバ[illegible]ルでいい感じ[illegible]ロ[illegible]ダ[illegible]を[illegible]くの[illegible]いたほうがカッコ[illegible]のでまとにしちゃった。

Y-WING "GOLD 2" ATTACK STARFIGHTER

http://anyikkryexp.com/

チリっと改造するのが楽しいのだ

KOENSAYR BTL-A4
Y-WING
ATTACK STARFIGHTER

今回は窓ガラスアリです

図3・W機などではプロップに乗じてキャノピーの透明パーツを入れないこともあるが、このキットでは透明パーツが収まるスペースが、センターコンソールに設例がのってある。それを使める工作が面白いので今回は透明パーツを使ってみた。この辺りは好きずき。ちゃは、塗装装と汚しが終わったら、プロップを貫いて、薄々を紙ヤスリで削ってあげるとこれまたプロップの雰囲気がでる。逆にしてそりすぎると塗装し直しじゃがの

課なんだけど、

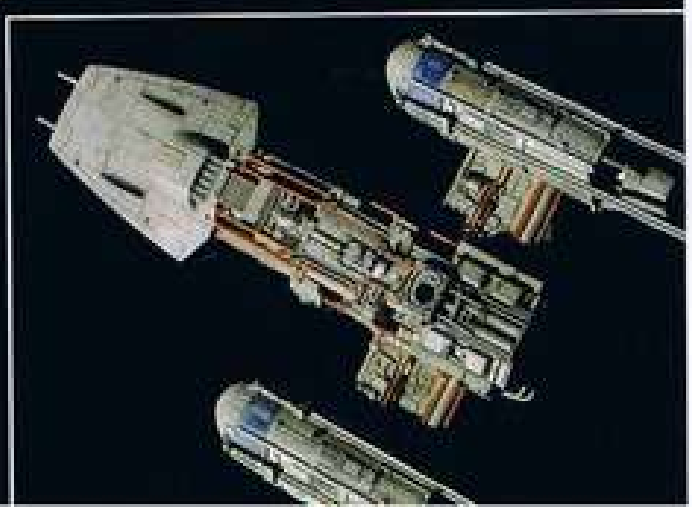
さらにおっちゃん的にはこのキットは、小さかったんだ、組んだり塗ったりするには、設例も未設のヘッドライントピックスで書いたけど、Yの魅力をあまねく再現するということは、間延きな部分を増やすということなんだな。書籍みされたこのキットを見たとき「プラモデル界のランニングホームランやあ」と思った。でも、そのときは面白きのパイプにたたヤラレちゃって、冷静な判断ができなかったんだ。隙間を消すとか、塗装ってスミいれて ふき取って、みたいな実作業の工程をイメージできなかったところが脇の甘さなんだろうな。あと、おっちゃんはおもいのほか拾大いんだ。

でも完成したものを眺めとくにはちょうどいいサイズだし、ヤウィンの基地を作るなら、このサイズは最適。そういうわけで、23年経ったいま、このキットは楽しいことだけ、目の届くところだけ、指の届くところだけいじってやるのが最適だな。

製作のポイントはこうだ。まずパーツの境界面がボロになっている場合、接ぎテープをそのままにしておくと、あとで困ったことになるから面倒でもていねいな接着面の整形と合わせの確認を怠らないようにすること。基本的にこれのパーツの表面には、キットの命ともいうべきモールドがあり、強引に隙間という力技は使えない。反面、モールドは抑揚的な方法論で付け足してもかまわない。どうしても消せない傷や、うっかりできちゃった段差には、金型に切った薄いプラ板とか、のばしランナーを切ったものとか適当な部のパーツなんかをペタと貼って、ディテールにしてしまうというやりかたはありだ。

機体から数多く伸びる配管パーツはひとつずつパーティングラインを消す。これをサボると、スミ入れをしたときに悲しくなる場合がある。ところによっては、配管がちょっぴり短くて届かないことがある（これは配管を高される側の、本体の組み上げ時にちゃんとすり合わせてないと起きるよ今じゃ）。そうしたときは、配管の末端小口に薄いプラ板を貼って補修する。

キットは映画のプロップを再現したものというわけではなく、Yウィングという宇宙戦闘機をスケールモデル化したものと捉えたほうがいいから、ストレートにていねいに組んでもいいし、おっちゃんのようにピンポイントで改造っちゃうか、こだわってみるのも楽しい。っていうかやり過ぎは禁物、完成しなくなるから。基本色はガイアカラーIIの緑色、「ドイツ帝国軍内色」をものまん主張調整。ガイアカラーはいいぞ、見慣れた文子ら写真の機体色になるんでとてもおすすめ。機体下面の黄色部がないのは面に塗り忘れたんだけで意味はない。彼の好きまま、自分ない文章だ。べこ凹んだ。



http://anyhkpy.exp.com/

NEW KIT REVIEW

“わずか1年の戦い”
1944年初陣をむかえた狩人

タミヤ1/35MMシリーズ新作・ヘッツァーを速攻レビュー!!

ドイツ駆逐戦車 ヘッツァー中期生産型
タミヤ 1/35
インジェクションプラスチックキット
発売中 価格3,675円
(㈱タミヤ #0554-283-0003)
製作・文 [illegible]

TAMIYA 1/35 Jagdpanzer 38(t)
Hetzer Mittlere Produktion
Injection plastic kit
Modeled and described by Osamu SAWADA

Jagdpanzer 38(t)
Hetzer
Mittlere Produktion

1/48MMシリーズで発売されて以来、いつかタミヤは1/35スケールでも発売してくれないものか……とAFVモデラーの間で話題になっていたヘッツァー。ついに1/35MMシリーズ最新作として発売になりました。ということで勢いにまかせ超速攻レビュー！　これから作る人に役に立つちょっとしたディテールアップや改造のコツも教えちゃいますよ。

http://anyikqryexp.com/

Jagdpanzer 38(t) Hetzer Mittlere Produktion

タミヤ1/35ヘッツァー これだけはやっておきたいレベル別ディテールアップポイント5

このヘッツァーが組みやすいキットであることは言わずもがなだけれども、そのまま作るだけでなく、手を加えてみるともっとよくなるポイントがある。そんなポイントを戦車模型全般に共通する改造からこのヘッツァーの製作に役にたつ工作などを技術レベル別に5つ紹介するぞ

LEVEL1 定番のうすうす攻撃

フェンダーの端やペリスコープガードなどは実物でも薄い金属板などで作られている部分だ。模型でもデザインナイフのカンナがけなどで薄くしてやると精密感がアップする。とはいっても、このキットはそれが必要ないくらい薄く成型されてることが多いのだが。ちなみに作例では主砲周辺構やペリスコープガードの部分を薄く削ってある

▲機銃付近のペリスコープとペリスコープガード。うすうす攻撃がいらないくらいだがもう一歩だけ薄くした。リモコン機銃の周辺はストックがないものに改造

LEVEL3 ライトコードの追加

タミヤのキットでは定番といえる加工がこのライトコードの追加だ。目立つけど省略されがちなディテールなので追加してやると効果があるぞ。ただ、どこにどう取り回されるか調べる必要はあるが。これまたパッケージにわかりやすく描いてあるのでそれを参考にして取り付けてみよう。素材は伸ばしランナーや真ちゅう線などあるので自分が使いやすいものを選ぼう

▲コードはライト基部の後ろから車内に伝えているので、そこから取り回しはじめてシュルツェンの穴付け根部の横に引き込む構造

LEVEL2 削ってつけてディテールアップ

車体左側面についている突起は、予備アンテナをさしておくためのパイプ。キットは穴もないし金型の都合で形もいびつなので、削り取ってプラパイプを熱して伸ばしたものを接着しディテールアップ。手間は少ないし見栄えもよいのでおすすめの工作。パッケージにもちゃんと車長の腕のあたりに描いてあるので、付け位置やサイズはそれを参考にするとよいだろう

▲プラパイプは熱して伸ばすと細いパイプになるので用途に適用。プラ用ステロール系接着剤を使えるので接着もラク。ただし、金属とちがい脆いので注意しよう

LEVEL5 排気口に金網&シャッター

車体後部にある冷却吸排気グリルに金網とシャッターを追加。排気口上に枠をプラ板で制作し、サイズを合わせ切り落とした金網をつける。枠も金網も現物合わせで加工したものだ。金網のメッシュ格は菱形のものを選択しよう。シャッターもエバーグリーンのプラ材から製作。メッシュ取り付け部分の金具などもすべてプラ材で加工したもの

▲金網は排気口の形状と同一のものをつけるだけ。シャッターのかたちは実車写真でこの写真を参考にしてほしい。あとはシャッターの端に蝶ネジを追加するだけだ

LEVEL4 溶接跡の追加

実車では溶けた鉄を接着剤に車体の貼り合わせを行なう。その加工痕を模型でも再現する。車体前面下側、パーツの合わせ目にエポキシパテを盛ってスパチュラでちょこちょことパターンを刻むらしく刻む。ほかにも、伸ばしランナーを貼り流し込み接着剤で溶かしてパターンを刻む方法もある。車体前面のスジ彫り部分も実車は溶接なので、再現してみるのも手だ

▲ちょっと大げさに表現してみたが、実車どおりにやると見えないくらいの溶接跡しかないこともあるので、そこは模型的にそれらしく再現するべし

http://anyikqryexp.com/

ヘッツァー

ヘッツァーは1944年4月から量産の開始されたドイツ軍の駆逐戦車で、チェコのBMM社によって開発された。連合軍からの爆撃で重戦車駆逐の生産ラインが破壊されたことを受け白羽の矢が立ったヘッツァーだが、優秀な生産性と軽戦車駆逐戦車と同等の火力を誇り駆逐戦車の主力として大いに期待をされた。最終的にヘッツァーは終戦までに3000輌ほどが生産されたが、戦況とBMM社の工場規模からして相当に優秀な生産数と言える。

キットは1944年8月生産型を再現している。球状砲塔カバーの形状や軽量化型ザウコップ防護などの形状、後期車体の特徴が他の生産型と異なっている

■フェンダーの上に車体がかぶさるようについているため、OVMは後期に設定
■ライトコードの取り回しとシュルツェンの取り付け位置関係には注目
■車体部後部右グリル上に金網とシャッターを追加している
■後部フェンダーは薄く成型されてありうすうす攻撃をかけなくてもよほど
■軽量型ザウコップ型防護、ポリキャップを内蔵しており砲身を上下左右に動ることができる
■後部後部と足周り、キャタピラはベルト式と1/48MMでおなじみの一部連結式が合理的可能、作例では自然な歪みが表現されている一部連結式を使用

今年5月の第46回静岡ホビーショーにて発表されたI／35駆逐戦車ヘッツァーがいよいよ発売になりました。新しいものは旬のうちに、というわけで速攻レビューであります。

ヘッツァーは大きく分けて初期・中期・後期・最後期のタイプがあり、今回キット化されたのは中期形に分類されるものです。キットはきすがタミヤらしく、組み立てはストレスなくさくさくと進み、通常2回あれば塗装まで済んでしまいます。今回はお約束の工作ポイントを紹介しつつ、省略されているディテールを再現してみます。

走行装置部およびペリスコープのガードを薄く削ります。ランナーに付いたままで行なうと折れにくく、作業性もよくなります。同様にリモコン機銃のガード部品も薄くします。ノテックライトには糸ハンダでコードを追加。車体への引き込み部分はボルトを使って再現します。エンジンデッキ上の排気ルーバーにはエッチングメッシュとエバークリーンのプラ材でシャッターを再現しました。これまでの同社の流れであれば、エッチングパーツを付属させる部分でしょうが、それを避けたのには「組み立てやすさ」を重視した結果なのでしょうか。もっとも資料を見ながら自作するのも模型の楽しみ方のひとつではあります。普はみんなそうだったのよ。じつを言うと今回いちばんおもしろかったのがここのエッチングだったりします。車体左側面にあるキャンバスアンテナホルダーは一旦モールドを削り落とし、エバークリーンのパイプ材をライターの火で炙り、伸ばしランナーならぬ伸ばしパイプをカットしたものに置き換えます。よっぽど細く伸ばさなければ穴は残りますから、いろいろと応用の利く技であります。ザウコップ防護にある三箇所の留め金ネジ穴は1.2mmのピンバイスできちっと大きく塗ります。

キャタピラは接着・塗装打抜きベルト式とI／48MMシリーズと同じタイプのプラ製一部連結式が選択できます。どちらもディテールがよく再現されていますので、作る方の好みとスキルにあわせればよいでし

http://mytamiya.com/

イタレリニュース

《新製品》

サーブ JAS 39B グリペン複座型 1/48飛行機シリーズ 2664

ビゲンの後継機としてスウェーデン空軍が開発した多目的戦闘機グリペン。その複座型を再現した組立キットです。カナードとデルタ翼を組合わせたシャープなフォルムを実感たっぷりに再現。複座のコクピットや降着装置なども立体感あふれる仕上がりです。キャノピーや胴体後部のエアブレーキは開閉を選んで組立て可能。武装類は空対地兵器BK90やサイドワインダー、AMRAAMをセットしました。スウェーデン空軍をはじめ、南アフリカ、チェコ、ハンガリーの4種類のスライドマークと4面図付。全長307mm。

2,940円（本体価格2,800円）

グラマン F-14A トムキャット 1/48飛行機シリーズ 2667

1973年から就役され、2006年9月をもって惜しまれつつ退役したアメリカ海軍の艦上戦闘機F-14トムキャットの組立キットです。シャープな形状のエアインテークを持ち、胴体下面に2基のターボファンエンジンを搭載した姿をリアルに再現。特徴的な可変後退翼を採用した主翼はモデルでも動かすことができます。スパロー、サイドワインダー、フェニックスミサイルと燃料タンクもパーツ化。スライドマークは「ジョリーロジャース」「ウルフパック」「ブラックライオン」の3タイプをセットしました。全長393mm。

2,940円（本体価格2,800円）

ユンカース Ju52"トゥカン" 1/72飛行機シリーズ 1265

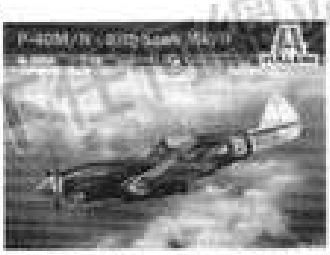
ドイツの主力輸送機として第二次大戦を通して飛び続けたユンカースJu52の組立キットです。エンジンを3機搭載し、テーパーの強い主翼、各舵面と主翼・尾翼にすき間を持たせた独特のフォルムを高い実感で再現。特徴的な波板外皮構造も見どころです。また、胴体内部もリアルな仕上がり。2名のパイロットもモデル化しました。キットは戦後フランス空軍が使用したAAC1"トゥカン"をはじめ、大戦中のドイツ軍が使用した輸送機タイプにも組立てられます。6種類のスライドマークと4面図付。全長262mm。

2,100円（本体価格2,000円）

《好評発売中》

スカニア 143R レッカートラック
NO.3838 3,885円（本体価格3,700円）

ソビエト シュトルモビク
NO.2637 3,990円（本体価格3,800円）



カーチス P-40M/N キティホーク Mk.IV
NO.2658 2,625円（本体価格2,500円）

シコルスキー HO45-3
NO.1267 1,680円（本体価格1,600円）

TAMIYA SHOP ONLINE ネットでかんたんショッピング。充実したラインナップの中からお選びください。 tamiyashop.jp

お近くのお店で手に入りにくい場合は、タミヤ・カスタマーサービスの通信販売が便利です。

タミヤ・カスタマーサービス 〒422-8610 静岡市駿河区恩田原3-7 E-mail: cs@tamiya-inc.co.jp

電話:054-283-0003[静岡] 03-3899-3765[東京] FAX:054-282-7763 営業時間：平日 8:30～20:30 土・日・祝祭日 8:30～17:00

●価格はすべてメーカー希望小売価格です。●各キットの送料をお問い合わせの上、キット価格に送料を加えた代金を郵便でお申し込みください。
●タミヤカード・郵便為替・郵便振替・現金書留 をご利用ください。（郵便振替の口座番号 00810-5-1178 加入者名 商店機型）
電話、FAX、Eメールで代引きお注文もご利用できます。手代引きご利用の場合、手数料315円がかかります。

www.tamiya.com

TAMIYA

http://mylibrary.exp.com/

MG mate

夏です。ワンフェスが近づいてまいりました。でもごめんなさい、この夏もワンフェス特集はないんです。というのも――巻頭をごらんください。電新特集なんですぅ～（でもワンフェスの全事は力ップリやるよ！）

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-7 錦町一丁目ビル4F
アートボックス「MG編集部「MGメイト」係

▲千葉県　三ノ宮二郎さん　そろそろロータス・エスプリを越えるインパクトをもったメカに登場してほしいですね

ロータスの7を購入し、作り方を考えていたときに雑誌の広告で、初期のロータスの総重、他のタイプにも使えるパーツの他、小さな一箱ってまったくの新アイテム満載の広告や、今度ワンフェスに出展されるフェラーリ512の情報とも盛沢山しております！

神奈川県　黄金に輝く文字、とても見栄えがしますね。とまぼくはドキドキしてしまうなぁ　という感想をいただきました。在庫をあるに――と言ってもつかまらなかった、本当でありがとうございます。

東京都　お疲れ様です。

それにしても初期ロータスの出来いるのですね。ロータス好ファンダ、が出ていたのはもう20年も前のことになるのですね。とりあえず出るオリジナルロータスにはドキドキの期待をかけてキットを買ってみたいと思います。

▲神奈川県　五ノ井宏幸さん　ボルトを外すと脚の姿勢が――ってそれ、サザンク■スってやつかも

ホンダのF1ファンなのでF1ロータスの7ホンダ、の情報は嬉しいものがあります。すごくクリアーなパーツ、これのようにF1ロータスの7ホンダ、の情報は嬉しいものがあります。――ロータスにはF1ホンダ、の情報はあまりないようなので、ぜひ、ぜひ、お待ちしております！

ロータス97Tの作例がとてもよかったのでF1ロータスの7ホンダ、の情報は嬉しいものがあります。――ロータスにはF1ホンダ、の情報はあまりないようなので、ぜひ、ぜひ、お待ちしております！

あいかわらず自宅作業中に長のあるのでMGはもっぱらトイレ、お風呂、電車の中で読んでいます。――ロータスにはF1ホンダ、の情報はあまりないようなので、ぜひ、ぜひ、お待ちしております！

▲神奈川県　五ノ井宏幸さん　ボルトを外すと脚の姿勢が――ってそれ、サザンク■スってやつかも

バンダイのF1ロータスのプラモ、通常版でキットとして、ってもう――やっぱりF1ロータスの7ホンダ、の情報は嬉しいものがあります！

最近はずっと、ぱっと自然豊かにかつつまれたけれどの、ちょっとはにかみの作品を見て、ウチアーのはずまとしたハイビングでの表現、カーボンの表現など、興味くらいことを目やる出来はやっていんなと思ってしまいました。特徴するかつた形とフェラーリの、の表現部分による自作品に興味のもてます。のキットかなりおいしいときにとってもいますが、動力キットがもっとエリーさんなくて欲しいですね。やっぱりオールロボットムも参戦しているのだから、もっとアレ出ってほしいです！

北海道　ホテルでババさん

'87年のF1日本再上陸に備えて、ここ1年にのマシン続けていてすいませんとりキットを作りました。20年間ずっとF1専門誌の編集を続けております。ですがたくさんなくてこの初めて目にする情報のるんるんかったこと！　現在を変えるのはこうやって昔のマシンでもあるしっかりとありがとうございます。あるのんの読み物もオ、あるのんの読み物もオ、あるのんの読み物もオ、わたくしがMGをはじめるのになっていて、とてもおもしろかったです！　用ずんれの情報も載っていて、ボ、ボ、ボ

http://mylibrary.exp.com/

from EDiTOR's

■アイスとかチョコレートとか、甘いものを食べる機会があるのは仕事のときだけ。何十時間もパソコンとにらめっこしてリャ疲労も蓄積してくるわけで、自然と体が糖分を欲するわけですな。で、チョコの詰め合わせとかデスクに置いておくと、知らん間に減っている。つまみ食いはいいけどよ、イチゴばっかり取らんでブラックも食え！　（甘党カズマ）

■この号が発売されるころには、私は……ではなくて、大相撲名古屋場所は終わっていることでしょう。毎回時間の関係で書けないのですよ、相撲のことは。白鵬も横綱になったことだし、ひとつ優勝予想でも……でも、いま見ている限り白鵬が優勝しそうですなあ。不知火型の土俵入りはかっこいいね（けんた）

■鉄道！　鉄道なんですよ！　直突に、あれ買ってこれ買ってこんなレイアウトつくって走らせて、それからあれに乗ってあそこに行ってあれ見てあれ食って……。妄想全開。それからネット通販とか超危険ですね。うわーこの組成アツい、コレはしい、ポチ、どんだけ便利な世の中なんでしょうか、とりあえず危険なので自トレで我慢だな。　しゅぱーす（鉄道部）

■わが家の娘が一週間ほど家出してたんですが、帰せて戻ってきました。ひと安心。　（モンブラ中島）

■ダン・シモンズ新シリーズ『イリアム』『オリュンポス』を読了。半生物機械モラヴェックのマーシュムーアとイオのオルフが、いちばん人間らしいというのがおもしろかったです。でもあれでは目が離せないぞ。続編待ってはいられないところです。ところでオランダのダンスレーベル『A State of Trance』#60番で日本人製作のダンスチューンが初海ライセンスリリース。海外オランダでアナログが出るなんてすごいなぁ、と思っていたのですが、その正体は秋葉でコミケなアニメーターさんと最近知り。かなり興奮。『エヴェカ』とか『ローゼンメイデン』は見たけど、『妖奇士』とか『蒼ましまろ』とか『ななついろ☆ドロップス』とかは守備範囲外っす！　（コヅ）

■バイク買いました。『ほしい！　買うっ！』と決断してぽんっとパンコを押したのは4月下旬。あれから3ヶ月ほどたちましたが、まだ届いてません。いまごろは日本に向かう海の上かしら？　（L.J）

お詫びと訂正

本誌07年8月号にて、下記のような誤りがありました。

・P36に掲載されている『第9期ハンガリーGPハンガロリンク』の記事内で、掲載が『N.マンセル』とありますが、『N.ピケ』の誤りです。

・P3ヘッドライントピックスで掲載されました『タミヤマスターワークコレクションのティーガーI初期型』記事はドラゴン製と表記されていましたが、掲載された画像はタミヤ製です。ドラゴン製のマスターワークコレクション製品は、ドイツ重戦車 タイガーI 極初期生産型 501重戦車大隊チュニジア 1942年(完成品)、ドイツ重戦車 タイガーI 極初期生産型 第502重戦車大隊 1942年(完成品)となります。

関係各位、読者のみなさまにご迷惑をおかけいたしましたこと、謹んでお詫び申し上げます。

AD index 広告目次

青蛙文化教材社 …… 表3
インターアライド …… 80
ウエーブ …… 124
エアワールド …… 124
ガイアノーツ …… 125
海洋堂 …… 78・79
カレッジアイ …… 123
静岡クリエイト …… 104
上新電機 …… 122
タミヤ …… 表2・121
ハセガワ …… 表4
ファインモールド …… 123
文林堂 …… 80
マユミホビー …… 124
モデルカステン …… 123・126
レインボーテン …… 122
レオナルド …… 122

NEXT ISSUE 2007年10月号

【巻頭特集】

ターンエー

BANDAI 1/100 "MG(Master Grade) Series" Number 100
Syd Mead's Design "∀ (Turn A) GUNDAM" Style Book

ターン2007

拝啓、シド・ミード様。ぼくらは「∀デザインの真実」を解読するのに8年もの月日を費やすことになってしまいました。

ポリススピナー、レオノフ号、トロン……。ヴィジュアルフューチャリスト、シド・ミードの描くガジェットはいつだって斬新チックで、心躍るデザインだった。1999年、∀ガンダムのデザインが発表されたあの時の衝撃を僕らは忘れることができない。ミードデザインらしくシャープでグラマラスで、それまで誰も見たことのないようなロボットがそこにはいた。そう、∀とは誰も見たことのない、それまでの概念を覆すために生まれた『ガンダム』なのだ。そして2007年、バンダイがマスターグレードシリーズ100点目に∀ガンダムを選んだ。真に『デザイン』されたモビルスーツの立体物が手に入るとき、僕らは∀ガンダムというデザインの真実を知ることになるだろう。

■SHIP MODELING

先ごろ発売されたハセガワの1/700フォーターライン、古鷹／加古をキットレビュー。同じくハセガワの1/350 南極観測船 宗谷 "第三次南極観測隊"を、Takumi明春氏が超絶ディテールアップ。ピットロードの1/700帝国海軍駆逐艦『雪』『霞』も掲載予定だぞ

■AUTO MODELING

フェラーリ126C2、三菱ふそうキャンター、日野セレガ スーパーハイデッカなどなど。フジミの新作カーモデルはどれも目が離せない！　それらをニューカマーでガッツリ紹介。作例では、ルマンを走り抜けた新旧2台のフェラーリを取り上げる

■AIR MODELING

待ってた方ごめんなさい！　三度目の正直！　来月こそはイタレリ、ホビーボスなどなどの新旧サンダーボルト対決をお届けいたします！　中田正治氏のフルスクラッチビルド作品も掲載予定だ！

■AFV MODELING

ドラゴンの最新作、米国最新鋭戦車・エイブラムズ M1A2 SEPが登場。タミヤの1/35ルノーUE トラクターのジオラマも予定しておりますぞ

8月25日発売 定価780円（税込）

株式会社アートボックス編集スタッフ募集のお知らせ

株式会社アートボックスでは、『月刊モデルグラフィックス』、『月刊シェルマガジン』、『月刊ホビースケールアヴィエーション』の編集スタッフを募集いたします。

勤務時間は11時から19時、土日、祭日は基本的に休日です。編集作業の都合で出勤を求める場合もあります。

30歳くらいまでの年齢で、戦車模型をはじめとするスケールモデルに詳しく、意向きで軽い頭い方を求めています。未経験での応募も受け付けていますが、定期刊行物の編集経験があり、DTP作業ができる方を優遇します。

応募方法は下記まで履歴書、職務経歴書（書式自由）を送ってください。面接後の上、採用者にご連絡いたします。なお応募書類の返却はしていませんので、ご了承ください。

（宛先）
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町1-7　錦町一丁目ビル4階
株式会社アートボックス内　採用担当係
（問い合わせ）
TEL 03-6820-7000（代）

モデルグラフィックス9月号　第24巻第9号通巻274号　定価780円（税込）　発行／2007年8月1日
発行人／小川光二　発行所／株式会社大日本絵画
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町1丁目7番地　☎03-3294-7861（代表）（振替）東京7-36729
Publisher　Dainippon Kaiga Co.Ltd.7-1Chome Kanda Nishiki-cho Chiyoda-ku Tokyo Japan　Phone 03-3294-7861
編集人／古屋雅博　企画・編集・広告／アートボックス
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町1丁目7番地4F　☎03-6820-7000（代表）
Editor／ARTBOX 7-1 Chome Kanda Nishiki-cho Chiyoda-ku Tokyo Japan ©2007 株式会社大日本絵画

本誌の記載写真等の無断転載を禁じます。

http://anylist.yeah.net/

FROG FLAG DIARY

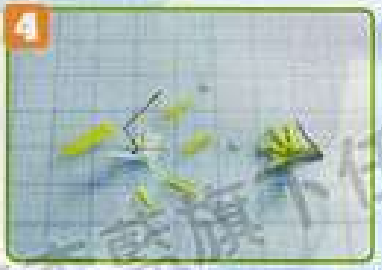
Frogs are amphibians, animals that spend part of their lives under water and the remainder on land. They have long, powerful jumping legs and a very short backbone.

【月刊フロッグフラッグ通信】

1 ねんどを薄く延ばしたシートでねんどのロクをくるんでの巻き状のロクにします。プレッサーと平行に置いた2本の棒でのり巻きロクの幅を調整しています

2 できたロクを紙にはさんで用口が開くと形態が決まってねんどが硬めになります。手に持っているロクは真ん中が作りたて、手前が一週間ほど置いておいたものです

3 硬くなったロクはスライスすると表に模様が現れにくく、また、ねんどに埋め込みやすくなります。模様付けしたいロクの位置を決めてから紙工作などで溝のようにしていきます



4 ねんどの表面がなめらかなものを、その表面を活かしたいのでなるべく手数を掛けないのですが、今回は細長い部位を固定するため部分的にステンレスワイヤーを芯に使用しています

Vol.04 マレーキノボリヒキガエル

Boulenger's Asian Tree Toad [*Polypedates bealii*]

ねんどガエル製作・製作途中写真撮影・文 FROG FLAG

イメージ写真撮影 小野正司(ホットレンズ)

Sculpted, photographed & text by FROG FLAG

Main cut photographed by Tadashi ONO (Hot Lens).

ふらっと立ち寄ってみたら、エポンシねんどでカエルを作っているアーティストがいた。ねんどに埋め込まれた「ひかり」と「ハーモニー」を組み合わせた作品がWEBアーティストに選ばれたのを機に、新しい作品をインターネットで発表中。ぜひ、のぞいてみて

FROG FLAG BLOG ◆ http://frog-flag.de-blog.jp/

今回は、ヒキガエルなのに前肢がスペスペで、ながーい手足に吸盤と水かきまで持っていて東南アジアの亜生林に生息し繁殖期には木に登ってメスを呼ぶというとっても不思議なマレーキノボリヒキガエルを製作しました。黄色い水玉模様とすらりと伸びた前肢に注目です

5 できあがったパーツをくっつけていき、つなぎ目を紙工作でなるべく消えたら、間接部位の黄色い水玉模様をつけて、オーブンレンジにて120℃で30分焼いて完成です

日々是ねんどガエル

最近はねんどを使ってカラーレジンで遊びミニミニコキット作りに熱中しています。今回はアマガエルなのでカラーバリエーションをいろいろ作ってみていますが色の調合がなかなかむずかしいですね。新鮮な作業の連続が楽しくて飽きしていまいそうなに飽きる暇もない中にも出会い日々を過ごしました。そして、レジンで爪がアバンギャルドなマニキュアみたいになり、手の収縮がたたれてしんましんでかゆくなったりして、マレーキノボリヒキガエルの作業温度が高くできなくなってピンチに。今月の教訓は「レジンは、冷蔵庫前に置くと中身が浮び出して危険」。複製時にはビニール手袋を使用しましょうです。間に合えクンフェス！　こちらのねんどはどうしよう……。

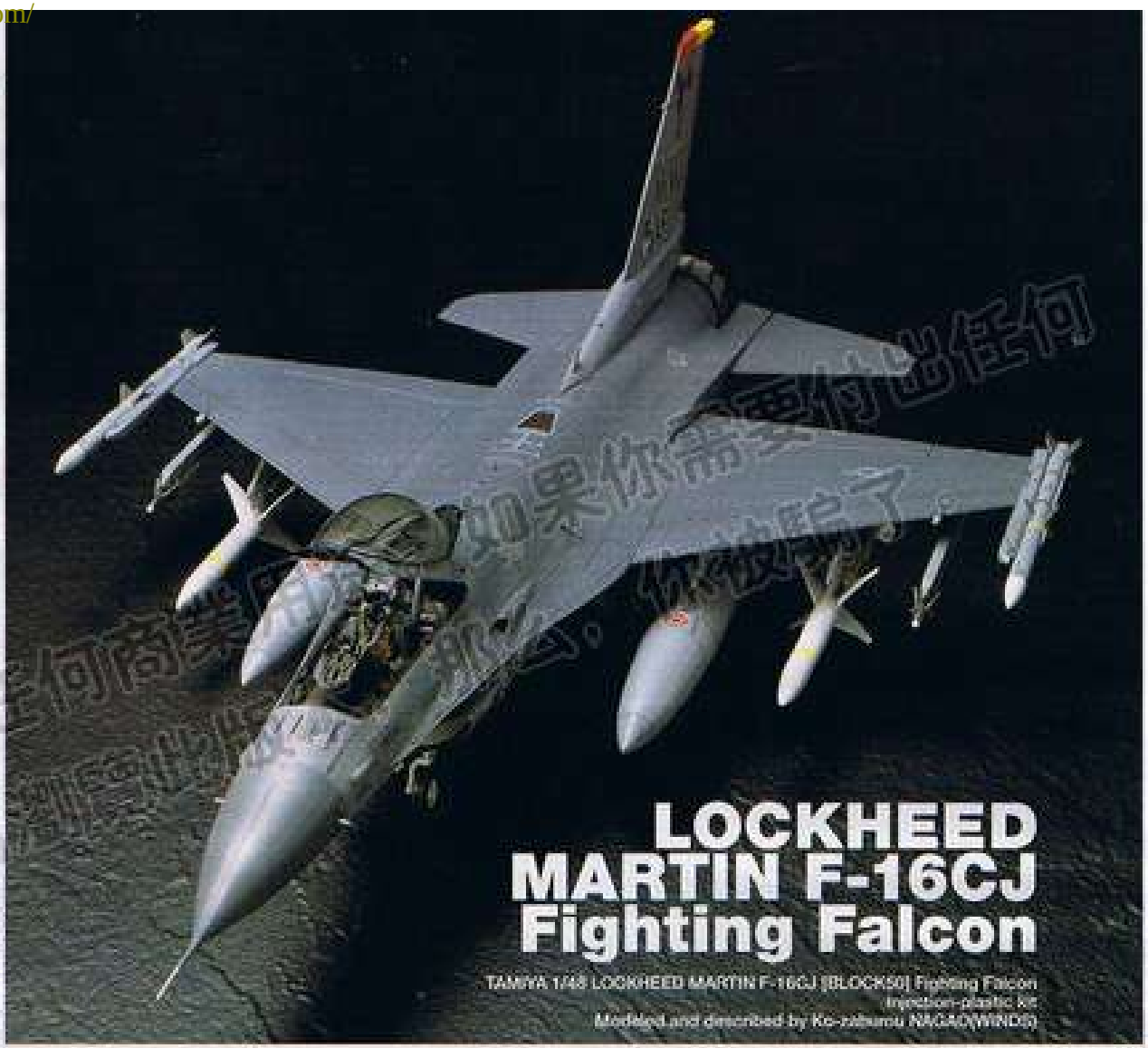
http://mylikeyexp.com/

http://anyhkpryexp.com/

LOCKHEED MARTIN F-16CJ Fighting Falcon & IDF F-16C Balak

タミヤの1/48 F-16CJファイティングファルコンは、先に発売された同社の傑作キット、1/32 F-16CJを1/48サイズに縮小し、ディテールの再現はもちろん、このサイズならではの表現方法や、組み立てやすさを追求したすばらしい出来となっている。まさに実機と同じく、1/48単発ジェット戦闘機の傑作キットとしてその名を残すことになるだろう。今回は、スタンダードな米軍仕様と、イスラエル空軍仕様で製作してみたのでご覧いただきたい

http://mykrcexp.com/



LOCKHEED MARTIN F-16CJ Fighting Falcon

TAMIYA 1/48 LOCKHEED MARTIN F-16CJ [BLOCK50] Fighting Falcon
Injection-plastic kit
Modeled and described by Ko-zaburo NAGAO(WINDS)

■冒頭に紹介した作例は、1997年より米空軍に所属するF-16の850機に実施されたCCIP（Common Configuration Implementation Program=シーシップと発音）改修によって誕生した最新型のF-16CJである。パイロットはJHMCS（Joint Helmet Mounted Cueing System=ヘルメットで照準をロックオンできる）を装備した専用パーツを使用（キットでは通常パイロット用パーツとのコンバーチブル）している

■AN/ASQ-213 HARM目標捕捉ポッド、AIM-9Xサイドワインダー、AN/ALQ-184 ECMポッド、AIM-120Cアムラーム、AGM-88ハームミサイルとフル装備状態で制作

■セラミック素材でできた発熱を防ぐためにやや白っぽく塗装されたノズル内部に注目。機体全面に施された繊細なスジ彫りのモールドはスミ入れすることでいっそう引き立つ。また胴体内部のディテールはパイピングを施すだけでも充分なクオリティだ

■マーキングは三沢基地の太平洋航空軍第8航空軍指令機（OS）を再現している

私がF-16の実機をはじめて見たのは、静岡基地時代に空自浜松基地の航空ショーで、来賓のゲスト参加機の中にF-16Cを見たのがはじめてでした。航空ショーが終わって、「宴の夜」が流れるなか、自分の基地へ戻るために展示エリアでパイロットが乗り込み、整備士とフライト前にチェックを行ない、ランウェイへ向かう途中、我々に手を振っていたパイロットの姿は、いまでも鮮明に記憶に残っています。離陸してからも私達の上空に戻ってフライパスをしてくれて、機体を左右にロールの挨拶をして飛び去って行ったF-16のカッコよさは、そのシャープなスタイルとともに、すっかり私を虜にしてしまいました。

◆キットおよび製作について

'07年3月号のタミヤニュースに紹介があったように、F-16の1／48決定版を目指して、プロポーションから細部まで、徹底的に追求した入魂の自信作とあって、パネルラインの太さも従来よりひと回り細い繊細な彫刻で表現されており、リベットの細部と共に感動モノです。さらに実機の徹底調査により、実機と同じ製造工程を踏まえます、主翼端ミサイルランチャーに付くウリアーパーツを組み込むあたりは、その一部です。このキットの醍醐味であり、メーカーがもっとも力を入れている部位は、前後のエアインテークと脚収納室の組み立てです。時であり、繊細な部組みもほとんど必要ないくらいの精密ですが、ゆっくりと時間をかけて仕上げてやれば、すばらしい仕上がりが保証されています。エアインテークは入口からエンジン入口まで、複雑なラインが完全に再現されており、前部と後部を組み込んで前から覗くと、ジョイント部ラインがピッタリと合う実感さに驚きます。まさに金型工技法を思わせます。開閉収納庫もこまかく再現されており、あとはこまかいチューブ、パイプ類のパイピングをうまく施せば、レジンパーツは上のディティールがでてきあがると思います。

製作工程上、とくに気を付けたのは、最初にパーツをランナーから切り取る際も、

http://mylikeyexp.com/

表面のディテールを極力傷付けることのないように、エッチングソーを多用しました。時折も部品の合いがよいので、機体表面側から流し込み接着剤を使用するなどの配慮を徹底しました。インジェクションプラスチックキットの宿命である成型抜出しピンの跡が表面にのるパーツがありますが、削って整形するか、あるいは薄いプラ板、プラペーパーなどを小さく切って貼り付けてメカっぽく仕上げるほうが、見映えがさらにすばらしくなります。また、主翼下面パーツF26、F27を胴体上面パーツG1と接着したあと、外側のパーティングラインは実機には存在しないので耐水性サンドペーパーで整形しています。又、主翼端のミサイルランチャーは透明部品L5、L6を含めて接着すると、主翼端とランチャーの間に少しすき間が空くので、ランチャー側の凹部を少し削ってピッタリと合うようにして接着するといいでしょう。

◆塗装について

塗装は私は原則として、ベース塗装をラッカー系で行ない、スミ入れを重ねてタミヤエナメル系のブラウン＋ブラック（セミグロスブラック）を全面に塗り、充分に乾燥させてから拭き取り、少し光沢のある仕上がりを好んでいます。防波の際部のラインとリベットにこのスミ入れが残り込んで行くのは技術で、モデルの表面に生命が入るというか、生き返るのを感じます。

◆デカールについて

デカールのフィルムが外国産デカールと同じ品質となっています。マークセッター、マークソフターですばらしい仕上がりになります。このキットの不要パーツやエアインテーク、垂直尾翼後部のパラシュート部材などの余剰パーツによって、このワールドワイドな機体のバリエーションをほとんどカバーできるので、ユーロ諸国の軽快な制空戦闘機タイプでしっかりと部隊まで作り込んだ一機に挑戦したいと思っています。

http://anyikqr.yexp.com/

LOCKHEED MARTIN F-16C Balak

LOCKHEED MARTIN F-16C Balak
TAMIYA 1/48 LOCKHEED MARTIN F-16CJ [BLOCK50] Fighting Falcon
Injection-plastic kit modification
Modeled and described by
Nobuaki HORIMOTO

イスラエルに待望のF・16が到着したのが90年、そして、イラクのオシラク原子力施設攻撃が82年6月7日。このバビロン作戦で、F・16は16発の1000ポンド爆弾を投下し、そのすべてを命中させるという活躍をしています。その後、イスラエルはアメリカの支援で、国産戦闘機ラビの開発に着手するも開発費高騰を理由に中止。代わりにやって来たのは、追加発注されたF・16Cブロック30でした。

●イスラエル仕様への工作

タミヤのF・16CはCCIP改修が施された機体と、従来までの仕様を選んで製作することができ、組み立てにも手こずることがありませんでしたが、しかも今回はさ機体別で、未来仕様ともうひとつ違う仕様をとのこと。そこで編集担当氏とあれやこれやと協議の結果、グレー系迷彩とはまったく時が違う砂漠迷彩の上、AIFFアンテナ未装備のパーツが使える、イスラエル仕様でいくことに決定。ところが、ちょっと調べてみると、イスラエルが装備しているC型はブロック30と40とのこと。さてどうしたものかと相談したところ、ひとつの楽しみ方として、多少の違いは承知の上で、好きな仕様を作るのもありなんじゃないかということに、いやはや、ワガママは言ってみるものです。

さて、仕様が決まったところで、まずはブロック50から30への先祖帰りですが、すでに最初からイメージモデリングでスタートしているので、イスラエル仕様に変える改造に着手を開きました。まずコクピットですが、スモークガラスの上にパイロットを乗せるので、ほぼ見えないだろうとキットのままとしました。ところが、いがいと目立つHUDが、ブロック40とはまったく違うかたちをしていることに気が付いたのは、キャノピーを接着したあとで、本当に勉強不足を痛感してしまいました。次に機首のコクピット直前のパーツは、AIFFアンテナが装備されていない、A10のパーツを使います。その両脇のIEWSアンテナは、少し大型で角ばった形状をしていま

http://mykit.xrea.com/

D胴武装は実機のランチャーをジャンクパーツからサイドワインダー専用のものに改造し、主翼下面のハードポイントにはキット付属の370ガロンタンクと、ハセガワのウェポンセットからMk-83 1000ポンド爆弾を流用

B胴体迷彩はイスラエル空軍の三色迷彩を施した。白は白を加えてかなり彩度を落とした状態で塗装。パネルラインは上面をブラウン系で塗装後、そのラインを残すように塗り分け、メリハリが付くようにしている

C胴キットにはスモークがかかったものと透明2種のキャノピーが付属するが、今回は透明なもののほうを塗装して使用している。ちなみに実機でも、前後のキャノピーのピースで色調の異なるものが存在する

D胴胴体下面はパネルラインに沿って黒に近いグレーを塗装、そのパネルラインを残すようにしてグレーを塗装

E胴垂直尾翼基部にはドラッグシュートを追加、そのほか小さなブレード類を多数追加している。マーキングはエアロマスター製のF-16A/B用デカールを基本に、一部マーキングは手書きで再現している

です。ここはプラ板で基部を作り、エポキシパテで膨らみを成型します。エアインテーク周辺のECMフェアリングは、正面や側面の写真から大まかなサイズを割り出し、プラ板から削り出しました。航法灯はキットの透明パーツを使用しています。尾部の電子機器格納部は、いろいろな角度からの写真を見てプラ板で作りました。キットのパーツは肉厚がほぼ1㎜なので、新造パーツを1㎜のプラ板で作れば、キットのペロがキャップを上に、段差の修整も容易に最少限にすることができます。1番とり番ステーションは、手持ちの写真ではサイドワインダー用ランチャーしか確認できなかったので、ジャンクパーツのなかからハセガワのものを持ってきました。武装はハセガワのウェポンセットのMk83と、キットのサイドワインダーの組み合わせにしてみました。

◆塗装

まずパネルラインに沿って上面は焦げ茶、下面は限りなく黒に近いグレーを吹きます。次にパネルラインを塗り残すように、上面迷彩はGSIクレオスの310番ブラウンFS30219と、312番グリーンFS34227、313番イエローFS33531、下面は308番グレーFS36375を吹いていきます。さらにそれぞれの色に白を加えて彩度を落とした色でパネルのなかを塗り、全体にメリハリを付けます。付属の色付きキャノピーは、色味は好きなのですがもう少し薄くしたかったので、クリアーのものを塗装しました。マーキングは機体番号を中心として、デカールをエアロマスターのイスラエル空軍F-16A/B用と、キット付属のものから使えそうなところを寄せ集めて貼り、垂直尾翼の部隊マークはなかったので手描きになってしまいました。デカールが乾燥したら、ツヤ消しクリアーを吹いてコートし、エナメルのグレーでウォッシングをします。最後にエナメルのニュートラルグレーを、色付きの油彩くらいまで薄めて吹き、全体の色を統一させました。

lMpb://anjibxpryexp.com/

LOCKHEED MARTIN F-16C Balak

LOCKHEED MARTIN F-16C Balak
TAMIYA 1/48 LOCKHEED MARTIN F-16CJ [BLOCK50] Fighting Falcon
Injection-plastic kit modification
Modeled and described by
Nobuaki HORIMOTO

図キットには機首のRFアンテナがないフラットな状態のパネルパーツも付属しているため、今回の作例のようにブロック40、30の製作も容易だ。図のブロック50ではノーズに棒状に出ているRFアンテナを装備。CCIP（Common Configuration Implemantation Program シーシップと略称）改修後の機体の最大の特徴は図イスラエル軍仕様ではインテーク横にアメリカ軍仕様のF-16には見られないフィンが追加されている。通常、ブロック50仕様の機体は図のようにAN/ASQ-213 HARM 目標追尾ポッド 通称ランターンポッドを装備することが多い。ちなみにランターンポッドの装備はblock40から。この頃から事実上の全天候型となった図イスラエル軍仕様の機体には垂直尾翼基部にドラッグシュートを装備。図のアメリカ軍仕様には装備されていないのでパーツ化されなかったが、作例で仕様されているF-16の約半数がドラッグシュートを装備したタイプのため（航空自衛隊のF-2もドラッグシュート装備）、これからのバリエーションキットの展開に期待したいところだ。パーツ分割から見るにリリースしてくれる可能性がしなくもないが……

図イスラエル仕様のコクピットは既にCK32Cを使用済。パイロットの塗り分けやコクピット内部のさらなるディテールアップを施している。

図前方と側面がないイスラエル仕様のインテーク周りの整備。インテークをものライトの部分がせり上がり、中央にはもうひとつ何かセンサーのようなバルジがついている図ドラッグシュート周り。パネルラインの処置を再現するために機体外側にプラ板を張り付けた。ドラッグシュート上には後方警戒アンテナが付属する。パーツの分割面からはスクラッチビルドした部分になる

図ドラッグシュートは直径5m程度のパラシュートを後方に展開するもので、F-16程度の機体なら あっという間に止めてしまうほどのブレーキを発生させる。強い横風のときは機体が流されてしまうので使用は禁物！

http://anyikqryexp.com/

Hansa-Brandenburg W.29

Windsock 1/48
Hansa-Brandenburg W.29
Injection-plastic kit
Modeled and described
by T. Aranagi

■迷彩柄はローゼンジパターン、マーキングも含め、すべて面相筆で塗装している。ローゼンジパターンは、イーグルストライクのデカールをコピーし、その紙を実機のローゼンジパターンが印刷された形の一区分でカットし、両面テープで翼の適切な位置に貼り付ける。その上から六角形パターンの角のポイントにケガキ針でその印を付け、その点を目安にパターンを塗装していった

■■■キットのエンジンをベースにプッシュロッドの出たBMW IIIa 150hpエンジンに作り変えた。「WINDSOCK DATAFILE 61 Hansa-Brandenburg W.12」にBMW IIIa 150のクローズアップの写真があるので参考にした

■コクピットはプラ材などでディテールアップした

■後部胴体の角りは、キットのパーツの角が残り出したタイプでなく、機能にあるなだらかな傾斜で構成されたものに変更している

■■■キットの胴体パーツは高さが0mm前後足らないことで、胴体左右を張り合わせたあと、その両面にプラ板を貼り、「WINDSOCK DATAFILE」の図面を見ながら、木材に貼り付けた荒い紙ヤスリ（サンドペーパー）でこしこしと削って形状を整えている

https://anjikqryexp.com/

Polish Flying Carp

ポーランドが誇る"鯉"と称された軽爆撃機

1934年、ポーランド国産の偵察爆撃機として開発されたPZL-23カラス。第二次世界大戦がはじまるや、侵攻してきたドイツ軍にまもなく全滅させられてしまい、活躍の場がほとんどなかったのだが、古めかしくも味のあるスタイルや、ミラージュホビーのPZL-23キットが名作だったこともあり、意外とファンの多い機体なのだ。今回は発売から少々時間が経過してしまったが、ミラージュホビーから発売されたファン待望の1/48カラスをインプレッション

PZL-23A カラス 爆撃機初期型
ミラージュホビー 1/48
インジェクションプラスチックキット
発売中 税込9240円
(㈱パワマン ☎03-3705-2666)
製作・文 清水秀春
Mirage Hobby 1/48 PZL P-23A Karas Early Version
Injection-plastic kit
Modeled and described by Hideharu SHIMIZU

PZL-23A KARAS

Early Version

https://miltaryexp.com/

このP-48ミラージュPZL-23キットのリリースを待っていた方も多いのではないでしょうか。今回は4機ですが、海外では8機も発売されていますし、さらに豪華なハイテック版も発売されるようで楽しみです。日本にも入荷してほしいですね。

キットはインジェクションプラスチックパーツにレジンやエッチングパーツがセットされた構成です。プラスチックパーツはヒケが少々見受けられますし、ディティールやモールドのバラつきもありますが、全体的には綺っていて自信を持ってお勧めできます。機体表面にあたる部分は鏡面となっています。

◆製作

まずはコクピットから製作に入ります。前部に組みあがるようになっており、巧みなパーツ構成とシャープなモールドのディティールにより高密度なものが仕上がります。今回はエデュアルドのエッチングパーツを組み込んでディテールアップしています。こまかく塗り分けてスミ入れ、ドライブラシで仕上げました。

機首上面のスリットは格子みたいなモールドだったので削り落とし、極薄プラペーパーで作り直しました。機体側面の手すりもプラ材で作り直しました。

下部コンドラはモールドされた一枚板を折り曲げるという折り紙みたいな驚きの方法ですが、ちゃんとカタチになるから不思議です。

◆塗装

下面はライトブルーらしいですが、上面はカーキドラブからオリーブドラブまで数種あるようです。今回は初期の明るめのカーキドラブで塗装しました。キャノピーは金枠がよく映えており、薄くて透明度も高くてなかいもよく、ミラージュホビーらしくて安心しました。

完成までには時間もかかりますが、でき上がったときの充実感、満足感は格別なものがあります。それにポーランドの機体なんてそうコレクションできるものではありません。機数の豊富味のひとつではないでしょうか。

http://myhkp.exp.com/

■ プロペラ、スピナーは若干かにケがあり、黒い縁取塗料を盛って削りだして形状を修整している
■機体表面の塗装はグラデーションをかけて変化をつけている。ダークブルーでウォッシング後にスミ入れをし、縁周部分などはさらに別の色でスミ入れをしている。その後、ブラウン系塗料で汚に表情を付け、凸モールドにドライブラシを施している
■機体下部胴体ゴンドラは、引き込み式の車輪なども再現された凝った作り
■開放式の後部胴体は機体内部もよく見えるが、キットのままでも充分すばらしいディテールとなっている
■キットには爆弾のパーツが付属していないので、ほかのポーランドの爆撃機のキットから持ってきている
■ミラージュのキットはクリアーパーツの透明度に問題があるが、本キットにも同様に透明度の悪いパーツが付属する。作例でもコクピット内部がよく見えるので、エデュアルド製のエッチングパーツなどでディテールアップ

PZL-23A KARAS

Mirage Hobby 1/48 PZL P-23A Karas Early Version
Injection-plastic kit
Modeled and described by Hideharu SHIMIZU

http://myhkpreqp.com/

PZL P-23A KARAS

Mirage Hobby 1/48
PZL P-23A Karas Early Version
Injection-plastic kit
Modeled and described by
Hideharu SHIMIZU

計器板はエデュアルドのエッチングパーツを使いディテールアップ。このエッチングパーツは計器板の隅まで再現されているすばらしい効果

コクピットのサイドパネルはキットの状態を塗り分けるだけでも密度感溢れる仕上がりとなる

コクピットのシートはパーツ数も多く、かなり凝った作りとなっている。作例ではエデュアルド製のシートベルトを追加している

完成したコクピット内部。機体内部がよく見える機体だけにコクピットのディテールアップはその成果が如実に表れる箇所だ

機首上面の小さなスリット状一見取り付けとも、他社のプラペーパーで作り直している

胴体後下部コンドラは、一枚の板状のパーツを四角に折り畳んで組み立てられており、内部のディテールも再現。ここも比較的完成後も見える箇所なので手を加えたいところ。作例では敢えてディテールアップは施していない

機主翼前縁スラットは基部となるリブも含めてキットに付属するエッチングパーツで再現される

機主翼に装備されている飛行灯はシール付き透明レンズでディテールアップしている

http://mylikr.exp.com/

ステルス・フリゲート艦タルワール級メドヴェートカ（F710）から飛来した36F飛行隊のPV-16Cシーガル（MX03/1655432）を正面から見る。主翼ハードポイントには370ガロンタンク、機体下面には300ガロンタンクを確認することができ、フェリー用装備のようだ。コクピット上面後方に位置するカーボンナノフラックス素材のカナードや、V尾翼など、斬新な本機のフォルムを見ることができる。PV-16Cの特徴的な涙滴型キャノピー「ポップアイ」は下方視界向上による目視の重要性を認識した設計となっており、垂直離着陸時や夜間活動時にもその視界の有用性など評価は高い。

PV-16C Seagull IN ACTION

Photography by SAIONJI,Makoto/MATE

カーループへアプローチする同じく36F飛行隊のPV-16Cシーガル（MX03/1655432）。今年21回目を迎えたLYNX MEETでは、今までベルギーのフローレンス基地において別立てで開催されていたTLP（Tactical Leadership Programme）と呼ばれる戦術指揮シラバスも同時に実施されている。 *Photo:BLEG LINDAHL/VORTEX*

LYNX MEET中、ベルガダカ海域を航行中の「バスカルメイジ」上空を低空でフライパスするPV-16Cシーガル。19日未明に開始された演習は、計5回のフェーズに分けられ25日正午まで継続された。途中、昨年解散した18WG/の910ARSのKC-797E/Rが基手納よりビジターとして飛来、さすがに給油までは至らなかったが今回のLYNX MEET中最大のサプライズとなった。

早朝からはじまった演習にともない、演習海域へ向かうために離陸するコーラルチ所属機。シーガルは'84年の初飛行からすでに25年が経過しているが、ボルテックス社によるアップグレード構想（同誌意工は否定）も発表、少なくともあと10年は現役に留まる予定だ。

http://anyikqryexp.com/

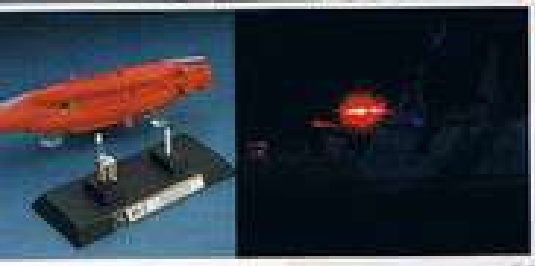
●PV-16C SEA-GULL VTOL 海戦機 カモメ
出展／「タクティカルロア」
ピットロード 1/144
塗装済み完成品
発売中 税別9800円
●パスカルメイジ
ピットロード 1/700
レジンキャストキット
発売中 税別1万800円
(問ピットロード ☎044-865-2460)
製作・文／二宮茂樹

▲▶燃料タンク4本は長距離飛行用のフェリー仕様。燃料タンクの取り付け位置からエルロンとフラップの切り欠きの理由がわかる。搭載空母は「CV-98ユーカワ」

で、いまさら『タクティカルロア』なわけですが……

PV-16C Seagull
"KAMOME" & Pascal Magi

前ページの特集はお楽しみいただけましたか～？　ってなことでいまさら「タクティカルロア」なわけですが、じつはこのアニメ、超ハードコアな軍事考証に基づいた設定を持ってるって知ってました？　そんな本編では封印されてしまった硬派なノリをせめて模型で楽しもうじゃありませんか！

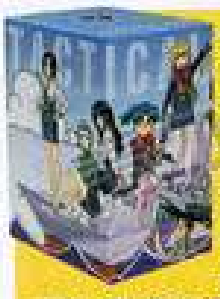


◀▲ディテールアップは設定どおりでそれ以外には加えていない。蓋を閉じればそれだけ設定通りが確認に強かれていたということ。LEDのユニットはLED付き100円ライターから流用。蓋を自に組み込み動作を動せると点灯するしくみ。作例に使用したのは塗装済み完成品だが作成中に開発し、現在はピットロードからレジンキットが発売中。

じつはこ～んなに濃い設定がてんこ盛りなのだ！本編ではあれなかったけどな㊙

▶右の画像はPV-16C海戦機のVTOL用エンジン。注目すべき特徴は、機動ジェットVTOL機ならの二段階の"加速機構"を実現するために、加速装置内蔵ターボファン（VTOL用エンジン）を搭載したシステムの設計。これにより小型化機に加えても無駄なくなるエンジンからガスを噴射する事で効率的まもるVTOL上昇メ動作いうとしている。このエンジンの取り付けにあたり、機重工の新機構に対応した機体を開発。特徴的には将来実現で取り組まで設計されたエンジンなのだ。

登場メカの一部を使ってもこの情報量の「タクティカルロア」には専門家も認めるコアな設定が満載で、本誌は全部紹介で解説したいけどページも文字数も全然足らないけどおーいWK編集部！　なんとかしロ！（小倉氏は編集長・監督）



DVDは現在バンダイビジュアルより発売中。第1巻は税込3990円で第1話を収録。2巻以降は定価まつ設値で税込み6090円。毎巻に映像特典としてピクチャードラマとオーディオコメンタリー。第1,3,5巻には本編に登場する兵器の解説、第2,4,7巻には本編の戦闘の戦術的な解説。そして第1巻と最終7巻にはパスカルメイジのモデルとなった旅客機「はるさめ」の取材映像が収められている。大きな声では言えないがDVDの映像はTV放映版より大幅にクオリティアップしているのだ！

じつは飛行機や艦船ファンの心をくすぐる設定だらけなのにそれがちっとも知られていない、もったいない、というわけでタイトル通りのいまさら「タクティカルロア」。強いて理由をつけるのなら、「放映終了1周年記念おめでとう」ございます！」。

◆1／700パスカルメイジ

商品が届いたその日に艦橋胴下の船底から穴を開けて艦橋部をLEDで光らせてみた。実際は夜間に艦橋内に照明がつくことはないし航行灯以外の点灯は法律で禁じられている。作例はメインマストをプラ板で作り直し、エッチングパーツなどでディテールアップ。削ってしまった艦橋窓枠は0.14mmのプラ板で作り、CIWSも2セット上下に重なっているように完全自作。あとは塗装の手スリと主翼設置をステルスに。

◆1／144カモメ

この機体は本当は飛ばない。本来、船底翼に下半角を付けてはいけないのだがそうしなければならなかった理由がちゃんとあって、本編で見せた飛行機にあるまじき機動ができる運動性を持っていたっていう。作例は洋画業所属機という設定で主翼と胴体についているのは洋画業の航空機用インシグニア・デカールは基でプリントアウト。地色を吹き付けてロービジ。

最初にも書いたけど！クールのアニメなのに超硬な設定があって、それがほとんど世に知られていないのがもったいない。また本誌でやれるといいなあ……（切実）。

文／HMM二宮茂樹

©バンダイビジュアル・アクタス　©タカラトミー 2007

http://mylikpr.exp.com/

アクティブトップ装備のアグレッシブな軽スポーツカー"ワンダフルスポーツ"コペンが、アオシマから待望のインジェクションプラスチックキット化だ！　かつてアオシマからリリースされ、同社のマイルストーンと謳われた傑作1/24カーモデル、ホンダ ビートもまた、軽のオープン2シーター、先ごろ発売された同系列のスポーツカー、イニシャルD仕様のカプチーノと3台ならべて、アオシマの誇る1/24カーモデルの今昔物語を堪能しよう！

頭文字[イニシャル]D 坂本カプチーノ
アオシマ　1/24　インジェクションプラスチックキット
発売中　税込2310円
問アオシマ　☎054-263-2461
製作・文　小林永治（Boo's）
Initial D SAKAMOTO Cappuccino
AOSHIMA 1/24 Injection-plastic kit
Modeled and described by
Eiji KOBAYASHI(Boo's)

ニュートレンド'91　ホンダ ビート
アオシマ　1/24　インジェクションプラスチックキット
絶版　税込1050円
問アオシマ　☎054-263-2461
製作・文　林 良訓（Boo's）
NEW TREND '91 HONDA Beat
AOSHIMA 1/24 Injection-plastic kit
Modeled and described by Yoshinori HAYASHI(Boo's)

ダイハツ コペン アルティメットエディション
アオシマ　1/24　インジェクションプラスチックキット
7月下旬発売予定　予価税込2100円
問アオシマ　☎054-263-2461
製作・文　井上アキラ（Boo's）
DAIHATSU Copen ULTIMATE EDITION
AOSHIMA 1/24 Injection-plastic kit
Modeled and described by Akira INOUE(Boo's)

C.C.B. of AOSHIMA

Copen Cappuccino Beat

http://mikuxp.com/

DAIHATSU Copen

DAIHATSU Copen ULTIMATE EDITION
AOSHIMA 1/24 Injection-plastic kit
Modeled and described by Akira INOUE(Boo's)

ボーイズレーサーっぽいデカールを作ってみた

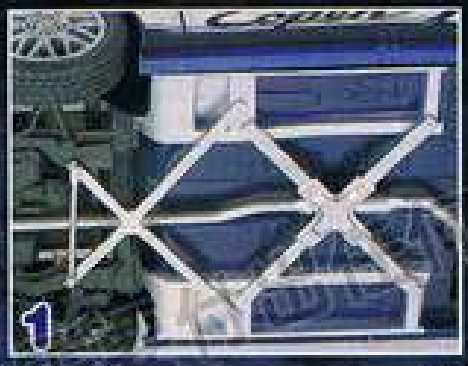
今回は、実車カタログに載っているオプションパーツのひとつである「ストライプデカール」を再現してますが、ストライプデカールについては本文でも触れていますのでここでは割愛。エンブレムのデータは、実車カタログ表紙の「Copen」のロゴをスキャナーにて300dpiで取り込み、ドローイングソフトを使ってパス、サイズなどの調整を行ない、一旦保存します。グラフィックソフトで自作デカールを作るときの注意点は、「同色」でレイヤーを管理すること。印刷の際、同色を1枚のレイヤーにしておくと効率よく印刷でき、いま何色を印刷しているかの確認も容易にできます。ボルシュタイン・デザイハウのマークは、ドローイングソフトを駆使し作成しました。仕様もフォトショップなどを使って、ぜひ試してみてください。

◆コペン ボーイズレーサー仕様製作

このキットの発売を心待ちにしていた方も多いのではないでしょうか。キットが発表されてからというもの、何を置こう私自身も早く発売日がこないかなとソワソワしていたひとりです。実車は99年の東京モーターショーで発表され、02年にはほぼそのまま形で市販されました。発表当初は「軽4Kのコペン」ということでKopenという表記でしたが、市販化にあたりCopenになりました。では肝心のキットのほうはというと、実車の持つティアドロップシェイプも再現され、パーツの精度も文句なし！　そんな大好きなコペンを少しだけブラッシュアップして製作しました。

前後のバンパー部分はバリエーション展開を見据えてか、別パーツ化されています。シャシーをはめるときにテンションのかかるところなので裏側から補強するくらいの気持ちでカッチリ接着しておきます。その後下地作りに入ります。今回編集部から指定されたボディカラーはダークブルーマイカメタリック。「むむむ……そんな色のコペン見たことないぞ」という事で地元模型店でコペンオーナーの方からカタログと資料を借りて色を確認し、クリアーブルー、クリアーレッド、スモーク、8番シルバー、コバルトブルー（すべてGSークレオス）を調合開始。わりと思ったとおりの色になりひと安心。ここで何気なく実車カタログを眺めていると、オプションパーツのなかにロゴストライプを発見。「コイツはカッコいい」というわけで、作のコペンオーナーでもあり、フリーグラフィッカーのDOLL氏が作ったデータを使わせていただきました。そのほか、各種メーカーロゴやメーター周りのデカールは自身で製作。最近のモデラーはグラフィックソフトも使えないとダメかと感嘆。デカール貼付後クリアー塗装に入りますが、今回はGSークレオスより明るく発売されたスーパークリアー3を使用。うすめ液で少し濃い目に希釈して使いました。完全乾燥後には非常に硬くなるので、研き出しで使うコンパウンド選びが重要です。作例では実車用のコ

http://anyhkpr.yexp.com/



❶強固なダブルクロスビームが、パーツとして付いているけど、マフラーも別パーツとされて、ボリュームの迫力を出すに貢献している。また、前後車両ともには車高調整のパーツが付属し、ノーマルの車高、あるいはローダウンを選べる。

❷シートの後ろに見えるバックパネルポケットを市販エッチングメッシュと0.4㎜浮白線で製作した。

❸ステアリングはmomoを選択し、カーン部をオレンジに塗装。エアコンの吹き出し口やタイヤ外周のは、実車オプションにあるアルミ調リング風に塗装した。

❹アルティメットエディション用BBSホイールも再現されている。今回の作例では車高を下げすぎない程度に下げると同時にキャラクターモデル用アフターパーツを用いドレッドも広げ、「シャイチ」に近ずけるよう調整した。

❺「丸っこい部品」も実車に忠実に、シュアルエキゾーストと同じはオプションパーツのビートポットが別パーツとされていたので、スーパーチタンで塗装した旨と装着した。

❻フロントフェイスのグリル部分は別パーツになっており、メッシュもしっかり再現されている。またメッシュのディテールに真ん中が付けているので、塗装するだけで写真のように複雑の形状に見える秀逸なパーツ。

C.C.B. of AOSHIMA

シンバウンドで書いたのですが、これにより、自分の理想とする「輝き・ツヤ」に近ついた感じがします。

次周りは、スペーサーパーツを装着することで車高を高くすることができます。しかし、ローダウンは車高が落ちてしまい、かといってノーマル車高にすると高すぎて違和感が先われます。スペーサーパーツを用り、高さを調整するとともに、引っ込み気味だったタイヤをフライチにするべくキャラクターモデル用のアフターパーツを用いて外側に2㎜ほど広がしました。

シャシー裏側のダブルクロスビームもは、ディテール、密度ともに秀逸な出来です。

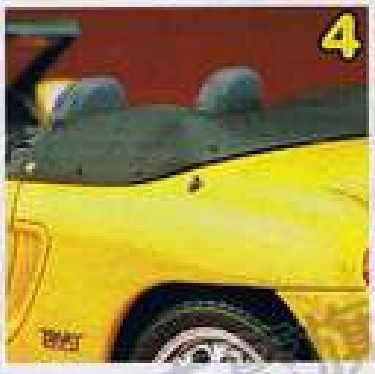
内装は、アルティメットエディションということもありレカロシートをチョイスしますが、シートパーツの裏側は再現されているので埋めてしまいます。今回使ったのは、木部用エポキシパテ。ローテショップなどに売っていて、乾燥も早く、研磨もしやすいのでお勧めです。そしてシートのうしろ側にあるバックパネルポケットが省略されていたので、市販エッチングメッシュと0.4㎜浮白線を用い再現し、シートベルトもディテールアップパーツを取り付けてみました。また、シートベルトキャッチの部分にはほんの少し赤色を塗装することで、内装にちょうどいいアクセントができます。トップを装着してしまうとそれほど目立たないが、オープンにすることを考えると、手を入れておいてもよい部分でしょう。内装色は、通常は赤と黒の2色ですが、赤色の部分を青黒カラーのオレンジにします。ウッドグレイオスの9番オレンジそのままだと明るすぎるので7番ブラウンを2割ほど足し、若干明度と彩度を落として塗装しました。ダッシュボードなどは樹脂の感じを表現したかったので、137番ライヤブラックに2番メタルブラックを1割ほど混ぜ、ツヤ消し感でる調色を調整。メーター周りやエアアウトレットのベゼル部分にはスーパーメタリックのクロムシルバーをマスキングし塗装しました。

今回はコペンをポルトイズレーサー風にしましたが、いかがだったでしょうか？

http://anylikpy.exp.com/

HONDA Beat

NEW TREND '91 HONDA Beat
AOSHIMA 1/24 Injection-plastic kit
Modeled and described by Yoshinori HAYASHI(Boo's)



■キット状態ではグレー一色のため、ゼブラ柄のデカールを作り起こした。うっかり内装と同じセミグロスで塗りがちだが、デカールの透明部分が目立ちやすいので最初はグロスを吹き、デカールを貼った後につや消しクリアーを吹く

■内装とインパネは濃淡二色で塗り分けられている。蛍光のマットには「open air motoring」のマークを再現。ゼブラパターンの大きさとツヤも微妙に変えてあるあたりにこだわってみる

■全体的にスッキリしたパーツ構成の割りに、シャシー裏面のモールドはかなり精密なディテールになっている。GSIクレオスのスーパーメタリックシリーズで塗装するとリアルに仕上がる

■シートの留め金とアンテナ部分は、モールドを削り落として、ざるつらのディテールアップパーツに置き換えている

■組みの関係上、ダクトの形は斜めになっている。キットのモールドに穴を開けると、横から見たときに穴が丸見えになってしまう。それを防ぐために裏からプラ板を貼って、ダクトの内側を再現してある。メッシュはピッタリにカットすると小さすぎてバラバラになってしまうので、少し大きめにカットしたものを調整させるように調整

◆ビートをちょっとディテールアップ

あたり前だが、模型は実車のミニチュアなので、その実車にあまり興味がないと、キットは作ったことがなかったりする。しかし今回、製作に着手する前に実車取材を行ない、実車の設計思想や思い入れが自分なりに見えてくると「あれ、この車スキじゃない」と思えてくる。そうなると愛情が湧いてきて、そこらじゅうイジりたくなるわけです。主な改造点としては、

①／ドアの内張のディテールがまったくないので、一旦切り離してモールドを削り、ドアノブをプラ板で作成。

②／サイドエアダクトの穴を開け、プラ板とパテで整形し、40番の金網を貼付ける。

③／一体整形のサイドマーカーモールドを、穴を開け、塗装後にランナーから作ったクリアーパーツをはめ込む。

④／アンテナの元のモールドを削って穴を開け、ゼブラ柄とかつら製ディテールアップパーツを組み合わせて塗り分ける。

⑤／シート及び蛍光マットのゼブラ柄を、デカールで作り起こす。シートベルトは市販の柄付きテープをグレーに塗装し、フックをホチキスの針を曲げて作成。

と、少ない手間代を考え予算を考えてしまい、結局出来に「工数とキャラ考えろ」と言られるわけです。

けれど、模型好きが昔してプロフェッショナーをやっているわけで、「やりたいからやる」というアマチュアの既得もいまだに心底下げていて、それは今後もぶら下げ続けるつもり。綺麗の切りという制限がなければ、制限のいくまでイジりたいと思っているのですよ。

そんな裏事情はさておいて、このキットはビートの「丸い」イメージをうまく表現しており、全体のフォルムについてはまったく手を加える必要性を感じませんでした。ヒケ取り、スジ彫りの処理にとどまり、ストレスを感じることもなし。シャシー裏面のモールドもシャープで、車検用塗料を模したセミグロスブラックで塗装。部分的にアルミシルバーを塗っただけでかなり実車的な仕上がりとなります。

http://anyikqryexp.com/

C.C.B. of AOSHIMA

Initial D SAKAMOTO Cappuccino
AOSHIMA 1/24 Injection-plastic kit
Modeled and described by Eiji KOBAYASHI(Boo's)

SUZUKI Cappuccino

■少ないパーツながらとても綺麗にできた前後サスユニットは、シャシーに取り付けることなく組み上げることができる。つまり、シャシーの接着部分を削り詰めれば簡単に車高が調整できるのだ

■エアダムバンパーのインテークは開口し、メッシュを張り込むとグッと見栄えがよくなる。ナンバープレート上部の接着ラインはパテで埋めて整形することを忘れなく。ウィンカーは透明パーツを埋めるとなおよいだろう

■実車のマフラーパイプは50.8mm径なので、2mmプラ棒が正解だと思ったが、あえて迫力の3mmプラ棒で作ってみた。複雑な曲がりを一本で作ろうとすると無理があるので、いろいろ曲げた棒を組み合わせることで作業を簡単化する。カッター部分はアルミパイプを加工した

■室内もすこし手を加えた。走り屋必須のスポーツステアリングはジャンクパーツから流用。シフトノブはプラ棒を削り出してアルミビレット風に仕上げてみた。コンソールパネルを潰して追加メーターを付けるとさらにそれらしくなる

■本来レカロは同バットが大きく装着できないが、そこは模型なので好みでチョイス。シート地が黒色なので、ベルトはアクセントとして赤いワベルトを付けてみた。背中のアンカー部分も見えるので、ていねいに処理をしておく

◆走り屋風のカプチーノ製作

生産が終了していまでも人気の高いスズキ・カプチーノは、2シーター、ターボエンジンなど、スポーツマインド満載の「走り屋」のクルマだ。その影響から、峠走り屋アニメでも大活躍していた。このカプチーノは、劇中ではハイパワースポーツチューンのAE86などと対等に渡り合う設定（劇中の「ただ」となっているため、作例もそれなりにアグレッシブなディテールアップを施してみたつもりだ。ただ、基本的に車輌なので、見える範囲のディテールアップだけで、どなたでも簡単にスパルタンなストリートレーサーを制作することができるだろうと思う。

キットにはノーマル仕様のパーツ以外に、フロント・バンパースポイラー、リアスポイラー、ロールバー、バケットシートが新規に付属されている。しかし、レーシーなパーツとは言えないマフラーや車高はノーマル状態なので、そのあたりがディテールアップのポイントとなる。とくにフロントバンパーのエアインテークダクトは穴が開いておらず、黒塗り指定となっている。これではやや迫力に欠けるので、穴を開けメッシュを貼ることにした。しかし、なかがもぬけの殻ではおかしいので、ジャンクパーツを使ってインタークーラーを制作する。つぎに、迫力のバックスタイルに欠かせないのがスポーツマフラー。これはプラ棒を使ってスズキスポーツのチタンマフラーを制作する。劇弾タイプなので加工も簡単。あんに走り屋必須のローダウンは前後さ～4mm下げることにした。キットによっては、サス部品を削り込むタイプとシャシーを削りタイプなどがあるが、今回はシャシーを削りつめて全体を低くする。工作はいたって簡単で見栄えもグッとよくなる。残念なのはホイールが純正というだけ。別売の社外品ホイールがあれば問題ないが、ほとんどが17～19インチなので今回は見送ることにした。パーツメーカーのステッカーをフェンダーに貼れば、走り屋仕様ので仕上がり。この仕様は私の個人的な好みが反映されており、劇中車とは無関係だ。

http://myhkpr.cxxp.com/

Ma.K.

ZbV3000

Machinery Krieger

25年もたつと、機体の設定もコロっと変わってしまうのがMaKのおもしろいところ。今月はウェーブの新キット「AFS Mk.II」の搭乗システムを横山氏自らが新設定に基づいて立体化しました。パワードスーツ好きなら、この作品は燃えること間違いナシ！ おねえさん好きもね！

A.F.S. Boarding System

A.F.S. Boarding System
WAVE 1/20 A.F.S. Mk.II Based
Injection-plastic kit based
Modeled and described by Kou YOKOYAMA

AFSパイロット搭乗タイプ
ウェーブ 1/20 インジェクションプラスチックキット改造
定価税込1980円 発売中
(問ウェーブ ☎0422-20-8616)
製作・文 横山 宏

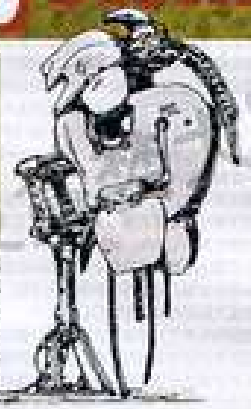
A ウェーブのパーツの内部を削るときにトライツールのエッチングパーツ用ニッパーが最適。刃の厚味があるニッパーだと切り粕が拡がってしまう

B 頭部コンバーターの基部はプラ棒のノコでサクッと切り断して対応します 頭部内部の調整に日東製AFSのパーツを使う。なぜかサイズがジャストフィット。ほかのボディや武器類にはルナポーンを使いましたが、共有パーツも多いので問題なし。今回、背中の補修もルナポーン用を使っています

C

▲これが日東版AFS Mk.Iに付属していたフィギュア。たしかに当時のビクロマンの様にカッコよくもない、女だと思っていました

▶92年当時はこのイラストによってこんな設定だってことになってました。変更になりましたよ



「MaKの妻たち」

MaK25周年記念イベント第四章は「MaKin 夏のワンダーフェスティバル（以後WF）」です。WFは本当は、ウーマンフェスティバル、の略じゃないかと思うほど、オネエサンフィギュアがたくさん販売されております。そんなWFにおいてもMaKはマンダムな世界を貫いてまいりました。おっさんのフィギュアしか出てこない時代がSF3Dから続いており、まさに「戦うおっさん劇場」ですな、あまりに男フィギュアしか出てこない、この25年間、子供を除いては全然女性が出てこないので女人禁制「ホモ話じゃねーの？」くらいのことを言われたりもしました。しかし女性フィギュアを登場させなかった本当の理由は、単に1／20の出来のよい女性フィギュアがなかったというだけのこと。当時の初代AFSキットに入っていた、ロン毛でロの表情がやらしいフィギュアはわしはずーっと女だと思っていたら、じつはミクロマンのロン毛男を参考にこさえた男だという説がある。真実はどうなんだろう。わしがここんとこ作例に使っているモデラーズ製のレースクイーンのレジンキャストフィギュアは、とてもよくできているがすでに絶版なのでお勧めできないのが残念。再販してくれるとうれしいです。

そんな女日照りなー／20フィギュアですが、そこはWF。ちゃーんとMaKに使えるようなオネエサンフィギュアをこさえてくれるありがたいディーラーさんも近年出てまいりました。ここでお願いですが、できればオネエサンはラムちゃんやモモちゃんのような「昭和なポーズや髪型」ではないものがありがたいですな。

今月はオネエサンパイロットを搭乗させてみようとウェーブ製AFS Mk.IIを、搭乗時のハッチオープン状態でこさえてみましょう。その豊満なビージャパン誌に、AFSの装着時のイラストで描いたのですが、それとだいぶ違う。82年は上のイラストのような割れ方が好きだったんだよね。

お知らせ● 「MaK恋愛模型コンテスト」の時の文が出ております（はしがきPSO）。これにAFSのオープン状態、パイロットの頭出し状態などを作ってお楽しみ。と思ってる人には参考になるか、なんでいまさらになるか、さあどっちだろう。自分の好きにやってくれるのがいちばんなので、チキトーにお願いします

http://myhkpr.exp.com/

「MaKはおんなを崩壊するぜ」
女そくそく登場シリーズ、第2弾

1 ヘッドパーツ。ヘルメットの内側にはLEDを仕込んでいる。

2 ヘッドパーツ。ヘルメットの内側にはLEDを仕込んでいる。

3 ボディ。ボディ、ヘッドパーツ、ヘルメットはMaKのスタンダードパーツ。

4 ボディ。ボディ、ヘッドパーツ、ヘルメットはMaKのスタンダードパーツ。

5 ボディ。ボディ、ヘッドパーツ、ヘルメットはMaKのスタンダードパーツ。

6 ボディ。ボディ、ヘッドパーツ、ヘルメットはMaKのスタンダードパーツ。

7 ボディ。ボディ、ヘッドパーツ、ヘルメットはMaKのスタンダードパーツ。

8 ボディ。ボディ、ヘッドパーツ、ヘルメットはMaKのスタンダードパーツ。

■■■内部を走るパイプやコードはリード線やエナメル線をそれらしくね。今回はエンジンも作りました。これを見てAFS内部をレジンキットにして欲しい人、したい人よろしくお願いしますよ

■■■おねえさんの体はエポキシパテでスクラッチビルド。気に入ったヘッドが手元にある人は真似して組ませてみよう

■■■下半身はパンツの部分を黒い綿棒でそれらしくこさえておくと安女がいい上にセクシィー。綿棒硬化スプレーを兼用すると作業が早いぞ

■■■現場時の補助器具は前線用の原動用補助器具的イメージ。これはジャンクパーツを組み合わせてそれらしく製作

■■■ディーラー「KenKen工房」さんがWFで発売した1/35サンドストーカーをガイアカラーのジェイダイドグレイで塗装し、マーキングをエロ筆で手描きしてみた。この色で塗るとちゃんと現代軍のものに見えるしカッコいいね

で、'07年現在、25年も経つとこんなふうに割れてくださいな、って気持ちなんだねえ。

ウェーブ製AFSのキットは25年後の製品なので作りやすいうえに、旧キットとはパーツ割りを大きく変更。うまいこと考えてありますなあ。そのため、パーツを組みながらどうやって開けようかと考えておりますと「こんな風に開けてくれ！」とパーツが言ってきたんだね、で気がついたらうまいこと開いて仕上げてしまいましたという次第。作ってみたら思わず合理的な感じで仕上がったので、この開き方をオフィシャル設定にしましょう。今回の背を見上げるパイロット姿さんは、森三奈雄さんという方が、5月のわしの個展会場にわざわざ京都から同伴して来た彩色済みヘッド。もちろん自作ね。いただいたのは首から上だけだったが、このAFSに載せたいなぁ、と思ってエポキシパテを練っていたら、ナイスなボディが首から下に生えてきてしまいました。カラダの色に合わせてちょっと目焼けに塗り足しました。このフィギュア、見たらほしい人がたくさんいるに違いないと思ったので森さんにWFでガレージキットにして販売してくれるようにお願いしておきました。やっぱりスーツ顔を開けたら、おっさんもいいけどお姉さんフィギュアはもっといいもんね。なかなかまらかい女性が出てくるのはパワードスーツの大きさや強さの演出がしやすい。士郎正宗氏だけじゃなくみんな大好きな組み合わせですね。最後にここんとこのMaKを登場シーンをリストにしておきましょうね。

1 単行本「MaKBB」ラストページに登場するプーン隊委員のシャラポワ軍曹

2 本誌06年4月号掲載の平田氏のガンスに乗った美人さん。

3 本誌07年2月号掲載の清水さんのルナボーン作例に登場した女先生。

4 本誌07年7月号掲載のわしが作ったヌラリボン女性パイロットやレースクイーン

と、「俺はもう我慢できないぜ！」とおねえちゃんが登場するシーンが今までおります。むしろ後半のMaKは「男の世界」から「女の世界」になりつつありますなぁ。

http://anyikpr.exp.com/

読者プレゼント

ジメジメしていて塗装が乾かない！　こういうときは、梅雨明けに向けてパチ組みだ！　さて今月も各メーカー様のご厚意により、たくさんのプレゼントをご用意させていただきました！　みなさまドシドシご応募ください。くわしくは下記、プレゼント応募方法をチェック！　アンケート回答だけでなく、イラストなどの投稿もお待ちしています。

プレゼント応募方法

プレゼントに応募を希望する方は、とじ込みアンケートハガキにアンケートや本誌への感想、希望、叱咤激励などをご記入のうえ、希望プレゼント記入欄にほしいものの番号をひとつだけ書いてお送りください。なお当選者の発表は賞品をもってかえさせていただきます。

締切：7月20日（消印有効）

1
ATM-09-ST スコープドッグ
メタルスペックバージョン
インジェクションプラスチックキット
1/20　バンダイ
（提供／バンダイ）　1名様
ターレットレンズ装備やマシンガンのパレルは金属製、装甲板とマーキング用ステンシルはエッチングパーツだ

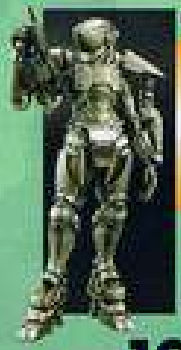
2
ATM-09-ST スコープドッグ
インジェクションプラスチックキット
1/20　バンダイ
（提供／バンダイ）　1名様
バンダイの技術を結集した、スコープドッグのハイエンドモデル。機能は完全再現を目指ける、詳細は要説明書にて

3
MG　MS-14S
シャア専用ゲルググ Ver.2.0
インジェクションプラスチックキット
1/100　バンダイ
（提供／バンダイ）　1名様
ザクⅡに続いて、ゲルググもVer.2.0で登場！　オマケに専用スケールのエレカが付属する、遊び心あふれる逸品

5
ケロロ軍曹セット ぷらす ケロン軍開発工場
インジェクションプラスチックキット
ノンスケール　バンダイ
（提供／バンダイ）　1名様
ケロロロボ5体と、小隊メンバー全員集合、お買い得感満点のペーパークラフトをお届け！

4
HGUC　MSM-10 ゾック
インジェクションプラスチックキット
1/144　バンダイ
（提供／バンダイ）　1名様
「ゾックってこんなに動くのか！」と驚もが出る、HGUCの続にあじめ傑作キット

6
アシュラテンプルP03 ／ バイドル搭載
レジンキャストキット
1/100　ワークショップキャスト
（提供／ワークショップキャスト）
1名様
青の「ドラゴントゥース」は[illegible]、バイドル搭載用機が変身パンクーント！



7
ベクシル ファイタースーツ
レジンキャストキット
1/20　ブラック
（提供／ブラック）　5名様
映画を見たら必ずほしくなることうけあいの機密ファイタースーツ

8
[illegible]
小学館プロダクション
（提供／小学館プロダクション）　5名様
この夏話題の劇場版CGアニメの劇場観賞に御招待、40年後の日本の姿を体験見る！

9
Y-ウイング ファイター
インジェクションプラスチックキット
1/72　ファインモールド
（提供／ファインモールド）　1名様
胴体に張り巡らされた配管のディテールはファン垂涎モノの精密造形。これを先手にDVDを観れば楽しさ倍増！

10
コペン アルティメットエディション
インジェクションプラスチックキット
1/24　アオシマ
（提供／アオシマ）　1名様
レカロシート、8本スポーク装着のスポーツ仕様、こちらは[illegible]が絶版

12
頭文字[イニシャル]D 坂本カブチーノ
インジェクションプラスチックキット
1/24　アオシマ
（提供／アオシマ）　1名様
既発のカブチーノに、走り屋系の新規パーツを盛り込んだアグレッシブなキット

11
[illegible]トップ
インジェクションプラスチックキット
1/24　アオシマ
（提供／アオシマ）　1名様
こちらはカジュアル系の落ち着いた雰囲気、リアスポイラーのパーツが付属する

15
ホリディ（Summer time2）
レジンキャストキット
1/6　クルシマ
（提供／クルシマ）　1名様
やすみちゃんシリーズ最新作は、暑らしい水着のホリディさんだ！

13
[illegible]
インジェクションプラスチックキット　1/48　タミヤ
（提供／タミヤ）　1名様
最新の考証を取り入れた、比類なき完成度を誇る1/48 F-16がリリース。とくにインテークのパーツ構成は要注モノ

ヤークトパンツァー38(t) ヘッツァー
インジェクションプラスチックキット
1/35　タミヤ
（提供／タミヤ）　1名様
1/35M 4最新作、戦闘車輌車のチープな魅力を味わえる名キット

14

16
子供の遊び No.1（水遊び）　子供の遊び No.2（ビーチボール）
レジンキャストキット　1/24　エステルマスター
（提供／エステルマスター）　1名様
懐かしい風景がよみがえる、エステル変革の造形力！

http://anyikkryexp.com/

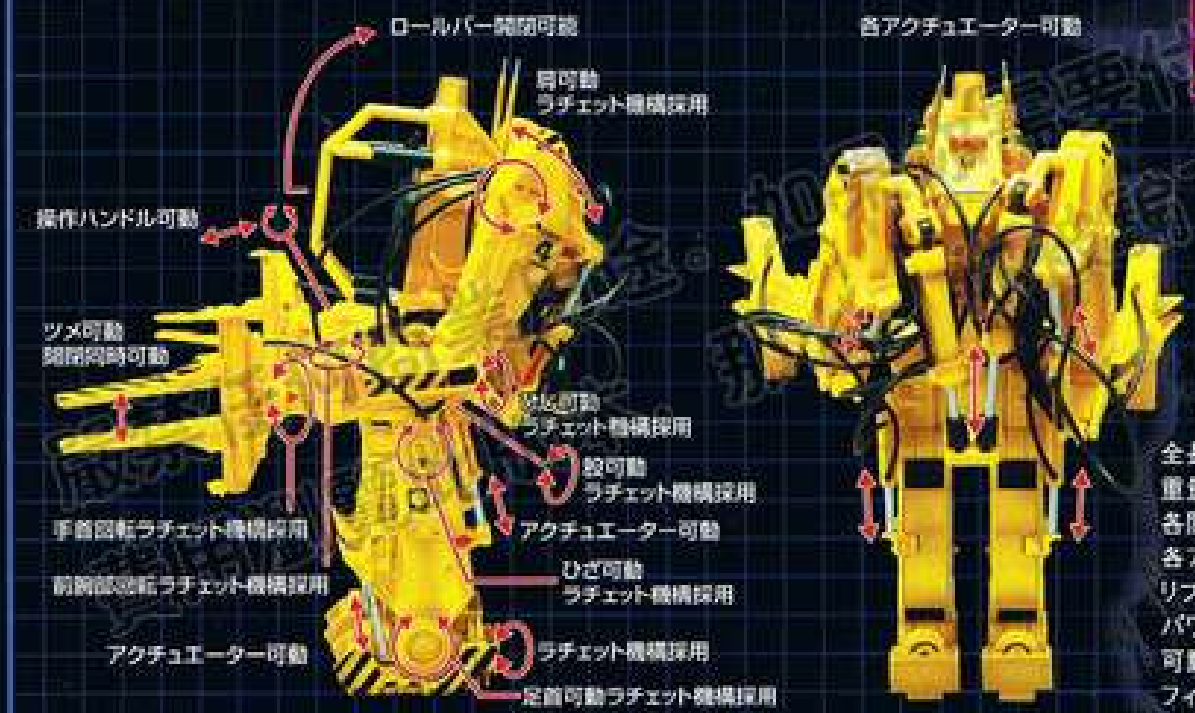
新世紀合金

MIRACLE HOUSE®

フル可動合金 1/12 パワーローダー

ALIENS™

全身16ヶ所
ラチェット
機構採用



全長23cm
重量680g
各関節フル可動
各アクチュエーター可動
リプリーフィギュア付属。
パワーローダー本体の
可動部と同調し
フィギュアも可動します。

※写真は試作品を使用したもので、現在製作中です。実際の商品と異なる場合があります。

特典付属

ALIENS™ & © 2007 Twentieth Century Fox Film Corporation. All Rights Reserved.

1/12 scale POWER LOADER

1/12 SCALE / DIECAST MODEL / HIGH QUALITY DETAILS

新世紀合金シリーズ 【8月下旬発売】
1/12 エイリアンズ パワーローダー
1/12 エイリアンズ パワーローダー 限定版 ※本体:白しぼ袋
【税抜】 価格:各17,640円(本体価格:各16,800円)

アルカディア3番艦改修による ハイモールド決定版

ARCADIA
LEIJI'S SPACE BATTLE SHIP

新世紀合金シリーズ 新世紀合金 アルカディア号三番艦リニューアル
【8月下旬発売】 【税抜】 価格:13,440円(本体価格:12,800円)

※写真は試作品です。実際の商品とは異なります。

商品に関する お問い合わせ
株式会社 青島文化教材社
〒420-0922 静岡県静岡市葵区流通センター 12-3
TEL:054-263-2461 FAX:054-263-2521
●受付時間:月~金 10:00~17:00(土・日・祝日および営業休業日を除く)
通販サイト ホビーワールド
http://hobbyworld.aoshima-bk.co.jp
AOSHIMA
Home Hobby Life

●価格はすべてメーカー希望小売価格です。 ●写真は実際の商品と仕様が異なる場合があります。また商品の仕様は予告なく変わる場合があります。ご了承ください。